令和７年度 小学部１年（ Ⅱ課程 ）生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
170	1学年　30名	1年担当　12 名	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けることができる。(小１段階) (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとすることができる。（小１段階） (学･人)自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりすることができる。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	14	(知及技)簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けることができる。[小１段階ア(イ)] (思判表力)簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとすることができる。[小１段階ア(ア)] (学･人)簡単な身辺処理に教師と一緒に取り組み、生活に必要な動作や習慣を身に付け、自ら健康な生活を作り出そうとすることができる。 [小１段階]	(知・技)簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとしている。 (主学)簡単な身辺処理に教師と一緒に取り組み、生活に必要な動作や習慣を身に付け、自ら健康な生活を作り出そうとしている。	ア 基本的生活習慣 〇いっしょにやってみよう! ・おやすみ・おはよう ・もちものをしまおう ・トイレにいこう ・たのしい きゅうしょく	【食事】 ・食前の準備（手洗い・エプロン着用・配膳）や食後の片付けをする。 【用便】 ・尿意や便意を伝える。用便の手順に沿って用を足し、用便後は手を洗う。 【寝起き】 ・寝る前や起きた後に何をするかについて知る。 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れに気付き、洗面や歯磨きをしたり、タオルで拭いたり、着替えたりする。 【身の回りの整理】 ・持ち物の片付け方を知り決められた場所に置く。 【身なり】 ・身なりについて気付き、簡単な衣服の着脱をする。着脱後の確認をする。
	12	(知及技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。[小１段階イ(イ)] (思判表力)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。[小１段階イ(ア)] (学･人)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。[小１段階]	(知・技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりしようとしている。	イ 安全 〇みのまわりの きけんなこと ・いえのきけん ・きょうしつのきけん	【危険防止】 ・危険な場所を知る。 ・自分の身を守る行動に気付く。
	14	(知及技)簡単な日課について、関心をもつことができる。[小１段階ウ(イ)] (思判表力)身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようとすることができる。[小１段階ウ(ア)] (学･人)簡単な日課に関心をもち、自分の生活に見通しをもって、自ら活動に向かおうとすることができる。[小１段階]	(知・技)簡単な日課について、関心をもっている。 (思・判・表)身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようしている。 (主学)簡単な日課に関心をもち、自分の生活に見通しをもって、自ら活動に向かおうとしている。	ウ 日課・予定 〇がっこうについたら ・とうこう ・あさのかい ・つぎのじゅぎょうはなにかな ・かえりのかい ・げこう	【日課】 ・教師と一緒に行動することにより、簡単な日課に気付き行動する。 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかを知り、できるだけ日課に沿って行動する。
	14	(知及技)身の回りの遊びや遊び方について関心をもつことができる。[小１段階エ(イ)] (思判表力)身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとすることができる。[小１段階エ(ア)] (学･人)好きな遊びや、教師の働きかけを通して周囲に好奇心をもったり、関心の幅を広げたりして関わりをもとうとすることができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの遊びや遊び方について関心をもっている。 (思・判・表)身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとしている。 (主学)好きな遊びや、教師の働きかけを通して周囲に好奇心をもったり、関心の幅を広げたりして関わりをもとうとしている。	エ 遊び 〇あそびがいっぱい	【いろいろな遊び】 ・教室にあるおもちゃで遊ぶ。 ・教師と一緒にまねっこ遊びをする。 ・教師と一緒にいっぽんばしなどのスキンシップ遊びをする。 ・教師と一緒に滑り台やブランコなど遊具で遊ぶ。 【遊具の後片付け】 ・自分が使った遊具を教師と一緒に元の場所に片付ける。
	12	(知及技)集団の中での役割に関心をもつことができる。[小１段階カ(イ)] (思判表力)身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとすることができる。[小１段階カ(ア)] (学･人)様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりすることができる。[小１段階]	(知・技)集団の中での役割に関心をもっている。 (思・判・表)身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとしている。 (主学)様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりしようとする。	カ 役割 〇いっしょにしよう 〇ちいきのぎょうじ 〇学習発表会	【役割】 ・集団の中で活動することに慣れる。 【集団の参加や集団内での役割】 ・学校や学年の行事に参加し、他学年や他学部の存在に気付く。（学部間交流）

12	(知及技)簡単な手伝いや仕事に関心をもつことができる。[小１段階キ(イ)] (思判表力)身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとすることができる。[小１段階キ(ア)] (学･人)学校生活の流れに即して、簡単な手伝いや仕事を経験しながら、手伝うことの喜びを味わったり、自分で取り組んだりしようとすることができる。[小１段階]	(知・技)簡単な手伝いや仕事に関心をもっている。 (思・判・表)身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとしている。 (主学)学校生活の流れに即して、簡単な手伝いや仕事を経験しながら、手伝うことの喜びを味わったり、自分で取り組んだりしようとしている。	キ 手伝い・仕事 〇せんせいのおてつだいをしよう	【手伝い】【戸締り】 ・日直や当番活動の内容を知る。 ・お便りを配布する。 ・当番活動（電気の点灯・消灯、机拭き、戸締り、健康観察簿の提出、牛乳の配布、ごみ捨て等）をする。 ・始業・終業の挨拶の号令をかける。

	12	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。[小１段階サ(イ)] (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。[小１段階サ(ア)] (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもとうとしている。	サ 生命・自然 〇きせつと あそぼう ・みつけよう	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
1学期	4	(知及技)集団の中での役割に関心をもつことができる。[小１段階カ(イ)] (思判表力)身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとすることができる。[小１段階カ(ア)] (学･人)様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりすることができる。[小１段階]	(知・技)集団の中での役割に関心をもっている。 (思・判・表)身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとしている。 (主学)様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりしようとしている。	カ 役割 〇なかま ・がっきゅうの なかま ・しょうがくぶのなかま	【役割】 ・集団の中で活動することに慣れる。 【集団の参加や集団内での役割】 ・学校や学年の行事に参加し、他学年や他学部の存在に気付く。（学部間交流）
	4	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。[小１段階サ(イ)] (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。[小１段階サ(ア)] (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもとうとしている。	サ 生命・自然 〇きせつと あそぼう ・はる	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
	5	(知及技)簡単なきまりについて関心をもつことができる。[小１段階ケ(イ)] (思判表力)身の回りの簡単なきまりに従って、教師と一緒に行動しようとすることができる。[小１段階ケ(ア)] (学･人)生活の流れに即して、教師と一緒にきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりすることができる。[小１段階]	(知・技)簡単なきまりについて関心をもっている。 (思・判・表)学校生活の簡単なきまりを守って、教師と一緒に行動しようとしている。 (主学)生活の流れに即して、教師と一緒にきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりしようとしている。	ケ きまり 〇だれのもの? 〇「かして」「ありがとう」 ・なまえやマークをつけよう	【自分の物と他人の物の区別】 ・自分の持ち物と他者の物の区別が分かる。 ・自分の名前（マーク）に気付く。
	5	(知及技)身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。[小１段階オ(イ)] (思判表力)教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとすることができる。。[小１段階オ(ア)] (学･人)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わることができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの人との関わり方に関心をもっている。 (思・判・表))教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わろうとしている。	オ 人との関わり 〇わたしと かぞく ・げんきに「はい!」 ・なまえをよばれたら	【自分自身と家族】 ・自分の名前を呼ばれて返事をする。 【身近な人との関わり】 ・教師や友達にあいさつをしたり、手をつないだりする。
	4	(知及技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。[小１段階イ(イ)] (思判表力)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。。[小１段階イ(ア)] (学･人)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。[小１段階]	(知・技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりしようとしている。	イ 安全 〇あんしん あんぜん ・どうろをあるくときのやくそく	【交通安全】 ・信号や標識の意味を知る。 ・交通ルールに従って、安全に通行する。
	4	(知及技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。[小１段階コ(イ)] (思判表力)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。[小１段階コ(ア)] (学･人)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えようとしている。	コ 社会の仕組みと公共施設 〇わたしのかぞく ・かぞくをしょうかいしよう 〇学校にはどんな人がいるかな ・がっこうたんけん 〇いろいろな場所を知ろう ・校外学習	【家族・親戚・近所の人】 ・一緒に住んでいる人を知る。 ・家族を紹介する。 【学校】 ・学校の中の施設やたくさん働いている人がいることを知る。 【公共施設】 ・公共施設の使い方を知る。 ・公共施設を実際に利用する。

	4	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。[小１段階サ(イ)] (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。。[小１段階サ(ア)] (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもとうとしている。	サ 生命・自然 〇きせつと あそぼう ・なつ	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
２学期	8	(知及技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。[小１段階コ(イ)] (思判表力)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。[小１段階コ(ア)] (学･人)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇わたしのかぞく ・かぞくをしょうかいしよう 〇学校にはどんな人がいるかな ・がっこうたんけん 〇いろいろな場所を知ろう ・校外学習	【家族・親戚・近所の人】 ・一緒に住んでいる人を知る。 ・家族を紹介する。 【学校】 ・学校の中の施設やたくさん働いている人がいることを知る。 【公共施設】 ・公共施設の使い方を知る。 ・公共施設を実際に利用する。
	8	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。[小１段階サ(イ)] (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。[小１段階サ(ア)] (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもとうとしている。	サ 生命・自然 〇きせつと あそぼう ・あき	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
	6	(知及技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。[小１段階シ(イ)] (思判表力)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。。[小１段階シ(ア)] (学･人)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。[小１段階]	(知・技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりしようとしている。	シ ものの仕組みと働き 〇もののおもさ ・もののおもさ①	【物の重さ】 ・「重い・軽い」という感覚を経験し、生活の中にある物の重さの違いに気付く。 ・カバン、絵本、バケツ、ペットボトル等
	8	(知及技)身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。[小１段階オ(イ)] (思判表力)教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとすることができる。。[小１段階オ(ア)] (学･人)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わることができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの人との関わり方に関心をもっている。 (思・判・表))教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わろうとしている。	オ 人との関わり 〇せんせい・ともだち ・わたしのせんせい ・ぼくのともだち ・てをつなごう ・あいさつをしよう	【自分自身と家族】 ・自分の名前を呼ばれて返事をする。 【身近な人との関わり】 ・教師や友達にあいさつをしたり、手をつないだりする。
	6	(知及技)金銭の扱い方などに関心をもつことができる。[小１段階ク(イ)] (思判表力)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。[小１段階ク(ア)] (学･人)買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとすることができる。[小１段階]	(知・技)金銭の扱い方などに関心をもっている。 (思・判・表)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主学)買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとしている。	ク 金銭の扱い 〇おかねは　たいせつ ・おこづかいもらったら 〇かいもの ・せんせいとやってみよう	【金銭の扱い】 ・お金の大切さを知る。 金銭を取り扱う方法について知る。 【買い物】 ・簡単な買い物の手順を知る。 ・教師の支援を受けながら買い物や自動販売機を利用する。
	4	(知及技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。[小１段階シ(イ)] (思判表力)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。[小１段階シ(ア)] (学･人)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。[小１段階]	(知・技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりしようとしている。	シ ものの仕組みと働き 〇かぜとあそぼう	【風の力の動き】 ・風の力によって物が動く様子を見る。 ・風の力が物を動かすことができることに気付く。 ・凧揚げ、ビニール袋、紙コップ竹とんぼ、扇風機、うちわ、紙吹雪等

3学期	4	(知及技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。[小１段階コ(イ)] (思判表力)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。。[小１段階コ(ア)] (学･人)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えようとしている。	コ　社会の仕組みと公共施設 〇わたしのかぞく ・かぞくをしょうかいしよう 〇学校にはどんな人がいるかな ・がっこうたんけん 〇いろいろな場所を知ろう ・校外学習	【家族・親戚・近所の人】 ・一緒に住んでいる人を知る。 ・家族を紹介する。 【学校】 ・学校の中の施設やたくさん働いている人がいることを知る。 【公共施設】 ・公共施設の使い方を知る。 ・公共施設を実際に利用する。
	6	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。[小１段階サ(イ)] (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。。[小１段階サ(ア)] (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもとうとしている。	サ 生命・自然 〇きせつと あそぼう ・ふゆ ・きせつの ずかん	【自然との触れ合い】 ・外遊び（近隣の公園等）を通して、季節の草花や虫を見つける。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・植物を栽培し育てる。（あさがお、さつまいも等） 【季節の変化と生活】 ・季節の違いを衣服の変化等で気づく。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 小学部１年（　Ⅱ課程　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
238	1学年　30人	1年担当12名	はらぺこあおむし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。（小１段階） (思判表力)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。（小１段階） (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。[小１段階ア(ア)] (思判表力)身近な人からの話しかけに注目したり、応じて答えたりすることができる。[小１段階Ａイ] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階]	(知・技) 名前カードが提示されると、その友達を指したりカードを渡したりしている。 (思･判･表)あいさつや呼名に対して言葉や挙手、お辞儀等で応じている。 (主学)友達を名前を呼んだりカードを使ったりして呼ぼうとしている。	【聞くこと・話すこと】 単元１『あいさつをしよう』 ・朝のあいさつ ・げんきしらべ 単元２『呼びかけてみよう』 ・おーい(☆)	・朝や帰り、始業・終業のあいさつ ・呼名 ・言葉（友達の名前）と具体物（カード、本人）のマッチング
	28	(知及技)読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。[小１段階イ(エ)] (思判表力)絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。[小１段階Ｃイ] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階]	(知・技) お話に登場するものや動物などの絵と言葉を結びつけている。 (思･判･表)絵を見たりお話を聞いたりして、感じたことや思ったことを表現している。 (主学)進んで読む絵本やお話を選んだり、楽しみながら読み聞かせを聞いたりしようとしている。	【聞くこと・話すこと】 【読むこと】 単元１『お話を聞こう』 ・がっこうだいすき(☆) ・はらぺこあおむし	・いろいろな場面の写真やイラストの中から、提示したものを見たり、指さしたりする。 ・擬態語や擬声語の多い絵本や繰り返しのある絵本などの読み聞かせを行う。
	24	(知及技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。[小１段階ア(イ)] (思判表力)伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。[小１段階Ａウ] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階ウ]	(知・技) 教師の言葉かけに耳を傾け、提示された物に視線を向けたり、表情を変えたりなどして、注意を向けている。 (思･判･表)絵や写真などを見て、教師が言った事物などに視線を向けたり、指さししたりしている。 (主学)見たものや感じたことを言葉や動作などで表現しようとしている。	【聞くこと・話すこと】 単元１『いろいろなものを見たり、触ったりしよう』 ・何があるかな？ 単元２『発表しよう』 ・どれが好きかな？ ・何が楽しかったかな？ ・伝えてみよう	・実物を見たり、触ったりする。 ・知っている物や身近にあるものなどが出てくる絵本や写真、映像などを見て、対象に気付く。 ・いろいろな場面の写真やイラストの中から、提示したものを見たり、指さしたりする。 ・実物や写真などから好きな物や楽しかったことを選んで発表をする。
	34	(知及技)読み聞かせに注目し、色々な絵本などに興味をもつことができる。[小１段階イ(エ)] (思判表力)教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。[小１段階Ｃア] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階ウ]	(知・技) 提示した絵本などに注目したり、言葉や効果音に注意を向けている。 (思･判･表)絵本や写真、絵、映像などを見て、身近にある物や動物などが表現されていることに気付いている。 (主学)自分の思いや要求などを言葉や動作などで伝えようとしている。	【読むこと】 単元１『おはなしをきこう』 ・あなたはだあれ(☆) 単元２『何が出るかな？』 ・やさいさん ・くだものさん　など	・いろいろな場面の写真やイラストの中から、提示したものを見たり、指さしたりする。 ・擬態語や擬声語の多い絵本や繰り返しのある絵本などの絵本の読み聞かせを行う。

2学期	30	(知及技）言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。[小１段階ア(イ)] (思判表力）身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。[小１段階Ａア] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階ウ]	(知・技）実物や写真、絵などを見て、言葉や動作で表現している。 (思･判･表)見聞きしたことや感じたことを、絵や写真などから選んだり、動作等で表現しようとしている。 (主学)自分の思いや思ったことを、相手に伝えようとしている。	【書くこと】 単元１『何をしているかな？』 ・ぼくのいちにち(☆) ・おはようございます ・いただきます ・おやすみなさい	・いろいろな生活場面を見て、教師が言った事物や事柄を探す。 ・言葉や動作で表現する。
	34	(知及技）遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れることができる。[小１段階 イ(イ)] (思判表力)教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現することができる。[小１段階Ａア] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階ウ]	(知・技）声や音、言葉の響きやリズムを体感したり、楽しんだりしている。 (思･判･表）簡単な言葉や音声、動作模倣などをしている。 (主学)発語や発声などで、相手に伝えようとしている。	【聞くこと・話すこと】 単元１『真似してみよう』 ・ひげじいさん ・おおきなくりの木の下でなど 単元２『呼びかけてみよう』 ・おーいかばくん ・おおかみさん	・言葉や動作で表現する。 ・節を付けて歌ったり、動作化したりして、言葉の楽しさを感じる。 ・呼びかけに対する応答遊び、音まね遊びなどを行う。 ・絵を見て指さしたり、場面に呼びかけたりする。 ・事物や事柄を見て、指をさしたり、「〇〇さん」と呼びかけたりする。 ・いろいろな写真や絵などを見て、教師と一緒に登場人物の音声や動作を模倣する。
3学期	20	(知及技）言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりできる。[小１段階ア(イ)] (思判表力)絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現できる。[小１段階Ｃイ] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階ウ]	(知・技）言葉と事物を結びつけている。 (思･判･表)物の名称などを聞いて、その対象を指さしたり、視線などを向けたりしている。 (主学)自分の思いや思ったことを、相手に伝えようとしている。	【読むこと】 単元１『何があるか探してみよう』 ・知っているものはあるかな？ ・〇〇を探せ！ ・きんぎょがにげた	・実物や写真、イラストなどの中から、教師が言った事物や事柄を探す。
	25	(知及技)昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。[小１段階イ(ｱ)] (思判表力)教師の話や読みきかせに応じ、音声を模倣したり、表現や身振り、簡単な話し言葉などで表現することができる。[小１段階Ａア] (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階]	(知・技)物語の一場面を簡単な言葉で唱えたり、動作化して楽しむことができる。 (思・判・表)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な言葉で表現することができる。 (主学)言葉の響きやリズムを楽しみながら発音・発声しようとしている。	【聞くこと・話すこと】 単元１『絵本をよもう』 ・くまさんくまさん(☆)	・リズム遊びなどで教師や友達と一緒に歌ったり動作の模倣をしたりする。 ・読み聞かせや童歌にのせたやりとり遊び、役に応じたやりとり等を言葉で唱えたり、動作化したりする。
	18	(知及技)いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ることができる。[小１段階イ(ウ)㋐] (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。[小１段階Ｂイ] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階ウ]	(知・技）クレヨンやクーピー、鉛筆やペンなどを使い、線などが書けることに気付いている。 (思･判･表)自分なりの書き方で書こうとしている。 (主学)いろいろな線や形を自由に書こうとしている。	【書くこと】 単元１『書いてみよう』 ・いろいろな筆記用具で書く	・興味・関心のある筆記具（クレヨン、ペン、チョーク）を使い、黒板やとりのこ用紙などに自由に書く。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 小学部　1年（　Ⅱ課程　）算数科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
136	1学年30名	1年担当12名	さんすう☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりして、上下や前後、形の違い、量の大きさに気付くとともに、数量に関心をもって関わることについての技能を身につけることができる。（小１段階） (思判表力)身の回りのものの有無や数的要素、ものの形、大きさや長さなどの量の違いに注目し、数量や図形に関心をもって関わるとともに、形の違いを捉えたり、量の大きさにより区別したりすることができる。（小１段階） (学･人)数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) 具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。［小１段階Ａア(ｱ)㋐］ (思判表力)対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。［小１段階Ａア(ｲ)㋐］ (学･人)対象物に興味関心を示し、言葉かけを聞いて取り組もうとすることができる。［小１段階］	(知・技) 言葉を聞いてそのものを指さししたり、つかんだり、目で追ったりしている。 (思･判･表)聴覚、視覚、触覚などの感覚で対象物に注意を向け、手先を使ってその物をつかんだり、指さししたりしている。 (主学)教師の言葉かけを聞いて、対象物に注意を向け、自ら取り組もうとしている。	【Ａ数量の基礎】 単元１『ある、ない①②』 単元２『どこに　かくれたかな』 単元３『どこから　でるかな』 単元４『○○くん、いるかな』	・ものへの指さし、つかむ、目で追う。 ・興味のあるものを箱や布の下から取り出す、押す、引っ張る等の操作する活動を行う。操作する面白さに気付く。 ・プットイン教材、音絵本等
	4	(知及技) ものの有無に気付くことができる。［小１段階Ｂア(ｱ)㋐］ (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。［小１段階Ｂア(ｲ)㋐］ (学･人)ものの有無や因果に気付き、自ら具体物等を操作したり、他者に働きかけたりして、取り組むことができる。［小１段階］	(知・技) プットイン教材等の具体物を操作して、物がある状態から無い状態に気付き、注意を向けている。 (思･判･表)ものの有無や因果に気付いて、プットイン教材等の具体物を操作している。 (主学)教師に具体物の教材を操作するよう働きかけたり、自ら具体物を操作することに興味を示し、取り組もうとしている。	【Ｂ数と計算】 単元１『ある、ない③』	・具体物を操作し、ものが減少することや無くなったことについて言葉を真似たり、自発的に言ったりする。 ・お皿に入っているたくさんのビー玉を１個ずつ別の容器に入れていき、ビー玉の数が減少して、お皿の中にビー玉がなくなることに気付く。
	6	(知及技) 目の前の物を、1個、2個、たくさんであらわすことができる。［小１段階Ｂア(ｱ)㋑］ (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。［小１段階Ｂア(ｲ)㋐］ (学･人)自ら具体物等を操作したり、視覚や聴覚などの感覚を使ったりして数に親しみながら、取り組むことができる。［小１段階］	(知・技) 目の前の物を、1個、2個、たくさんであらわそうとしている。 (思･判･表)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かそうとしている。 (主学)自ら具体物等を操作したり、視覚や聴覚などの感覚を使ったりして数に親しみながら、取り組もうとしている。	【Ｂ数と計算】 単元２『いち、に、たくさん』	・具体物は、児童の実態に合わせて安全な教材教具を用意する。 ・ボールプールやビー玉など、児童が遊びながらたくさんを体得できるようにする。（具体物は、変更しても良い） ・1個のあめ玉、2個のあめ玉、といったように、1個、2個と教師が言葉かけしながら見せ、触れさせ、「たくさん」になると、手に持てなくなることを体感する。

12	(知及技)具体物に注目して指をさしたり、つかもうとしたり、目で追ったり、形を観点に区別したりすることができる。［小１段階Ｃア(ｱ)㋐㋑］ (思判表力)対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉えることができる。［小１段階Ｃア(ｲ)㋐］ (学･人)形の違いに気付き、形に興味をもって取り組むことができる。［小1段階］	(知・技) 具体物に注目して指をさしたり、つかもうとしたり、目で追ったり、形を観点に区別したりしようとしている。 (思･判･表)視覚を使ったり触覚を使ったりするなどして、対象物に注意を向け、具体物を捉えようとしている。 (主学)形の違いに気付き、自ら関心を示して分類することに取り組もうとしている。	【Ｃ図形】 単元１『おもちゃをみつけましょう』 単元２『かたちをつくりましょう』 単元３『かたちをあわせましょう』	・大型積み木やボール、乗りもの、ぬいぐるみなどといった玩具を用意し、児童の興味を喚起しながら自由遊びをする。 ・自由遊びの中から、「同じ積み木だね。」「バスやトラック、にてるね。」などと声をかけ、注目を促したり、対象物を捉える手がかりを出す。 ・同じ物を集めながら片付ける活動を設定するなどして、対象物に注目する必要のある場面を作る。

	13	(知及技)大きさや量などを、基準に対して同じか違うかによって区別することができる。［小１段階Ｄア(ｱ)㋐］ (思判表力)大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。［小１段階Ｄア(ｲ)㋐］ (学･人)大小、多少等の言葉や区別することに興味関心を示し、学習に取り組むことができる。［小１段階］	(知・技)大小のボールや大小の箱の大きさの基準に対して同じか違うかを区別している。 (思･判･表)教師の言葉かけの大きい、小さいに注目して区別したり、言葉や身振り等で他者に伝えようとしたりしている。 (主学)大きさを区別することや言葉で伝えることに、進んで取り組もうとしている。	【Ｄ測定】 単元１『おなじ、ちがう』 単元２『おおきい、ちいさい①』 単元３『おおい、すくない①』	・大小のボールや大小の箱運びを通して大きさの違いに気付く。 ・視覚的、触覚的に明らかに異なる「大きい・小さい」「多い・少ない」を具体物を通して、数多く体験する。
２学期	12	(知及技)ものとものとを対応させて配ることができる。［小１段階Ａイ(ｱ)㋐］ (思判表力)ものとものとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。［小１段階Ａイ(ｲ)㋐］ (学･人)もの同士を対応させることが分かり、進んでいろいろな具体物を配ることができる。［小１段階］	(知・技)具体物を１対１と対応させて、物を配ろうとしている。 (思･判･表)同じお皿やかごなどのものの属性に注目して仲間であることを判断して配っている。 (主学)教師の言葉かけを聞いて、もの同士を対応させて、進んでいろいろな物を配ろうとしている。	【Ａ数量の基礎】 単元５『おなじまーくはどれでしょう』 単元６『みんなにくばりましょう』	・１対１対応の理解を促す。 ・給食時の配膳。（牛乳を１個ずつ等） ・製氷皿や箱等に１つずつボールを入れる等 ・かご、ボール、ブロック、タッパー、皿、箱等の具体物を慣れてきたら変化させる。
	14	(知及技)５までの範囲で数唱をすることができる。［小１段階Ｂア(ｱ)㋑］ (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。［小１段階Ｂア(ｲ)㋐］ (学･人)数唱することに興味を示し、声を出して進んで取り組むことができる。［小１段階］	(知・技)数え歌に合わせて、教師と一緒に声をだして数唱している。 (思･判･表)数え歌に合わせて身振りで表現したり、具体物を指でさしたり、入れ物に入れている。 (主学)自ら声をだしたり、身振りで表現したりして取り組もうとしている。	【Ｂ数と計算】 単元３『いち、に、さん、し、ご』	・数え歌に合わせて指で数量を示したり、具体物を指でさしたり、入れ物に入れたりして数える活動を行う。 ・「パン屋のメロンパン」等の手遊び歌、「どうぶつ１・２・３」等の絵本教材、合図でくす玉を割ったり､風船を飛ばしたり等 ・ボウリングゲーム、魚釣りゲーム等 ・カードを見ながら教師と一緒に数唱する。
	12	(知及技)形が同じものを選ぶことができる。［小１段階Ｃア(ｱ)㋐］ (思判表力)ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。［小１段階Ｃア(ｲ)㋑］ (学･人)色々な形や色、大きさに気付き、図形に興味をもって取り組むことができる。［小１段階］	(知・技)形の違いに気づき、同じ形を探して選ぼうとしている。 (思･判･表)○△□が分かり、○△□の型はめや、絵カードを操作して同じものに分類している。 (主学)進んで教材を取り出し、興味をもって図形の学習に取り組もうとしている。	【Ｃ図形】 単元４『おなじかたちをみつけましょう』 単元５『おなじかたちをえらびましょう』	・○△□の型はめやプットイン玩具の操作を通して形の相違に気付かせる。 ・ブラックボックスで中身をあてる等(果物、玩具等) ・形のマッチングや分類を行う。
	13	(知及技)大きさや量などを、基準に対して同じか違うかによって区別することができる。［小１段階Ｄア(ｱ)㋐］ (思判表力)大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。［小１段階Ｄア(ｲ)㋐］ (学･人)大小、多少等の言葉や区別することに興味関心を示し、学習に取り組むことができる。［小１段階］	(知・技)具体物の操作を通して、大きさや量などの違いに気付いている。 (思･判･表)具体物の操作を通して、大きさや量などの違いに気付き、それぞれに分けて入れている。 (主学)大きさや量などを区別することや言葉で伝えることに、進んで取り組もうとしている。	【Ｄ測定】 単元４『おおきい、ちいさい②』 単元５『おおい、すくない②』	・具体物の大きさと合った入れ口の容器を準備し、プットイン作業を行う。 ・操作を通して、大きさの違いに気付く。 ・爪楊枝と竹串、ビー玉とピンポン玉等のプットイン教材等、具体物を操作することを通して違いに気付く。
	13	(知及技)分割した絵カードを組み合わせることができる。［小１段階Ａイ(ｱ)㋑］ (思判表力)ものとものとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。［小１段階Ａイ(ｲ)㋐］ (学･人)パズルに興味を示し、自ら進んで一定時間、取り組むことができる。［小１段階］	(知・技)２分割した絵カードを組み合わせている。 (思･判･表)数種類ある分割した絵カードの上下や色の違い等に注目して、同じ物を探して組み合わせている。 (主学)教師にやりたいことを身振りや言葉等で伝え、自ら進んでパズルに取り組もうとしている。	【Ａ数量の基礎】 単元７『あわせましょう①②』	・上下や色の違いの分かりやすいいろいろな車や果物のイラストで行う。 ・２分割からはじめ、徐々にパズル片を増やしたり、数種類の中からでも選んだりできるようにする。

3学期	14	(知及技)３までの範囲で具体物を取ることができる。［小１段階Ａア(ｱ)㋑］ (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。［小１段階Ａア(ｲ)㋐］ (学･人)３までの数や具体物に興味をもって取り組むことができる。［小１段階］	(知・技)３までの数を聞いて、おはじき等を取っている。 (思･判･表)教師の言葉かけを聞いて、いろいろな具体物の３までの数を取って渡している。 (主学)３までの数や具体物に興味関心を示し、自ら活動に取り組もうとしている。	【Ｂ数と計算】 単元４『とりましょう』	・教師と一緒に３個までのおはじき等を数えたり、取ったり渡したりする活動を行う。 ・身の回りの数を教師と一緒に数えたり、言われた数の物を取ったり、渡したりする。
	13	(知及技)似ている二つのものを結びつけることができる。［小１段階Ｃア(ｱ)㋑］ (思判表力)対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉えることができる。［小１段階Ｃア(ｲ)㋐］ (学･人)似ている物に興味関心を示し、言葉かけを聞いて結びつける活動に取り組むことができる。［小１段階］	(知・技)赤いボールと野球ボールの〇という共通する特徴に気付いて、具体物の中から取っている。 (思･判･表)いくつかの具体物の中から、指定された言葉や具体物を聞き分け、似ている具体物を選んでいる。 (主学)似ている物の活動に興味を示し、進んで取り組もうとしている。	【Ｃ図形】 単元６『にているものをみつけましょう』	・グローブ、バット、帽子、野球ボールの中から、赤い丸いボールと似ている物を結びつけて取る等の学習を教師と一緒に取り組む。 ・丸い形から始め、徐々に慣れてきたら四角、三角等でも上記と同じような学習を行う。
留意点 引継ぎ等		単元・題材名は、全て『さんすう☆』に準ずるものとしている。			

令和7年度 小学部　1年（Ⅱ課程）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
51	小学部１年　30名	1年担当12名	音と光の出る絵本　いっぱいスイッチ

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けることができる。（小1段階） (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができる。（小1段階） (学･人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。（小1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて声を出すことができる。【小1段階A表現ア(ウ)-ウ】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小1段階A表現ア(ア)】 (学･人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、歌ってみようとすることができる。【小1段階】	(知・技）曲中の特徴的な音や歌詞に気付き、体を動かしている。 (思･判･表)曲のリズムに合わせたり、教師の動きを模倣したりしながら、曲の一部分を体を動かして表現している。 (主学)音楽を介して、教師や友達と手を繋いだり、体を動かしたりすることを楽しみながら、学習に参加しようとしている。	【音楽遊び（歌唱）】 ・声をだしてみよう 「ちゅうりっぷ」 「こいのぼり」 「せんせいとおともだち」 「かたつむり」 「さよなら　あしたもね」 「たなばたさま」等	・わかりやすい歌詞の一部を覚えて教師と一緒に歌ったり、発声したりする。 ・動きを模倣し、楽しみながら教師や友達と一緒に歌ったり、踊ったり、体を動かしたりする。
	5	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて楽器の音を出すことができる。【小音1段階A表現ア(ウ) -イ】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小音1段階A表現ア(ア) 】 (学･人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に楽器の音を出す楽しさを感じるとともに、自分なりに鳴らしてみようとすることができる。【小１段階】	(知・技)教師の促しを受けながら、部分的に楽器の音を出している。 (思・判・表)音や音楽を聴いて、自分なりに楽器を鳴らそうとしている。 (主学)自分で楽器を持ち、自分なりの方法で楽器を鳴らしてみようとしている。	【音楽遊び（器楽）】 ・音を楽しもう、楽器を鳴らそう 「パン」「ドン」（手拍子） 「げんきに　げんきに」（鈴、鳴子） 「がっきのおとあて」 「いっしょに　ならそうよ」等	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	5	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて体を動かすことができる。【小音1段階A表現ア(ウ) -ア】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小音1段階A表現ア(ア) 】 (学･人)教師と一緒に身体表現をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようとすることができる。【小１段階】	(知・技）曲中の特徴的な音や歌詞に気付き、体を動かしている。 (思･判･表)曲のリズムに合わせたり、教師の動きを模倣したりしながら、曲の一部分を体を動かして表現している。 (主学)音楽を介して、教師や友達と手を繋いだり、体を動かしたりすることを楽しみながら、学習に参加しようとしている。	【音楽遊び（身体表現）】 ・たのしくおどろう 「チャオ!チャオ！チャオ！」（学年ダンス） 「おなかをポンポンたたきましょう」 「クルックルッ」（ミュージック・ケア） 「あめの日には　あめの歌」 「ながぐつまーち」 「ゆらゆらぼーと」等 ・手遊びをしよう 「あたま　かた　ひざ　ぽん」 「とんとんとんとん　ひげじいさん」等	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かしたり、揺らすなど自由に表現して踊ったりする。
	3	(知及技）聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。【小音1段階B鑑賞ア-(イ) 】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。【小音1段階B鑑賞ア-(ア) 】 (学･人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようすることができる。【小１段階】	(知・技）音や音楽を聴いて、使われている楽器などを選んでいる。 (思･判･表)歌やお話を見聴きしながら、声を発したり、歌ったり、動作を真似したりして楽しんでいる。 (主学)教師と一緒に、音楽に合わせて体を動かしたり、リズムを取ったりするなど、自分なりの楽しみ方で学習に参加しようとしている。	【鑑賞】 ・聴こう、見よう 「ぽんくんのともだち」（パネルシアター） 「ねこのおいしゃさん」（パネルシアター） 「校歌」（パネルシアター） 「やっほっほ夏休み」等	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
2学期	5	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて声を出すことができる。【小1段階A表現ア(ウ)-ウ】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小1段階A表現ア(ア)】 (学･人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、歌ってみようとすることができる。【小1段階】	(知・技）曲中の特徴的な音や歌詞に気付き、体を動かしている。 (思･判･表)曲のリズムに合わせたり、教師の動きを模倣したりしながら、曲の一部分を体を動かして表現している。 (主学)音楽を介して、教師や友達と手を繋いだり、体を動かしたりすることを楽しみながら、学習に参加しようとしている。	【音楽遊び（歌唱）】 ・声をだしてみよう ・楽しく歌おう 「おひさまきらきら」 「おかたづけ」 「どんぐりころころ」 「まつぼっくり」 「とんぼのめがね」 「おやつたーべよ」等	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。 ・わかりやすい歌詞の一部を覚えて教師と一緒に歌ったり、発声したりする。
	5	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて楽器の音を出すことができる。【小音1段階A表現ア(ウ) -イ】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小音1段階A表現ア(ア) 】 (学･人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に楽器の音を出す楽しさを感じるとともに、自分なりに鳴らしてみようとすることができる。【小１段階】	(知・技)教師の促しを受けながら、部分的に楽器の音を出している。 (思・判・表)音や音楽を聴いて、自分なりに楽器を鳴らそうとしている。 (主学)自分で楽器を持ち、自分なりの方法で楽器を鳴らしてみようとしている。	【音楽遊び（器楽）】 ・音を楽しもう、楽器を鳴らそう 「パン」「トン」「ドン」（手拍子） 「がっきをならそう」 「まじっく　まんぼ」 「だるまさん」 「パンパン」（タンブリン、カスタネット）等	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	4	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて体を動かすことができる。【小音1段階A表現ア(ウ) -ア】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小音1段階A表現ア(ア) 】 (学･人)教師と一緒に身体表現をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようとすることができる。【小１段階】	(知・技）曲中の特徴的な音や歌詞に気付き、体を動かしている。 (思･判･表)曲のリズムに合わせたり、教師の動きを模倣したりしながら、曲の一部分を体を動かして表現している。 (主学)音楽を介して、教師や友達と手を繋いだり、体を動かしたりすることを楽しみながら、学習に参加しようとしている。	【音楽遊び（身体表現）】 ・たのしくおどろう 「チャオ!チャオ！チャオ！」（学年ダンス） 「ばすごっこ」 「おうま」 「ぞうさん」 「ちぇっちぇつこり」 「ハッピークリスマス」（クリスマスダンス）等 ・手遊びをしよう 「ぱんだ　うさぎ　こあら」 「むすんで　ひらいて」等	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かしたり、揺らすなど自由に表現して踊ったりする。

	4	(知及技）聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。【小音1段階B鑑賞ア-(イ）】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。【小音1段階B鑑賞ア-(ア）】 (学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようすることができる。【小１段階】	(知・技）音や音楽を聴いて、使われている楽器などを選んでいる。 (思・判・表)歌やお話を見聴きしながら、声を発したり、歌ったり、動作を真似したりして楽しんでいる。 (主学)教師と一緒に、音楽に合わせて体を動かしたり、リズムを取ったりするなど、自分なりの楽しみ方で学習に参加しようとしている。	【鑑賞】 ・聴こう、見よう 「はたらく　くるま」 「はらぺこあおむし」 「真夏のおばけたち」（パネルシアター） 「森のクリスマス」（パネルシアター）等	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
3学期	4	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて声を出すことができる。【小1段階A表現ア(ウ)-ウ】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小1段階A表現ア(ア)】 (学・人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、歌ってみようとすることができる。【小1段階】	(知・技）曲中の特徴的な音や歌詞に気付き、体を動かしている。 (思・判・表)曲のリズムに合わせたり、教師の動きを模倣したりしながら、曲の一部分を体を動かして表現している。 (主学)音楽を介して、教師や友達と手を繋いだり、体を動かしたりすることを楽しみながら、学習に参加しようとしている。	【音楽遊び（歌唱）】 ・楽しく歌おう 「こんこんくしゃん」 「まめまき」 「校歌」 「卒業式の歌」等	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。 ・わかりやすい歌詞の一部を覚えて教師と一緒に歌ったり、発声したりする。
	4	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて楽器の音を出すことができる。【小音1段階A表現ア(ウ)-イ】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小音1段階A表現ア(ア）】 (学・人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に楽器の音を出す楽しさを感じるとともに、自分なりに鳴らしてみようとすることができる。【小１段階】	(知・技)教師の促しを受けながら、部分的に楽器の音を出している。 (思・判・表)音や音楽を聴いて、自分なりに楽器を鳴らそうとしている。 (主学)自分で楽器を持ち、自分なりの方法で楽器を鳴らしてみようとしている。	【音楽遊び（器楽）】 ・音を楽しもう、楽器を鳴らそう 「パン」「トン」「ドン」（手拍子） 「へい！たんぶりん」等	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	4	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて体を動かすことができる。【小音1段階A表現ア(ウ)-ア】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小音1段階A表現ア(ア）】 (学・人)教師と一緒に身体表現をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようとすることができる。【小１段階】	(知・技）曲中の特徴的な音や歌詞に気付き、体を動かしている。 (思・判・表)曲のリズムに合わせたり、教師の動きを模倣したりしながら、曲の一部分を体を動かして表現している。 (主学)音楽を介して、教師や友達と手を繋いだり、体を動かしたりすることを楽しみながら、学習に参加しようとしている。	【音楽遊び（身体表現）】 ・たのしくおどろう 「チャオ!チャオ！チャオ！」（学年ダンス） 「おちたおちた」（わらべうた） 「てをつなごう」等	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かしたり、揺らすなど自由に表現して踊ったりする。
	3	(知及技）聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。【小音1段階B鑑賞ア-(イ）】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。【小音1段階B鑑賞ア-(ア）】 (学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようすることができる。【小１段階】	(知・技）音や音楽を聴いて、使われている楽器などを選んでいる。 (思・判・表)歌やお話を見聴きしながら、声を発したり、歌ったり、動作を真似したりして楽しんでいる。 (主学)教師と一緒に、音楽に合わせて体を動かしたり、リズムを取ったりするなど、自分なりの楽しみ方で学習に参加しようとしている。	【鑑賞】 ・聴こう、見よう 「すてきな帽子屋さん」 「ひなまつり」 「ガボット」等	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 小学部　１年（　Ⅱ課程　）図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
51	1学年　30　人	1年担当 12名	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）色や形、素材に興味・関心を持ち、身近な材料や用具を用いることができる。　（小１段階） (思判表力)自由に制作活動に取り組み、自分や友達の作品に親しむことができる。　（小１段階） (学･人）多くの制作活動にふれ、いろんな感触や制作の面白さを感じ、豊かな感性を広げようとすることができる。　（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	18	【Ａ表現】 (知及技）身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。[小1段階ーA表現　ア（イ）] (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。［小1段階ーA表現　ア（ア）］ (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。［小１段階］	(知・技）材料に触ってみようでは、片栗粉や土、粘土などの様々な材料の感触に慣れ、手指を使って握ったり、道具を使ったりしている。 (思･判･表)材料に触れてその特性から型にはめようとしたり、跡をつけようとしたりしている。 (主学)心地よい感触の材料に自ら触れて興味を示し、楽しく活動に参加しようとしている。	単元１ 「こねこねまるめてのばして」 ・触ってみよう（片栗粉、土、粘土） ・自由遊び	【遊び】【立体】 色々な感触に慣れて握ったり道具を使って遊んだりする。 ・材料に触って遊ぼう ・道具を使って遊んでみよう 材料…片栗粉、土、粘土、型はめ、水、バケツ、雑巾など
			(知・技）身の回りの物に触れて、形の感じをとらえたり、材料や色をみつめたりして形や色の変化に気付いている。 (思･判･表)手や足を使って出てきた線や形から、自分なりの表現方法を思い付いたり、制作方法を選んだりしている。 (主学)色や形の変化、表現方法に興味をもって、作品を作ったり見たりすることを楽しもうとしている。	単元２ 「大好きな色どおれ？」 ・好きな色を選んでみよう ・好きな色で手形をおしてみよう	【絵画】 好きな色を選んで、ハケで手に絵の具を塗って手形を取る。 手形を切り取って、動物やいろいろな形に見立てたり、色を並べてみたりする。 材料･･･絵の具、画用紙、水、バケツ
			(知・技）色水作りでは、材料を見つめて色の変化に気付いている。 (思･判･表)色水作りでは、色と色を合成していくことで新しい色を作り出したり、作りたい色を思いついたり、色水を並べたりしている。 (主学)色に興味や関心をもって、色水を作り出す楽しさに気付いている。	単元３ 「色を作って遊ぼう」 ・色水作り ・色を作って並べよう	【遊び】 水の入ったペットボトルに色を表現する。 ・赤、青、黄色の色水を作ってみよう ・好きな色を作ってみよう。 ・作った色水を混ぜて注いだり、並べたりする。 材料…水、ペットボトル、プラスチックコップ、絵の具、雑巾など
二学期	20	【Ａ表現】 (知及技）身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。［小1段階ーA表現　ア（イ）］ (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。［小1段階ーA表現　ア（ア）］ (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。［小１段階］	(知・技）身の回りの物に触れて、形の感じをとらえたり、材料や色をみつめたりして形や色の変化に気付いている。 (思･判･表)道具を操作してできた線や形から、自分なりの表現方法を思い付いたり、制作方法を選んだりしている。 (主学)色や形の変化、表現方法に興味をもって、作品を作ったりみたりすることを楽しもうとしている。	単元４ 「線や形をかいてみよううつしてみよう」 ・水を使ってアスファルトにかいて遊ぼう（ベランダ） ・チョークを使ってアスファルトにかいて遊ぼう（ベランダ） ・線や形をうつしてみよう１（スタンプ遊び） ・形をうつしてみよう2 （ステンシル技法）	【絵画（版）】 線や形を地面や壁にかいて遊ぶ。 ・地面の色が水やチョークを使うことで変化したり、線や形に気付いたりする。 ・身近なものが道具になることに気付く。 材料…バケツ、水、チョーク、ブラシ、木の枝、袋など 形をうつしたり形を見立てたりする。 ・身近な材料を使って、画用紙に形をうつす。 ・○△□などの形のある材料を画用紙にのりで貼り付け、好きな色をぬって、はがすとその形が浮かび上がることに気付く。 ・好きな形を組み合わせて意味づけをする。 材料…画用紙、マジック、クレヨン、絵の具、パレット皿、スポンジ、型ぬき、プリンの型、トイレットペーパーの芯、野菜（オクラ、ピーマン、レンコンなど）、廃材（緩衝材など）
			(知・技）変身グッズを作ることを通して、形や色などに気付いたり、飾り付けの方法などをいろいろ試したりしながら、表したいことを元に表し方を工夫してあらわそうとしている。 (思･判･表)自分が変身してみたいものに合わせた変身グッズを思いつき、自分なりの表現方法を思い付いたり、どのように表すか考えようとしている。 (主学)色や形の変化、表現方法に興味をもって、作品を作ったりみたりすることを楽しもうとしている。	単元５ 「つくってへんしん」 ・ぼうしをつくろう ・マントをつくろう	【工作】 ・様々な材料を選んだり、組み合わせたりしながらつくり、身に付けて楽しむ。 材料･･･色画用紙、色紙、カラービニール袋、厚紙、新聞紙、両面テープ、のり、ホチキス、はさみ、ボンドなど
			(知・技）お花紙の形や並べたり重ねたりする組み合わせを工夫しようとしている。 (思･判･表)貼りながら表したい物を考えようとしている。 (主学)材料の形や色、さわり心地を楽しもうとしている。	単元６ 「ふわっと　ぎゅっと　おはながみの　え」	【絵画】 ・丸めたり、ちぎったりしたお花紙を、並べたり重ねたりして絵に表す。 材料…お花紙、画用紙、色画用紙、のり、洗濯のり、トレイ、タオルなど

三学期	13	【A表現】 (知及技）身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。［小1段階ーA表現　ア（イ）］ (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。［小1段階ーA表現　ア（ア）］ (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。［小１段階］	(知・技）手指を使って粘土をこねたり、伸ばしたりしている。 (思･判･表)粘土と道具を組み合わせて、好きな色を混ぜてこねたり、思いついた色をぬったりしている。 (主学)心地よい感触の材料に自ら触れて興味を示し、色や形の変化を楽しみながら、作品作りに取り組んでいる。 (知・技）クレヨンや絵の具を使って画用紙に線や模様、形を描こうとしている。 (思･判･表)手指や道具を操作してできた形を感じたり、表したい形を思い付いたり、配色を選んで作品を作ろうとしたりしている。 (主学)作品づくりに、興味を持ち、作り出す楽しさを見出しながら、自ら学習に取り組もうとしている。	単元７ 「クッキーやさんになろう」 ・粘土をこねたりのばしたりしよう ・道具を使って粘土から形をとろう ・形の粘土を並べよう 単元８ 「わたしの　すきなもの」 ・くだもの　・どうぶつ　・おもちゃ　・かぞく　など ・校外学習の思い出 ・1年間の思い出	【立体】 粘土をこねたり伸ばしたりして色をつけたりして形のあるものを作る。 ・粘土をこねたりのばしたりする。 ・手指や道具を使って粘土を形のあるものにする。 ・好きな色を混ぜたり、粘土が固まった後にぬったりする。 材料…紙粘土、絵の具、パレット皿、筆、ハケ、粘土ベラ、型ぬき、粘土板、雑巾など 【絵画】 自分が好きなものなどを画用紙に線や形をかいて表現する。 ・好きな色を使って自由にぬったりかいたりする。 ・ローラーやハケなどの道具を使ってぬったりかいたりする。 ・楽しかった思い出を写真などで振り返り、線や形にしてイメージをもってかく。 材料…とりのこ用紙、クレヨン、絵の具、マジックペン、パレット皿、スポンジ、ローラー、ハケ、雑巾など
年間を通して		【A表現】 (知及技）身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。［小1段階ーA表現　ア（イ）］ (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。［小1段階ーA表現　ア（ア）］ (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。［小１段階］	(知・技）手指や道具を使ってぬったり、はったり、描いたりしている。 (思･判･表)手指や道具を操作してできた形を感じたり、表したい形を思い付いたり、配色を選んで作品を作ろうとしたりしている。 (主学)作品づくりに興味を持ち、作品を見つめたり握ったりして作品を作り出す楽しさを感じている。	単元９ 「季節や行事のかざりやプレゼントつくり」 ・鯉のぼりを作ろう ・母の日のプレゼント制作 ・父の日のプレゼント制作 ・七夕のかざりを作ろう ・敬老の日のプレゼント制作 ・ハロウィンのかざりを作ろう ・クリスマスのかざりを作ろう ・正月のかざりを作ろう ・節分のかざりを作ろう ・ひな祭りのかざりを作ろう 「ねんどでつくろう」	【工作】【立体】 プレゼントや飾りを作って表現する。 ・絵の具の感触に慣れ、画用紙に手形をつけたり、自分の手形を見たりする。 ・形のあるビーズや折り紙を手指や道具を使って貼り付ける。 ・折り紙、紙コップ、朝顔の押し花など身近なものを使って作品作りをする。 ・季節の歌や映像をみて作品のイメージをもてるようにする。 ・教師や友だちの作品を見る。 材料…紙粘土、ビーズ、テープ、画用紙、紐、はさみ、袋、のり、雑巾、クレヨンなど ・粘土：３学期の単元５に準ずる。
		【B鑑賞】 （思判表力）身の回りにあるものなどを見ることができる。［小1段階ーB鑑賞ア（ア）］	(思･判･表)自分や友達の作品を見たり触れたりした時に表情を変えたり、色々な角度から覗き込んだりして関心を持っている。	単元10 ・作品を鑑賞しよう	・出来上がった作品を見える位置に提示してみんなで見る活動をする。
		【共通事項】 （知及技）形や色などの感じに気づくことができる。［小1段階ー共通ア(ア)］ （思判表力）形や色などの感じを基に、自分のイメージを持つことができる。［小1段階ー共通ア(ｲ)］	（知及技）自分が見たり触ったりすることで、形や色などの感じに気づいている。 (思･判･表)自分が行ったことによってできた形や色などの感じを基に、自分のイメージを持とうとしている。		
留意点 引継ぎ等					

令和7年度　小学部１年（Ⅱ課程）　体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	1学年　30名	1年担当 12名	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができる。（小１段階） (思判表力）体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりすることができる。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技）教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。【１段階-A体つくり運動遊びｱ】 (思判表力)手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【１段階-A体つくり運動遊びｲ】 (学･人)簡単な合図や指示に従って、体つくり運動遊びをしようとすることができる。【１段階-A体つくり運動遊びｳ】	(知・技）教師の支援を受けながら、歩いたり、走ったり、止まったりなどの易しい運動に繰り返し取り組んでいる。 (思･判･表)一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)教師の簡単な合図や指示に従って、運動遊びをしようとしている。	【A体つくり運動遊び】 単元１ 「体を動かそう」 「リトミック」	・ウォーミングアップやリトミック等の音楽に合わせて、歩く、走る、止まる、ジャンプなどの基本の動きを行う。 ・やさしい運動から始め、転がる、はう、跳ぶ、またぐなどの運動を行う。 ・バランスを取る、座る、しゃがむ、階段の上り下りなどの日常生活の基本的な身体活動を繰り返し、十分に体験する。 ・手足を十分に伸ばしたり曲げたり、脚を前後左右に開いたり、腕を振ったり回したりするなど、簡単な手や脚の運動も取り入れる。 ・笛や太鼓などの楽器や児童が理解できる簡単な言葉かけ、絵カードなどを見たり聞いたりすることによって、動きを真似したり、集まったり、並んだりする。
	4	(知及技）教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。【１段階-B器械・器具を使っての遊びｱ】 (思判表力)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【１段階-B器械・器具を使っての遊びｲ】 (学･人)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとすることができる。【１段階-B器械・器具を使っての遊びｳ】	(知・技）教師の支援を受けながら、固定遊具などの器械・器具を使って、繰り返し遊んでいる。 (思･判･表)一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)教師の簡単な合図や指示に従って、器械・器具で遊ぼうとしている。	【B器械・器具を使っての遊び】 単元２ 「遊具で遊ぼう」	・ブランコ、トランポリンなどで、いろいろな動きを経験しながら遊ぶ。（登り下り、前後の揺れ、上下の揺れなど） ・滑り台の階段を上り、高いところから低いところへ降りるスピードを感じながら滑る。 ・プレイルームにあるプラズマカーやキャスターボード、ファシリティーボールなどを使い、体を動かしたりバランスを取ったりして遊ぶ。
	12	(知及技）教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びを楽しくすることができる。【１段階-D水遊びｱ】 (思判表力)水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【１段階-D水遊びｲ】 (学･人)簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとすることができる。【１段階-D水遊びｳ】	(知・技）水の浮力によって、ものが浮いたり、沈んだりしたり、水温の違いによって、温かい、冷たいと感じたりしながら遊んでいる。 (思･判･表)一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)教師の簡単な合図や指示に従って、安全に水で遊ぼうとしている。	【D水遊び】 単元３ 「水遊びをしよう」	・プールの周りでじょうろを使って遊ぶ。 ・個々の状態に適した浅い深さのプールの中で、遊具を浮かべたり沈めたりして遊ぶ。 ・水をすくったり、かけたりして遊ぶ。 ・水をすくって体の様々な部分にかけたり、様々な方向に飛ばしたり、友達や教師とかけ合ったりする。 ・顔に水がかかることに慣れる。 ・教師と一緒に、安心して水に触れたり、水に入ったりする。 ・教師に体を支えてもらいながら、水の浮力や抵抗を感じながら遊ぶ。 ・プールへ入るときの流れや約束を知る。 ・プールでの約束を守りながら、安全に遊ぶ。

	4	(知及技）教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。【１段階-C走・跳の運動遊びｱ】 (思判表力)走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【１段階-C走・跳の運動遊びｲ】 (学･人)簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとすることができる。【１段階-C走・跳の運動遊びｳ】	(知・技）教師の支援を受けながら、ゴールを目指して走ったり歩いたりしている。 (思･判･表)一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)教師の簡単な合図や指示に従って、かけっこしようとしている。	【C走・跳の運動遊び】 単元１ 「かけっこをしよう」	・教師と手をつないだり、併走してもらったりなどの支援を受けながら、ゴールを目指して走ったり歩いたりする。 ・スタートの合図やゴールを意識して走る。 ・途中で止まらずに進む。 ・真っ直ぐに進む。 ・自分の番が来るまで待つ。 ・ゴールしたときの達成感を味わう。
	8	(知及技）教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。【１段階-B器械・器具を使っての遊びｱ】 (思判表力)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【１段階-B器械・器具を使っての遊びｲ】 (学･人)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとすることができる。【１段階-B器械・器具を使っての遊びｳ】	(知・技）教師の支援を受けながら、固定遊具などの器械・器具を使って、繰り返し遊んでいる。 (思･判･表)一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)教師の簡単な合図や指示に従って、器械・器具で遊ぼうとしている。	【B器械・器具を使っての遊び】 単元２ 「サーキット遊びをしよう」	・サーキット遊びを行う。 ・四つ這いや腹這いの姿勢で、トンネルやイスの下などをくぐって遊ぶ。 ・マットに背中や腹をつけて転がったり、移動したりして遊ぶ。 ・縄やテープの上を歩いたり、踏まないようにまたいだりして遊ぶ。 ・ミニハードルを倒さないようにまたいだり、ジャンプで越えたりして遊ぶ。 ・低鉄棒を使って、ぶら下がりなどをして遊ぶ。 ・低い跳び箱を使って、よじ登ったり、跳び下りたりして遊ぶ。 ・上にぶら下がっている風船をジャンプして触って遊ぶ。 ・ゴム紐をまたいだり、飛び石の上を歩いたりして遊ぶ。
	8	(知及技）教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。【１段階-Eボール遊びｱ】 (思判表力)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【１段階-Eボール遊びｲ】 (学･人)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとすることができる。【１段階-Eボール遊びｳ】	(知・技）教師の支援を受けながら、ボールを投げて、繰り返し遊んでいる。 (思･判･表)一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)教師の簡単な合図や指示に従って、ボールで遊ぼうとしている。	【Eボール遊び】 単元３ 「ボールで遊ぼう①」	・床に置かれた少し離れたカゴをめがけて、玉を投げ入れて遊ぶ。（カゴ入れ遊び） ・少し離れた的をめがけて、ボールを当てて遊ぶ。 （的当て遊び） ・色々な高さのカゴをめがけて投げ入れて遊ぶ。 （玉入れ遊び） ・上手投げ、下手投げ、片足投げなど、色々な投げ方を経験する。
	8	(知及技）教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。【１段階-F表現遊びｱ】 (思判表力)音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【１段階-F表現遊びｲ】 (学･人)簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとすることができる。【１段階-F表現遊びｳ】	(知・技）教師の支援を受けながら、音楽を感じ、自由に体を動かしたり、はねたり跳んだりして、体を動かしている。 (思･判･表)一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)教師の簡単な合図や指示に従って、運動遊びをしようとしている。	【F表現遊び】 単元４ 「リズムダンスをしよう」	・音楽を感じながら、自由に体を動かす。 ・音楽を感じながら、歩いたり、走ったりする。 ・音楽を感じながら、はねたり、跳んだりする。 ・リズムダンス曲に合わせて、自由に体を動かす。 ・演技の流れが分かり、最後まで落ち着いて参加する。
3学期	8	(知及技）教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。【１段階-C走・跳の運動遊びｱ】 (思判表力)走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【１段階-C走・跳の運動遊びｲ】 (学･人)簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとすることができる。【１段階-C走・跳の運動遊びｳ】	(知・技）教師の支援を受けながら、ゴールを目指して走ったり歩いたりしている。 (思･判･表)一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)教師の簡単な合図や指示に従って、持久走をしようとしている。	【C走・跳の運動遊び】 単元１ 「持久走をしよう」	・教師が方向や速さを加減しながら、教師の言葉掛けのリズムに合わせて、一定の時間や距離を一緒にゆっくり走ったり、速く走ったりする。 ・ゴールしたときの達成感を味わう。
	10	(知及技）教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。【１段階-Eボール遊びｱ】 (思判表力)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【１段階-Eボール遊びｲ】 (学･人)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとすることができる。【１段階-Eボール遊びｳ】	(知・技）教師の支援を受けながら、ボールを、転がしたり、投げたり、蹴ったりなどして、繰り返し遊んでいる。 (思･判･表)一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)教師の簡単な合図や指示に従って、ボールで遊ぼうとしている。	【Eボール遊び】 単元２ 「ボールで遊ぼう②」	・ファシリティーボールや柔らかいボールを使って、転がしたり、取ったり、止めたりして遊ぶ。 ・大玉転がしをして遊ぶ。（真っ直ぐに転がす。押す力を加減する。） ・教師の転がすファシリティーボールに当たらないように逃げて遊ぶ。（転がしドッチボール） ・少し離れたゴールをねらって、ボールを蹴って遊ぶ。（片足でバランスをとる、強く蹴る、弱く蹴る、簡単サッカーなど） ・児童の実態に合わせて、シューターを利用する。

留意点 引継ぎ等	

令和７年度 小学部　１年（　Ⅱ課程 ）【特別の教科　道徳】　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	1学年30人	1年担当 12 名	

年間目標	(A：自分自身に関する事)よいことや悪いことの違いが分かり、わがままをしないで規則正しい生活を送り、できることは最後までやり抜こうとする態度を養う。（小１段階） (B：人との関わりに関する事)気持ちのよい挨拶や言葉使い、動作などに心がけ、身近にいる人と仲良くし、助け合う心を育てる。（小１段階） (C:集団や社会との関わりに関する事)約束や決まりを守り、手伝いや与えられた仕事に進んで取り組む態度を養う。（小１段階） (D:生命や自然、崇高な物との関わり)身近な自然に親しみ、動植物に優しく接する心を育てる。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	・場面に応じた挨拶を知り、相手を意識して挨拶をする良さに気付き、あいさつをしようとする態度を育てる。[B礼儀]	・元気に挨拶しよう　等	・「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ごめんなさい」「ありがとう」等、場面に応じた挨拶を知る。
	3	・健康を守ることの大切さに気付き、きれいに手を洗おうとする態度を育てる。［A節度、節制］	・上手に手洗い　等	・絵本「バイバイ菌」の読み聞かせを聞き、健康の大切さについて知る。 ・手洗いの歌で上手な手洗いを知る。
	3	・よいことと悪いことに気付き、よい行動を取ろうとする心情を育てる。［A善悪の判断、自律、自由と責任］	・よいこと？悪いこと？等	・読み聞かせやロールプレイを通して、よいことと悪いことについて知る。
2学期	3	・学級や学年の友達を意識して、仲良くすることの大切さに気付き、仲良くしようとする態度を育てる。［B友情、信頼］	・友達と仲良く　等	・「くいしんぼうとおかしのいえ」のアニメーション見て、横取りをすること、仲良く分け合うことのどちらが良いか選択する。
	4	・自分の係が分かり、教師の言葉かけを受けて、自分から進んで係活動に取り組む態度を育てる。［C勤労・公共の精神］	・係活動　等	・健康観察簿をとってきたり、返却したりする。 ・朝の会の司会や号令をかける。
	4	・簡単な決まりやルールを知り、譲り合いや順番を守ろうとする態度を育てる。［C規制の尊重］	・ゆずりあいっこできるかな 等	・絵本「ノンタンのぶらんこのせて」の読み聞かせを聞き、譲り合いごっこを通して決まりを知る。
	2	・身近な人に「ありがとう」と感謝の言葉を伝える心地良さを味わい、感謝の気持ちを育てる。［B感謝］	・働く皆さんありがとう等	・働く良さを知り、身近な人へ「ありがとう」と伝える。
3学期	3	・自分の好きな事、苦手なことを知り、自分の良さに気付こうとする態度を育てる。［A個性の伸長］	・自分のことを知ろう　等	・自分の写真を見て、自分の良さを振り返る。好きな事、苦手な事を知る。
	3	・身近な動植物や昆虫に触れることで命あるものに気づき、命あるものを大切にしようとする心情を育てる。［D自然愛護］	・動物に優しく　等	・身の回りの植物や昆虫に触れる。 ・動物のぬいぐるみを使用し、優しい触り方を知る。
	4	・自分の行動を振り返り、自分の頑張ったことや成長をに気づき、これからも頑張ろうとする意欲を育てる。［A希望と勇気、強い意志］	・自分の成長を振り返ろう ・もうすぐ２年生　等	・入学時から今までの写真や動画を見て、１年間の自分の成長を振り返る。
留意点 引継ぎ等	○日々の学校生活全体の中で、児童の道徳的価値の自覚を促し、道徳的実践力を育成するよう、実態を踏まえた指導を行う。 ○豊かな体験活動と関連づけた指導の工夫を行う。 ○教師と児童、児童相互の心の交流を図り、児童一人一人が意欲を持って活動できるように、学年・学校全体で組織的に取り組む。			

令和７年度 小学部　１年（　Ⅱ課程　）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	１学年　30名	１年担当　12名	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	（知及技）実践的な集団活動を通して、友達への関わり方について学び、望ましい人間関係が形成できる。（小１段階） （思判表力）集団の一員として学校生活に必要な係に取り組むことができる。（小１段階） （学・人）様々な集団活動を通して、よりよい学校生活を築こうとする態度を育てることができる。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	2	･集団での活動に参加することができる。 ･学級、学年の一員であることを知ることができる。	学年、学級開き	･学年、学級の先生、お友達を知る。
	1	･1学期の行事を知ることができる。	1学期がんばろう会	･行事の紹介を通して、1学期の行事を知る。 ･1学期楽しみなこと、頑張りたいことを選択肢の中から選んで発表する。
	1	･学級をよりよくするための目標を教師と一緒に考えることができる。	学級目標を考えよう	･学級目標をみんなで決める。
	1	･自分の名前、好きなもの等を教師と一緒に紹介することができる。 ･教師と一緒に1学期の目標を考えることができる。	自分のことを考えよう	〈キャリアパスポートの活用〉 ･自己紹介シートを作成し、発表する。 ･1学期の個人目標を作成し、発表する。
	1	･友達や先生と一緒に楽しく給食を食べることができる。 ･色々な食材や食の形態、味付けでも、挑戦して食べてみることができる。	給食を食べよう	･友達や先生と楽しく給食を食べる。 ･量や大きさを調整して、色々な食材を食べる経験する。
	2	･お祝いされる喜びを感じたり、友達の誕生日を祝ったりすることができる。	お祝いしよう	･お祝いの雰囲気を楽しむ。 ･自己紹介を通して自分の好きなことや得意なことの発表をする。
	1	･夏休みの過ごし方を教師と一緒に確認することができる。	夏休みの過ごし方	･イラストを見ながら規則正しい生活を確認する。
	2	･1学期にがんばったことや楽しかったことをふり返ることができる。	1学期がんばった会	〈キャリアパスポートの活用〉 ･1学期をふり返り、がんばったことを発表する。 ･写真や動画を見ながら振り返りを行う。
２学期	1	･集団での活動に参加することができる。 ･2学期の行事を知り、がんばりたいことや楽しみなことを考えることができる。	2学期がんばろう会	･行事の紹介を通して、2学期の行事を知る。 ･2学期楽しみなこと、頑張りたいことを選択肢の中から選んで発表する。
	1	･教師と一緒に2学期の目標を考えることができる。	自分のことを考えよう	〈キャリアパスポートの活用〉 ･2学期の個人目標を作成し、発表する。
	1	･集団の一員として、自分に何ができるか教師と一緒に考えることができる。	係活動を決めよう	･係活動について知り、自分の係を決める。 ･係活動に教師と一緒に取り組む。
	2	･お祝いされる喜びを感じたり、友達の誕生日を祝うことができる。	お祝いしよう	･お祝いの雰囲気を楽しむ。 ･自己紹介を通して自分の好きなことや得意なことの発表をする。
	3	･学習発表会について知り、活動を振り返ることができる。	学習発表会について	･写真や動画を見て、日程や内容について知る。 ･事後学習を通して、がんばったことや楽しかったことを振り返る。
	2	･校外学習の日程や内容を知り、期待感を持つことができる。	校外学習に行こう	･写真や動画を見て、日程や内容について知る。 ･公共施設の使い方について知る。 ･バスでの過ごし方について知る。
	2	･集団での活動を楽しむことができる。	お楽しみ会を開こう	･クリスマス会の雰囲気を楽しむ。
	2	･2学期にがんばったことや楽しかったことをふり返ることができる。	2学期がんばった会	〈キャリアパスポートの活用〉 ･2学期をふり返り、がんばったことを発表する。 ･写真や動画を見ながら振り返りを行う。
３学期	1	･集団での活動に参加することができる。 ･3学期の行事を知ることができる。	3学期がんばろう会	･行事の紹介を通して、3学期の行事を知る。 ･3学期楽しみなこと、頑張りたいことを選択肢の中から選んで発表する。
	1	･教師と一緒に3学期の目標を考え、目標に向かって努力することができる。	自分のことを考えよう	〈キャリアパスポートの活用〉 ･3学期の個人目標を作成し、発表する。
	2	･友達の誕生日を祝うことができる。	お祝いしよう	･お祝いの雰囲気を楽しむ。 ･自己紹介を通して自分の好きなことや得意なことの発表をする。
	2	･自分のことをみんなに知ってもらうことができる。	児童集会へ向けて	･自分の好きなことや得意なことを紹介する。
	1	･校外学習の日程や内容を知り、期待感を持つことができる。	校外学習に行こう	･写真や動画を見て、日程や内容について知る。 ･公共施設の使い方について知る。 ･バスでの過ごし方について知る。
	2	･1年間をふり返り、楽しかったことやできるようになったことを発表することができる。	1年生がんばった会	〈キャリアパスポートの活用〉 ･1年間をふり返り、がんばったことを発表する。 ･写真や動画を見ながら振り返りを行う。

留意点 引継ぎ等	

令和７年度 小学部　　２年 （ Ⅱ課程 ） 生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	２学年　１９人	２年担当８名	せいかつ☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活に必要な基本的な習慣や技能を身に付けることができる。(小１段階) (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとすることができる。(小１段階) (学･人)自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりすることができる。(小１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間通して	35	(知及技)簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付けることができる。［小１段階ア(イ)］ (思判表力)簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行おうとすることができる。［小１段階ア(ア)］ (学･人)簡単な身辺処理に教師と一緒に取り組み、生活に必要な動作や習慣を身に付け、自ら健康な生活を作り出そうとすることができる。［小１段階］	(知・技)簡単な身辺処理に教師と一緒に取り組み、基本的な方法や一連の流れに気づいている。 (思・判・表)簡単な身辺処理を行う上で必要な事柄や方法が分かり、取り組んでいる。 (主学)簡単な身辺処理に教師と一緒に取り組み、生活に必要な動作や習慣を身に付け、自ら健康な生活を作り出そうとしている。	ア 基本的生活習慣 〇いっしょにやってみよう! ・おやすみ・おはよう ・もちものをしまおう ・トイレにいこう ・たのしい きゅうしょく	【食事】 ・食前の準備（手洗い・エプロン着用・配膳）や食後の片付けをする。 【用便】 ・尿意や便意を伝える。用便の手順に沿って用を足し、用便後は手を洗う。 【寝起き】 ・寝る前や起きた後に何をするかについて知る。 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れに気付き、洗面や歯磨きをしたり、タオルで拭いたり、着替えたりする。 【身の回りの整理】 ・持ち物の片付け方を知り決められた場所に置く。 【身なり】 ・身なりについて気付き、簡単な衣服の着脱をする。着脱後の確認をする。
	45	(知及技)簡単な日課について、関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようとすることができる。 (学･人)簡単な日課に関心をもち、自分の生活に見通しをもって、自ら活動に向かおうとすることができる。	(知・技)簡単な日課について、関心をもっている。 (思・判・表)身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようしている。 (主学)簡単な日課に関心をもち、自分の生活に見通しをもって、自ら活動に向かおうとしている。	ウ 日課・予定 〇がっこうについたら ・とうこう ・あさのかい ・つぎのじゅぎょうはなにかな ・かえりのかい ・げこう	【日課】 ・教師と一緒に行動することにより、簡単な日課に気付き行動する。 ・教師の言葉掛けを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかを知り、できるだけ日課に沿って行動する。
	14	(知及技)身の回りの遊びや遊び方について関心をもつことができる。 (思判表力)身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとすることができる。 (学･人)好きな遊びや、教師の働きかけを通して周囲に好奇心をもったり、関心の幅を広げたりして関わりをもとうとすることができる。	(知・技)身の回りの遊びや遊び方について関心をもっている。 (思・判・表)身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとしている。 (主学)好きな遊びや、教師の働きかけを通して周囲に好奇心をもったり、関心の幅を広げたりして関わりをもとうとしている。	エ 遊び 〇あそびがいっぱい	【いろいろな遊び】 ・教室にあるおもちゃで遊ぶ。 ・教師と一緒にまねっこ遊びをする。 ・教師と一緒にいっぽんばしなどのスキンシップ遊びをする。 ・教師と一緒に滑り台やブランコなど遊具で遊ぶ。 【遊具の後片付け】 ・自分が使った遊具を教師と一緒に元の場所に片付ける。
	23	(知及技)集団の中での役割に関心をもつことができる。［小１段階カ(イ)］ (思判表力)身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとすることができる。［小１段階カ(ア)］ (学･人)様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりすることができる。［小１段階］	(知・技)集団の中での役割に関心をもっている。 (思・判・表)身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとしている。 (主学)様々な集団活動に参加する中で、集団を構成する人数や年齢などに気付き、集団活動への関心・意欲を高めたり、教師と一緒に簡単な役割を果たしたりしようとする。	カ 役割 〇いっしょにしよう 〇ちいきのぎょうじ ・ごうどううんどうかい	【役割】 ・集団の中で活動することに慣れる。 【集団の参加や集団内での役割】 ・学校や学年の行事に参加し、他学年や他学部の存在に気付く。（学部間交流）
	14	(知及技)簡単な手伝いや仕事に関心をもつことができる。［小１段階キ(イ)］ (思判表力)身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとすることができる。［小１段階キ(ア)］ (学･人)学校生活の流れに即して、簡単な手伝いや仕事を経験しながら、手伝うことの喜びを味わったり、自分で取り組んだりしようとすることができる。[小１段階]	(知・技)簡単な手伝いや仕事に関心をもっている。 (思・判・表)身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとしている。 (主学)学校生活の流れに即して、簡単な手伝いや仕事を経験しながら、手伝うことの喜びを味わったり、自分で取り組んだりしようとしている。	キ 手伝い・仕事 〇きれいにしよう	【整理整頓】【後片付け】 ・身の回りの棚や机の中を整理する。 ・使用したものを元の場所に片付ける。 【掃除】 ・はき掃除や拭き掃除をすることのねらいに気付き、清掃活動をする。

	10	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。[小１段階サ(イ)] (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。[小１段階サ(ア)] (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもとうとしている。	サ 生命・自然 〇きせつと あそぼう ・みつけよう	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
1学期	2	(知及技)簡単なきまりについて関心をもつことができる。[小１段階ケ(イ)] (思判表力)身の回りの簡単なきまりに従って、教師と一緒に行動しようとすることができる。[小１段階ケ(ア)] (学･人)生活の流れに即して、教師と一緒にきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりすることができる。[小１段階]	(知・技)簡単なきまりについて関心をもっている。 (思・判・表)学校生活の簡単なきまりを守って、教師と一緒に行動しようとしている。 (主学)生活の流れに即して、教師と一緒にきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりしようとしている。	ケ きまり 〇いろいろなあいず 〇みんなでつかう ばしょのきまり	【学校のきまり】 ・学校のきまりを知って守る。 【日常生活のきまり】 ・日常生活における簡単なきまりを知って守る。 ・図書室の利用方法を知る。
	2	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。[小１段階サ(イ)] (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 [小１段階サ(ア)] (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。 [小１段階]	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもとうとしている。	サ 生命・自然 〇きせつと あそぼう ・はる	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
	4	(知及技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。 [小１段階イ(イ)] (思判表力)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。 [小１段階イ(ア)] (学･人)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。[小１段階]	(知・技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりしようとしている。	イ 安全 〇ひなんくんれん ・かじ 〇わたしたちを みまもってくれる ところ ・こうばん ・しょうぼうしょ 〇あんしん あんぜん	【危険防止】 ・家や学校での自分の身を守る行動に気付く。 【交通安全】 ・教師と一緒に、安全に通行する。 ・信号機や安全に通行する場所があることに気付く。 【避難訓練】 ・災害（地震、火事）について知る。 ・指示に従って、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・生活を守る場所（交番、消防署）を知る。
	1	(知及技)簡単なきまりについて関心をもつことができる。[小１段階ケ(イ)] (思判表力)身の回りの簡単なきまりに従って、教師と一緒に行動しようとすることができる。[小１段階ケ(ア)] (学･人)生活の流れに即して、教師と一緒にきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりすることができる。[小１段階]	(知・技)簡単なきまりについて関心をもっている。 (思・判・表)学校生活の簡単なきまりを守って、教師と一緒に行動しようとしている。 (主学)生活の流れに即して、教師と一緒にきまりを守って行動する経験に徐々に慣れたり、習慣化したりしようとしている。	ケ きまり 〇どうろをあるくとき・のりものを つかうときのきまり	【交通安全のきまり】 ・交通における簡単なきまりを知って守る。 【マナー】 ・身近で簡単なマナーに気付き、それらを守って行動しようとする。
	1	(知及技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。[小１段階コ(イ)] (思判表力)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。[小１段階コ(ア)] (学･人)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。(小１段階)	(知・技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えようとしている。	コ 社会の仕組みと公共施設 〇どんなおみせが あるかな ・いってみよう	【いろいろな店】 ・お店屋さんごっこを通して、いろいろなお店があることを知る。 【社会の様子】【公共施設の利用】 ・学校近隣の公園や郵便局などの公共施設があることを知り、利用する。 【交通機関の利用】 【校外学習】 ・公園

	2	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。[小１段階サ(イ)] (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。［小１段階サ(ア)］ (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。［小１段階］	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもとうとしている。	サ 生命・自然 〇きせつと あそぼう ・なつ	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
	2	(知及技)身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。［小１段階オ(イ)］ (思判表力)教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとすることができる。［小１段階オ(ア)］ (学･人)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わることができる。［小１段階］	(知・技)身の回りの人との関わり方に関心をもっている。 (思・判・表))教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わろうとしている。	オ 人との関わり 〇ありがとう、 ごめんなさい ・ありがとう ・ごめんなさい	【身近な人との関わり】 ・学級の友達や小学部の友達と関わって活動する。 【電話や来客の取次ぎ】 ・電話や来客に気付く。 【気持ちを伝える応対】 ・教師や友達に「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝える。
	2	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。［小１段階サ(イ)］ (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。［小１段階サ(ア)］ (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。［小１段階］	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもとうとしている。	サ 生命・自然 〇きせつと あそぼう ・あき	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
	3	(知及技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。［小１段階シ(イ)］ (思判表力)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。［小１段階シ(ア)］ (学･人)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。［小１段階］	(知・技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようしている。 (主学)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりしようとしている。	シ ものの仕組みと働き 〇ゴムであそぼう	【ゴムの力の動き】 ・ゴムの力によって物が動く様子を見る。 ・ゴムの力が物を動かすことができることに気付く。 ・輪ゴム（紙コップ、水風船）等
2学期	2	(知及技)身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。［小１段階オ(イ)］ (思判表力)教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとすることができる。［小１段階オ(ア)］ (学･人)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わることができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの人との関わり方に関心をもっている。 (思・判・表))教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学)自分自身や身の回りにいる教師や学級の児童の存在に気付き、関心や意欲をもって、表情、身振り、発声などの方法で人と関わろうとしている。	オ 人との関わり 〇だれか きたよ ・でんわがなっているよ ・おきゃくさんがきたよ	【身近な人との関わり】 ・学級の友達や小学部の友達と関わって活動する。 【電話や来客の取次ぎ】 ・電話や来客に気付く。 【気持ちを伝える応対】 ・教師や友達に「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝える。
	1	(知及技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。[小１段階イ(イ)] (思判表力)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。[小１段階イ(ア)] (学･人)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりすることができる。［小１段階］	(知・技)安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)教師と一緒に様々な活動を体験し、安全についての意識を高めたり、状況に応じた安全な行動をとったりしようとしている。	イ 安全 〇ひなんくんれん ・じしん	【避難訓練】 ・災害（地震、火事）について知る。 ・指示に従って、教師と一緒に安全に避難する。 【防災】 ・生活を守る場所（交番、消防署）を知る。

	2	(知及技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。［小１段階コ(イ)］ (思判表力)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。[小１段階コ(ア)］ (学･人)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えることができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)自分や身近な人々、学校、社会の様子に関心をもち、体験活動を通して見たこと、感じたことを教師と一緒に伝えようとしている。	コ 社会の仕組みと公共施設 〇どんなおみせが あるかな ・のってみよう	【いろいろな店】 ・お店屋さんごっこを通して、いろいろなお店があることを知る。 【社会の様子】【公共施設の利用】 ・学校近隣の公園や郵便局などの公共施設があることを知り、利用する。 【交通機関の利用】 【校外学習】 ・イオン北谷 ・公園 ・観劇
	2	(知及技)金銭の扱い方などに関心をもつことができる。[小１段階ク(イ)］ (思判表力)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。[小１段階ク(ア)］ (学･人)買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとすることができる。［小１段階]	(知・技)金銭の扱い方などに関心をもっている。 (思・判・表)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主学)買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとしている。	ク 金銭の扱い 〇かいもの ・かいものをしよう	【買い物】 ・簡単な買い物の手順を体験する。 【自動販売機の利用】 ・自動販売機の種類や使い方を知る。 ・教師の支援を受けながら、自動販売を利用したり、買い物をしたりする。
	3	(知及技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。[小１段階シ(イ)］ (思判表力)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。[小１段階シ(ア)］ (学･人)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりすることができる。[小１段階]	(知・技)身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようしている。 (主学)身の回りのものの性質やエネルギーの見方に関わる内容について、ものづくりや体感をもとにした活動を通して、見たこと、感じたことを伝えたり、関心をもったりしようとしている。	シ ものの仕組みと働き 〇かぜとあそぼう	【風の動き】 ・風によって物が動く様子を見る。 ・風の力が物を動かすことができることに気付く。 ・凧揚げ、ビニール袋、紙コップ竹とんぼ、扇風機、うちわ、紙吹雪等
3学期	4	(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。[小１段階サ(イ)］ (思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。［小１段階サ(ア)］ (学･人)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもつことができる。[小１段階]	(知・技)身の回りの生命や自然について関心をもっている。 (思・判・表)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)体験活動を通して、自然の事物や事象に触れ、身の回りの生き物や天候の変化などに興味や関心をもとうとしている。	サ 生命・自然 〇きせつと あそぼう ・ふゆ ・きせつの ずかん	【自然との触れ合い】 ・外遊びを通して、自然物や動植物を見つける。 ・見つけた自然物や動植物を観察したり触れたりする。 【動物の飼育・植物の栽培】 ・身近な動物や植物（あさがお）の栽培・観察をする。 【季節の変化と生活】 ・季節の変化に気付く。 ・季節の変化と自分の生活との関わりに気付く。
	1	(知及技)金銭の扱い方などに関心をもつことができる。[小１段階ク(イ)］ (思判表力)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。[小１段階ク(ア)］ (学･人)買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとすることができる。[小１段階]	(知・技)金銭の扱い方などに関心をもっている。 (思・判・表)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主学)買い物などの経験を通して、金銭の価値や意味に関心をもち、意欲的に扱おうとしている。	ク 金銭の扱い 〇じどうはんばいき ・せんせいとやってみよう	【買い物】 ・簡単な買い物の手順を体験する。 【自動販売機の利用】 ・自動販売機の種類や使い方を知る。 ・教師の支援を受けながら、自動販売を利用したり、買い物をしたりする。 【校外学習】 ・マクドナルド
留意点 引継ぎ等					

令和7年度　小学部　２年（　Ⅱ課程　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
245	２学年　19人	２年担当8名	こくご☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技)日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。（小1段階） (思判表力)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。（小1段階） (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	(知及技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が物事の内容を表していることを感じることができる。[小1段階ア(ｱ)] (思判表力)身近な人からの話しかけに注目したり、応じて答えたりすることができる。[小１段階Ａイ] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階]	(知・技)身近な人の話を聞いて、言葉や話の内容に注意を向けている。 (思･判･表) 教師の呼びかけに対して、注目したり、応答したりしている。 (主学) 言葉や動作を繰り返したり、言い方などを変えようとしている。	【聞くこと・話すこと】 単元１『読んでみよう、答えてみよう』 ・おーい　はーい ・おべんとうバス	・本題材は、こくご☆「おーい」に関連する学習指導要領の主な目標、内容を取り扱う。（こくご☆「おーい」は1学年で取り扱う） ・参考：おーい　はーい（作：和歌山静子　ポプラ社）/おべんとうバス（作・絵：真珠まりこ　ひさかたチャイルド　美咲図書室にあり） ・教師と一緒に、登場人物の模倣をしたり、簡単な言葉や身振りで応答したりする。 ・登場人物を友達や他の動物に変える等して呼びかけに対する応答遊びを行う。
	22	(知及技)読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。[小１段階イ(エ)] (思判表力)絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。[小１段階Ｃイ] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階]	(知・技) お話に登場するものや動物などの絵と言葉を結びつけている。 (思･判･表)絵を見たりお話を聞いたりして、感じたことや思ったことを表現している。 (主学)進んで読む絵本やお話を選んだり、楽しみながら読み聞かせを聞いたりしようとしている。	【読むこと】 単元１『お話を聞こう』 ・がっこうだいすき（こくご☆）	・本題材は、1学年で履修しているが、学年始めの復習として取り扱う。 ※時数を少なめに取り扱うなど、調整するとよい。1学年で履修のため、重複して評価をしないように留意する。 ・いろいろな場面の写真やイラストの中から、提示したものを見たり、指さしたりする。 ・言葉や動作で表現する。
	18	(知及技)筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。[小１段階イ(ｳ)㋑] (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。[小１段階Ｂイ] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階]	(知・技)身近にある筆記用具を使って正しい姿勢で書いている。 (思･判･表)文字に興味をもち、線や形をなぞったり書いたりしている。 (主学)教師の書く様子や筆記用具の持ち方を模倣しようとしている。	【書くこと】 単元１『文字に親しもう』 ・かいてみよう（こくご☆）	・筆記用具の持ち方や正しい姿勢を知る。 ・興味・関心のある筆記具（クレヨン、ペン、チョーク）を使い、黒板やとりのこ用紙などに書く。（クレヨン遊び、ペン遊び、線引き、色塗りなど） ※本題材は、1学年で履修しているが、必要な題材なので2学年でも取り扱う。
	22	(知及技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。[小１段階ア(イ)] (思判表力) 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。[小１段階Ａア] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階ウ]	(知・技) 実物や写真、絵などを見て、言葉や動作で表現している。 (思･判･表)見聞きしたことや感じたことを、絵や写真などから選んだり、動作等で表現しようとしている。 (主学)自分の思いや思ったことを、相手に伝えようとしている。	【書くこと】 単元１『何をしているかな？』 ・ぼくのいちにち(☆)	・本題材は、1学年で履修しているが、学年始めの復習として取り扱う。 ※時数を少なめに取り扱うなど、調整するとよい。1学年で履修のため、重複して評価をしないように留意する。 ・いろいろな生活場面を見て、教師が言った事物や事柄を探す。 ・言葉や動作で表現する。
	20	(知及技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。(小１段階ア(ｱ)) (思判表力)伝えたい事を思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。(小１段階Ａウ) (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。 (小１段階)	(知・技)身近な人の話を聞いて、言葉や話の内容に注意を向けている。 (思･判･表)絵カードや写真などを手掛かりに、出来事や伝えたいことを身振りや音声で表している。 (主学)絵カードや写真などを手掛かりに、自ら身振りや音声で発表しようとしている。	【聞くこと・話すこと】 単元１『発表しよう』 ・具体物や絵カード、写真の活用 ・絵本の活用	・実物や写真などから好きな物や楽しかったことを選び、出来事、感想、目標などの発表を行う。 ・いろいろな物を言葉や動作で表現する。

2学期	22	(知及技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。(小１段階ア(ｱ)) (思判表力)絵本などを見て、知っている物事や出来事などを指さしなどで表現することができる。[小１段階Ｃイ] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階]	(知・技)提示した絵本などに注目したり、言葉や効果音に注意を向けたりしている。 (思･判･表)絵を見たりお話を聞いたりして、感じたことや思ったことを表現している。 (主学)進んで読む絵本やお話を選んだり、楽しみながら読み聞かせを聞いたりしようとしている。	【読むこと】 単元１『お話を聞こう』 ・ほっとけーき（こくご☆）	・擬態語や擬声語の多い絵本や繰り返しのある絵本などの絵本の読み聞かせを行う。 ・いろいろな場面の写真やイラストの中から、提示したものを見たり、指さしたりする。
	20	(知及技)いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。[小１段階イ(ｳ)㋐] (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。[小１段階Ｂイ] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階]	(知・技)身近にある筆記用具を使って正しい姿勢で書いている。 (思･判･表)文字に興味をもち、線や形をなぞったり書いたりしている。 (主学)教師の書く様子や筆記用具の持ち方を模倣しようとしている。	【書くこと】 単元１『文字に親しもう』 ・かいてみよう（こくご☆）	・筆記用具の持ち方や正しい姿勢を知る。 ・興味・関心のある筆記具（クレヨン、ペン、チョーク）を使い、黒板やとりのこ用紙などに書く。（クレヨン遊び、ペン遊び、線引き、色塗りなど） ※本題材は、1学年で履修しているが、必要な題材なので2学年でも取り扱う。
	20	(知及技)遊びを通して言葉のもつ楽しさに触れることができる。[小１段階イ(ｲ)] (思判表力)絵本などを見て、次の場面を楽しみしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。[小１段階Ｃエ] (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階]	(知・技)物語の一場面を簡単な言葉で唱えたり、動作化して楽しんでいる。 (思・判・表)音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な言葉で表現している。 (主学)言葉の響きやリズムを楽しみながら発音・発声しようとしている。	【読むこと】 単元１『呼んでみよう応えてみよう』 ・まほうのはこ（こくご☆）	・箱の中に児童の好きな物や興味のあるものなどを入れておき、箱から物を出す様子に注目できるようにする。
	16	(知及技)言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。[小１段階ア(ｲ)] (思判表力)教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。[小１段階Ｃア] (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階]	(知・技) お話に登場するものや動物などの絵と言葉を結びつけている。 (思･判･表)絵本や写真、絵、映像などを見て、身近にある物や動物などが表現されていることに気付いている。 (主学)見たものや感じたことを言葉や動作などで表現しようとしている。	【読むこと】 単元１『伝えてみよう』 ・はるなつあきふゆ（こくご☆）	・絵を鑑賞しながら季節の風景について知る。 ・登場人物になりきって、動きを模倣したり台詞を想像してみる。 ・日本の四季に関する言葉のイメージを深める。 ・いろいろな物を言葉や動作で表現する。
3学期	23	(知及技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。[小１段階イ(ｱ)] (思判表力)教師の話や読みきかせに応じ、音声を模倣したり、表現や身振り、簡単な話し言葉などで表現することができる。[小１段階Ａア] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階]	(知・技) 昔話などの読み聞かせを聞いて、簡単な言葉で唱えたり動作化したりして親しんでいる。 (思･判･表)絵本や写真、絵、映像などを見て、身近にある物や動物などが表現されていることに気付いたり、動作や言葉で模倣したりしている。 (主学)進んで読む絵本やお話を選んだり、楽しみながら読み聞かせを聞いたりしようとしている。	【聞くこと・話すこと】 単元１『絵本を読もう』 ・ももたろう	・本題材は、こくご☆『くまさんくまさん』に関連する学習指導要領の主な目標、内容を取り扱う。(こくご☆『くまさんくまさん』は1学年で取り扱う) ・読み聞かせや童歌にのせたやりとり遊び、役に応じたやりとり等を言葉で唱えたり、動作化したりする。 ・いろいろな場面の写真やイラストの中から、提示したものを見たり、指さしたりする。 ・リズム遊びなどで教師や友達と一緒に歌ったり動作の模倣をしたりする。
	20	(知及技)いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。[小１段階イ(ｳ)㋐] (思判表力)文字に興味をもち、書こうとすることができる。[小１段階Ｂイ] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階]	(知・技)身近にある筆記用具を使って正しい姿勢で書いている。 (思･判･表)文字に興味をもち、線や形をなぞったり書いたりしている。 (主学)教師の書く様子や筆記用具の持ち方を模倣しようとしている。	【書くこと】 単元１『文字に親しもう』 ・かいてみよう（こくご☆）	・筆記用具の持ち方や正しい姿勢を知る。 ・興味・関心のある筆記具（クレヨン、ペン、チョーク）を使い、黒板やとりのこ用紙などに書く。（クレヨン遊び、ペン遊び、線引き、色塗りなど） ※本題材は、1学年で履修しているが、必要な題材なので2学年でも取り扱う。
	20	(知及技)身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が物事の内容を表していることを感じることができる。[小１段階ア(ｱ)] (思判表力)絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動することができる。[小１段階Ｃウ] (学･人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。[小１段階]	(知・技)言葉や絵カードを提示すると、それらが表すものを取ったり指さしたりしている。 (思・判・表)絵や矢印などの記号で表された意味に応じて行動している。 (主学)絵カードや記号を用いて教師や友だちとやりとりしようとしている。	【読むこと】 単元１『場所やきまりを表す記号』 ・しるし（こくご☆） 単元２『いろいろな物の名前』 ・自分の名前、友達の名前 ・動物　・野菜　・乗り物等	・日常生活で見かける「○」「×」「→」などの簡単な記号を使う。 ・矢印に従って移動する。 ・言葉や絵カードを提示し、それらが表すものを取ったり指さししたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部　2年（　Ⅱ課程　）算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
158	2学年 19名	2年担当　8名	さんすう☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりして、上下や前後、形の違い、量の大きさに気付くとともに、数量に関心をもって関わることについての技能を身につけることができる。（小１段階） (思判表力)身の回りのものの有無や数的要素、ものの形、大きさや長さなどの量の違いに注目し、数量や図形に関心をもって関わるとともに、形の違いを捉えたり、量の大きさにより区別したりすることができる。（小１段階） (学･人)数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	(知及技) ものとものとを対応させて配ることができる。［小１段階Ａイ(ｱ)㋐］ (思判表力)ものとものとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現したりすることができる。［小１段階Ａイ(ｲ)㋐］ (学・人)対象物に興味関心を示し、言葉かけを聞いて取り組もうとすることができる。［小１段階］	(知・技)身の回りのものに気付き、対応させている。 (思・判・表)色や形に着目し、対応させたり組み合わせたりしている。 (主学)具体物の操作を主体的に行おうとしている。	【Ａ数量の基礎】 単元１『おなじまーくはどれでしょう/じぶんのまーくはどこでしょう』(さんすう☆) 単元２『みんなにくばりましょう』(さんすう☆)	・ものへの指さし、つかむ、目で追う。 ・興味のあるものを箱や布の下から取り出したり、押す、引っ張る等の操作する活動を行う。操作する面白さに気付く。 ・プットイン教材、音絵本等
	16	(知及技)３までの範囲で具体物を取ることができる。［小１段階Ｂア(ｱ)㋑］ (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。［小１段階Ｂア(ｲ)㋐］ (学・人)３までの数や具体物に興味をもって取り組むことができる。［小１段階］	(知・技)３までの数を聞いて、おはじき等を取っている。 (思・判・表)教師の言葉かけを聞いて、いろいろな具体物の３までの数を取って渡している。 (主学)３までの数や具体物に興味関心を示し、自ら活動に取り組もうとしている。	【Ｂ数と計算】 単元１『とりましょう』(さんすう☆)	・教師と一緒に３個までのおはじき等を数えたり、取ったり渡したりする活動を行う。 ・身の回りの数を教師と一緒に数えたり、言われた物の数を取ったり、渡したりする。 ・お店屋さんごっこ遊びをとおして、ドーナツやあめ玉を「１個」「２個」「３個」取ったり渡したりする。
	15	(知及技)形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付くことができる。［小１段階Ｂア(ｱ)㋒］ (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。［小１段階Ｂア(ｲ)㋐］ (学・人)３までの数や具体物に興味をもって取り組むことができる。［小１段階］	(知・技)形や色、位置が変わっても、数は変わらないことに気付いている。 (思・判・表)提示されたものが同じ数であることに気付き、言葉やジェスチャーで表現している。 (主学)具体物の操作を主体的に行い、数えようとしている。	【Ｂ数と計算】 単元１『ぜんぶ、「さん」』(さんすう☆)	・置き方の異なる３つのりんごを数え、数が変わらないことを確認する。 ・様々な置き方のりんごを、数唱しながら枠のある箱の中に入れていく活動に取り組む。

	10	(知及技)分割した絵カードを組み合わせることができる。［小１段階Ａイ(ｱ)㋑］ (思判表力)ものとものとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり表現したりすることができる。［小１段階Ａイ(ｲ)㋐］ (学・人)対象物に興味関心を示し、言葉かけを聞いて取り組もうとすることができる。［小１段階］	(知・技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりしている。 (思・判・表)色や形に着目し、対応させたり組み合わせたりしている。 (主学)具体物の操作を主体的に行おうとしている。	【Ａ数量の基礎】 単元１『あわせましょう①②』(さんすう☆)	・切り離した絵カードを組み合わせる。 ・上下や色の違いの分かりやすいいろいろな乗り物、食べ物、動物などのイラストで行う。 ・２分割、３分割など分割数を増やしていく。 ・徐々にパズル編を増やしたり、数種類の中からでも選んだりできるようにする。
	11	(知及技) 形が同じものを選んだり、似ている二つのものを結びつけたりすることができる。［小１段階Ｃア(ｱ)㋒㋓］ (思判表力)ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。［小１段階Ｃア(ｲ)㋑］ (学・人)もの同士を対応させることが分かり、進んでいろいろな具体物を配ることできる。［小１段階］	(知・技)ものの形を捉えたり、大まかに捉えたりしている。 (思・判・表)形が同じであるか同じでないかを区別している。 (主学)同じ形を選ぼうとしたり似ているものを探そうとしたりしている。	【Ｃ図形】 単元１『おなじかたちを、えらびましょう』(さんすう☆) 単元２『にているものを、みつけましょう』(さんすう☆)	・「形」という属性から同じ、似ている、違うことに気付くようにする。 ・型はめでは板とピースの形を合わせてはめる活動を行う。 ・形、色、大きさなど様々なものの中から「同じ」「違う」「似ている」に気付けるようにする。
２学期	20	(知及技) 目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すことができる。［小１段階Ｂア(ｱ)㋑］ (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。［小１段階Ｂア(ｲ)㋐］ (学・人)もの同士を対応させることが分かり、進んでいろいろな具体物を配ることできる。［小１段階］	(知・技)提示されたものの数を数えようとしている。 (思・判・表)数えたものを言葉やジェスチャーで表している。 (主学)具体物の操作をとおして数えようとしている。	【Ｂ数と計算】 単元１『いち、に、たくさん』(さんすう☆) 単元２『いち、に、さん、し、ご』	・ボウリング遊びで、目の前のボールを「に」「２こ」と数えたり、倒したピンの数を数えるときに「に」「２こ」「たくさん」で表すように促す。 ・ボールプールのボールを「たくさん」で表現できるようにする。 ・あめ玉やチョコレートを1個手渡し、「いっこ」「いち」と表し、袋に入ったあめ玉を「たくさん」と表すようことに取り組む。
	11	(知及技) 対応させてものを配ることができる。［小１段階Ｂア(ｱ)㋖］ (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。［小１段階Ｂア(ｲ)㋐］ (学・人)もの同士を対応させることが分かり、進んでいろいろな具体物を配ることできる。［小１段階］	(知・技)具体物を１対１と対応させて、ものを配ろうとしている。 (思・判・表)マークとものとを対応させて配ろうとしている。 (主学)教師の言葉かけを聞いて、もの同士を対応させて、進んでいろいろなものを配ろうとしている。	【Ｂ数と計算】 単元１『まーくに、あわせて、ならべましょう』(さんすう☆)	・ボウリングのピンをマークを確認しながら配置する。 ・マークを意識して課題に取り組めるようにする。
	13	(知及技)同じもの同士の集合作りをすることができる。［小１段階Ｃア(ｱ)㋕］ (思判表力)ものとものとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心をもって対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かすことができる。［小１段階Ｃア(ｲ)㋒］ (学・人)大きさや長さ、大小、多少等の言葉や区別することに興味関心を示し、学習に取り組む事ができる。［小１段階］	(知・技)目の前のものの違いに気付いている。 (思・表・判)具体物を見たり教師の言葉かけを聞いたりして「同じ」「違う」を判断している。 (主学)具体物の操作を行おうとしている。	【Ｃ図形】 単元１『おなじかたちをあつめましょう』(さんすう☆)	・まずは「形」だけに着目して分類ができるようにする。 ・「これは、同じ」「これは、違う」など言葉かけを聞いて分類に取り組む。 ・徐々に「色」や「大きさ」にも着目するように学習を行う。 ・「さんかく」「しかく」のカードを片付ける際に、２つの箱に分けてしまう活動を行う。
	11	(知及技)大きさや長さなどを、規準に対して同じか違うかによって区別することができる。［小１段階Ｄア(ｱ)㋐］ (思判表力)大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。［小１段階Ｄア(ｲ)㋐］ (学・人)大きさや長さ、大小、多少等の言葉や区別することに興味関心を示し、学習に取り組む事ができる。［小１段階］	(知・技)具体物の操作をとおして、大きさや長さの違いに気付いている。 (思・判・表)具体物の操作をとおして、大きさの違いに気付き、それぞれを分けている。 (主学)大小や長短の違いに関心をもち、進んで学習に取り組もうとしている。	【Ｄ測定】 単元１『おなじ、ちがう』(さんすう☆)	・具体物を区別する学習から取り組み、絵やイラストを用いて区別できるようにする。 ・身近な食べ物を２つ用意し、１つは欠けている状態で提示して比べ、見本と「同じ」「違う」を判断する。

3学期	13	(知及技)関連の深い絵カードを組み合わせることができる。［小１段階Ａイ(ｱ)㋐］ (思判表力)ものとものとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。［小１段階Ａイ(ｲ)㋐］ (学・人)大きさや長さ、大小、多少等の言葉や区別することに興味関心を示し、学習に取り組む事ができる。［小１段階］	(知・技)絵や色を見て仲間分けをしている。 (思・判・表)形や色、絵に着目し仲間分けをしている。 (主学)絵や色に関心をもち、進んで分けることに取り組もうとしている。	【Ａ数量の基礎】 単元１『なかまを、あつめましょう』(さんすう☆)	・具体物や絵を見ながら「赤いものはどれ」や「丸いものはどれ」など仲間分けに取り組む。 ・仲間分けに慣れてくると、性質や用途、所属などに広げて仲間分けに取り組む。
	11	(知及技) 関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせることができる。［小１段階Ｃア(ｱ)㋑］ (思判表力)ものとものとの関係に注意を向け、物の属性に気づき、関心を持って対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で活かすことができる。［小１段階Ｃア(ｲ)㋒］ (学・人)図形に気づき、算数の学習に関心を持って取り組もうとすることができる。［小１段階］	(知・技)関連の深い一対の物を組み合わせることができる。 (思・判・表)一対のものの関係に関心を持ち、表現しようとしている。 (主学)関連付けたものの情報に着目し、進んで学習しようとしている。	【Ｃ図形】 単元１『そろえましょう』(さんすう☆)	・手袋と手袋が同じ形と具体物等で確認してから、左右で対になっていることを確認する。同様に靴下も確認する。 ・カードを用いて対になる物を探す。（単なるマッチングではなく、一方のカードを見てもう一方が選べるようになることがゴール。） ★この単元では、色や大きさの属性、用途や目的での図形ではなく、関連付ける情報のみ取り扱う。
	13	(知及技)ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目することができる。［小１段階Ｄア(ｱ)㋑］ (思判表力)大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。［小１段階Ｄア(ｲ)㋐］ (学・人)大きさや長さ、大小、多少等の言葉や区別することに興味関心を示し、学習に取り組む事ができる。［小１段階］	(知・技)量やかさに注目し、違いに気付いている。 (思・判・表)用語やジェスチャーを用いて多い・少ないを表現している。 (主学)大小、長短、多少の違いに関心をもち、進んで学習に取り組もうとしている。	【Ｄ測定】 単元１『おおい、すくない①』(さんすう☆) 単元２『おおい、すくない②』(さんすう☆) 単元３『ながい、みじかい』(さんすう☆)	・色水を入れたコップを多い・少ないの用語やジェスチャーを用いて分ける活動に取り組む。 ・玉入れゲームでかごの中身をかさとして見て、多い・少ないを区別するように促す。
留意点 引継ぎ等	単元・題材名は、全て『さんすう☆』に準ずるものとしている。				

令和7年度 小学部　2年（Ⅱ課程）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	小学部２年　19名	２年担当８名	おうた&ことば　タブレット おもしろドラム・名曲ピアノ絵本

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けることができる。（小1段階） (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができる。（小1段階） (学･人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとすることができる。（小1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	9	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて声を出すことができる。【小1段階A表現ア(ウ)-ウ】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小1段階A表現ア(ア)】 (学･人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、歌ってみようとすることができる。【小1段階】	(知・技）曲中の特徴的な音や歌詞に気付き、体を動かしている。 (思･判･表)曲のリズムに合わせたり、教師の動きを模倣したりしながら、曲の一部分を体を動かして表現している。 (主学)音楽を介して、教師や友達と手を繋いだり、体を動かしたりすることを楽しみながら、学習に参加しようとしている。	【音楽遊び（歌唱）】 ・声をだしてみよう 「ちゅうりっぷ」 「こいのぼり」 「おひさまきらきら」 「あめあめふれふれ」 「かたつむり」 「たなばたさま」 「はなび」 「うみ」等	・わかりやすい歌詞の一部を覚えて教師と一緒に歌ったり、発声したりする。 ・動きを模倣し、楽しみながら教師や友達と一緒に歌ったり、踊ったり、体を動かしたりする。
	5	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて楽器の音を出すことができる。【小音1段階A表現ア(ｳ) -イ】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小音1段階A表現ア(ｱ) 】 (学･人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に楽器の音を出す楽しさを感じるとともに、自分なりに鳴らしてみようとすることができる。【小１段階】	(知・技)教師の促しを受けながら、部分的に楽器の音を出している。 (思・判・表)音や音楽を聴いて、自分なりに楽器を鳴らそうとしている。 (主学)自分で楽器を持ち、自分なりの方法で楽器を鳴らしてみようとしている。	【音楽遊び（器楽）】 ・音を楽しもう、楽器を鳴らそう 「おおきなたいこ」 「おもちゃのちゃちゃちゃ」 「がっきのおとあて」等	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	8	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて体を動かすことができる。【小音1段階A表現ア(ｳ) -ア】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小音1段階A表現ア(ｱ) 】 (学･人)教師と一緒に身体表現をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようとすることができる。【小１段階】	(知・技）曲中の特徴的な音や歌詞に気付き、体を動かしている。 (思･判･表)曲のリズムに合わせたり、教師の動きを模倣したりしながら、曲の一部分を体を動かして表現している。 (主学)音楽を介して、教師や友達と手を繋いだり、体を動かしたりすることを楽しみながら、学習に参加しようとしている。	【音楽遊び（身体表現）】 ・たのしくおどろう 「きみとチャレンジ」（学年ダンス） 「おなかをポンポンたたきましょう」 「クルックルッ」（ミュージック・ケア） 「あめの日には　あめの歌」 「ふりふりだんす」等 ・手遊びをしよう 「あたま　かた　ひざ　ぽん」 「むすんでひらいて」 「ぱんやさんいおかいもの」等	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かしたり、揺らすなど自由に表現して踊ったりする。
	4	(知及技）聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。【小音1段階B鑑賞ア-(ｲ) 】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。【小音1段階B鑑賞ア-(ｱ) 】 (学･人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようすることができる。【小１段階】	(知・技）音や音楽を聴いて、使われている楽器などを選んでいる。 (思･判･表)歌やお話を見聴きしながら、声を発したり、歌ったり、動作を真似したりして楽しんでいる。 (主学)教師と一緒に、音楽に合わせて体を動かしたり、リズムを取ったりするなど、自分なりの楽しみ方で学習に参加しようとしている。	【鑑賞】 ・聴こう、見よう 「ちいさいうみおおきいうみ」 「ぽんくんのともだち」（パネルシアター） 「ねこのおいしゃさん」（パネルシアター） 「やっほっほ夏休み」等	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
2学期	9	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて声を出すことができる。【小1段階A表現ア(ウ)-ウ】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小1段階A表現ア(ア)】 (学･人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、歌ってみようとすることができる。【小1段階】	(知・技）曲中の特徴的な音や歌詞に気付き、体を動かしている。 (思･判･表)曲のリズムに合わせたり、教師の動きを模倣したりしながら、曲の一部分を体を動かして表現している。 (主学)音楽を介して、教師や友達と手を繋いだり、体を動かしたりすることを楽しみながら、学習に参加しようとしている。	【音楽遊び（歌唱）】 ・声をだしてみよう ・楽しく歌おう 「おばけなんてないさ」 「どんぐりころころ」 「あ・い・う・え・おーっ！」 「ぱっぱっぱたらかのうた」 「とんぼのめがね」 「はっぴーばーすでー」等	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。 ・わかりやすい歌詞の一部を覚えて教師と一緒に歌ったり、発声したりする。
	4	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて楽器の音を出すことができる。【小音1段階A表現ア(ｳ) -イ】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小音1段階A表現ア(ｱ) 】 (学･人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に楽器の音を出す楽しさを感じるとともに、自分なりに鳴らしてみようとすることができる。【小１段階】	(知・技)教師の促しを受けながら、部分的に楽器の音を出している。 (思・判・表)音や音楽を聴いて、自分なりに楽器を鳴らそうとしている。 (主学)自分で楽器を持ち、自分なりの方法で楽器を鳴らしてみようとしている。	【音楽遊び（器楽）】 ・音を楽しもう、楽器を鳴らそう 「いっしょにならそうよ」 「すずのきょく」 「あわてんぼのさんたくろーす」等	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	9	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて体を動かすことができる。【小音1段階A表現ア(ｳ) -ア】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小音1段階A表現ア(ｱ) 】 (学･人)教師と一緒に身体表現をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようとすることができる。【小１段階】	(知・技）曲中の特徴的な音や歌詞に気付き、体を動かしている。 (思･判･表)曲のリズムに合わせたり、教師の動きを模倣したりしながら、曲の一部分を体を動かして表現している。 (主学)音楽を介して、教師や友達と手を繋いだり、体を動かしたりすることを楽しみながら、学習に参加しようとしている。	【音楽遊び（身体表現）】 ・たのしくおどろう 「きみとチャレンジ」（学年ダンス） 「なべなべそこぬけ」（わらべうた） 「ふりふりだんす」 「くまさんくまさん」 「ハッピークリスマス」（クリスマスダンス）等 ・手遊びをしよう 「まあるいたまご」 「のねずみ」 「おべんとうばこのうた」 「はをみがきましょう」等	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かしたり、揺らすなど自由に表現して踊ったりする。

	5	(知及技）聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。【小音1段階B鑑賞ア-(イ）】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。【小音1段階B鑑賞ア-(ア）】 (学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようすることができる。【小１段階】	(知・技）音や音楽を聴いて、使われている楽器などを選んでいる。 (思・判・表)歌やお話を見聴きしながら、声を発したり、歌ったり、動作を真似したりして楽しんでいる。 (主学)教師と一緒に、音楽に合わせて体を動かしたり、リズムを取ったりするなど、自分なりの楽しみ方で学習に参加しようとしている。	【鑑賞】 ・聴こう、見よう 「すてきなはーぷ」 「かばさをならそう」 「おもちゃのへいたい」 「おどるこねこ」 「３びきのやぎのがらがらどん」 「真夏のおばけたち」（パネルシアター） 「森のクリスマス」（パネルシアター）等	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
３学期	5	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて声を出すことができる。【小1段階A表現ア(ウ)-ウ】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小1段階A表現ア(ア)】 (学・人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、歌ってみようとすることができる。【小1段階】	(知・技）曲中の特徴的な音や歌詞に気付き、体を動かしている。 (思・判・表)曲のリズムに合わせたり、教師の動きを模倣したりしながら、曲の一部分を体を動かして表現している。 (主学)音楽を介して、教師や友達と手を繋いだり、体を動かしたりすることを楽しみながら、学習に参加しようとしている。	【音楽遊び（歌唱）】 ・楽しく歌おう 「はなのかのん」 「こんこんくしゃん」 「まめまき」 「校歌」 「国歌」 「卒業式の歌」等	・季節や行事の歌を聴いたり、歌ったりする。 ・わかりやすい歌詞の一部を覚えて教師と一緒に歌ったり、発声したりする。
	3	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて楽器の音を出すことができる。【小音1段階A表現ア(ウ）-イ】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小音1段階A表現ア(ア）】 (学・人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に楽器の音を出す楽しさを感じるとともに、自分なりに鳴らしてみようとすることができる。【小１段階】	(知・技)教師の促しを受けながら、部分的に楽器の音を出している。 (思・判・表)音や音楽を聴いて、自分なりに楽器を鳴らそうとしている。 (主学)自分で楽器を持ち、自分なりの方法で楽器を鳴らしてみようとしている。	【音楽遊び（器楽）】 ・音を楽しもう、楽器を鳴らそう 「げんきにげんきに」等	・親しみやすい楽器を使い、簡単なリズム打ち遊びをする。 ・いろいろな楽器を使って簡単なリズム打ち遊びや合奏をする。
	5	(知及技）様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて体を動かすことができる。【小音1段階A表現ア(ウ）-ア】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。【小音1段階A表現ア(ア）】 (学・人)教師と一緒に身体表現をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようとすることができる。【小１段階】	(知・技）曲中の特徴的な音や歌詞に気付き、体を動かしている。 (思・判・表)曲のリズムに合わせたり、教師の動きを模倣したりしながら、曲の一部分を体を動かして表現している。 (主学)音楽を介して、教師や友達と手を繋いだり、体を動かしたりすることを楽しみながら、学習に参加しようとしている。	【音楽遊び（身体表現）】 ・たのしくおどろう 「きみとチャレンジ」（学年ダンス） 「おちゃをのみに」（わらべうた） 「ばななのおやこ」 「はたけのぼるか」 「おおきなわちいさなわ」等 ・手遊びをしよう 「ぴすけっとをやきましょう」	・友達や教師と一緒に音楽に合わせて身体を動かしたり、揺らすなど自由に表現して踊ったりする。
	4	(知及技）聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。【小音1段階B鑑賞ア-(イ）】 (思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとすることができる。【小音1段階B鑑賞ア-(ア）】 (学・人）音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようすることができる。【小１段階】	(知・技）音や音楽を聴いて、使われている楽器などを選んでいる。 (思・判・表)歌やお話を見聴きしながら、声を発したり、歌ったり、動作を真似したりして楽しんでいる。 (主学)教師と一緒に、音楽に合わせて体を動かしたり、リズムを取ったりするなど、自分なりの楽しみ方で学習に参加しようとしている。	【鑑賞】 ・聴こう、見よう 「すてきな帽子屋さん」 「うみのめみえるまち」 「そらとぶたっきゅうびん」 「やさしさにつつまれたなら」等	・身体を揺らしたり、手をたたいたりしながら鑑賞する。 ・好きな音楽を聴いたり、パネルシアターを見たり操作したりして楽しむ。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部　2年　（　Ⅱ課程　）　図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
52	2学年　19　人	2年担当 8名	ぬって

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）色や形、素材に興味・関心を持ち、身近な材料や用具を用いることができる。　（小１段階） (思判表力)自由に制作活動に取り組み、自分や友達の作品に親しむことができる。　（小１段階） (学･人）多くの制作活動にふれ、いろんな感触や制作の面白さを感じ、豊かな感性を広げようとすることができる。　（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	18	【Ａ表現】 (知及技）身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。［小1段階ーA表現　ア（イ）］ (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。［小1段階ーA表現　ア（ア）］ (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。［小１段階］	(知・技）片栗粉や土、粘土などの様々な材料の感触に慣れ、手指を使って握ったり、道具を使ったりしている。 (思･判･表)材料に触れてその特性から型にはめようとしたり、跡をつけようとしたりしている。 (主学)心地よい感触の材料に自ら触れて興味を示し、楽しく活動に参加しようとしている。	単元１ 「いろんな形にへーんしん」 ・触ってみよう（片栗粉、土、粘土） ・自由遊び ・粘土で遊ぼう ・粘土で作ろう ・すな遊びをしよう	【遊び】【立体】 色々な感触に慣れて握ったり道具を使って遊んだりする。 ・材料に触って遊ぼう ・道具を使って遊んでみよう 材料…片栗粉、土、粘土、型はめ、水、バケツ、雑巾など 粘土で作る題材として、お店屋さんに見立てて、誕生ケーキ、果物など。
		【Ａ表現】 (知及技）身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。［小1段階ーA表現　ア（イ）］ (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。［小1段階ーA表現　ア（ア）］ (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。［小１段階］	(知・技）材料を見つめて色の変化に気付いている。 (思･判･表)色と色を合成したり、新しい色を作り出したり、作りたい色を思いついたりしている。 (主学)色に興味や関心をもって、色を作り出す楽しさに気付いている。	単元２ 「いろいろ、どんないろ？」 ・色水作り ・マーブリング ・お花紙を水に入れてみる。など ・にじみ絵	【遊び】【絵画】 水の入ったペットボトルに色を表現する。 ・赤、青、黄色の色水を作ってみよう。 ・好きな色を作ってみよう。 ・作った色水を混ぜて注いだり、並べたりする。 ・マーブリングは、色選びを楽しみ、水の上の液の様子を見て楽しむ。色を紙に写して楽しむ。 ・にじみ絵では、色と水の量からくる、色の動きを見たり、色の変化を味わったりできるようにする。
二学期	20	【Ａ表現】 (知及技）身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。［小1段階ーA表現　ア（イ）］ (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。［小1段階ーA表現　ア（ア）］ (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。［小１段階］	(知・技）身の回りの物に触れて、形の感じをとらえたり、材料や色をみつめたりして形や色の変化に気付いている。 (思･判･表)道具を操作してできた線や形から、自分なりの表現方法を思い付いたり、制作方法を選んだりしている。 (主学)色や形の変化、表現方法に興味をもって、作品を作ったり見たりすることを楽しもうとしている。	単元３ 「どんな形に写るかな？」 ・野菜スタンプ ・ステンシルなど、スタンプ遊びを楽しむ。 ・色々な道具を使って色をぬってみよう	【絵画（版）】 形をうつしたり形を見立てたりする。 ・身近な材料を使って、画用紙に形をうつす。 ・○△□などの形のある材料を画用紙にのりで貼り付け、好きな色をぬって、はいだら形が浮かび上がることに気付く。 ・好きな形を組み合わせて意味づけをする。 材料…画用紙、マジック、クレヨン、絵の具、パレット皿、スポンジ、型ぬき、プリンの型、トイレットペーパーの芯、雑巾など
		【Ａ表現】 (知及技）身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。［小1段階ーA表現　ア（イ）］ (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。［小1段階ーA表現　ア（ア）］ (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。［小１段階］	(知・技）絵の具の色を選んだり、指で書く、筆で書く、割り箸で書くなどの描き方をいろいろ試したりするなど、表し方を工夫しようとしている。 (思･判･表)のばした絵の具の形や色から表したいことを考えようとしている。 (主学)絵の具をのばして描くことを楽しもうとしている。	単元４ 「にじのはしの上には･･･」 ・レインボー（虹）を描こう ・手や指で描こう ・絵本を読んで絵を描こう（感想画）	【絵画】 ・虹を描く。その時、厚紙や段ボールの切れ端などで絵の具をのばし、できた模様から絵に表す。 ・身近なものが道具になることに気付く。 ・また、組み合わせて、手や指で動物や人を描くなどして虹の橋を飾る。 材料…厚紙、段ボール、使い古した歯ブラシ、絵の具、など
		【Ａ表現】 (知及技）身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。［小1段階ーA表現　ア（イ）］ (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。［小1段階ーA表現　ア（ア）］ (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。［小１段階］	(知・技）身の回りの物に触れて、形の感じをとらえたり、材料や色をみつめたりして形や色の変化に気付いている。 (思･判･表)道具を操作してできた線や形から、自分なりの表現方法を思い付いたり、制作方法を選んだりしている。 (主学)色や形の変化、表現方法に興味をもって、作品を作ったり見たりすることを楽しもうとしている。	単元５ 「切って　ちぎって　くっつけたら･･･」 ・紙をハサミで切ってみよう ・紙を手でちぎってみよう ・紙を貼り付けたり、つなげたりしてみよう ・紙けん玉作り	【工作】 ・安全面には十分留意し、ハサミを利用して紙を切り取る活動をする。 ・もしくは、手でちぎって紙を切り取る活動をする。 ・ちぎって貼ってつなげた物の形の面白さや、自分なりの表現ができるよう、色や質の違う紙を用意する。 材料…コピー用紙、画用紙、色紙、段ボール、マジックペン、のり、セロハンテープなど

三学期	14	【A表現】 (知及技）身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。［小1段階ーA表現　ア（イ）］ (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。［小1段階ーA表現　ア（ア）］ (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。［小１段階］	(知・技）粘土の形を変える活動では、手指を使って粘土をこねたり、伸ばしたりしている。 (思･判･表)粘土と道具を組み合わせて、好きな色を混ぜてこねたり、思いついた色をぬったりしている。 (主学)心地よい感触の材料に自ら触れて興味を示し、色や形の変化を楽しみながら、作品作りに取り組んでいる。	単元６ 「ケーキやさんになろう」 ・粘土をこねたりのばしたりしよう ・道具を使って粘土から形をとろう ・形の粘土を並べよう ・さかなをつくろう	【立体】 粘土をこねたり伸ばしたりして色をつけたりして形のあるものを作る。 ・粘土をこねたりのばしたりする。 ・手指や道具を使って粘土を形のあるものにする。 ・好きな色を混ぜたり、粘土が固まった後にぬったりする。 材料…紙粘土、絵の具、パレット皿、筆、ハケ、粘土ベラ、型ぬき、粘土板、雑巾など
		【A表現】 (知及技）身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。［小1段階ーA表現　ア（イ）］ (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。［小1段階ーA表現　ア（ア）］ (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。［小１段階］	(知・技）クレヨンや絵の具を使って画用紙に線や模様、形を描こうとしている。 (思･判･表)手指や道具を操作してできた形を感じたり、表したい形を思い付いたり、配色を選んで作品を作ろうとしたりしている。 (主学)作品づくりに、興味を持ち、作り出す楽しさを見出しながら、自ら学習に取り組もうとしている。	単元７ 「すきなことなあに？」 ・塗り絵 ・なぞり絵 ・校外学習の思い出 ・1年間の思い出	【絵画】 遊んだこと、友達や家族としたこと、好きなことをしている自分や好きな物などを画用紙に線や形をかいて表現する。 ・好きな色を使って自由にぬったりかいたりする。 ・ローラーやハケなどの道具を使ってぬったりかいたりする。 ・楽しかった思い出を写真などで振り返り、線や形にしてイメージをもってかく。 材料…とりのこ用紙、クレヨン、絵の具、マジックペン、パレット皿、スポンジ、ローラー、ハケ、雑巾など
年間を通して		【A表現】 (知及技）身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。［小1段階ーA表現　ア（イ）］ (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。［小1段階ーA表現　ア（ア）］ (学･人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。［小１段階］	(知・技）制作活動では、手指や道具を使ってぬったり、はったり、描いたりしている。 (思･判･表)制作活動では、手指や道具を操作してできた形を感じたり、表したい形を思い付いたり、配色を選んで作品を作ろうとしたりしている。 (主学)作品づくりに、興味を持ち、作品を見つめたり握ったりして作品を作り出す楽しさを感じている。	単元８ 「季節や行事のかざりやプレゼントつくり」 ・鯉のぼりを作ろう ・母の日のプレゼント制作 ・父の日のプレゼント制作 ・七夕のかざりを作ろう ・敬老の日のプレゼント制作 ・ハロウィンのかざりを作ろう ・クリスマスのかざりを作ろう ・正月のかざりを作ろう ・節分のかざりを作ろう ・ひな祭りのかざりを作ろう ・卒業式の壁画	【立体】【工作】 プレゼントや飾りを作って表現する。 ・絵の具感触に慣れ、画用紙に手形をつけたり、自分の手形を見たりする。 ・形のあるビーズや折り紙を手指や道具を使って貼り付ける。 ・折り紙、紙コップ、紙皿など身近なものを使って作品作りをする。 ・季節の歌や映像をみて作品のイメージをもてるようにする。 ・教師や友だちの作品を見る。 材料…紙粘土、ビーズ、テープ、画用紙、紐、はさみ、袋、のり、雑巾、クレヨンなど
		【B鑑賞】 （思判表力）身の回りにあるものなどを見ることができる。［小1段階ーB鑑賞ア（ア）］	(思･判･表)自分や友だちの作品を見たり触れたりした時に表情を変えたり、色々な角度から覗き込んだりして関心を持っている。	単元９ ・作品を鑑賞しよう	・出来上がった作品を見える位置に提示してみんなで見る活動をする。
		【共通事項】 （知及技）形や色などの感じに気づくことができる。［小1段階ー共通ア(ア)］ （思判表力）形や色などの感じを基に、自分のイメージを持つことができる。［小1段階ー共通ア(ｲ)］	（知・技）自分が見たり触ったりすることで、形や色などの感じに気づいている。 (思･判･表)自分が行ったことによってできた形や色などの感じを基に、自分のイメージを持とうとしている。		
留意点 引継ぎ等					

令和 7 年度 小学部　2年（　Ⅱ課程　）体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2学年 19　名	2年担当　8名	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。（小１段階） (思判表力)体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。（小１段階） (学･人)簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。（小１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	9	(知及技)教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。【小1段階　A体つくり運動遊びア】 (思判表力)手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【小1段階　A体つくり運動遊びイ】 (学･人)簡単な合図や指示に従って、体つくり運動遊びをしようとすることができる。【小1段階　A体つくり運動遊びウ】	(知・技)教師と一緒に手本を意識した動きをとることができる。 (思･判･表)教師に、表情や身振り、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)音楽の変化や教師の指示を聞いて体を動かすことができる。	【A体つくり運動遊び】 単元１ 「体全体を動かそう」 「リトミック」	・ウォーミングアップやリトミック等の音楽に合わせて、歩く、走る、止まる、ジャンプなどの基本の動きを行う。 ・やさしい運動から始め、転がる、はう、跳ぶ、またぐなどの運動を行う。 ・バランスを取る、座る、しゃがむ、階段の上り下りなどの日常生活の基本的な身体活動を繰り返し、できる動きを増やす。 ・手足を十分に伸ばしたり曲げたり、脚を前後左右に開いたり、腕を振ったり回したりするなど、簡単な手や脚の運動も取り入れる。
	4	(知及技)教師と一緒にうがいや手洗いを行うことができる。【小１段階　G保健ア】 (思判表)自分で必要かどうか考えたり、状況で判断してうがいや手洗いに取り組むことができる。【小１段階　G保健ア】 (学・人)健康に必要な事柄に気付き、自ら積極的に実践することができる。【小１段階　G保健イ】	(知・技)教師の動きや動画等を確認し、同じようにうがいや手洗いを行うことができる。 (思・判・表)手が汚れたり、体の不調を感じたりした際、自ら考えて清潔にしたり予防したりしようとする様子が見られる。 (主学)うがいや手洗いの必要性に気付き、自ら積極的に実践することができる。	【G保健】 単元１ 「健康な体つくり」	・手洗いやうがいが自分の健康のために必要だということやキレイにした後の気持ちよさや心地よさに気付く。 ・動画や教師のお手本、歌などを参考にし、積極的に実践できるようにする。 ・体育の授業だけにとどまらず、普段の日常生活の中で実践できるように学校生活全般を通して意識付けを行う。
	8	(知及技)教師と一緒にボールを使って楽しく体を動かすことができる。【小1段階　Eボール遊びア】 (思判表力)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【小1段階　Eボール遊びイ】 (学･人)簡単な合図や指示に従ってボール遊びをすることができる。【小1段階　Eボール遊びウ】	(知・技)ボールの特徴に注目し、積極的に触れながら楽しく学習に参加している。 (思･判･表)教師に、表情や身振り、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示を聞いて順番やルールを守り参加しようとしている。	【Eボール遊び】 単元２ 「ボール運びリレー」 「キャッチボール」	・いろいろな大きさのボールを転がして遊ぶ。（ボール運びリレー(2人1組)、ボール運びリレー(1人、持つ、転がす)） ・１～２メートル離れた位置から、教師の投げたボールを両手で捕る。（キャッチボール）
	7	(知及技)教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びを楽しむことができる。【小1段階　D水遊びア】 (思判表力)水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できる。【小1段階　D水遊びイ】 (学･人)簡単な合図や指示にしたがって水遊びができる。【小1段階　D水遊びウ】	(知・技)浮島やボール等水の特性を生かした教具を通して楽しく学習に参加している。 (思･判･表)教師に、表情や身振り、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)始まりや終わり、危険回避などの合図を聞いて学習に参加しようとしている。	【D水遊び】 単元３ 「水となかよくなろう」	・プールの周りでじょうろを使って遊ぶ。 ・個々の状態に適した浅い深さのプールの中で、遊具を浮かべたり沈めたりして遊ぶ。 ・水をすくったり、かけたりして遊ぶ。 ・水をすくって体の様々な部分にかけたり、様々な方向に飛ばしたり、友達や教師とかけ合ったりする。 ・プールサイドに座ってのバタ足を行う。 ・ひざぐらいまでの水中を水の抵抗を感じながら歩いたり、走ったりして遊んだりする。 ・プールへ入るときの流れや約束を知る。 ・プールでの約束を守りながら、安全に遊ぶ。

2学期	8	(知及技)教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。【小1段階　C走・跳の運動遊びア】 (思判表力)走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【小1段階　C走・跳の運動遊びイ】 (学・人)簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとすることができる。【小1段階　C走・跳の運動遊びウ】	(知・技)教師と一緒に、ゴールを目指して走ったり、歩いたりしている。 (思・判・表)教師に、表情や身振り、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、走ったり跳んだりして楽しんでいる。	【C走・跳の運動遊び】 単元2 「とんだりはねたりはしったり」	・教師が方向や速さを加減しながら、教師の言葉掛けのリズムに合わせて、一定の時間や距離を一緒にゆっくり走ったり、早く走ったりする。（後ろ走り、かに走り、４足走り、スキップ、ギャロップ、座ってスタート、寝ころびスタート） ・スタートからゴールまで、走ったり歩いたりする。（５０m走） ・正面や横で教師が介助しながら、教師の合図や言葉掛けに合わせてその場で上方に両足や片足で跳んだり、前方に跳んだりする。（けんけんぱ、棒とび、ゴム跳び、ミニハードル）
	9	(知及技)教師や友達を真似て、音楽に合わせて体を動かすことができる。【小1段階　F表現遊びア】 (思判表力)音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【小1段階　F表現遊びイ】 (学・人)簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとすることができる。【小1段階　F表現遊びウ】	(知・技)教師や友達を真似て、音楽に合わせて体を動かそうとしている。 (思・判・表)教師に、表情や身振り、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、ダンスをしようとしている。	【F表現遊び】 単元2 「ダンスをしよう」	・音楽を感じながら、自由に体を動かす。 ・音楽を感じながら、歩いたり、走ったりする。 ・音楽を感じながら、はねたり、跳んだりする。 ・ダンス曲に合わせて、自由に体を動かす。
	7	(知及技)教師と一緒に、器械や器具を使って体を動かすことができる。【小1段階　B器械・器具を使っての遊びア】 (思判表力)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【小1段階　B器械・器具を使っての遊びイ】 (学・人)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとする。【小1段階　B器械・器具を使っての遊びウ】	(知・技)教師と一緒に、器械や器具を使って体を動かしている。 (思・判・表)教師に、表情や身振り、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとしている。	【B器械・器具を使っての遊び】 単元3 「サーキット運動」	・サーキット遊びを行う。 ・四つん這いや腹這いの姿勢で、トンネルや網をくぐって遊ぶ。 ・マットに背中や腹などをつけて転がったり、移動したりして遊ぶ。 ・低い跳び箱を使って、よじ登ったり、跳び下りたりして遊ぶ。 ・低鉄棒を使って、ぶら下がりなどをして遊ぶ。 ・ミニハードルを倒さないようにまたいだり、ジャンプで越えたりして遊ぶ。 ・平均台に乗り、バランスをとりながら歩く。
3学期	8	(知及技)教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。【小1段階　C走・跳の運動遊びア】 (思判表力)走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【小1段階　C走・跳の運動遊びイ】 (学・人)簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとすることができる。【小1段階　C走・跳の運動遊びウ】	(知・技)教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かそうとしている。 (思・判・表)教師に、表情や身振り、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って走ろうとしている。	【C走・跳の運動遊び】 単元1 「持久走」	・教師が方向や速さを加減しながら、教師の言葉掛けのリズムに合わせて、一定の時間や距離を一緒にゆっくり走ったり、速く走ったりする。 ・スタートの合図やゴールを意識する。 ・最後まで辛抱強く頑張る。
	10	(知及技) 教師と一緒にボールを使って楽しく体を動かすことができる。【小1段階　Eボール遊びア】 (思判表力)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。【小1段階　Eボール遊びイ】 (学・人)簡単な合図や指示に従ってボール遊びをすることができる。【小1段階　Eボール遊びウ】	(知・技)ボールの特徴に注目し、積極的に触れながら楽しく学習に参加している。 (思・判・表)教師に、表情や身振り、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示を聞いて順番やルールを守り参加しようとしている。	【Eボール遊び】 単元2 「まとあて」 「けってみよう」	・少し離れた的をめがけて、ボールを当てて遊ぶ。（的当て遊び） ・少し離れたゴールをねらって、ボールを蹴ったり、ドリブルをして遊ぶ。（片足でバランスをとる、強く蹴る、弱く蹴る、簡単サッカーなど）
留意点引継ぎ等					

令和 7年度 小学部　2年（　Ⅱ課程　）道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2学年（19名）	2年担当 8 名	

年間目標	(A:自分自身に関する事)よいことや悪いことの違いが分かり、わがままをしないで規則正しい生活を送り、できることは最後までやり抜こうとする態度を養う。(小1段階) (B:人との関わりに関する事)気持ちのよい挨拶や言葉使い、動作などに心がけ、身近にいる人と仲良くし、助け合う心を育てる。(小1段階) (C:集団や社会との関わりに関する事)約束や決まりを守り、手伝いや与えられた仕事に進んで取り組む態度を養う。(小1段階) (D:生命や自然、崇高な物との関わり)身近な自然に親しみ、動植物に優しく接する心を育てる。(小1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	・基本的なあいさつの仕方を具体的に理解し、身近な人々といつも明るく接しようとする態度を育てる。[B礼儀]	・いつも明るく （あいさつ）	・イラストや写真を見て、状況に適切なあいさつを考える ・あいさつにはどんなものがあるか ・どんなときにあいさつするか ・あいさつするときはどんなことが大切か
	4	・自分の好き嫌いにとらわれず、誰に対しても公正、公平に接しようとする心情を育てる。[C公正、公平、社会正義]	・みんな同じように （みんな いっしょ）	・皆と一緒に仲良く遊ぶ ・みんなで仲よく遊ぶために大切なことは何か考える （写真や絵カード）
	4	・物を大切に扱う良さを考え、自分や友だちの物を大切に使おうとする心情を育てる。[A節度、節制]	・大切に使おう	・大切に使うとはどんなことか考える
2学期	3	・日頃、自分たちの生活を支えてくれたり助けてくれたりしている人々に感謝し、自分ができることをしようとする心情を育てる。[B感謝]	・感謝の気持ちを伝えよう （みんな　だれかに）	・親切にされたり、優しくされたときに「ありがとう」と言う ・周りから「ありがとう」を言われたときどんな気持ちだったか考える
	4	・自分の係が分かり、教師の言葉かけを受けて、自分から進んで係活動に取り組む態度を育てる。[C勤労・公共の精神]	・係活動	・健康観察簿をとってきたり、返却したりする。 ・朝の会の司会や号令をかける
	3	・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。[D自然愛護]	・好きなお花や虫を見つけよう	・校内を探索し、植物や草花に触れる ・草花や虫と物の違いを考える
	3	・他国の人々や文化に親しもうとする態度を育てる。[C国際理解，国際親善]	・外国の行事	・映像や本などを見て、諸外国の行事や風俗を知る ・歌や音楽、言語などを通して、日本の文化と諸外国の文化の違いを感じる （ハロウィンやクリスマス）
3学期	4	・友だちと進んで関わり、仲よくしようとする心情を育てる。[B友情、信頼]	・友達っていいな （こころはっぱ）	・友達がいてよかった、うれしいなと思ったことを発表する
	3	・自分の好きな事、苦手なことを知り、自分の良さに気付こうとする態度を育てる。[A個性の伸長]	・自分のことを知ろう	・自分の写真を見て、自分の良さを振り返る。好きな事、苦手な事を知る
	3	・友だちといっしょに自分たちの学級を大切にする心情を育てる。[Cよりよい学校生活、集団生活の充実]	・楽しい学級 （もうすぐ3ねんせい）	・1年間の写真を見ながら振り返り友だちや先生と一緒に活動したことを思い出す ・楽しかったことを思い出し3年生でも頑張る意欲に繋げる

留意点 引継ぎ等	○日々の学校生活全体の中で、児童の道徳的価値の自覚を促し、道徳的実践力を育成するよう、実態を踏まえた指導を行う。 ○豊かな体験活動と関連づけた指導の工夫を行う。 ○教師と児童、児童相互の心の交流を図り、児童一人一人が意欲を持って活動できるように、学年・学校全体で組織的に取り組む。

令和７年度 小学部　２年（　Ⅱ課程　）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	２学年　(19名)	2年担当 ８ 名	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)実践的な集団活動を通して、友達への関わり方について学び、望ましい人間関係が形成することができる。 (思判表力)集団の一員として学校生活に必要な係に取り組むことができる。 (学・人)様々な集団活動を通して、よりよい学校生活を築こうとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	学級、学年の一員として集団活動に落ち着いて参加することができる。	・学年、学級開き ・１学期頑張ろう会	・クラスの友達や先生を知る。 ・1学期楽しみなこと、頑張りたいことを選択肢の中から選んで発表する。 （キャリアパスポートの活用）
	1	友達や教師と話し合いながら目標を立てることができる。	・学級目標を考えよう	・学級目標を作る。
	1	・集団の一員として、自分に何ができるか教師と一緒に考えることができる。	・係活動を決めよう	・自分の係を決める。
	2	道路の歩き方、横断歩道の渡り方について知ろう。	・交通安全について	・動画や視覚教材を見て、交通安全について知る。 ・実際の横断歩道を教師と一緒に渡る。
	1	自分の誕生日を知りお祝いされる喜びを感じたり、友達をお祝いしたりする。	・お祝いをしよう	・誕生会の司会、出し物等を教師と一緒に行う。 ・自己紹介を通して自分の好きなことや得意なことの発表をする。
	1	図書室の使い方を知って、本を借りることができる。	・図書室オリエンテーション	・司書の先生から、図書室の利用方法を教えてもらう。 ・実際に好きな本を選んで借りてみる。
	2	・校外学習に行く日程や予定に見通しを持つことができる。 ・公共施設で教師と一緒に楽しくマナーを守って過ごすことができる。	・校外学習に行こう	・写真や動画を見て、日程や内容について知る。 ・公共施設の使い方について知る。 ・バスでの過ごし方について知る。
	1	夏休みの過ごし方を教師と一緒に確認することができる。	・夏休みの過ごし方	・イラストを見ながら規則正しい生活を確認する。
	1	自分や友達のがんばった様子を、お互いに振り返ることができる。	・１学期の振り返り	・写真や動画を見ながら振り返りを行う。（キャリアパスポートの活用）
2学期	2	２学期楽しみなこと、頑張りたいことを選択肢の中から選んで発表することができる。	・２学期頑張ろう会	・視覚教材を用いて、活動や行事について全体のイメージをもつ。 ・頑張ることの発表。（キャリアパスポートの活用）
	2	自分の誕生日を知りお祝いされる喜びを感じたり、友達をお祝いしたりする。	・お祝いをしよう	・誕生会の司会、出し物等を教師と一緒に行う。 ・自己紹介を通して自分の好きなことや得意なことの発表をする。
	4	・校外学習に行く日程や予定に見通しを持つことができる。 ・公共施設で教師と一緒に楽しくマナーを守って過ごすことができる。	・校外学習に行こう	・写真や動画を見て、日程や内容について知る。 ・公共施設の使い方について知る。 ・バスでの過ごし方について知る。
	2	避難訓練では、教師と一緒に机の下に潜ったり､避難場所に避難したりする。	・安全に行動しよう（地震津波火災避難訓練）	・「お・は・し・も・ち」の学習をする。 ・安全な避難の仕方について知る。
	2	学習発表会について知ることができる。	・学習発表会について	・写真や動画を見て、日程や内容について知る。 ・事後学習を通して、がんばったことや楽しかったことを振り返る。
	2	自分や友達のがんばった様子を、お互いに振り返ることができる。	・２学期の振り返り	写真や動画を見ながら振り返りを行う。（キャリアパスポートの活用）
3学期	2	３学期楽しみなこと、頑張りたいことを選択肢の中から選んで発表することができる。	・３学期頑張ろう会	・視覚教材を用いて、活動や行事について全体のイメージをもつ。 ・頑張ることの発表。（キャリアパスポートの活用）
	2	自分の誕生日を知りお祝いされる喜びを感じたり、友達をお祝いしたりする。	・お祝いをしよう	・誕生会の司会、出し物等を教師と一緒に行う。 ・自己紹介を通して自分の好きなことや得意なことの発表をする。
	3	・校外学習に行く日程や予定に見通しを持つことができる。 ・公共施設で教師と一緒に楽しくマナーを守って過ごすことができる。	・校外学習に行こう	・写真や動画を見て、日程や内容について知る。 ・公共施設の使い方について知る。 ・バスでの過ごし方について知る。
	2	自分や友達のがんばった様子を、お互いに振り返ることができる。	・３学期、１年間の振り返り	・写真や動画を見ながら振り返りを行う。（キャリアパスポートの活用）

留意点 引継ぎ等	

令和 7 年度 小学部　3年（ Ⅱ課程 ）生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
227	3学年　28名	３年担当　10名	せいかつ☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身につけることができる。（小2段階） (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現することができる。（小2段階） (学･人)自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとすることができる。(小2段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	60	(知及技)身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。［小２段階ア(イ)］ (思判表力)必要な身辺処理が分かり，身近な生活に役立てようとすることができる。［小２段階ア(ア)］ (学･人)身近な生活に必要な身辺処理を自分で取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたりすることができる。［小２段階］	(知・技）身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思･判･表)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとしている。 (主学)身近な生活に必要な身辺処理を自分で取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたりしている。	【ア　基本的生活習慣】 〇じぶんでもやってみよう ・はやね・はやおき ・かたづけをしよう ・きれいにしよう ・しょくじのやくそく ・トイレのやくそく	【寝起き】 ・規則正しい生活を意識する。（定時に寝起きする、寝床の準備や片付けをするなど） 【身のまわりの整理】 ・整理の仕方や収納場所や収納の方法などが分かる。（ハンガーに掛けるなど） 【清潔】 ・身体各部や衣服の汚れが理解できる。（汚れた衣服を着替えるなど） 【食事】 ・食事のマナーや態度について分かるようになる。（食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど） 【用便】 ・一連の流れと共に基本的な方法や態度を身に付ける。（男女の便所を区別する､鍵をかけるなど）
	30	(知及技)身近な日課・予定について知ることができる。［小2段階ウ(イ)］ (思判表力)身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとすることができる。［小2段階ウ(ア)］ (学・人)身近な日課・予定が分かり、見通しをもって行動しようとすることができる。［小2段階］	（知・技）身近な日課・予定について知っている。 （思・判・表）身近な日課・予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとしている。 （主学）身近な日課・予定が分かり、見通しをもって行動しようとしている。	【ウ　日課・予定】 〇つぎのじゅぎょうはなにかな ・よていのかくにん ・つぎのよてい ・あしたのよてい	【日課・予定】 ・教師の言葉かけを聞いたり、次の行動を絵や写真で示したカード等を見たりして、次に何をするのかが分かり、できるだけ一人で日課に沿って行動する。 ・明日の予定などを取り扱うことで、児童が身近な予定が分かり、見通しをもってすごすことができる。
	10	（知及技）簡単な係活動などの役割について知ることができる。［小2段階カ(イ)］ （思判表力）身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。［小2段階カ(ア)］ （学・人）自ら係活動に取り組み、最後まで役割を果たそうとすることができる。［小2段階ウ］	（知・技）当番表のイラストを確認し、自分の係活動と活動内容について知っている。 （思・判・表）当番表を確認し、先生や友達と協力して係活動に取り組んでいる。 （主学）自ら係活動に取り組み、最後まで役割を果たそうとしている。	【カ　役割】 〇かかりのしごと ・いろいろなかかりをやってみよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・どんな係活動があるのかを知る ・教師や友達と協力し、係活動を決めて取り組む
	10	(知及技)簡単な手伝いや仕事について知ることができる。［小2段階キ(イ)］ (思判表力)教師の援助を求めながら、身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。［小2段階キ(ア)］ (学・人)自ら進んで手伝いや仕事に取り組むことができる。［小2段階］	（知・技）簡単な手伝いや仕事について知っている。 （思・判・表）教師の援助を求めながら、身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 （主学）自ら進んで手伝いや仕事に取り組もうとしている。	【キ　手伝い・仕事】 〇そうじをしよう ・そうじ ・せいりせいとん	【掃除】 ・掃除用具の名称や使い方が分かる ・できるだけ一人で簡単な掃除をすることができる。 【後片付け】 ・使用した道具の後片付けをする。 ・友達と協力しながら片付ける。 【整理整頓】 ・できるだけ自分で机やロッカーの中を整理する。 ・友達が使った物や学級の備品を整理する。
	17	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。［小2段階サ(イ)］ (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化がわかり、それらを表現しようとすることができる。［小2段階サ(ア)］ (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信をもって学んだり、その学びを生活に生かしたりすることができる。［小2段階］	（知・技）身近な生命や自然について知っている。 （思・判・表）身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 （主学）自然に積極的に関わったり、意欲と自信をもって学んだり、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【サ　生命・自然】 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ 〇そらとてんき ・きょうのてんき・あしたのてんき ・ひる・よる	【自然とのふれあい】 ・季節によって自然が変化することに気付く。 【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ（晴れ、くもり、雨） ・昼と夜の違いに気付く。（昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど）

1学期	6	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。［小2段階イ(イ)］ (思判表力)身近な生活の安全に関心を持ち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。［小2段階イ(ア)］ (学・人) 身近な生活の安全に関心をもち、安全に気をつけて行動しようとすることができる。［小2段階］	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心を持ち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組んでいる。 (主学) 身近な生活の安全に関心をもち、安全に気をつけて行動しようとしている。	【イ　安全】 ○あんぜんにつかおう ・つくろう！ ・あそぼう！ ○きをつけてあるこう ・おうだんほどう ●交通安全教室 ○さいがいやじこからじぶんをまもろう ・じしんがきたら ・かじになったら ・わたしたちをまもってくれるところ ●火災避難訓練	【危険防止】 ・安全な遊び方や遊具・器具の使い方を知るなど、身近な生活の安全に関心をもつ。 【交通安全】 ・安全な歩行の仕方が分かり、安全への習慣を身に付ける。（自動車や自転車に気をつける、歩行者用の信号や踏切の意味を知るなど） 【避難訓練】 ・「火事」「避難」などの言葉の意味を理解したり、避難時に友達と一緒に適切に行動する。 【防災】 ・危険な場所に気づき、身近にある安全な場所を知る。
	6	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。［小2段階ケ(イ)］ (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。［小2段階ケ(ア)］ (学・人)簡単なきまりやマナーに気付き、生活に生かそうとすることができる。［小2段階］	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動している。 (主学)簡単なきまりやマナーに気付き、生活に生かそうとしている。	【ケ　きまり】 ○じぶんやみんなのもの、みんなのばしょ ・じぶんのもの　ともだちのもの ○がっこうのきまり ・みんなでまもるときもちがいいね ・じかんのきまり ○せいかつのきまり ・どうろをあるくとき・のりものをつかうときのきまり ・あそんでもよいばしょ ○しょくじのマナー	【自分の物と他人の物の区別】 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さないこと。 【学校のきまり】 ・学校生活では様々なきまりがあることに気付き、それを守ること。（廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など） 【日常生活のきまり】 ・信号を守って横断する、並んで順番を待つ、順番を守って乗り物の乗降をする、決められた場所で遊ぶなど 【マナー】 ・身近な生活におけるマナーを守る。（正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど）
	10	(知及技)簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。［小２段階エ(イ)］ (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。［小2段階エ(ア)］ (学・人)教師や友達との簡単な遊びを通して、生活を豊かにしようとすることができる。［小2段階］	(知・技)簡単なきまりのある遊びについて知っている。 (思・判・表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりしている。 (主学) 教師や友達との簡単な遊びを通して、生活を豊かにしようとしている。	【エ　遊び】 ○いっしょにあそぼう ・みんなでゆうぐあそび ・みんなでおにごっこ ・かたづけできるかな ・もっとあそびたいな	【いろいろな遊び】 ・教師や友達と、簡単なルールのある遊びや大きく身体活動ができる遊具を活用した遊びをする。 ・遊びの場や遊具を友達と共有したり、簡単なルールのある遊びを一緒にしたりすることで、関わりを広げていく。 【遊具の後片付け】 ・自分で使った遊具を片付ける、友達と一緒に大きな物を協力しながら運び収納する
	2	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。［小2段階コ(イ)］ (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。［小2段階コ(ア)］ (学・人)公共施設の使い方やきまりを守って行動しようとすることができる。［小2段階］	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)公共施設の使い方やきまりを守って行動しようとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 ○わたしたちのまち ●校外学習（エイサー会館）	【社会の様子】 ・自分が住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもち、およその名称などを知る。 ・自分の生活との関連について知る。 【公共施設の利用】 ・身近な公共施設を適切に利用し、その働きが分かる。
	10	(知及技)身近な人との接し方などについて知ることができる。［小2段階オ(イ)］ (思判表力)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとすることができる。［小2段階サ(ア)］ (学・人)主体的に人と関わろうとしたり、場面に応じて適切に関わろうとすることができる。［小2段階］	(知・技)身近な人との接し方などについて知っている。 (思・判・表)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとしている。 (主学)主体的に人と関わろうとしたり、場面に応じて適切に関わろうとしたりしている。	【オ　人との関わり】 ○わたしとかぞく ・おとうさん・おかあさん ・きょうだいのなまえ ○せんせい・ともだち ・あいさつをしよう ・つたえよう ○ありがとうごめんなさい ・「ありがとう」をつたえよう ・「ごめんなさい」をつたえよう	【自分自身と家族】 ・家族の名前が分かり紹介したり、家族の名前を尋ねられたときに応じたりする。 【身近な人との関わり】 ・担任教師や友達の名前を言ったり、自分から挨拶をしたりする。 【気持ちを伝える応対】 ・適切な場面で「ありがとう」や「ごめんなさい」などをできるだけ言葉で言う。
	2	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。［小2段階イ(イ)］ (思判表力)身近な生活の安全に関心を持ち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。［小2段階イ(ア)］ (学・人) 安全への習慣を身に付け、生活に生かそうとすることができる。［小2段階］	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心を持ち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学) 安全への習慣を身に付け、生活に生かそうとしている。	【イ　安全】 ○さいがいやじこからじぶんをまもろう ・じしんがきたら ・かじになったら ・わたしたちをまもってくれるところ ・こんなときどうする？ ●地震・津波避難訓練	【避難訓練】 ・「地震」「避難」などの言葉の意味を理解したり、避難時に友達と一緒に適切に行動する。 【防災】 ・危険な場所に気づき、身近にある安全な場所を知る。

2学期	10	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。［小2段階サ(イ)］ (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それを表現しようとすることができる。［小2段階サ(ア)］ (学・人)積極的に植物を観察したり、水やりなどの世話をしようとすることができる。［小2段階］	（知・技）身近な生命や自然について知っている。 （思・判・表）身近な生命や自然の特徴が分かり、それを表現しようとしている。 （主学）積極的に植物を観察したり、水やりなどの世話をしようとしている。	【サ　生命・自然】 〇みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ ●栽培学習	【植物の栽培】 ・植物が育ちやすい環境づくり ・植物(野菜・花)の植え方を知る ・植物(野菜・花)の観察 ・植物の世話をする(水やり、草抜き) ・植物(野菜・花)についての調べ学習 ・収穫 ・調理
	2	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。［小2段階サ(イ)］ (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それを表現しようとすることができる。［小2段階サ(ア)］ (学・人)積極的に動物を観察したり、触れたりしようとすることができる。［小2段階］	（知・技）身近な生命や自然について知っている。 （思・判・表）身近な生命や自然の特徴が分かり、それを表現しようとしている。 （主学）積極的に動物を観察したり、触れたりしようとしている。	【サ　生命・自然】 〇いきものとなかよし ・どうぶつにあいにいこう ●校外学習（こどもの国）	【自然とのふれあい】 ・動物の動きに興味をもつ。
	10	(知及技)金銭の扱い方などを知ることができる。［小2段階ク(イ)］ (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。［小2段階ク(ア)］ (学・人)お金や財布を大切に扱おうとし、自らの生活に生かそうとすることができる。［小2段階］	(知・技)お金の種類や金銭の扱い方、物の買い方などを知っている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付いている。 (主学)お金や財布を大切に扱おうとし、自らの生活に生かそうとしている。	【ク　金銭の扱い】 〇おかねはたいせつ ・おこづかいをもらったら 〇かいもの ・れんしゅうをしてみよう	【金銭の扱い】 ・お金の種類の確認 ・お小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・買い物の手順、決まった額の買い物 ・「これ、ください」等の買い物に必要な言葉を使う学習 ・商店などで品物を選んで買うこと
	4	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。［小2段階コ(イ)］ (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。［小2段階コ(ア)］ (学・人)身近な人々や社会に積極的に関わろうすることができる。［小2段階］	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)身近な人々や社会に積極的に関わろうとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 〇わたしのまわりのひとたち ・あいにいこう ・なにをするところかな 〇いってみよう ・としょかん	【学校】 ・学校にある教室の名称や主な用途が分かる。 ・学校で働く様々な人に関心をもつ。
	4	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。［小2段階コ(イ)］ (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。［小2段階コ(ア)］ (学・人)公共施設の使い方やきまりを守って行動しようとすることができる。［小2段階］	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)公共施設の使い方やきまりを守って行動しようとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 〇わたしたちのまち ●校外学習（こどもの国、昆布公園）	【社会の様子】 ・自分が住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもち、およその名称などを知る。 ・自分の生活との関連について知る。 【公共施設の利用】 ・身近な公共施設を適切に利用し、その働きが分かる。

3学期	10	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。［小2段階シ(イ)］ (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。［小2段階シ(ア)］ (学・人)予想したり、自分の感覚を確かめようとすることができる。［小2段階］	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)重さや風の流れを予想し、自分の経験や道具等を活用して確かめようとしている。	【シ　ものの仕組みと働き】 〇もののおもさ ・おもさくらべ（もつ） ・おもさくらべ（てんびん） 〇かぜやゴムのちから ・かぜのちから ・かぜでうごかそう	【物と重さ】 ・物には重いものと軽いものがあることに気付く ・天秤等の道具を活用して重さを測る 【風の働き】 ・風の力は、物を動かすことができることに気付く ・色紙や色テープを使って風の流れを視覚化する ・風を利用した遊び(凧揚げや風船遊び)をする
	2	知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。［小2段階コ(イ)］ (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。［小2段階コ(ア)］ (学・人)公共施設の使い方やきまりを守って行動しようとすることができる。［小2段階］	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)公共施設の使い方やきまりを守って行動しようとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 〇わたしたちのまち ●校外学習（ドラゴンボウル） ●買い物学習	【いろいろな店】 ・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ。 【社会の様子】 ・自分が住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもち、およその名称などを知る。 ・自分の生活との関連について知る。 【公共施設の利用】 ・身近な公共施設を適切に利用し、その働きが分かる。
	10	(知及技)金銭の扱い方などを知ることができる。［小2段階ク(イ)］ (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。［小2段階ク(ア)］ (学・人)お金や財布を大切に扱おうとし、自らの生活に生かそうとすることができる。［小2段階］	(知・技)お金の種類や物の買い方を知っている。 (思・判・表)教師の援助を受け、店員と買い物のやりとりをしたり、決まった額を支払うことで買い物ができることに気づいている。 (主学)お金や財布を大切に保管したり、また買い物をしようとする様子が見られる。	【ク　金銭の扱い】 〇かいもの ・れんしゅうをしてみよう ・おみせにいってみよう ・なんていえばいいかな 〇なにをかおうかな ・どうやってかうのかな ●買い物学習	【買い物】 ・買い物の手順、決まった額の買い物 ・「これ、ください」等の買い物に必要な言葉を使う学習 ・商店などで品物を選んで買うこと 【自動販売機の利用】 ・自動販売機のおよその使い方を知り、徐々に一人で操作できるようにする。
	6	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。［小2段階サ(イ)］ (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それを表現しようとすることができる。［小2段階サ(ア)］ (学・人)収穫できるか期待したり、自ら楽しく参加することができる。［小2段階］	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それを表現しようとすることができる。 (主学)野菜が何個収穫できるか期待したり、収穫した野菜の大きさや数を友達と比べたりして楽しく参加しようとしている。	【サ　生命・自然】 ●栽培学習 ●調理学習 【イ　安全】 〇あんぜんにつかおう	・安全な道具の使い方を知る ・野菜の収穫 ・野菜の絵本の読み聞かせや歌 ・収穫した野菜にはどんな調理方法があるかを本やインターネットで調べる ・作りたい料理を発表する
	6	(知及技)簡単な手伝いや仕事について知ることができる。［小2段階キ(イ)］ (思判表力)教師の援助を求めながら、身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。［小2段階キ(ア)］ (学・人)自ら進んで手伝いや仕事に取り組むことができる。［小2段階］	(知・技)簡単な手伝いや仕事について知っている。 (思・判・表)師の援助を求めながら、身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)自ら進んで手伝いや仕事に取り組もうとしている。	【キ　手伝い・仕事】 〇せんせいのおてつだいをしよう	【手伝い】 ・できるだけ自分で、印刷物を配ることや教室へ教材の運搬の手伝いをする。 ・簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする。 ・個々の児童に応じた手伝いを設定し、手伝いをすることへの意欲をもてるようにする。 【戸締まり】 ・扉や窓の開閉、施錠の方法を知る。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 小学部　3年（ Ⅱ課程 ）国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	３学年 28名	３年担当 11名	こくご☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。(小２段階) (思判表力)言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いを持つことができる。(小２段階) (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。(小２段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	15	(知及技) ･読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。(２段階イ－(エ)) (思判表力) ･日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動を考えることができる。(C－ウ) (学･人) ･言葉がもつよさを感じるとと もに、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。(2段階)	(知・技) ・読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもっている。 (思・判・表) ・日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動を考えようとしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	【ア我が国の言語文化】 【C読むこと】 しるしをみつけよう ･学校内のしるしをさがそう ･しるしの意味を知ろう	･校内表示等の特徴を探して、シンボルマークや標識の写真を集める。 ･身近な標識やマークの特徴や意味を考える。
	25	(知及技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉や身振りで気持ちや要求を表現することができる。（２段階ア－（ア）） (思判表力) ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができることができる。 (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。（２段階）	(知・技) ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉や身振りで気持ちや要求を表現している。 (思・判・表) ・体験したことなどについて、伝えたいことを考えようとしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	【イ言葉の特徴や使い方】 【A聞くこと・話すこと】 どんなきもちかな ・きもちを表す言葉を知ろう ・イラストの気持ちを考えよう	・気持ちを表す言葉の理解へつなげるために、気持ちを表す表現記号を指さしをして選んだり、シールを貼ったりする。 ・やりとり場面では立場の相違により受け止める気持ちが異なることに気付けるように児童同士で役割を決めて演じたり、役割を入れ替えたりする。
	10	(知及技) ・いろいろな筆記用具を用いて、書くことができる。（２段階イ－（ウ）㋐） ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きができる。（２段階イ－（ウ）㋑） (思判表力) ・文字に興味をもち、簡単なひらがなをなぞったり書いたりすることができる。（２段階Ｂ－（イ）） (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。（２段階）	(知・技) ・いろいろな筆記用具を用いて、できるだけ自分で書いている。 ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きをしている。 (思判表力) ・文字に興味をもち、簡単なひらがなをなぞったり書いたりしている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	【イ我が国の言語文化】 【B書くこと】 かいてみよう ・いろいろな筆記用具で書こう ・なぞってみよう ・直線や曲線を書こう	･文字の形を意識して運筆に親しむために点線、波線、筆順を言語化しながらなぞったり結んだりする。
	20	(知及技) ・日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。（２段階ア－（イ）） (思判表力) ・絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。（２段階Ｃ－ア） (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。（２段階）	(知・技) ・考えて日常生活でよく使われている平仮名を読んでいる。 (思・判・表) ・絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	【ア言葉の特徴や使い方】 【C読むこと】 なまえなあんだ ・あいうえお ・自分、ともだちの名前 ・動物 ・お菓子 ・乗り物 ・野菜 ・生活 ・顔 ・体	･自分の名前やものの名前を文字で伝えるために、決まった組み合わせがあることを知り、具体物や絵と文字カードを一致させ、カテゴリーに分ける。 ･名前と実際の物を関連づけて想起できるよう日常生活で関わりのある題材を使用する。 ･児童が特徴を捉えやすいよう物を知覚や身振り等で表現する。

2学期	25	（知及技） ・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉の響きやリズムを真似したりすることができる。（２段階イ－（ア）） ・遊びややり取りを通して、言葉による表現ができる。（２段階イ－（イ）） （思判表力） ・挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現することができる。（２段階Ａ－（エ）） （学・人） ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。（２段階）	（知・技） ・昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉の響きやリズムを真似したりしている。 ・遊びややり取りを通して、言葉による表現をしている。 （思・判・表） ・挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現している。 （主学） ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	【イ我が国の言語文化】 【A聞くこと・話すこと】 おおきなだいこん ・お話を聞こう ・登場人物の動作や台詞を真似しよう ・劇をしよう	・絵を見て登場人物の動作を模倣したり、場面の違いを見比べたりして、イメージを言葉にする。 ・劇遊び等を通して好きな登場人物を選んだり演じたりしながら動作模倣や台詞を表現する。

	10	（知及技） ・いろいろな筆記用具を用いて、書くことができる。（２段階イ－（ウ）㋐） ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きができる。（２段階イ－（ウ）㋑） （思判表力） ・文字に興味をもち、簡単なひらがなをなぞったり書いたりすることができる。（２段階Ｂ－（イ）） （学・人） ・言葉がもつよさを感じるとともに、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。（２段階）	（知・技） ・いろいろな筆記用具を用いて、できるだけ自分で書いている。 ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きをしている。 （思判表力） ・文字に興味をもち、簡単なひらがなをなぞったり書いたりしている。 （主学） ・言葉がもつよさを感じるとともに、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	【イ我が国の言語文化】 【Ｂ書くこと】 かいてみよう ・いろいろな筆記用具で書こう ・なぞってみよう ・直線や曲線を書こう	・文字の形を意識して運筆に親しむために点線、波線、筆順を言語化しながらなぞったり結んだりする。
３学期	15	（知及技） ・日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。（２段階ア－（イ）） （思判表力） ・絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。（２段階Ｃ－ア） （学・人） ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。（２段階）	（知・技） ・考えて日常生活でよく使われている平仮名を読んでいる。 （思・判・表） ・絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべている。 （主学） ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	【ア言葉の特徴や使い方】 【Ｃ読むこと】 なまえなあんだ ・かげえの名前を知ろう、単語を読もう	・自分の名前やものの名前を文字で伝えるために、決まった組み合わせがあることを知り、具体物や絵と文字カードを一致させ、カテゴリーに分ける。 ・名前と実際の物を関連づけて想起できるよう日常生活で関わりのある題材を使用する。 ・児童が特徴を捉えやすいよう物を知覚や身振り等で表現する。
	20	（知及技） ・いろいろな筆記用具を用いて、書くことができる。（２段階イ－（ウ）㋐） ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きができる。（２段階イ－（ウ）㋑） （思判表力） ・文字に興味をもち、簡単なひらがなをなぞったり書いたりすることができる。（２段階Ｂ－（イ）） （学・人） ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。（２段階）	（知・技） ・いろいろな筆記用具を用いて、できるだけ自分で書いている。 ・筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、写し書きやなぞり書きをしている。 （思判表力） ・文字に興味をもち、簡単なひらがなをなぞったり書いたりしている。 （主学） ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	【イ我が国の言語文化】 【Ｂ書くこと】 かいてみよう ・いろいろな筆記用具で書こう ・なぞってみよう ・直線や曲線を書こう	・文字の形を意識して運筆に親しむために点線、波線、筆順を言語化しながらなぞったり結んだりする。
年間を通して	30	（知及技） ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉や身振りで気持ちや要求を表現することができる。（２段階ア－（ア）） （思判表力） ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべることができる。（２段階Ａ－（ア）） （学・人） ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。（２段階）	（知・技） ・身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉や身振りで気持ちや要求を表現している。 （思・判・表） ・身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしている。 （主学） ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしている。	【言葉の特徴や使い方】 【聞くこと・話すこと】 がっこうせいかつ ・あさのかいについて ・かかりについて ・こくごについて ・たいいくについて ・きゅうしょくについて ・そうじについて	・身近な人との関わりの中で発せられる言葉を想起し、やり取りを深め、学校生活の場面に応じた会話や挨拶等をする。
	10	（知及技） ・日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。（２段階アー（イ）） (思判表力) ・絵本などを見て、登場するものや動作などを考えることができる。（２段階Ｃ－ア） (学・人) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。（２段階）	（知・技） ・日常生活でよく使われている平仮名を読んでいる。 (思・判・表) ・絵本などを見て、登場するものや動作などを考えている。 (主学) ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	【言葉の特徴や使い方】 【聞くこと・話すこと】 おはなしできるかな ・振り返り発表 ・写真を見て発表 ・イラストを見て発表	・絵を見て、「どこへ行ったのか」「何を買ったのか」「何をして遊ぶか」「何ができるか」の場面から連想するイメージを表現する。
	30	（知及技） ・読み聞かせに親しんだり，文字を拾い読みしたりして，いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。（２段階イ－（エ）） （思判表力） ・絵本などを見て，好きな場面を伝えたり，言葉などを模倣したりすることができる。（２段階Ｃ－（エ）） （学・人） ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。（２段階）	（知・技） ・読み聞かせに親しんだり，文字を拾い読みしたりして，いろいろな絵本や図鑑などに興味をもっている。 （思・判・表） ・絵本などを見て，好きな場面を伝えたり，言葉などを模倣したりしている。 （主学） ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	【Ｃ読むこと】 本に親しもう （年間を通して） ・絵本の読み聞かせ ・本を借りよう ・どの場面が好き？	・絵本やパネルシアター等で簡単なお話を聞く。 ・図書室を利用し、好きな本を借りる。 ・友達とどの場面が好きなのか話し合ったり、模倣したりする。

留意点 引継ぎ等	

令和７年度 小学部　３年（　Ⅱ課程　）算数科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	３学年　28名	３年担当　11名	「さんすう☆☆」

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)数の概念や表し方および図形、量の大きさの違いがわかり、身の回りのものや身近な出来事とのつながりに関心をもち、簡単な絵や記号を用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付けることができる。(小２段階) (思判表力)ものの数量に着目して数え方や比べ方を考えたり、身の回りにあるものの形に関心をもち、その性質や関係に気付いたりするとともに、身の回りのものや身近な出来事のつながりなどに着目し、簡単な表やグラフを用いてそれらを表現することができる。(小２段階) (学･人)数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら、興味をもって学習に向かうことができる。(小２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	9	(知及技) ものとものとを対応させることによって、ものの個数を比べ同等・多少が分かる。[小2段階Aア] (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に注目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。[小2段階Aア] (学･人)数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持って課題に取り組もうとする。[小2段階]	(知・技) 10までの数が分かり、具体物を数えたり、指定された個数を取ったりしている。 (思･判･表)表示された数字に注目し、指定された数字を３つの数字の中から選んだり、指定された個数を友だちに配ろうとしている。 (主学)具体物を操作する楽しさを味わい、興味関心をもって学習に取り組もうとしている。	【Ａ数と計算】 「くみあわせ①～③ 」 (さんすう☆☆)	・指定された牛乳パックの個数を数えながら取る。 ・具体物の操作を行う。 ・指定された個数の牛乳パックを配る。
	15	(知及技) 色や形、大きさや身近なものを目的、用途及び機能に注目して分類することができる。[小2段階Bア（ア）㋐㋑] (思判表力)ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に注目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすことができる。[小2段階Bイ（イ）㋐] (学･人))図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。[小2段階]	(知・技) 色や形など、違いに注目して、分けている。 (思･判･表)「食べるもの」や「着るもの」などの用途や機能に注目して、イラストカードや写真カードを分類している。 (主学)活動に興味・関心をもって、取り組もうとしている。	【Ｂ図形】 「なかまあつめ①～③ 」 (さんすう☆☆) ①色や形の違いに注目して、分類する。 ②大きさに注目して分類する。 ③「目的」「用途」「機能」に注目して分類する。	・色の違う花を色別に分ける。（色々な物を色別に分ける。） ・積み木を形の違いで分ける。 ・大きさの違うイラストを用意して、仲間分けする。 ・「箸」「ペン」「鉛筆」「フォーク」「スプーン」「クレヨン」などを「食べるときに使う物」「書くときに使う物」など目的別に分ける。
	10	(知及技) 身の回りにある具体物の量の大きさに関わる数学的活動を通して、長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさが分かる。[小2段階Cア（ア）㋐] (思判表力)長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。[小2段階Cア（イ）㋐] (学･人)数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。[小2段階]	(知・技) 具体物を比較して、違いに気づき、量の大きさが分かっている。 (思･判･表)量の大きさを用語を使って、表現したり、選択したりしている。 (主学)活動に興味・関心をもって取り組もうとしている。	【C測定】 「ながい、みじかい 」 (さんすう☆☆)	・長い短い、重い軽い、高い低い、広い狭い、の概念と言葉を結びつける学習 ①リボンの長さ ②水の入ったペットボトルの重さ・バケツ ③くらべっこ（身長、積んだ積み木など） ④新聞紙を敷いてみるなど ・二つの量に注目して、「○○が△△ｎ（長い、短い）」など比較表現を用いて表現する。 ・量の違いと用語のつながりに注目させる。

	14	（知及技）身近なものを目的、用途、機能に着目して分類することができる。[小2段階Dア（ア）ア] （思判表力）身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類することができる。[小2段階Dア(イ)ア] （学・人）ものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、興味を持って分類することができる。[小2段階]	（知・技）身近なものを目的、用途、機能に着目して分類している。 （思・判・表）身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類している。 （主学）ものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、興味を持って分類しようとしている。	【Dデータの活用】 「わけてみよう①」（さんすう☆☆）	挿絵のボール やカゴの色に着目し、具体物や色カードを使って分ける活動を行う。 ・色を変えたり、違う色を混ぜたり、大きさを変えたりして分ける活動を行う。
2学期	15	(知及技）二つの数を比べて数の大小が分かる。[小2段階Aア（ア）オ] (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数のおおきさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。[小2段階Aア（イ）ア] (学･人)数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとすることができる。[小2段階]	(知・技）２つの個数を比べることで「同じ」「多い・少ない」が分かっている。 (思･判･表)比べるために、仲間わけをしたり、整理して並べたり、自分なりの方法で多い、少ないを表現したりしている。 (主学)具体物を操作する楽しさやよさを感じながら、関心をもって学習に取り組もうとしている。	【A数と計算】 「くらべてみよう①～②」（さんすう☆☆） 具体物を使った操作 ①雑然としたものを整理して比べる。 ②身近にある物の数を数えて比べる。 ③1～10までの数を並べて数の階段を作り、隣り合う2つの数字を比べる	・１～５までの範囲で、いろいろなイラストを置き、どのように置いたら何がいくつあることが分かりやすいか考え、整理する。 ・教室にあるものを一緒に数えて、なにが多いか、どうやって比べたらいいか考える。 ・タイル図を使って、数の階段を作り、隣り合う２つの数を比べて、どちらが大きいか考える。
	10	（知及技）大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。[小2段階Bイ（イ）㋐] （思判表力）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。[小2段階Bイ（イ）㋐]) （学・人）形を捉えて分類したり、形を書いたりする活動を通して、身の回りのものの形に興味をもつことができる。[小2段階]	（知・技）大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりしている。 （思・判・表）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりしている。 （主学）形を捉えて分類したり、形を書いたりする活動を通して、身の回りのものの形に興味を示している。	【B図形】 「いろいろなかたち①」（さんすう☆☆）	・丸、三角、四角の形がはっきりした型はめや色板教材を使用し、丸、三角、四角という名称を使って型にはめたり形を合わせたりする。 ・丸、三角、四角の形の特徴を知るために、形の輪郭をなぞったり、形の特徴を表すような言葉で表現して名称と形を結び付ける。 ・様々な材質の丸、三角、四角の形を準備し、材質が違っても形で分類することができるようにする。 ・教科書の挿絵を使用し、絵の中に丸、三角、四角を見つける活動を行う。 ・身の回りのあるものを丸、三角、四角に分類する。（教室内、校内） ・iPadアプリを利用して、身の周りのものの形の仲間集めをするゲームを行う。（どーれかな？仲間探しアプリ）
	15	(知及技）身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。[小2段階Bイ（ア）㋐] (思判表力)身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。[小2段階Bイ（イ）㋐] (学･人)図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。[小2段階]	(知・技）丸、三角、四角の名称が分かり、仲間ごとに分けている。 (思･判･表)身近な物を、形ごとに分けたり、色や大きさが違っても形ごとに集めたりしている。 (主学)活動に興味・関心をもって取り組もうとしている。	【B図形】 「まる、さんかく、しかく①～④」（さんすう☆☆）	・型はめをして、角やまっすぐ、まるまっている、ちくちくしているなどの特徴を知る。 ・学校にあるもので、丸いもの、三角のもの、四角のものをみつけて写真を撮って、紹介する。 ・イラストを見て、丸、三角、四角の仲間に分ける。 ・色々な大きさや色の丸、三角、四角を形ごとに分ける。
	12	(知及技）身の回りにある具体物の量の大きさに関わる数学的活動を通して、長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさが分かる。[小2段階Cア（ア）㋐] (思判表力)長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。[小2段階Cア（イ）㋐] (学･人)数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。[小2段階]	(知・技）具体物を比較して、違いに気づき、量の大きさが分っている。 (思･判･表)量の大きさを用語を使って、表現したり、選択している。 (主学)活動に興味・関心をもって取り組もうとしている。	【C測定】 「おもい、かるい 」 「たかい、ひくい 」（さんすう☆☆）	・長い短い、重い軽い、高い低い、広い狭い、の概念と言葉を結びつける学習 ①リボンの長さ ②水の入ったペットボトルの重さ・バケツ ③くらべっこ（身長、積んだ積み木など） ④新聞紙を敷いてみるなど ・二つの量に注目して、「○○が△△ｎ（長い、短い）」など比較表現を用いて表現する。 ・量の違いと用語のつながりに注目させる。

	10	（知及技）身近なものを目的、用途、機能に着目して分類することができる。[小2段階Dア（ア）ア] （思判表力）身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類することができる。[小2段階Dア(イ)ア] （学・人）ものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、興味を持って分類することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。[小2段階]	（知・技）身近なものを目的、用途、機能に着目して分類している。 （思・判・表）身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類している。 （主学）ものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、興味を持って分類しようとしている。	【Dデータの活用】 「わけてみよう①」（さんすう☆☆）	・挿絵のボールやカゴの色に着目し、具体物や色カードを使って分ける活動を行う。 ・カゴに見本のボールを入れたり、写真を貼ったりするなど、見て分かるような工夫をする。 ・色を変えたり、違う色を混ぜたり、大きさを変えたりして分ける活動を行う。
3学期	10	（知及技）縦や横の線、十字、△や□を書くことができる[小2段階Bイ（ア）㋑] （思判表力）身の回りにある物の形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。[小2段階Bイ（イ）㋐] （学・人）図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味を持って学ぶことができる。[小2段階]	（知・技）縦や横の線を描いたり、線と線をつなげることで、十字、△や□を描いたりしている。 （思・判・表）△や□など形の特徴を自分なりに表現し、伝えようとしている。 （主学）身の回りの物の形に関心を持ち、分けたり、集めたりするなど具体物を操作しながら、自ら学習に取り組もうとしている。	【B図形】 「はたを、つくろう」 「いろいろなかたち②」 （さんすう☆☆）	○線と線をつなげて、△や□が描ける学習 ・△や□をなぞったり、模写する。 ・点描画で描いた線や形（△□）を使って、イラストを描く。 ・学習したことを生かし旗を作成する。
	10	(知及技）身の回りにある具体物の量の大きさに関わる数学的活動を通して、長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさが分かる。[小2段階Cア（ア）㋐] (思判表力)長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。[小2段階Cア（イ）㋐] (学･人)数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。[小2段階]	(知・技）具体物を比較して、違いに気づき、量の大きさが分かっている。 (思･判･表)量の大きさを用語を使って、表現したり、選択したりしている。 (主学)活動に興味・関心をもって取り組もうとしている。	【C測定】 「ひろい、せまい」（さんすう☆☆）	・長い短い、重い軽い、高い低い、広い狭い、の概念と言葉を結びつける学習 ①リボンの長さ ②水の入ったペットボトルの重さ・バケツ ③くらべっこ（身長、積んだ積み木など） ④新聞紙を敷いてみるなど ・二つの量に注目して、「○○が△△ｎ（長い、短い）」など比較表現を用いて表現する。 ・量の違いと用語のつながりに注目させる。
	10	(知及技)簡単な表で使用する○×の記号の意味を理解することができる。[小2段階Dウ（ア）イ] (思判表力)身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現することができる。[小2段階Dウ（イ）ア9 (学･人)算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。[小2段階]	(知・技)簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かっている。 (思･判･表)身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現している。 (主学)○×を用いた表に関心もち、日常生活で活用しようとしている。	【Dデータの活用】 「あたったら、はずれたら」（さんすう☆☆）	・挿絵を見ながら○のカードに注目するように声をかけ、○×の記号の意味を考えるように促す。 ・移動黒板に貼られた表に気付くようにし、表を作って○×のカードを貼っていくことで、ゲームの結果を記録として残せることを確認する。 ・表やカードを作成し、的当てゲームを行う。当たったら「まる」当たらなかったら「ばつ」と声に出して言いながら○×カードを提示し、同時に表に貼る。
年間を通して	20	(知及技）10までの数の数え方や表し方、構成に関わる数学的活動を通して、ものの集まりと対応して、数詞がわかる。[小2段階Aア（ア）イ] (思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で生かすことができる。[小2段階Aア（イ）ア] (学･人)数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとすることができる。[小2段階]	(知・技）10までの数を数唱したり、数字カードを順序よく並べたり、数と数字を対応したりしている。 (思･判･表)聞いた数字を書いたり、数字カードや指で表したり、仲間ごとに並べたりして数えやすいように考えようとしている。 (主学)具体物を操作する楽しさやよさを感じながら、関心をもって学習に取り組もうとしている。	【A数と計算】 「10までのかず かぞえましょう①～④」（さんすう☆☆） ①1，2，3どうぶつえんへ ②絵をみて数える ③音や動作を数える	・1，2，3どうぶつえんへの音楽に合わせて、数字を並べたり、動物の数と対応させて数字カードを置く。 ・イラストなどを見て、仲間ごとに数を数えて表す。 ・タンバリンを叩いた数を一緒に数えたり、指や数字カードで叩いた数を表す。 ・ボウリングゲームなどを通して、倒れたピンの数を数えたり、数字で表したりする。

年間を通して	15	(知及技) 10までの数の数え方や表し方、構成に関わる数学的活動を通して、0の意味について分かる。[小2段階Aア（ア）キ] (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。[小2段階Aア（イ）㋐] (学･人)数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組むことができる。[小2段階]	(知・技) 具体的な量として何もない状態を0と表すことを理解している。 (思･判･表)状態と数字を対応させて、表に0と書くことができたり、自分なりの方法で「ない」と表現しようとしている。 (主学)活動に興味・関心をもって取り組もうとしている。	【A数と計算】 「10までのかず、０の理解」（さんすう☆☆） ①ゲーム等を通して、１つも「ない」がわかるようにする。 ②「ない」を０と表記することを確認する。	・輪投げなどのゲームをして、一つもないことを０で表現する。 ・プリント学習をして、何もないところに０と記入する。 ・0と書く練習をする。
留意点 引継ぎ等					

令和 7年度 小学部　3年（Ⅱ課程）音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年　28名	3年担当　11名	（参考）おんがく☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けることができる。(小2段階) (思判表力)音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができる。(小2段階) (学･人）音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味を持ちながら、音楽経験を生かして、生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。(小2段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技）曲の特徴的なリズムと旋律に気づいて曲の一部分を模唱することができる。（2段階　A表現　ア歌唱（ウ）㋐） (思判表力）歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌や優しい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。（2段階　A表現　ア歌唱（ア）） (学･人）教師と一緒に歌唱をする楽しさを味わうことができる。(2段階)	(知・技）動画を見たり、教師の声を聴いたりして、曲の一部分を真似て歌っている。 (思･判･表）リズムや旋律、歌詞の面白さに気づき、部分的に声を出したり、前に出て歌いたがったりするなど歌いたいという思いを表現している。 (主学)教師と一緒に歌おうと声を出したり、身体を揺らしたりして楽もうとしている。	たのしく うたおう おんがく☆☆ 「はるのおがわ」p.8 「みなみの しまの はめはめはだいおう」p.14 「こぶたぬきつねこ」p.18 「あいあい」p.19 「おはよう くれよん」p.28	・歌詞を身体表現で表す。 ・多様な歌い方で歌う。（全員で歌う、学級ごとに歌う、学級から１人ずつ前に出して歌う、歌いたい児童が前に出て歌うなど） ・特徴的な歌詞や繰り返される歌詞を歌う。 ・パネルシアターを鑑賞した後に、パネルシアターと一緒に歌う。 ・教師と児童、児童と児童で掛け合いをする。 ・風景や動植物などを表した動画や写真を見ながら、曲を鑑賞する。
	6	(知及技）拍や曲の特徴的なリズムに気づき身近な打楽器を演奏することができる。（2段階　A表現　イ器楽（イ）㋐） (思判表力）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。（2段階　A表現　イ器楽（ア）） (学･人)教師と一緒にリズム打ちをする楽しさを味わうことができる。(2段階)	(知・技）簡単なリズム絵譜を見て、手拍子をしたり、楽器を打ったりしている。 (思･判･表)曲のリズムや楽器の音色の面白さに気づき、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとしている。 (主学)リズム打ちを通して自分なりの曲の楽しさを味わおうとしている。	はくにのってりずむをうとう おんがく☆☆ 「あまだれ」p.10 「いろいろな だがっき」p.20 「てを たたきましょう」p.22	・まずは教師の手本を見て、どのように楽器を演奏するのか知る。 ・手拍子→児童に馴染みのある楽器（タンブリン、カスタネットなど）→新しく触れる楽器（太鼓、ウッドブロック、ハンドベルなど）の順でリズム打ちをする。 ・児童が好きな楽器を選んで演奏する。 ・手拍子では、拍を打つ時は手を叩き、休符の時は手をグーにして表現する。 ・児童の実態に合わせて、曲の速さを遅くしたり早くしたりする。
	6	(知及技）拍や曲の特徴的なリズムに気づき、示範を見て模倣することができる。（2段階　A表現　エ身体表現（ウ）㋐） (思判表力）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かすことについて思いをもつことができる。（2段階　A表現　エ身体表現（ア）） (学･人）教師と一緒に身体表現をする楽しさを味わうことができる。(2段階)	(知・技）拍やリズムを意識しながら、示範の動きを模倣したり、身体全体を動かしたりしている。 (思･判･表)自分なりのイメージでゆっくり動いたり、教師の真似をしたい、友だちと一緒に動きたいという思いを表現したりしている。 (主学)身体表現を通して、自分なりの曲の楽しさを味わおうとしている。	リズムにあわせておどろう おんがく☆☆ 「さあ みんなで」p.4 「いっぽんばし こちょこちょ」p.5 「ぷーるで ちゃっぷん」p.13 「せんたく」p.16	・歌詞に合わせて身体表現を行う。 ・教師と児童、児童同士で、複数人で、円になってなど多様な方法で手遊びを楽しむ。 ・速度や強弱などの変化をつけて、曲に合わせて手遊びを楽しむ。 ・CDを活用するだけではなく、ピアノの伴奏に合わせて身体表現を行う。（児童の実態に合わせて、速度や強弱をつける） ・児童が歌いやすい歌詞（繰り返しの歌詞、擬音語・擬態語など）をみんなで歌いながら手遊びを行う。

	6	(知及技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。（２段階B鑑賞ア（イ）） (思判表力）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。（２段階B鑑賞ア（ア）） (学・人）曲や楽器の音色の面白さを味わうことができる。(2段階)	(知及技）身近な人の演奏や自分の生活に身近な音を聴き、好みの音色やフレーズを見つけている。（B鑑賞） (思判表力）パネルシアターや季節の音楽、身の回りの親しみのある演奏を見たり、体を動かし表したりしながら、聴いている。（B鑑賞） (学・人）曲や楽器の音色の面白さを味わうおうとしている。(小2段階)	ようすをおもいうかべよう おんがく☆☆ 「あめふり すいぞくかん」p.12 「おおきな かぶ」p.26 「あめふり くまのこ」p.70	・読み聞かせやパネルシアター、ペープサート、動画などを用いて出てくる言葉や物語の簡単な展開を知る。 ・登場人物の名前や「よいしょよいしょ」などの掛け声の部分を曲に合わせて歌う。 ・児童同士で役割を決め、物語の模倣をする。 ・動画や写真、パネルシアターなどで風景や描写を見せ、雨が降る様子を想像する。 ・歌詞の中に出てくる簡単な動作を曲に合わせて表現する。
２学期	8	(知及技）曲の特徴的なリズムと旋律に気づいて曲の一部分を模唱することができる。（2段階　A表現　ア歌唱（ウ）㋐） (思判表力）歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌や優しい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。（2段階　A表現　ア歌唱（ア）） (学・人）教師と一緒に歌唱をする楽しさを味わうことができる。(2段階)	(知・技）動画を見たり、教師の声を聴いたりして、曲の一部分を真似て歌っている。 (思・判・表）リズムや旋律、歌詞の面白さに気づき、部分的に声を出したり、前に出て歌いたがったりするなど歌いたいという思いを表現している。 (主学)教師と一緒に歌おうと声を出したり、身体を揺らしたりして楽もうとしている。	こえをあわせてうたおう おんがく☆☆ 「ふしぎな ぽけっと」p.67 「やぎさん ゆうびん」p.69 「ふじさん」p.76 「ひらいた ひらいた」p.82 「うさぎ」p.83	・歌詞を身体表現で表す。 ・多様な歌い方で歌う。（全員で歌う、学級ごとに歌う、学級から１人ずつ前に出して歌う、歌いたい児童が前に出て歌うなど） ・特徴的な歌詞や繰り返される歌詞を歌う。 ・パネルシアターを鑑賞した後に、パネルシアターと一緒に歌う。 ・歌いながら歌詞の内容に応じた身体表現を行う。 ・写真や挿絵、動画などで曲に出てくる言葉や情景を想像する。
	6	(知及技）拍や曲の特徴的なリズムに気づき身近な打楽器を演奏することができる。（2段階　A表現　イ器楽（イ）㋐） (思判表力）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。（2段階　A表現　イ器楽（ア）） (学・人)教師と一緒にリズム打ちをする楽しさを味わうことができる。(2段階)	(知・技）簡単なリズム絵譜を見て、手拍子をしたり、楽器を打ったりしている。 (思・判・表)曲のリズムや楽器の音色の面白さに気づき、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとしている。 (主学)リズム打ちを通して自分なりの曲の楽しさを味わおうとしている。	みんなでえんそうしよう おんがく☆☆ 「とけいのうた」p.29 「しろくまの じぇんか」p.49 「なんに なるのかな」p.50 「おもちゃの ちゃちゃちゃ」p.53	・まずは教師の手本を見て、どのように楽器を演奏するのか知る。 ・手拍子→児童に馴染みのある楽器（タンブリン、カスタネットなど）→新しく触れる楽器（太鼓、ウッドブロック、ハンドベルなど）の順でリズム打ちをする。 ・児童が好きな楽器を選んで演奏する。 ・手拍子では、拍を打つ時は手を叩き、休符の時は手をグーにして表現する。 ・児童の実態に合わせて、曲の速さを遅くしたり早くしたりする。 ・リズムに合わせてステップを踏んで楽しむ。
	6	(知及技）拍や曲の特徴的なリズムに気づき、示範を見て模倣することができる。（2段階　A表現　エ身体表現（ウ）㋐） (思判表力）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かすことについて思いをもつことができる。（2段階　A表現　エ身体表現（ア）） (学・人）教師と一緒に身体表現をする楽しさを味わうことができる。(2段階)	(知・技）拍やリズムを意識しながら、示範の動きを模倣したり、身体全体を動かしたりしている。 (思・判・表)自分なりのイメージでゆっくり動いたり、教師の真似をしたい、友だちと一緒に動きたいという思いを表現したりしている。 (主学)身体表現を通して、自分なりの曲の楽しさを味わおうとしている。	リズムにあわせておどろう おんがく☆☆ 「どうぶつに なって」p.38～39 「こぞうの こうしん」p.42 「やきいも ぐーちーぱー」p.44 「じゃんけんぽん」p.51	・歌詞に合わせて身体表現を行う。 ・動物の写真や動画を見て、動物になりきって自由に身体表現を行う。 ・教師と児童、児童同士で、複数人で、円になってなど多様な方法で身体表現を楽しむ。 ・速度や強弱などの変化をつけて、曲や動物の特徴に合わせて身体表現を楽しむ。 ・CDを活用するだけではなく、ピアノの伴奏に合わせて身体表現を行う。（児童の実態に合わせて、速度や強弱をつける） ・児童が歌いやすい歌詞（繰り返しの歌詞、擬音語・擬態語など）をみんなで歌いながら手遊びを行う。

	6	(知及技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。（２段階B鑑賞ア（イ）） (思判表力）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。（２段階B鑑賞ア（ア）） (学･人）曲や楽器の音色の面白さを味わうことができる。(2段階)	(知及技）身近な人の演奏や自分の生活に身近な音を聴き、好みの音色やフレーズを見つけている。（B鑑賞） (思判表力）パネルシアターや季節の音楽、身の回りの親しみのある演奏を見たり、体を動かし表したりしながら、聴いている。（B鑑賞） (学･人）曲や楽器の音色の面白さを味わうおうとしている。(小2段階)	ようすをおもいうかべよう おんがく☆☆ 「おおきな ふるどけい」p.30 「ふしぎな つきよの おんがくかい」p.55 「くらりねっと ぽるか」p.56	・写真や動画などを用いて、秋の夜空の様子や虫が鳴く様子を知る。 ・歌詞の「チクタクチクタク」を歌唱しながら、手足を使って時計の針や振り子の様子を身体表現する。また、「チクタクチクタク」のリズムに合わせて好きな楽器を演奏する。 ・歌詞に出てくる楽器を実際に教師が演奏し、その音や演奏している様子を鑑賞する。 ・クラリネットを演奏している映像を鑑賞する。 ・音楽に合わせて、手拍子を打つ、友達と手拍子を打つ、手で膝を打つなどの身体表現をする。 ・ポルカの音楽に合わせた舞踊の映像を見たり、音楽に合わせて教師と一緒に楽しく踊ったりする。
	5	(知及技）音のつなげ方の特徴の生み出す面白さなどに触れて気づくことができる。（2段階 A表現　ウ音楽づくり（ウ）㋐） (思判表力）音楽作りについての知識や技能を得たり生かしたりしながら音遊びを通して、音のおもしろさに気づくことができる。（2段階　A表現　ウ音楽づくり（ア）㋐） (学･人）教師と一緒に音楽づくりをする楽しさを味わうことができる。(2段階)	(知及技）手拍子に合わせて言葉をつなげたり、言葉の掛け合いをしたりしている。（A表現ーウ音楽づくり） (思判表力）言葉や身体で表現したり、気に入った音を見付けて表現したりしている。（A表現ーウ音楽づくり） (学･人）音楽づくりを通して、自分なりの音の面白さを味わおうとしている。(小2段階)	おとあそびをしよう おんがく☆☆ 「あめの おとを ならしてみよう」p.11 「みんなで ならす がっきのうた」p.24 「いろいろな おと」p.58	・児童から見えないところで楽器を鳴らして、楽器の音の特徴に注目する。 ・強弱をつけたり、速度を変えたりして演奏し、音の違いに注目する。 ・雨の様子を映像で見せた後、雨の音に似ている音色の楽器を鳴らす。（レインスティック、マラカスなど） ・いろいろな楽器を用意し、児童が好きな楽器を選んで特定のリズムに合わせて演奏する。 ・空き瓶を叩く、ビニールをこする、プラスチック容器にビーズを入れて振るなど、身の回りの物を直接鳴らしたり、簡単な手作り楽器を作って鳴らしたりする。
３学期	4	(知及技）曲の特徴的なリズムと旋律に気づいて曲の一部分を模唱することができる。（2段階　A表現　ア歌唱（ウ）㋐） (思判表力）歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌や優しい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。（2段階　A表現　ア歌唱（ア）） (学･人）教師と一緒に歌唱をする楽しさを味わうことができる。(2段階)	(知・技）動画を見たり、教師の声を聴いたりして、曲の一部分を真似て歌っている。 (思･判･表）リズムや旋律、歌詞の面白さに気づき、部分的に声を出したり、前に出て歌いたがったりするなど歌いたいという思いを表現している。 (主学)教師と一緒に歌おうと声を出したり、身体を揺らしたりして楽もうとしている。	こえをあわせてうたおう おんがく☆☆ 「ゆき」p.47 「おしょうがつ」p.84 「うれしい ひなまつり」p.87 「ひのまる」p.88 「きみがよ」p.89	・歌詞を身体表現で表す。 ・多様な歌い方で歌う。（全員で歌う、学級ごとに歌う、学級から１人ずつ前に出して歌う、歌いたい児童が前に出て歌うなど） ・写真や動画などを見て、お正月の様子や雪が降る様子を想像したり国旗の色や形を知ったりする。 ・歌詞に登場する人形を描いたペープサートを揺らしながら歌う。 ・パネルシアターを鑑賞した後に、パネルシアターと一緒に繰り返される歌詞をみんなで歌う。 ・教師と児童、児童と児童で掛け合いをする。
	3	(知及技）拍や曲の特徴的なリズムに気づき身近な打楽器を演奏することができる。（2段階 A表現　イ器楽（イ）㋐） (思判表力）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。（2段階 A表現　イ器楽（ア）） (学･人)教師と一緒にリズム打ちをする楽しさを味わうことができる。(2段階)	(知・技）簡単なリズム絵譜を見て、手拍子をしたり、楽器を打ったりしている。 (思･判･表)曲のリズムや楽器の音色の面白さに気づき、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとしている。 (主学)リズム打ちを通して自分なりの曲の楽しさを味わおうとしている。	みんなでえんそうしよう おんがく☆☆ 「やまの おんがくか」p.56 「おせんべ やけたかな」p.64 「もちつき」p.86	・挿絵やパネルシアターなどの視覚教材を示しながら範唱や範奏をし、動物たちが鳴らす楽器の違いに気付く。 ・曲の中で繰り返されるリズムに合わせて手拍子をしたり、打楽器を叩いたりする。 ・動物のお面を被って好きな動物になりきって楽器を演奏する。 ・輪になって手遊びをする。 ・卓上ベルや木琴などの打楽器や鍵盤楽器を使って、２音の違いを意識して楽器を演奏する。 ・餅つきをしている挿絵や写真、動画を見て、餅つきの様子を想像する。 ・餅をつく人を想像しながら太鼓を叩く。

	3	(知及技）拍や曲の特徴的なリズムに気づき、示範を見て模倣することができる。（2段階　A表現　エ身体表現（ウ）㋐） (思判表力）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かすことについて思いをもつことができる。（2段階　A表現　エ身体表現（ア）） (学･人）教師と一緒に身体表現をする楽しさを味わうことができる。(2段階)	(知・技）拍やリズムを意識しながら、示範の動きを模倣したり、身体全体を動かしたりしている。 (思･判･表)自分なりのイメージでゆっくり動いたり、教師の真似をしたい、友だちと一緒に動きたいという思いを表現したりしている。 (主学)身体表現を通して、自分なりの曲の楽しさを味わおうとしている。	リズムにあわせておどろう おんがく☆☆ 「どれみの　うた」p.60 「かもつれっしゃ」p.78 「あかたすんどぅんち～しーやーぷー～」p.80	・歌詞に合わせた手遊びをする。 ・音階を身体表現で表現する。 ・曲の速度を遅くしたり速くしたりして身体表現を楽しむ。 ・曲に合わせて、教師と一緒に電車ごっこをする。 ・出発進行の合図を笛や打楽器で鳴らす。
	3	(知及技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。（２段階B鑑賞ア（イ）） (思判表力）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。（２段階B鑑賞ア（ア）） (学･人）曲や楽器の音色の面白さを味わうことができる。(2段階)	(知及技）身近な人の演奏や自分の生活に身近な音を聴き、好みの音色やフレーズを見つけている。（B鑑賞） (思判表力）パネルシアターや季節の音楽、身の回りの親しみのある演奏を見たり、体を動かし表したりしながら、聴いている。（B鑑賞） (学･人）曲や楽器の音色の面白さを味わうおうとしている。(小2段階)	ようすをおもいうかべよう おんがく☆☆ 「すけーたーず　わるつ」p.48 「ほしに　ねがいを」p.74	・動画や写真を用いて、スケートをしている様子を想像する。 ・曲に合わせて教師や友達と手を繋いで体を揺らしたり、ジャンプしたりするなどスケートの動きを模倣する。 ・パネルシアターやプラネタリウムを見ながら曲を鑑賞する。 ・曲想に合わせて体を揺らしたり、声を出したりするなど自由な表現を楽しむ。 ・自分の願いごとを書いたカードや星の飾りを飾り付ける活動をした後に、曲を鑑賞する。
留意点 引継ぎ等					

令和　7年度 小学部　3年（　Ⅱ課程　）図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年　28名	3年担当11名	・レッツ工作ピクニック ・あそびのおうさまBOOK　はって ・あそびのおうさまBOOK　ぬって

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。(小２段階) (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。(小２段階) (学･人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとすることができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	8	【Ａ表現】 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、 (知及技）身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。(A表現ア(イ)) (思判表力)材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。(A表現ア(ア))	(知・技）手指や用具を使って、紙を破ったり、丸めたり、つなげたりして表したい形をつくっている。 (思･判･表)紙を破ったり丸めたりした時の感じやそこから生まれる形をもとに表したいことを思いついたり、テーマをもとに表したいことを思いついたりしている。 (主学)紙に進んで働きかけ、いろいろな形に変化させたり紙で何かをつくったりすることを楽しもうとしている。	単元１ 「破って丸めてつなげて」 ・破ってみよう ・丸めてみよう ・貼ってみよう ・つなげてみよう ・つくってみよう	・紙を破ったり、丸めたりして形の変化や音などを楽しむ。 ・破った紙や丸めた紙などを画用紙に貼って、動物や植物、食べ物などに見立てて表現する。 ・紙を筒状にして険や野菜をつくったり、細かく破った紙でくす玉やプールをつくったりして遊ぶ。 材料：新聞紙、花紙、画用紙など 用具：のり、ボンド、ペン、クレヨンなど
	8	(学･人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（2段階）	(知・技）材料を丸めたり、ねじったり、並べたり、積み重ねたり、組み合わせたりするなど、工夫してつくっている。 (思･判･表)材料を触った感じや材料の形をもとに表したいことを思いついたり、テーマをもとに表したいことを思いついたりしている。 (主学)進んで活動に取り組み、つくることを楽しもうとしている。	単元２ 「つくって遊ぼう」 ・粘土でつくろう ・空き箱や段ボールでつくろう	・紙粘土で好きな食べ物の形をつくり、絵の具で色を塗る。（伸ばす、こねる、くっつける、ちぎる、型抜く、つなげるなど） ・つくった食べ物でお店屋さんごっこをして遊ぶ。（ケーキ、クッキー、ラーメンなど） ・空き箱や段ボールをつなげたり、切り離したり、積み上げたりして、タワーやトンネル、お家などをつくる。 ・つくったものを使って遊ぶ。 材料：紙粘土、空き箱、段ボール 用具：絵の具、ヘラ、型抜き、セロテープ、ボンド、カラーペン、色画用紙など
	6		(知・技）色の変化に気付き、色を混ぜたり、色を重ねたりしている。 (思･判･表)新たにつくってみたい色や組み合わせたい色を思いついたり、見つけたりしている。 (主学)進んで活動に取り組み、色の変化を楽しもうとしている。	単元３ 「色の変化を楽しもう」 ・色の足し算 ・色水遊び	・複数の色の絵の具や色水を混ぜて違う色をつくって楽しむ。 ・複数の色のカラーセロファンを重ねて、色の変化を楽しむ。 ・右手に赤、左手に青などそれぞれ違う色を手にのせて、色を混ぜて楽しむ。 材料：絵の具、カラーセロファン、色水など 用具：絵の具、筆、クレヨン、はさみ、のりなど
二学期	12	【Ａ表現】 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、 (知及技）身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。(A表現ア(イ)) (思判表力)材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。(A表現ア(ア))	(知・技）クレヨンや絵の具などの扱いが分かり、自分なりの表現でかいている。 (思･判･表)材料や見たこと、感じたことなどを基に、表したいことを思いついたり見つけたりしている。 (主学)進んで活動に取り組み、かくことを楽しもうとしている。	単元４ 「絵にかいてみよう」 ・自由にかいてみよう ・好きなものをかいてみよう ・絵本を読んでかいてみよう	・いろいろな道具を使って、自由にかく。 ・好きな食べ物や好きな動物などテーマを基にかく。 ・絵本を読んで、感じたことや好きな場面を絵で表現する。 材料：画用紙、とりのこ用紙など 用具：手指、クレヨン、絵の具、筆、ハケ、カラーペン、スタンプ、ローラーなど
	10	(学･人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（2段階）	(知・技）自然物を使って、形を写し出したり形をつくったりしている。 (思･判･表)自然物の色や形、触った感じを基に、表したいことを思いついたり、見つけたりしている。 (主学)を使った表現活動や制作活動に進んで取り組み、かいたりつくったりすることを楽しもうとしている。	単元５ 「自然と遊ぼう」 ・こすり出し ・自然のものでつくってみよう	・葉っぱをこすり出し、浮き出た形で動物や身の回りのものを表現する。 ・大きな葉っぱやどんぐりなどでお面やおもちゃなどをつくる。 ・葉っぱや花びら、木の枝を使って好きなものを表現する。 材料：粘土や草木、新聞紙や折り紙、花紙、段ボールや空き箱、縄や紐、ビニル袋、その他廃材など 用具：クレヨン、カラーペン、のり、接着剤、セロハンテープ、布テープ、ステープラー、はさみ、へらなど
	8		(知・技）カラーセロファンを光にあてることで、色の見え方や感じ方が変わることに気付いている。 (思･判･表)光をあてた時の見え方から、表したいことを思いついたり、見つけたりしている。 (主学)色の重なりや光の輝きに興味をもち、楽しんで活動に取り組んでいる。	単元６ 「光にあててみると」 ・カラーセロファンで遊ぼう ・ランプづくり	・カラーセロファンを使ってステンドグラス風にする。太陽光に当て、色が明るくなったりキラキラして見えたりする感じを楽しむ。 ・カラーセロファンを使ってランプをつくる。部屋を真っ暗にしてランプを灯す。 材料：カラーセロファン、段ボール、ペットボトル、豆電球など 用具：ハサミ、ボンドなど。

三学期	6	【Ａ表現】 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、 (知及技）身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。(A表現ア(イ)) (思判表力)材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。(A表現ア(ア))	(知・技）簡単なモダンテクニックについて知り、身近な材料や用具を使って、かいたりつくったりしている。 (思･判･表)形や色を基にイメージをもって表したり、偶然できた形や色、模様などから自分のイメージをもったりしている。 (主学)いろいろな技法に関心をもち、楽しく取り組もうとしている。	単元７ 「モダンテクニックを使って」 ・いろんなブラシを弾いてみよう ・垂らした絵の具に息を吹きかけよう ・開いてみると、どんな形？ ・つついて、広げて、けずってみよう	・スパッタリング：歯ブラシ、掃除用のブラシ、あく取り網など ・ドリッピング：細い筆、太い筆、手指など ・吹き流し：細いストロー、太いストローなど ・デカルコマニー：画用紙、クリアファイルなど ・マーブリング ・スクラッチ 材料：画用紙、とりのこ用紙など 用具：水彩絵の具、クレヨンやクーピー、こすり出し用の棒、吹き流し用のストローなど
	4	(学･人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（2段階）	(知・技）ハサミで切ることを通してハサミが生む鋭い形の面白さやよさに気づいている。ハサミの扱いが分かり、表したいことを表すために並べ方を工夫している。 (思･判･表)ハサミで切りながら生まれた形を基に、表したいことを思いついたり見つけたりしている。 (主学)ハサミを使って思いのままに切ったり表したりすることを楽しもうとしている。	単元８ 「ハサミのアート」 ・いろんな線を切ってみよう ・いろんな形に切ってみよう ・切って開いてみると ・美容師ごっこ	・ハサミの正しい持ち方、扱い方を知る。 ・ハサミを使い、思いのままに切ってみる。 ・真っすぐに切る、曲線やジグザグに切る、大きく切る、小さく切るなど、表したい形に切る。 ・何重にも折った紙を切って開いて、できた形を見て楽しむ。 ・切ったものを並べたり、重ねたりして自由に貼る、表したい形に貼る。 ・画用紙でカツラをつくってマネキンにセットし、マネキンの髪をハサミで切る美容師ごっこをする。 材料：画用紙、折り紙 用具：はさみ、のり
	8		(知・技）身近な材料や用具を使って、季節をテーマにかいたり、つくったりしている。 (思･判･表)季節をテーマに、材料の形や色、感じたこと、想像したこと、見たことなどから表したいことを思いついたり、見つけたりしている。 (主学)進んで活動に取り組み、かいたりつくったりすることを楽しもうとしている。	単元９ 「季節の飾りをつくろう」 ・正月遊びのおもちゃをつくろう ・正月飾りをつくろう	・季節の行事を知り、飾りやおもちゃをつくって楽しむ。（正月飾り、凧づくり、こまづくり、ひな祭り飾りなど） 材料：画用紙、折り紙、花紙、ビニル袋やシート、紐など 用具：カラーペン、はさみ、のり、セロハンテープや布テープなど
年間を通して		【鑑賞】 身の回りにあるものや自分たちの作品などを鑑賞する活動を通して、 (知及技）自分が感じたことや行ったことを通して、形や色の違いに気づくころとができる。(共通事項ア(ア)) (思判表力)身近にあるものなどの形や色、作品の面白さや楽しさを感じ取ることができる。(2段階、B鑑賞ア（ア）) (学･人)形や色に関わりながら、楽しんで鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じることができる。(2段階)	(知・技）自分や友達の作品を見たり触ったりして感じたことを通して、形や色の違いに気づいている。 (思･判･表)自分や友達の作品を見たり触ったりして、作品の面白さや楽しさを感じ取っている。 (主学)進んで作品を見たり、触ったり、作品について話したり、楽しく鑑賞の活動に取り組もうとしている。	単元10 「ぼくの作品、わたしの作品」 ・じっくり見よう ・比べて見よう	・教師に作品を見せたり、友達と見せ合ったりする。 ・楽しかったことや工夫したことを発表する。 ・作品を展示し、鑑賞する。 ・他学級や他学年の作品を鑑賞する。
		【共通事項】 （知及技）自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気づくことができる。(共通事項ア(ア)) (思判表力)形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。(共通事項ア(イ))	(知・技）かいたりつくったりすることを通して、形や色の違いに気づいたり、形や色を比べて選んだりしている。 (思･判･表)形や色を基にイメージをもってかいたりつくったりしている。また、偶然できた色や形からイメージをもっている。		
留意点 引継ぎ等					

令和 7 年度 小学部　3年（ Ⅱ課程 ）体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年　28名	3学年　11名	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動をしたり、健康な生活に必要な事柄をしたりすることができる。（小２段階） (思判表力)基本的な運動や健康な生活に必要な事柄に慣れ、その楽しさや感じたことを表現したり、感じたことを他者に伝えたりすることができる。（小２段階） (学･人)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養うことができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技）教師の支援を受けながら楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。(A体つくり運動　小２段階ア) (思判表力)基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(A体つくり運動　小２段階イ) (学･人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，基本的な体つくり運動をしようとすることができる。(A体つくり運動　小２段階ウ)	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をしようとしている。 (思･判･表)基本的な体つくりに慣れ、楽しかったことや感じたことを表情や言葉、動作などで表したり教師や友達に伝えようとしている。 (主学)簡単な合図や指示に従って、安全に気を付けて楽しく活動しようとしている。	[体つくり運動] 楽しく体を動かそう	・ウォーミング ・ラジオ体操 ・あつまりっこ（合図を聞いて並ぶ、列に沿って並ぶ） ・リトミック（横に転がる、四つ這い歩き、クマ歩き、片足立ちでバランス）
	7	(知及技）教師の支援を受けながら，楽しく玉入れの活動をすることができる。(Eボールを使った運動やゲーム　小２段階ア) (思判表力)玉入れの活動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(Eボールを使った運動やゲーム　小２段階イ) (学･人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，玉入れの活動をしようとすることができる。（Eボールを使った運動やゲーム　小２段階ウ)	(知・技）教師の支援を受けながらカゴをめがけて玉を投げている。 (思･判･表)玉入れの活動の中で、楽しさや感じたことを表情や言葉、動作などで表したり教師や友達に伝えたりしている。 (主学)順番など玉入れの活動のルールを守り、友達の投げる様子を見たり、競ったり、応援したりしながら玉入れの活動に参加しようとしている。	玉入れをしよう	目標に向かってボール（玉）を投げる運動
	8	(知及技）教師の支援を受けながら，楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。(D水の中での運動　２段階ア) (思判表力)水の中での基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(D水の中での運動2段階イ) (学･人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，水の中での基本的な運動をしようとすることができる。(D水の中での運動小２段階ウ)	(知・技）教師の支援を受けながら水の中で石拾いや輪っかくぐり等の水の中での基本的な運動を行っている。 (思･判･表)水の中での運動で、楽しさや感じたことを表情や言葉、動作などで表したり教師や友達に伝えたりしている。 （主学)「プールサイドは走らない」等のきまりを守って友達と仲良く水の中で遊んだり安全に気をつけて行動している。	「水の中での運動」 水の中で体を動かそう	・動物まねっこ遊び（アヒル、カニ、ワニ） ・石拾い、輪っか取りゲーム ・水中運動（浮く、バタ足、歩く、走る、潜る） ラッコ泳ぎ、サメ泳ぎ、列車ごっこ、フープくぐり等 ・プールへ入るときの流れや約束を知る。 ・プールでの約束を守りながら、安全に遊ぶ。

2学期	7	(知及技）教師の支援を受けながら，楽しく走の基本的な運動をすることができる。(C走・跳の運動小２段階ア） (思判表力)走の基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(C走・跳の運動　小２段階イ） (学･人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，走の基本的な運動をしようとすることができる。(C走跳の運動　小２段階ウ）	(知・技）教師の支援を受けながらコーンを折り返し、最後まで走っている。 (思･判･表)折り返しリレーの中で、楽しさや感じたことを表情や言葉、動作などで表したり教師や友達に伝えたりしている。 (主学)順番やバトンパスなど、折り返しリレーのルールを守り、友達の走る様子を見たり応援したりしようとしている。	[走の運動] 折り返しリレーをしよう	・折り返しのかけっこ ・折り返しリレー
	7	(知及技）教師の支援を受けながら，楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をすることができる。(B器械・器具を使っての運動小２段階ア） (思判表力)器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(B器械・器具を使っての運動　小２段階イ） (学･人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，器械・器具を使っての基本的な運動をしようとすることができる。（B器械・器具を使っての運動　小２段階ウ）	(知・技）教師の支援を受けながら、楽しく器械・器具を使って基本的な運動をしている。 (思･判･表)器械・器具を使っての基本的な運動の中で、楽しさや感じたことを表情や言葉、動作などで表したり教師や友達に伝えたりしている。 (主学)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく活動しようとしている。	[器械・器具を使っての運動] ・サーキット運動をしよう ・マット運動をしよう	・サーキット運動（跳ぶ、四つ這い、跳ねる、走る、しゃがむ） ・マット運動等（横転、） 平均台、ミニハードル、輪っか、ケンケンパー、デコボコブロック等
	6	(知及技）教師の支援を受けながら，楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。(Eボールを使った運動やゲーム　小２段階ア） (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(Eボールを使った運動やゲーム　小２段階ア） (学･人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。(Eボールを使った運動やゲーム　小２段階ウ）	(知・技）教師の支援を受けながら　投げたり蹴ったりなど基本的なボールを使った運動をしている。 (思･判･表)ボールを使った基本的な運動やゲームの中で、楽しさや感じたことを表情や言葉、動作などで表したり教師や友達に伝えたりしている。 (主学)順番など玉入れの活動のルールを守り、友達の投げる様子を見たり、競ったり、応援したりしながら玉入れの活動に参加しようとしている。	「ボールを使った運動やゲーム」 ボール運動をしよう	・ボール運びリレー ・キャッチボール、ドリブル ・転がしドッジボール等
3学期	10	(知及技）教師の支援を受けながら，楽しく走の基本的な運動をすることができる。(C走・跳の運動小２段階ア） (思判表力)走の基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(C走・跳の運動　小２段階イ） (学･人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，走の基本的な運動をしようとすることができる。 （C走・跳の運動　小２段階ウ）	(知・技）教師の支援を受けながら自分のペースで走っている。 (思･判･表)自分のペースで走ることに慣れ、楽しさや感じたことを表情や言葉、動作などで表している。 (主学)コースを守って、友達の走りを見たり応援したり、競ったりしながら最後まで走ろうとしている。	自分のペースで走ってみよう	・5分間走 ・8分間走
	7	(知及技）教師の支援を受けながら，楽しくマットを使っての基本的な運動をすることができる。(B器械・器具を使っての運動　小２段階ア） (思判表力)マットを使っての基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(B器械・器具を使っての運動小２段階イ） (学･人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，マットを使っての基本的な運動をしようとすることができる。(B器械・器具を使っての運動　小２段階ウ）	(知・技）教師の支援を受けながら、ゆりかごや前転がりなどマットを使っての運動をしている。 (思･判･表)マットを使った運動の中で、楽しさや感じたことを表情や言葉、動作などで表したり教師や友達に伝えたりしている。 (主学)順番などマット運動でのきまりを守り、友達の活動を見たり応援したりしながら活動しようとしている。	[器械・器具を使っての運動] マット運動をしよう	・高這い ・丸太転がり、横転がり ・ゆりかご運動 ・かえるの足うち ・前転がり ・後転がり

年間を通して	6	(知及技) 教師の支援を受けながら，音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。（F表現運動　小２段階ア） (思判表力)基本的な表現運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(F表現運動小２段階イ） (学･人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，基本的な表現運動をしようとすることができる。 (F表現運動　小２段階ウ)	(知・技) 身体模倣やリズムダンスなどの活動で、教師の動き模倣したり、音楽に合わせて跳んだりまわったりしている。 (思･判･表)身体模倣やリズムダンスなどの活動の中で、楽しさや感じたことを表情や言葉、動作などで表したり教師や友達に伝えたりしている。 (主学)音楽に合わせることや教師の模倣をすることなど、簡単な決まりを守って活動しようとしている。	[表現運動] 楽しく身体をを動かそう	・身体模倣 ・リズムダンスなど
	6	(知及技) 身体の各部位の名称が分かり、体を清潔にすることや、プライベートゾーンについて知ることができる。(G保健　小２段階ア) (思判表力)(学･人)体調が悪いときやケガをして痛みを感じていることを教師などに知らせたり、手の汚れの状態を見て手洗いしたりすることができる。(G保健　小２段階イ)	(知・技) ・身体の各部位やプライベートゾーンの名称や意味を分かっている。 ・手洗いやうがいの仕方が分かっている。 (思･判･表)(主学)体調が悪いときやケガをして痛みを感じていることを教師などに知らせたり、手の汚れの状態を見て手洗いしたりしようとしている。	[保健] ぼくのからだ、わたしのからだ	・身体の名前 ・手洗い、うがい ・お風呂に入ろう ・プライベートゾーンについて
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 小学部　３年（　Ⅱ課程 ）道徳科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	３学年 28名	３年担当　11名	「ひとりじめ 「あんなに　なかよし だったのに…」 「お日さまとおつきさまのけんか」

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（Ａ：主として自分自身に関すること）・よいことや悪いことの違いが分かり、わがままをしないで規則正しい生活を送り、できることは最後までやり抜こうとする態度を養う。(小2段階) （Ｂ：人との関わりに関すること）・気持ちのよい挨拶や言葉使い、動作などを心がけ、身近にいる人と仲良くし、助け合う心を育てる。（小2段階） （Ｃ：集団や社会との関わりに関すること）・約束やきまりを守り、手伝いや与えられた仕事に進んで取り組む態度を養う。（小2段階） （Ｄ：生命や自然、崇高な物との関わり）・身近な自然に親しみ、動植物に優しく接する心を育てる。（小2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくしようとする心を育てる。 【よりよい学校生活、集団、生活の充実】	○楽しい学校生活	・新しい友だちへ自己紹介をする。 ・学校探検をする。※生活「学校探検」と関連
		・約束やきまりを守り、みんなで使う物を大切にしようとする心を育てる。【規則の尊重】	○みんなでまもろう ○物を大切に扱おう	・校内でどんなきまりがあるか振り返る。（イラストや写真使用） ・物の使いかたのきまりについて確認する。（イラストや写真を使用）
		・友達と一緒に仲良く遊ぶことは、楽しいことに気付き、喜びや良さがわかる。どうしたらもっと仲良く遊ぶことができるのかを考え、たくさんの友達と楽しく遊ぼうとする実践意欲と態度を育てる。【友情、信頼】	○なかよくしようね	・絵本 『ひとりじめ』 『あんなに　なかよし だったのに…』 『お日さまとおつきさまのけんか』　など ・平和学習
		・健康や安全に気をつけ、身の回りを整え、規則正しい生活をしようとする態度を育てる。【節度・節制】	○ちゃんとのたつじん①②	・学校生活の中で具体的な場面を振り返り、気持ちよく過ごすためにどうしたらよいか考える。（イラスト使用） ・家で気持ちよく過ごすために、どうしたらよいか考える。（イラスト使用）
2学期	14	・学校生活の中で、日頃お世話になっている人々を知り、感謝する心を育てる。【感謝】	○ありがとうを伝えよう	・校内でお世話になっている人について知る。 ・お世話になっている人々へ感謝の気持ちを伝える。（言葉、手紙等）
		・よいことと悪いことの区別をして、よいと思うことを進んで行おうとする態度を育てる。 【善悪の判断】	○よいことってなあに？	・イラストの中から、よいことをしている場面を見つける。 ・よいことをしたらどんな気持ちか考える。
		・やさしい気持ちで動物に接しようする心を育てる。【やさしい心】	○しぜんとなかよく	・動物園での校外学習を通して、どんな気持ちで動物に接したらよいか考える。
		・自分のやらなければならない勉強や仕事をしっかりと行おうとする態度を育てる。 【希望と勇気、努力と強い意志】	○がんばる心	・自分の役割を知り、最後までがんばりたいことを考える。 ・がんばったことを振り返り、がんばったらどんな気持ちが確認する。(係活動)
3学期	9	・やさしい気持ちで動植物に接しようとする心を育てる。【自然とふれあう、やさしい心】	○自然となかよく ○自然とふれあう	・どんな気持ちで動植物の世話をすればよいのかについて考える。 ・生き物には命があることを知り、実際に植物を育てて観察記録をつけ、振り返る。
		・友だちや先生と一緒に学級や学校の生活を楽しくしようとする心を育てる。 【よりよい学校生活、集団、生活の充実】	○３年生を振り返ろう ○もうすぐ４年生	・写真を見ながら１年間を振り返り、がんばったことや楽しかったことを発表する。
留意点 引継ぎ等				

令和5年度 小学部3年　外国語　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
0.5/18	3学年 28名	外国語担当教諭 ALT、3年職員	・えいご、にほんご、どうようえほん ・ABCのえほん ・しまじろうのえいごのうたEnglish Songs

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と英語の音声の違いに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。 （思判表力）身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養うことができる。 （学・人）外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。

学期		単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	（知及技）言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ることができる。〈(1) ア〉 （思判表力）身近で簡単な事柄について、注目して見聞きしようとすることができる。〈(2) ア〉 （学・人）対話的な活動や外国の文化に触れながら、英語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	（知・技）言葉を使ってやりとりする様子を見たり、相手とやりとりしたりしている。 （思・判・表）英語によるやりとりの様子を見聞きしている。 （主学）やりとりを楽しみながら、教師と一緒に英語を使おうとしている。	Hello! (Introduction)	ALTの先生の紹介・あいさつのことば ・Hello. ・Nice to meet you. English songs and dance / Games
	1			What's your Name？	名前をたずねる・自己紹介 ・What's your name? ・My name is…. English songs and dance / Games
	1			How are you?	元気ですか？・今の気分 ・How are you? ・I'm___. (good/great/wonderful/hangry/tired/not so good) English songs and dance / Games
	1			How old are you? (Numbers)	年齢をたずねる・数字 ・How old are you？ ・I'm___ years old. ・Numbers 1-10 English songs and dance / Games
	1			1st semester Birthday Party	誕生日おめでとう・数字の復習 ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance
2学期	1	（知及技）外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ることができる。〈(1) イ（イ）〉 （思判表力）既に知っている歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現することができる。〈(3) ①イ（イ）〉 （学・人）対話的な活動や外国の文化に触れながら、英語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	（知・技）外国の文化に触れ、日本との違いを体験的に感じている。 （思・判・表）英語の歌に合わせてダンスをしたり、身振りや手振りを使って表現したりしている。 （主学）やりとりを楽しみながら、教師と一緒に英語を使おうとしている。	What color do you like?	何色が好き？・色 ・What color do you like? ・I like___. (red/blue/yellow/green/orange/purple/pink/brown) English songs and dance / Games
	1			What food do you like?	好きな食べ物は？・食べ物 ・What food do you like? ・I like___. (sushi/ramen/hamburger/spaghetti/pizza/curry and rice/bread/rice) English songs and dance / Games
	1			What fruit do you like?	好きな果物は？・果物 ・What fruit do you like? ・I like___. (banana/apple/orange/strawberry/melon/water melon/pineapple/peach) English songs and dance / Games
	1			What snack do you like?	好きなお菓子は？・お菓子 ・What snack do you like? ・I like___. (chocolates/candies/donuts/cookies/macarons/cupcakes/jellies/marshmallows) ハロウィンのお話 English songs and dance / Games
	1			Halloween Party	トリックオアトリート・色の復習 ・Trick or treat. ・Games（ボーリング、輪投げ、釣りetc.） English songs and dance
	1			What drink do you like?	好きな飲み物は？飲み物 ・What drink do you like? ・I like___. (coffee/tea/Japanese tea/hot chocolate/orange juice/apple juice/coke/water) English songs and dance / Games
	1			2nd semester Birthday Party	誕生日おめでとう・数字の復習 ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance

	1			What toy do you like?	好きなおもちゃは？・おもちゃ ・What toy do you like? ・I like___. (soccer ball/Video Game/iPad/Teddy Bear/Barbie/Lego/RC car/bicycle) English songs and dance / Games
	1			Christmas Party	クリスマスの話・クリスマスソング ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance
3学期	1	（知及技）外国の生活や行事などに触れ、日本と 外国の生活や違いを知ることができる。〈（1）イ（イ）〉 （思判表力）既に知っている歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現することができる。〈（3）①イ（イ）〉 （学・人）対話的な活動や外国の文化に触れながら、英語への関心を高め、進ん	（知・技）外国の文化に触れ、日本との違いを体験的に感じている。 （思・判・表）英語の歌に合わせてダンスをしたり、身振りや手振りを使って表現したりしている。 （主学）やりとりを楽しみながら、教師と一緒に英語を使おうとしている。	What animal do you like?	好きな動物は？・動物 ・What animal do you like? ・I like___. (dog/cat/lion/horse/elephant/rooster/cow/snake) English songs and dance / Games
	1			Who is this? (Family)	だれですか？・家族 ・Who is this/that? ・This is my___. (daddy/mommy/older brother/younger brother/older sister/younger sister) English songs and dance / Games
	1			3rd semester Birthday Party	誕生日おめでとう・数字の復習 ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance
	1			Request Day (Review)	リクエストタイム・復習 English songs and dance / Games
留意点 引継ぎ等					

令和７年度（小学部　３年　Ⅱ課程　）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	
35	３学年　（28名）	３年担当　名	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)実践的な集団活動を通して、友達への関わり方について学び、望ましい人間関係が形成できる。(小２段階) (思判表力)集団の一員として学校生活に必要な係に取り組むことができる。(小２段階) (学・人)様々な集団活動を通して、よりよい学校生活を築こうとすることができる。(小２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	12	学級、学年の一員として集団活動に落ち着いて参加することができる。	・学年、学級開き ・１学期頑張ろう会	・クラスの友達や先生を知る。 ・1学期楽しみなこと、頑張りたいことを選択肢の中から選んで発表する。 （キャリアパスポートの活用）
		友達や教師と話し合いながら目標を選ぶことができる。	・学級目標を考えよう	・学級目標を作る。
		・集団の一員として、自分に何ができるか教師と一緒に考えることができる。	・係活動を決めよう	・自分の係を決める。
		道路の歩き方、横断歩道の渡り方について知ろう。	・交通安全について	・動画や視覚教材を見て、交通安全について知る。 ・実際の横断歩道を教師と一緒に渡る。
		自分の誕生日を知りお祝いされる喜びを感じたり、友達をお祝いしたりする。	・お祝いをしよう	・誕生会の司会、出し物等を教師と一緒に行う。 ・自己紹介を通して自分の好きなことや得意なことの発表をする。
		・校外学習に行く日程や予定に見通しを持つことができる。 ・公共施設で教師と一緒に楽しくマナーを守って過ごすことができる。	・校外学習に行こう	・写真や動画を見て、日程や内容について知る。 ・公共施設の使い方について知る。 ・バスでの過ごし方について知る。
		夏休みの過ごし方を教師と一緒に確認することができる。	・夏休みの過ごし方	・イラストを見ながら規則正しい生活を確認する。
		自分や友達のがんばった様子を、お互いに振り返ることができる。	・１学期の振り返り	・写真や動画を見ながら振り返りを行う。（キャリアパスポートの活用）
２学期	14	２学期楽しみなこと、頑張りたいことを選択肢の中から選んで発表することができる。	・２学期頑張ろう会	・視覚教材を用いて、活動や行事について全体のイメージをもたせる。 ・頑張ることの発表。（キャリアパスポートの活用）
		自分の誕生日を知りお祝いされる喜びを感じたり、友達をお祝いしたりする。	・お祝いをしよう	・誕生会の司会、出し物等を教師と一緒に行う。 ・自己紹介を通して自分の好きなことや得意なことの発表をする。
		・校外学習に行く日程や予定に見通しを持つことができる。 ・公共施設で教師と一緒に楽しくマナーを守って過ごすことができる。	・校外学習に行こう	・写真や動画を見て、日程や内容について知る。 ・公共施設の使い方について知る。 ・バスでの過ごし方について知る。
		避難訓練では、教師と一緒に机の下に潜ったり､避難場所に避難したりする。	・安全に行動しよう（地震津波火災避難訓練）	・「お・は・し・も・ち」の学習をする。 ・安全な避難の仕方について知る。
		運動会について知ることができる。	・運動会について	・写真や動画を見て、日程や内容について知る。 ・事後学習を通して、がんばったことや楽しかったことを振り返る。
		自分や友達のがんばった様子を、お互いに振り返ることができる。	・２学期の振り返り	写真や動画を見ながら振り返りを行う。（キャリアパスポートの活用）
３学期	9	３学期楽しみなこと、頑張りたいことを選択肢の中から選んで発表することができる。	・３学期頑張ろう会	・視覚教材を用いて、活動や行事について全体のイメージをもたせる。 ・頑張ることの発表。（キャリアパスポートの活用）
		自分の誕生日を知りお祝いされる喜びを感じたり、友達をお祝いしたりする。	・お祝いをしよう	・誕生会の司会、出し物等を教師と一緒に行う。 ・自己紹介を通して自分の好きなことや得意なことの発表をする。
		・校外学習に行く日程や予定に見通しを持つことができる。 ・公共施設で教師と一緒に楽しくマナーを守って過ごすことができる。	・校外に行こう	・写真や動画を見て、日程や内容について知る。 ・公共施設の使い方について知る。 ・バスでの過ごし方について知る。
		自分や友達のがんばった様子を、お互いに振り返ることができる。	・３学期、１年間の振り返り	・写真や動画を見ながら振り返りを行う。（キャリアパスポートの活用）

留意点引継ぎ等	

令和7 年度 小学部　4年（Ⅱ課程 ）生活科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
227	４学年　25名	４年担当10名	『せいかつ☆☆』

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けることができる。（小2段階） (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現することができる。（小2段階） (学･人)自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけようとしたり、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりすることができる。（小2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	15	(知及技)身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けることができる。〔小2段階ア(ｲ)〕 (思判表力)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとすることができる。〔小2段階ア(ｱ)〕 (学･人)自分のことに取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたりする態度を養うことができる。〔小2段階ア〕	(知･技)身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思･判･表)必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとしている。 (学･人)一連の活動に自分から取り組み、生活を豊かにしようとする意欲や態度を高めようとしている。	【ア　基本的生活習慣】 単元『じぶんでもやってみよう』(せいかつ☆☆) ･はやね･はやおき ･かたづけをしよう ･きれいにしよう ･しょくじのやくそく ･トイレのやくそく	【寝起き】 ･規則正しい生活を意識する。(定時に寝起きする、寝床の準備や片付けをするなど) 【身の回りの整理】 ･整理の仕方や収納場所や収納の方法などが分かる。(ハンガーに掛けるなど) 【清潔】 ･身体各部や衣服の汚れが理解できる。(汚れた衣服を着替えるなど) 【食事】 ･食事のマナーや態度について分かるようになる。(食事中は立ち歩かない、こぼさず食べるなど) 【用便】 ･一連の流れと共に基本的な方法や態度を身に付ける。(男女の便所を区別する、鍵をかけるなど)
	30	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。〔小2段階イ(ｲ)〕 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。〔小2段階イ(ｱ)〕 (学･人)身近な安全について意欲や自信をもって学んだり、生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階イ〕	(知･技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思･判･表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)身近な安全について意欲や自信をもって学んだり、生活に生かしたりしようとしている。	【イ 安全】 単元『あんぜんにつかおう』(せいかつ☆☆) ･つくろう ･あそぼう	【危険防止】 ･身近な生活にある遊具･器具(はさみ、穴開けパンチ等)の安全な使い方を知る。
	35	(知及技)簡単なきまりのある遊びについて知ることができる。〔小2段階エ(ｲ)〕 (思判表力)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすることができる。〔小2段階エ(ｱ)〕 (学･人)身近な遊びの中で教師や友だちと一緒に関わりを楽しみながら，周囲に働きかけたり判断したりしようとすることができる。〔小2段階エ〕	(知･技)簡単なきまりのある遊びについて知っている。 (思･判･表)身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしている。 (主学)教師や友だちと遊びの場や遊具を共有して関わりを広げようとしている。	【エ 遊び】 単元『いっしょにあそぼう』(せいかつ☆☆) ･みんなでゆうぐあそび ･みんなでおにごっこ ･かたづけできるかな ･もっとあそびたいな	【いろいろな遊び】 ･友達や教師と一緒にいろいろな遊具で遊ぶ。 (エアートランポリン、雲梯棒、滑り台、ブランコ、ジャングルジムなど) ･友達や教師と一緒に簡単なルールのある遊びをする。 (おにごっこ、椅子取りゲーム、かくれんぼ、じゃんけん列車、おもちゃ遊びなど) 【遊具の片付け】 ･友達と協力して、使った道具を元の場所に片付ける。
	30	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。〔小2段階カ(ｲ)〕 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。〔小2段階カ(ｱ)〕 (学･人)自分のことに取り組んだり、周りの人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階カ〕	(知･技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思･判･表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、周りの人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【カ 集団】 単元『かかりのしごと』(せいかつ☆☆) ･いろいろなかかりをやってみよう	【集団の参加や集団内での役割】 ･集団活動で簡単な係活動を果たす。

	30	(知及技)簡単な手伝いや仕事について知ることができる。〔小2段階キ(ｲ)〕 (思判表力)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとすることができる。〔小2段階キ(ｱ)〕 (学・人)自分のことに取り組んだり、周りの人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階キ〕	(知・技)簡単な手伝いや仕事について知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、周りの人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【キ　手伝い・仕事】 単元『せんせいのおてつだいをしよう』(せいかつ☆☆) 単元『そうじをしよう』(せいかつ☆☆) ・そうじ ・せいりせいとん ・あとかたづけ	【手伝い】 ・できるだけ自分で、印刷物を配ることや教室へ教材の運搬の手伝いをする。 ・簡単な道具や器具を教師と一緒に使用して、作業の手伝いをする。 【戸締まり】 ・扉や窓の開閉と同時に施錠方法を知り、どのようなときに開け、どのようなときに閉めるのかを理解する。 【整理整頓】 ・できるだけ自分で机やロッカーなどの中を整理することのほか、友達が使った物や学級の備品についても整理する。 【掃除】 ・掃除用具の名称や使い方が分かり、できるだけ一人で、簡単な掃除をする。 【後片付け】 ・使用した道具の片付けをする。 ・友達からの言葉掛けでも片付けることができる。 ・友達と協力しながら片付ける。
	15	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。〔小2段階ケ(ｲ)〕 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。〔小2段階ケ(ｱ)〕 (学・人)自分のことに取り組んだり、周りの人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階ケ〕	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、周りの人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【ケ　きまり】 単元『がっこうのきまり』(せいかつ☆☆) ・みんなでまもるときもちがいいね ・じかんのきまり 単元『せいかつのきまり』(せいかつ☆☆) ・どうろをあるくとき・のりものをつかうときのきまり ・あそんでもよいばしょ 単元『しょくじのマナー』(せいかつ☆☆)	【学校のきまり】 ・学校生活では、廊下の右側通行、靴を履き替える場所、登校時刻や下校時刻など様々なきまりがあることに気付くとともに、それを守る。 【日常生活のきまり】 ・信号を守って横断する、停留所や駅などでは並んで順番を待つ、順番を守って乗り物の乗降をする、決められた場所で遊ぶなど。 【マナー】 ・正しい姿勢で食事をする、食事中は席に座っている、口に食物が入っているときは話さないなど、身近な生活におけるマナーを、実際に守る。
	20	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。〔小2段階サ(ｲ)〕 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。〔小2段階サ(ｱ)〕 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階サ〕	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【サ　生命・自然】 単元『みつけにいこう！はる・なつ・あき・ふゆ』(せいかつ☆☆)	【自然との触れ合い】 ・季節によって自然が変化することに気づく。
1学期	6	(知及技)簡単なきまりやマナーについて知ることができる。〔小2段階ケ(ｲ)〕 (思判表力)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。〔小2段階ケ(ｱ)〕 (学・人)自分のことに取り組んだり、周りの人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階ケ〕	(知・技)簡単なきまりやマナーについて知っている。 (思・判・表)身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、周りの人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【ケ　きまり】 単元『じぶんやみんなのもの・みんなのばしょ』(せいかつ☆☆) ・じぶんのものとともだちのもの ・きまったばしょ	【自分の物と他人の物の区別】 ・他人の物や学校の物品を無断で持ち出さない。 ・校内の決められた場所について、訪問したり使用したりするに当たって、挨拶をしたり許可を得たりすることが必要な場合があることなど、決まりやマナーがあることについて知る。
	6	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。〔小2段階サ(ｲ)〕 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。〔小2段階サ(ｱ)〕 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階サ〕	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【サ　生命・自然】 単元『そらとてんき』(せいかつ☆☆) ・きょうのてんき・あしたのてんき ・ひる・よる	【季節の変化と生活】 ・天候の変化に関心をもつ。(晴れ、くもり、雨) ・昼と夜の違いに気づく。(昼は太陽、明るい、影ができる。夜は月、星、暗いなど)
	7	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。〔小2段階イ(ｲ)〕 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。〔小2段階イ(ｱ)〕 (学・人)身近な安全について意欲や自信をもって学んだり、生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階イ〕	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)身近な安全について意欲や自信をもって学んだり、生活に生かしたりしようとしている。	【イ　安全】 単元『きをつけてあるこう』(せいかつ☆☆) ・おうだんほどう ・ふみきり 単元『さいがいや　じこから　じぶんをまもろう①』(せいかつ☆☆) ・かじになったら	【危険防止】 ・身近な生活にある遊具・器具(はさみ、穴開けパンチ等)の安全な使い方を知る。 【交通安全】 ・歩行者用信号機の意味を知る。 ・安全な歩行の仕方(横断歩道、歩道、手を上げる)が分かる。 【避難訓練】 ・避難について知る。 ・災害(地震、火事)時の適切な行動について知り、教師と一緒に安全に避難する。

2学期	2	(知及技)身近な人との接し方などについて知ることができる。〔小2段階オ(ｲ)〕 (思判表力)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをすることができる。〔小2段階オ(ｱ)〕 (学・人)周りの人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階オ〕	(知・技)身近な人との接し方などについて知っている。 (思・判・表)身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしている。 (主学)周りの人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【オ　人との関わり】 単元『わたしとかぞく』(せいかつ☆☆) ・おとうさん・おかあさん ・きょうだいのなまえ	【自分自身と家族】 ・家族の名前が分かり紹介したり、家族の名前を尋ねられたときに応じたりする。
	5	(知及技)身近な生命や自然について知ることができる。〔小2段階サ(ｲ)〕 (思判表力)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとすることができる。〔小2段階サ(ｱ)〕 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階サ〕	(知・技)身近な生命や自然について知っている。 (思・判・表)身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【サ　生命・自然】 単元『いきものとなかよし』(せいかつ☆☆) ・どうぶつにあいにいこう ・どうぶつのおせわをしよう ・そだてかたずかん	【動物の飼育】 ・動物園等(子どもの国等)で動物に触れたり、餌やりをしたりし興味関心をもつ。
	2	(知及技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けることができる。〔小2段階イ(ｲ)〕 (思判表力)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすることができる。〔小2段階イ(ｱ)〕 (学・人)身近な安全について意欲や自信をもって学んだり、生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階イ〕	(知・技)安全や防災に関わる基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとしている。 (主学)身近な安全について意欲や自信をもって学んだり、生活に生かしたりしようとしている。	【イ　安全】 単元『さいがいや　じこから　じぶんをまもろう②』(せいかつ☆☆) ・じしんがきたら	【避難訓練】 ・避難について知る。 ・災害(地震、火事)時の適切な行動について知り、教師と一緒に安全に避難する。
	2	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。〔小2段階コ(ｲ)〕 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。〔小2段階コ(ｱ)〕 (学・人)周りの人々や社会、自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階コ〕	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)周りの人々や社会、自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 単元『わたしのまわりのひとたち ・あいにいこう』(せいかつ☆☆) ・なにをするところかな	【学校】 ・学校にある教室の名称や主な用途が分かる。 ・学校で働く様々な人に関心をもつことができる。
	6	(知及技)金銭の扱い方などを知ることができる。〔小2段階ク(ｲ)〕 (思判表力)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。〔小2段階ク(ｱ)〕 (学・人)自分のことに取り組んだり、周りの人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階ク〕	(知・技)金銭の扱い方などを知っている。 (思・判・表)身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物をし、金銭の大切さや必要性について気付いている。 (主学)自分のことに取り組んだり、周りの人々や社会に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【ク　金銭の扱い】 単元『おかねはたいせつ』(せいかつ☆☆) ・おこづかいをもらったら 単元『かいもの』(せいかつ☆☆) ・れんしゅうをしてみよう ・おみせにいってみよう ・なんていえばいいかな 単元『なにをかおうかな』(せいかつ☆☆) ・どうやってかうのかな	【金銭の扱い】 ・実際に金銭を支払い、金銭の価値を徐々に理解する。 ・お年玉やお小遣いなど、自分の金銭を財布や貯金箱に大切に保管することやその使い方を知る。 【買い物】 ・買い物ごっこで買い物の練習をする。 ・少しの支援で買い物をする。 ・できるだけ自分で買い物をし、「これ、ください」など、買い物に必要な言葉を使うこと、決まった額の買い物をすること、商店などで品物を選んで買うことができる。
	4	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。〔小2段階コ(ｲ)〕 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。〔小2段階コ(ｱ)〕 (学・人)周りの人々や社会、自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階コ〕	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)周りの人々や社会、自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 単元『わたしたちのまち』(せいかつ☆☆) ・なにをうっているおみせかな	【いろいろな店】 ・教師と一緒に買い物に行き、いろいろな種類の店やそこで販売している商品に関心をもつ 【社会の様子】 ・自分の住む町の公共施設やいろいろな商店、河川や山、公園などの様子に関心をもつ。

3 学 期	5	(知及技)簡単な係活動などの役割について知ることができる。〔小2段階カ(イ)〕 (思判表力)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとすることができる。〔小2段階カ(ア)〕 (学・人)自分のことに取り組んだり、周りの人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階カ〕	(知・技)簡単な係活動などの役割について知っている。 (思・判・表)身近な集団活動に参加し、簡単な係活動をしようとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、周りの人々に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【カ　集団】 単元『いっしょにしよう』(せいかつ☆☆) ・かかりをきめておたのしみかいをしよう ・おみせやさんのじゅんびをしよう ・おみせやさんごっこをしよう	【集団の参加や集団内での役割】 ・集団活動で簡単な係活動を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・友達と一緒に作業に取り組む際には互いに協力して楽しく活動に取り組める。
	3	(知及技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。〔小2段階コ(イ)〕 (思判表力)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとすることができる。〔小2段階コ(ア)〕 (学・人)周りの人々や社会、自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階コ〕	(知・技)身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知っている。 (思・判・表)教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとしている。 (主学)周りの人々や社会、自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【コ　社会の仕組みと公共施設】 単元『のってみよう』(せいかつ☆☆) ・でんしゃ・バス ・いろいろなのりもの	【交通機関の利用】 ・モノレールなどを利用し、切符を購入したり料金を支払ったりすることに慣れるとともに、いろいろな交通機関があることを知る。
	4	(知及技)身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。〔小2段階シ(イ)〕 (思判表力)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとすることができる。〔小2段階シ(ア)〕 (学・人)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとすることができる。〔小2段階シ〕	(知・技)身近にあるものの仕組みや働きについて知っている。 (思・判・表)身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自然に積極的に関わったり、意欲と自信を持って学び、その学びを生活に生かしたりしようとしている。	【シ　ものの仕組みと働き】 単元『かぜやゴムのちから』(せいかつ☆☆) ・ゴムのちから ・ゴムでうごかそう	【ゴムの力の働き】 ・ゴムの力は、物を動かすことができることに気付く。 ・輪ゴム、筒ロケット、風船、トランポリン等
留意点 引継ぎ等					

令和 7 年度 小学部　4年（ Ⅱ課程 ）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	4学年　25名	4年担当10名	こくご☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。(小２段階) (思判表力)言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いを持つことができる。(小２段階) (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。(小２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	20	(知及技)身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。(ア言葉の特徴や使い方 (ｳ)) (思判表力)体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。(A聞くこと･話すこと ウ) (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。(小2段階)	(知・技)物の名前や動作を表す言葉などを表出しようとしている。 (思･判･表)体験したことや自分の伝えたいことを考えたり、言葉で表現しようとしたりしている。 (主学)いろいろなことが言葉で表せることを知り、自分なりに表現しようとしている。	単元1:あつめてみよう(こくご☆☆) ･ぱーてぃ ･うみ ･えんそく	○楽しかった経験などから、それぞれの場面で使う物とその名前を思い浮かべたり、それらを絵や実物と一致させたりして、いろいろな言葉に触れる学習をする。
	15	(知及技)身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。(ア 言葉の特徴や使い方 (ウ)) (思判表力)身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。 (A 聞くこと・話すこと　ア) (学･人)言葉を組み合わせて表現することに興味・関心を持ち、自分なりの表現方法で、より詳しく相手に伝えようとしている。 (小２段階)	(知・技)絵やイラストを見て、二語文で表現しようとしている。 (思･判･表)身近な人の話を聞いて、簡単な単語を聞き取り、思い浮かべようとしている。 (主学)二語文の表現に興味・関心を持ち、より詳しく相手に伝えようとしている。	単元２：くわしくはなそう(こくご☆☆) ･いろ 「○○い△△」 ･はんたいことば 「大きい、小さい」 「多い、少ない」 「長い、短い」 「重い、軽い」 ･だれのなに 「○○の△△」	○日常生活で耳にする二語文の言葉の表現（詳しく話すこと」に興味・関心をもてるようにし、より詳しく相手に伝えることができるように学習する。
2学	15	(知及技)身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。(ア 言葉の特徴や使い方 (ウ)) (思判表力)身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。 (A 聞くこと・話すこと　ア) (学･人)言葉を組み合わせて表現することに興味・関心を持ち、自分なりの表現方法で、より詳しく相手に伝えようとしている。 (小２段階)	(知・技)名詞や助詞、動詞の言葉を繋げて表現しようとしている。 (思･判･表)友達の話を聞いて、語句などを思い浮かべようとしている。 (主学)二語文の表現に興味・関心を持ち、より詳しく相手に伝えようとしている。	単元３：くわしくはなそう（こくご☆☆) ･なにをするのかな① 名称と動作の言葉を繋げて表現 ･なにをするのかな② 「○○を△△」 ･「わ」と「は」 「○○は△へ　いきます」	○日常生活で耳にする二語文の言葉の表現（詳しく話すこと」に興味・関心をもてるようにし、より詳しく相手に伝えることができるように学習する。

学期					
	20	(知・技) 日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。(ア 言葉の特徴や使い方-(イ)) (思判表力)教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。(C 読むこと - ア) (学・人)いろいろなことが文字で表せることを知り、読むことに関心を持つことができる。(小２段階)	(知・技)絵や写真に添えられている文字を、拾い読みしようとしている。 (思・判・表)絵本の読み聞かせを聞き、絵本に登場したものを思いだそうとしている。 (主学)平仮名への関心を持ち、主体的に文字を見つけたり、読もうとしたりしている。	単元４：ひらがなを読んでみよう(こくご☆☆) ・五十音 ・濁音、半濁音、拗音 ・似ている文字	○五十音表の中から知っている平仮名を探したり、身近な物の名前を、絵と平仮名によって示されたカードなどを読んだりする学習をする。 ○教師や友達と一緒に声に出して平仮名を読み、濁音と半濁音の違い、文字の形の特徴を知る学習をする。
	20	(知及技)身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求などを表していることを感じることができる。(ア言葉の特徴や使い方(ｱ)) (思判表力)自分の名前や物の名前を文字で表すことが出来ることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。(B書くこと　イ) (学・人)いろいろなことが文字で表せることを知り、書くことに関心を持つことができる。(小２段階)	(知・技)画数の少ない簡単な平仮名を書こうとしている。 (思・判・表)自分の名前や物の名前が文字で表されることを知り、書いたりなぞったりしようとしている。 (主学)書くことに関心を持って学習に取り組もうとしている。	単元５：ひらがなをかいてみよう(こくご☆☆) ・平仮名 ・名前 ・物の名前	○一筆で書ける文字の学習から、止め、はね、はらいを意識して書く学習をする。 ○自分の名前、物の名前を書く学習をする。
３学期	20	(知及技) いろいろな筆記用具を用いて書くことに親しむことができる。(イ我が国の言語文化(ｳ)㋐) (思判表力) 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手がかりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。(B書くこと　ア) (学・人) いろいろなことが文字で表せることを知り、書くことに関心を持つことができる。(小２段階)	(知・技)いろいろな筆記用具で文字を書こうとしている。 (思・判・表)写真やイラストを見て書きたいことことを考えたり、選んだりしている。 (主学)書く活動に意欲的に取り組もうとしている。	単元６：ひらがなをかいてみよう(こくご☆☆) ・習字 ・たてがき ・自己紹介 ・絵日記 ・カード ・手紙	○いろいろな筆記用具を活用して、書きたいものを選んで書く学習をする。 ○止め、はね、はらいを意識して書く学習をする。
	20	(知及技) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などの模倣をしたりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(イ我が国の言語文化に関する事項　(ｱ)) (思判表力) 絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。(C読むこと　エ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。(小２段階)	(知・技)教師の手本を見たり、教師と一緒に言葉や動きを模倣したりしている。 (思・判・表)好きな場面を自分なりの方法で伝えようとしている。 (主学)読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	単元７：うさぎとかめ(こくご☆☆) ・読み聞かせ ・登場人物の確認 ・場面の大体を捉える ・台詞の模倣 ・劇	○言葉の響きやリズムに親しみながら、好きな台詞や場面に注目したり、挿絵やうさぎとかめのやり取りを手がかりにして、うさぎとかめの物語の大体を捉えたりする。

年間を通して	35	(知・技)日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。（ア 言葉の特徴や使い方-（イ）） (思判表力)教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。（C 読むこと - ア） (学・人)いろいろなことが文字で表せることを知り、読むことに関心を持つことができる。（小２段階）	(知・技)絵や写真に添えられている文字を、拾い読みしている。 (思・判・表)日常生活でよく使われている表示などに気付いたり、読もうとしたりしている。 (主学)平仮名への関心を高め、主体的に文字を見つけたり、読もうとしたりしている。	単元８：ひらがなを読んでみよう（こくご☆☆） ・名前 ・時間割 ・給食メニュー ・好きな文字	○日常生活で使われているひらがなを読む学習をする。 ○実態に合わせて一文字や単語、文章など読むものを変えて学習する。
	35	(知及技)昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（イ 我が国の言語文化-（ア）） (思判表力)絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。（C 読むこと-エ） (学・人)いろいろな種類の絵本や図鑑などに興味を持つことができる。（小２段階）	(知・技)読み聞かせを通して、繰り返しのフレーズや韻や言葉の表現に気付き、模倣しようとしている。 (思・判・表)好きな場面や登場人物等を指さしたり、気に入った言葉などを模倣したりしようとしている。 (主学)いろいろな絵本を借りたり、読み聞かせでは興味をもって見たり聞いたりしようとしている。	単元９：ひらがなをかいてみよう（こくご☆☆） ・名前 ・時間割 ・給食メニュー ・好きな文字	○実態に合わせてなぞりや自分で書くなど学習内容を設定する。 ○図書室を利用し、自分の読みたい本を探したり、見たりする。
	10	(知及技)身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。(ア 言葉の特徴や使い方（ウ)) (思判表力)身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。（A聞くこと・話すこと　ア） (学・人)言葉を組み合わせて表現することに興味・関心を持ち、自分なりの表現方法で、より詳しく相手に伝えようとしている。（小２段階）	(知・技)見聞きしたり体験したりしたことを、簡単な言葉で相手に伝えようとしている。 (思・判・表)具体物や写真などを手掛かりにし、伝えたいことを選び、表現しようとしている。 (主学)自分なりの方法で、自分の気持ちを相手に伝えようとしている。	単元10：くわしくはなそう（こくご☆☆） ・自分の伝えたいことを話そう ・楽しかったこと、頑張ったことを話そう	○今日の出来事、授業で頑張ったことや楽しかったことを自分なりの表現方法で他者に伝える学習をする。
留意点 引継ぎ等					

令和　7　年度 小学部　4年（　　Ⅱ課程　　）算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	４学年　22名	４年担当10名	さんすう☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思・判・表)思考・判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）数の概念や表し方および図形、量の大きさの違いがわかり、身の回りのものや身近な出来事とのつながりに関心をもち、簡単な絵や記号を用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付けることができる。（小2段階） (思判表力)ものの数量に着目して数え方や比べ方を考えたり、身の回りにあるものの形に関心を持ち、その性質や関係に気づいたりするとともに、身の回りのものや身近な出来事のつながりなどに着目し、簡単な表やグラフを用いてそれらを表現することができる。（小２段階） (学・人)数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら、興味をもって学習に向かうことができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技）個数を正しく数えたり書き表したりすることができる。〔小２段階　A数と計算　ア（ア）㋐　〕 (思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。〔小２段階　A数と計算　ア（イ）㋐〕 (学・人）数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとすることができる。〔小学部7段階a数と計算〕	(知・技）数字カードを見て、正しく読んだり、数字を聞いて書いたり数字カードを提示したりしている。 (思・判・表）ものとの関係に着目し、個数を数えて、それと同じ数字カードを選んだり、書いたり、読んだりしている。 (主学）算数の活動に興味をもち、一緒に数えたり、数字を書いたり、カード作りをしようとしている。	カードづくり①②③ 10までのかず　みえないものをかぞえる 10までのかず　うごきをかぞえる ☆☆P24～P27 P32～P33	○カード作り ・1～10までの数字カード作り（難しい場合はなぞったり、１～５、６～１０と分けて行う。） ・なぞり書きができるプリントを用意し、練習する。 ・イラストカードと数字カードのマッチング ・カードに書かれた数だけおはじきを並べる ○10までのかず ・たいこやタンバリンなど音の出る物を叩いて、何回叩いたか数えるゲーム ・ジャンプしたり、風船を叩いたりした動きを数えるゲーム
	25	(知及技）数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いることができる〔小２段階　A数と計算　ア（ア）㋑〕 (思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。〔小２段階　A数と計算　ア（イ）㋐〕 (学・人）数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとすることができる。〔小学部2段階A数と計算〕	(知・技）順序数と集合数の違いがわかっている。 (思・判・表）順序数と集合数の質問の違いに気づき、イラストなどを用いながら、答えようとしている。 (主学）数を用いて順番や位置を表せることに関心をもち、自ら活動に取り組もうとしている。	なんばんめ？ ☆☆P44～49 解説P134～137	○順序数と集合数の理解を深める学習 ・たくさんある物（消しゴム、人形など）の中から10個取り、横や縦に並べる。 ・問題（右から○番目、左から○番目等）を読んで、指定されたものを選ぶ。 ・問題（右から△個、上から△個等）を読んで、指定された個数を取る。
	20	(知及技）縦や横の線、十字、△や□を書くことができる〔小2段階B図形イ（ア）㋑〕 (思判表力）身の回りにある物の形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。〔小2段階B図形イ（イ）㋐〕 (学・人）図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさや良さを感じながら興味を持って学ぶことができる。〔小2段階B図形〕	(知・技）縦や横の線を描いたり、線と線をつなげることで、十字、△や□を描いたりしている。 (思・判・表）△や□など形の特徴を自分なりに表現し、伝えようとしている。 (主学）身の回りの物の形に関心を持ち、分けたり、集めたりするなど具体物を操作しながら、自ら学習に取り組もうとしている。	△や□を描いてみよう ☆☆P22～23 解説P166～167	○線と線をつなげて、△や□が描ける学習 ・△や□をなぞったり、模写する。 ・点描画で描いた線や形（△□）を使って、イラストを描く。
2学期	20	(知及技）身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類することができる。 〔小2段階B図形ア（ア）㋑〕 (思判表力）ものの色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすことができる。〔小2段階B図形ア（イ）㋐〕 (学・人）なかまあつめの学習に興味関心をもって、学ぶことができる。〔小2段階B図形〕	(知・技）身近なものの目的や用途、機能に着目して、わけようとしている。 (思・判・表）食べる時に使う物で分けたり、図工で使う物でも同じ物同士で分けたり、共通点や相違点について考えて、わけようとしている。 (主学）自分なりに考えて、なかまあつめをしたり、片付けしようとしたりしている。	なかまあつめ④～⑥ ・食べる時に使う物、書くときに使う物 ・くれよんとはさみ ・色々な靴をわける（お片付け）	○ものを「目的」「用途」「機能」に着目して分類する。 ・「箸」「フォーク」「スプーン」「ペン」「鉛筆」「クレヨン」をわける。 ・「クレヨン」「ハサミ」をわける。 ○ものを「用途」や「色」や「大きさ」に着目して分類する。 ・色々な靴をわける。 ・洗濯物を分けて片付ける。
	20	(知及技）二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。〔小2段階　C測定ア（ア）㋑〕 (思判表力）長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を規準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりできる。〔小2段階　C測定　ア（イ）㋐〕 (学・人）数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。〔小２段階〕	(知・技）大きさや長さ、重さなどの量の違いに気づき、並べたり重ねたりしながら感覚的に直接比べている。 (思・判・表）二つのものの量に着目し、並べたり重ねたりなど工夫して比較し、気づいたことを表現している。 (主学）身の回りにある物の量の違いに興味を持って学習に取り組み、学習や生活にいかそうとしている。	比べてみよう ☆☆P34～49	○大きい小さい、長い短い、重い軽いの概念と言葉を結びつける学習 ・ボールの大きさ、鉛筆やペンの長さ、砂や水の重さなどを用いて、どちらが大きい（小さい）、長い（短い）、重い（軽い）など、直接比較する。 ・二つの量に着目して「○○が△△（大きい・小さい、長い・短い、重い・軽い）」など、比較表現を用いて表現する。 ・量の違いと用語のつながりにも注目させる。 ○高い低い、広い狭い、厚い薄い、深い浅いの概念と言葉を結び付ける学習 ・相対的な関係を理解できるようにする。（様々な具体物を取り上げて、比べた場合の関係性は比べる物の対象により変化することに触れる。
	20	(知及技）一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すことができる。〔小２段階　A数と計算　ア（ア）㋐　〕 (思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。〔小２段階　A数と計算　ア（イ）㋐　〕 (学・人）)数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとすることができる。〔小２段階〕	(知・技）具体物を操作して、一つの数を二つに分けたり、二つの数を一つにまとめたりしている。 (思・判・表）具体物を操作して、分けたりまとめたりした数を数字で表したり、「いくつといくつ」「○と△でいくつ」などの言葉で表現している。 (主学）活動に興味関心をもって、楽しんで取り組む様子が見られる。	いくつといくつ ☆☆P52～63	○10までの範囲の数において、一つの数を二つに分けたり、二つの数を一つにまとめたりする活動。 ・３までの数でおはじきを使って行う。 ・赤4個、青4個のおはじきが入っている箱からおはじきを５こ取り出す活動。 ・ボールを使っての活動 ・ブロックを使っての活動
3学期	20	(知及技)二つの数を比べて数の大小が分かる。〔小２段階　A数と計算　ア（ア）㋐　〕 (思判表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。〔小２段階　A数と計算　ア（イ）㋐　〕 (学・人)数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとすることができる。〔小学部2段階A数と計算〕	(知・技)数字や数詞、タイルなどの数を比べて、数の大小が分かっている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数を数えたり、数の大きさの比べ方、表し方について考え、自分なりに表現しようとしている。 (主学)くらべっこゲームに楽しんで参加したり、数字をタイルで表したりしている。	くらべてみよう ☆☆P40～43	○10までの数の範囲で、二つの数を比べ、数の大小を学習する。 ・数字を１～10まで順番に並べる ・10の階段のタイルの数を数えて数詞を言い、数字を当てはめる。 ・10の階段の隣り合う二つの数の大小を比べる。 ○数詞や数字だけで数の大小を判断できるようにする。 ・カードを出し合って、どっちが多いゲームをする。
	25	(知及技）10の補数がわかる。〔小２段階　A数と計算　ア（ア）㋒　〕 (思判表力）)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。〔小２段階　A数と計算　ア（イ）㋐　〕 (学・人）数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとすることができる。〔小２段階〕	(知・技）10の補数が分かる。 (思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (主学）数字をタイルで表したり、タイルの数の変化に注目したりしている。	10はいくつといくつ ☆☆P64～65	○１～10までの数の合成・分解 ・10に並べたタイルを数える。 ・２段目以降、１つずつ色の違うタイルを並べ、タイルを色ごとに数える。「黄色が１、緑が9、全部で10」と言いながら確認する。 ・２色のタイルの数が変化していく様子に注目できるようにする。

留意点 引継ぎ等	

令和 7年度 小学部　4年（ Ⅱ課程）音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	4学年 25名	4年担当　１０名	（参考）おんがく☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けることができる。(小2段階) (思判表力)音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができる。(小2段階) (学･人）音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味を持ちながら、音楽経験を生かして、生活を明るく楽しいものにしようとすることができる。(小2段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	20	(知及技）曲の特徴的なリズムと旋律に気づいて曲の一部分を模唱することができる。（2段階　A表現　ア歌唱（ウ）㋐） (思判表力）歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌や優しい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。（2段階　A表現　ア歌唱（ア）） (学･人）教師と一緒に歌唱をする楽しさを味わうことができる。 (2段階)	(知・技）動画を見たり、教師の声を聴いたりして、曲の一部分を真似て歌っている。 (思･判･表）リズムや旋律、歌詞の面白さに気づき、部分的に声を出したり、前に出て歌いたがったりするなど歌いたいという思いを表現している。 (主学)教師と一緒に歌おうと声を出したり、身体を揺らしたりして楽もうとしている。	たのしく　うたおう こえをあわせてうたおう	（１学期） ・曲の一部分を歌う。 「ひらいたひらいた」おんがく☆☆P82 「いぬのおまわりさん」おんがく☆☆P68 「しゃぼんだまとばせ」おんがく☆☆P32 「みなみのしまのかめはめはだいおう」おんがく☆☆P14 （２学期） ・曲の一部分や友達と一緒に歌う。 「うさぎ」おんがく☆☆P83 「きみがよ」おんがく☆☆P89 「もりのくまさん」おんがく☆☆P72 「ふじさん」おんがく☆☆P76 「ひのまる」おんがく☆☆P88 「やぎさんゆうびん」おんがく☆☆P69 （３学期） ・友達といっしょに歌う。 「おしょうがつ」おんがく☆☆P84 「かれーらいす」おんがく☆☆P31 「うれしいひなまつり」おんがく☆☆P87 「はるのおがわ」おんがく☆☆P８
	15	(知及技）拍や曲の特徴的なリズムに気づき身近な打楽器を演奏することができる。（2段階　A表現　イ器楽（イ）㋐） (思判表力）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。（2段階　A表現　イ器楽（ア）） (学･人)教師と一緒にリズム打ちをする楽しさを味わうことができる。(2段階)	(知・技）簡単なリズム絵譜を見て、手拍子をしたり、楽器を打ったりしている。 (思･判･表)曲のリズムや楽器の音色の面白さに気づき、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとしている。 (主学)リズム打ちを通して自分なりの曲の楽しさを味わおうとしている。	はくにのってりずむをうとう みんなでえんそうしよう	（１学期） ・２拍子のリズム打ちをする 「いろいろなだがっき」おんがく☆☆P20 「かねがなる」おんがく☆☆P21 「あまだれ」おんがく☆☆P10 「ちゃちゃちゃはすばらしい」おんがく☆☆P52 「ぶんぶんぶん」おんがく☆☆P23 （２学期） ・タンバリンや木琴を打つ 「まほうのど」おんがく☆☆P62 「たぬきのたいこ」おんがく☆☆P54 「またあそぼ」おんがく☆☆P35 「ゆきのおどり」 （３学期） ・身近な打楽器を打つ。 「もちつき」おんがく☆☆P86 「おせんべやけたかな」おんがく☆☆P64 「どれみであいさつ」おんがく☆☆P66
	15	(知及技）拍や曲の特徴的なリズムに気づき、示範を見て模倣することができる。（2段階　A表現　工身体表現（ウ）㋐） (思判表力）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かすことについて思いをもつことができる。（2段階　A表現　工身体表現（ア）） (学･人）教師と一緒に身体表現をする楽しさを味わうことができる。(2段階)	(知・技）拍やリズムを意識しながら、示範の動きを模倣したり、身体全体を動かしたりしている。 (思･判･表)自分なりのイメージでゆっくり動いたり、教師の真似をしたい、友だちと一緒に動きたいという思いを表現したりしている。 (主学)身体表現を通して、自分なりの曲の楽しさを味わおうとしている。	リズムにあわせておどろう	（１学期） ・身体表現や手話をする。 「さあみんなで」おんがく☆☆P４ 「せんたく」おんがく☆☆P16 「いっぽんばしこちょこちょ」おんがく☆☆P５ 「ぷーるでちゃっぷん」おんがく☆☆P13 （２学期） 「おんまはみんな」おんがく☆☆P40 「きのこ」おんがく☆☆P45 「よーいやさ」おんがく☆☆P80 （３学期） 「じぇっとこーすたー」おんがく☆☆P79 「じゃんけんぽん」おんがく☆☆P51

	15	（知及技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。（２段階B鑑賞ア（イ）） （思判表力）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。（２段階B鑑賞ア（ア）） （学・人）曲や楽器の音色の面白さを味わうことができる。(2段階)	（知及技）身近な人の演奏や自分の生活に身近な音を聴き、好みの音色やフレーズを見つけている。（B鑑賞） （思判表力）パネルシアターや季節の音楽、身の回りの親しみのある演奏を見たり、体を動かし表したりしながら、聴いている。（B鑑賞） （学・人）曲や楽器の音色の面白さを味わうおうとしている。(小2段階)	ようすをおもいうかべよう	・曲の面白さをイメージして聴く。 （１学期） 「あめふりすいぞくかん」おんがく☆☆P12 「あめふりくまのこ」おんがく☆☆P70 （２学期） 「いろいろなおと」おんがく☆☆P58 「こぞうのこうしん」おんがく☆☆P42 「すけーたーずわるつ」おんがく☆☆P48 （３学期） 「くらりねっとぽるか」おんがく☆☆P56 「はくちょう」おんがく☆☆P75
	5	（知及技）音のつなげ方の特徴の生み出す面白さなどに触れて気づくことができる。（2段階 A表現　ウ音楽づくり（ウ）㋐） （思判表力）音楽作りについての知識や技能を得たり生かしたりしながら音遊びを通して、音のおもしろさに気づくことができる。（2段階　A表現　ウ音楽づくり（ア）㋐） （学・人）教師と一緒に音楽づくりをする楽しさを味わうことができる。(2段階)	（知及技）手拍子に合わせて言葉をつなげたり、言葉の掛け合いをしたりしている。（A表現ーウ音楽づくり） （思判表力）言葉や身体で表現したり、気に入った音を見付けて表現したりしている。（A表現ーウ音楽づくり） （学・人）音楽づくりを通して、自分なりの音の面白さを味わおうとしている。(小2段階)	おとあそびをしよう	音の面白さを感じよう 「雨の音を鳴らしてみよう」おんがく☆☆P11 「みんなでならすがっきのうた」おんがく☆☆P24
留意点 引継ぎ等					

令和　7年度 小学部　4年（　　Ⅱ課程　　）図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	4年 25名	4年担当10名	技法遊び実践ライブ

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。(小学部2段階) (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。(小学部２段階) (学･人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、楽しく豊かな生活を創造しようとすることができる。(小学部2段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	【A表現】 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、 (知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。(A表現ア(イ)) (思判表力)材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。(A表現ア(ア)) (学･人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。(2段階)	(知・技)筆記用具を用いて、形や色を工夫して描こうとしている。 (思･判･表)表したいことを考えようとしている。 (主学)(主学)進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「誕生表を作ろう」 「学級目標を作ろう」	・ぼく・私の似顔絵等（自画像） ・ケーキやろうそくを作ろう。 ・学級目標の台紙を作ろう。 材料：画用紙、写真などを印刷した紙 用具：はさみ、のり
	6		(知・技)　筆記用具を用いて、形や色を工夫して描こうとしている。 (思･判･表)　表したいことを考えようとしている。 (主学)　進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「ポスターを作ろう」	・水道のポスター作り。 ・虫歯予防ポスター作り。 用具：クレヨン、クーピー、水彩絵の具、筆、はさみ、のり、ボンドなど。
	7		(知・技)　様々な素材を使って、形をつくろうとしている。 (思･判･表)　題材の意味を理解し、表したいことを表現しようとしている。 (主学)　進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「気持ちをこめてつくろう」	・母の日、父の日のプレゼントをつくろう。 材料：画用紙、折り紙など 用具：水彩絵の具、筆、クレヨン、はさみ、のりなど
	6		(知・技)　紙、はさみ、のりなどに慣れ、描いたり形をつくろうとしている。 (思･判･表)　色紙などを切ったり、折ったりして、丸や三角、四角の形を組み合わせようとしている。 (主学)　進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「季節の飾りを作ろう①」	・あじさい、七夕等 ・紙を切って、いろいろな形をつくろう。 材料：画用紙、折り紙など 用具：水彩絵の具、筆、クレヨン、はさみ、のりなど
	8	【A表現】 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、 (知及技) 身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。(A表現ア(イ))	(知・技)　表したい場面になるように、形や色、描き方を工夫して表そうとしている。 (思･判･表)　経験を元に表したいことを見つけ、どのように表すかを考えようとしている。 (主学)　進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「みてみて　あのね」	・休みのできごとを描こう。 ・学校でのできごとを描こう。 ・お話を絵にしよう。（読書感想画） 材料：画用紙、折り紙など 用具：水彩絵の具、筆、クレヨン、はさみ、のりなど

2学期	7	(思判表力)材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。(A表現ア(ア)) (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。(2段階)	(知・技)　版を並べたり重ねたりして写すことを通して映るものの形や色の美しさや面白さに気づくことができる。 (思・判・表)　完成を想像して、期待感を持って製作をしようとしている。 (主学)　版で写すことを楽しむことができる。	「モダンテクニックを使って」	・版に表そう。 （スタンピング、ローラー版画、いも版画など） ・削ったり、こすったりしよう（スクラッチ、こすりだしなど） 材料：画用紙、とりのこ用紙など 用具：水彩絵の具、クレヨンやクーピー、こすり出し用の棒、吹き流し用のストローなど
	6		(知・技)・手指を使ってねん土をこねたり、ちぎったり、まるめたりしようとしている。 (思・判・表)表したいことを思いついたり、楽しさを感じとったりしている。 (主学)・友達の作品のおもしろさを感じとろうとしている。	「粘土あそび」	・ねん土をまるめたり、ちぎったり、のばしたり、重ねたりしよう。 ・ねん土動物園を作ろう。 材料：油粘土、カラー紙粘土など 用具：手指、へら、いろいろな形の型抜きなど
	7		(知・技)　紙、はさみ、のりなどに慣れ、描いたり形をつくろうとしている。 (思・判・表)　色紙などを切ったり、折ったりして、丸や三角、四角の形を組み合わせようとしている。 (主学)　進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「季節の飾りを作ろう②」	・落ち葉スタンプ、クリスマス等 材料：画用紙、ラミネート用紙、空き箱、紐、紙袋、粘土、草木や落ち葉など 用具：クレヨン、クーピー、水彩絵の具、筆、はさみ、のり、ボンドなど。
3学期	8	【Ａ表現】 身近な出来事や思ったことを基に絵をかく、粘土で形をつくるなどの活動を通して、 (知及技)身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりすることができる。(A表現ア(イ))	(知・技)　身近な材料や用具を使い、かいたり、形をつくったりしようとしている。 (思・判・表)　材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付き、表そうとしている。 (主学)　進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「季節の飾りを作ろう③」	・正月、ひなまつり等 材料：画用紙、折り紙など 用具：水彩絵の具、筆、クレヨン、はさみ、のりなど
	6	(思判表力)材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くことができる。(A表現ア(ア)) (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。(2段階)	(知・技)　紙、はさみ、のりなどに慣れ、描いたり形をつくろうとしている。 (思・判・表)　色紙などを切ったり、折ったりして、丸や三角、四角の形を組み合わせようとしている。 (主学)　進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「卒業式の壁面制作」	・似顔絵を描こう 材料：画用紙、折り紙など 用具：水彩絵の具、筆、クレヨン、はさみ、のりなど
	4		(知・技)　筆記用具を用いて、形や色を工夫して描こうとしている。 (思・判・表)　表したいことを考えようとしている。 (主学)　進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	「作品集をつくろう」	・１年間の制作物を作品集にまとめ、鑑賞する活動を行う。 材料：画用紙、折り紙など 用具：水彩絵の具、筆、クレヨン、はさみ、のりなど
年間を通して		【鑑賞】 身の回りにあるものや自分たちの作品などを鑑賞する活動を通して、 (知及技)自分が感じたことや行ったことを通して、形や色の違いに気づくころとができる。(共通事項ア(ア)) (思判表力)身近にあるものなどの形や色、作品の面白さや楽しさを感じ取ることができる。(2段階、B鑑賞ア（ア）) (学・人)形や色に関わりながら、楽しんで鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じることができる。(2段階)	(知・技)自分や友達の作品を見たり触ったりして感じたことを通して、形や色の違いに気づいている。 (思・判・表)自分や友達の作品を見たり触ったりして、作品の面白さや楽しさを感じ取っている。 (主学)進んで作品を見たり、触ったり、作品について話したり、楽しく鑑賞の活動に取り組もうとしている。	僕の作品、私の作品	・教師に作品を見せたり、友達と見せ合ったりする。 ・楽しかったことや工夫したことを発表する。 ・作品を展示し、鑑賞する。 ・他学級や他学年の作品を鑑賞する。
		【共通事項】 (知及技)自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気づくことができる。 (共通事項ア(ア)) (思判表力)形や色などを基に、自分のイメージをもつことができる。(共通事項ア(イ))	(知・技)かいたりつくったりすることを通して、形や色の違いに気づいたり、形や色を比べて選んだりしている。 (思・判・表)形や色を基にイメージをもってかいたりつくったりしている。また、偶然できた色や形からイメージをもっている。		

留意点 引継ぎ等	

令和 7 年度 小学部　4年（　Ⅱ課程　）体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	４学年　25名	４年担当10名	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができる。(小学部2段階) （思判表）基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝えることができる。(小学部2段階) （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようすることができる。(小学部2段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技)教師の支援を受けながら，楽しく基本的な体つくり運動をすることができる。(小2段階A体つくり運動ア) (思判表力)基本的な体つくり運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階A体つくり運動イ) (学･人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，基本的な体つくり運動をしようとすることができる。(小2段階A体つくり運動ウ)	(知･技)ラジオ体操で教師の動きを見て模倣しようとしている。 (思･判･表)いろいろな種類の用具の中から好きな物を選んだり，楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 (主学)順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。	単元1「体つくり運動」 楽しく体を動かそう	･ラジオ体操、ストレッチ運動等 ･ボール遊び ･ラジオ体操 ･行進練習 ･リトミック（横に転がる、四つ這い歩き、クマ歩き、後ろ歩き、かけあし、片足立ち） ･あつまりっこ（合図を聞いて並ぶ、列に沿って並ぶ） ･ラジオ体操 ･ストレッチ運動(力を抜く、気持ちのよいところまで体を伸ばす、ペアでストレッチ等) ･綱引き(つかむ、引っ張る、踏ん張る) ･だるまさんがころんだ(いろいろな動きのまま止まる)
	8	(知及技)ア　教師の支援を受けながら，楽しく基本的な運動やゲームをすることができる。(小2段階Eボールを使った運動やゲームア) (思判表力)基本的な運動やゲームに慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階Eボールを使った運動やゲームイ) (学･人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，基本的な運動やゲームをしようとすることができる。(小2段階Eボールを使った運動やゲームウ)	(知･技)逃げる相手を追いかけてタッチしたり，マーク(タグなど)を取っている。 (思･判･表)少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり，走り抜けたりする行い方について，動作や言葉で友達に伝えている。 (主学)勝敗を受け入れようとしている。	単元1「ボールを使った運動やゲーム」 ･皆で楽しくゲームをしよう	･おいかけっこ(相手の動きに合わせて走る) ･しっぽとりゲーム(相手の動きに合わせて走り、しっぽをとる)
	12	(知及技)　教師の支援を受けながら，楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。(小2段階D水の中での運動ア) (思判表力)水の中での基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階D水の中での運動イ) (学･人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，水の中での基本的な運動をしようとすることができる。(小2段階D水の中での運動ウ)	(知･技)身体を一直線に伸ばした姿勢で手を使って歩いている。 (思･判･表)水のかけあいっこや水中での動き等、教師や友達の動きを真似ている。 (主学)プールに入る前には準備運動をする、プールサイドは歩く、プールには足から入る等、プール学習のきまりを守ろうとしている。	単元１「水の中で体を動かそう」 水中リトミック、かけっこ 輪っか取りゲームなど	・水遊び(ワニ歩き、アヒル歩き) ・水中リトミック、かけっこ ・輪っか取りゲームなど ・水中運動(浮く、バタ足、走る、歩く、潜る)
	4	(知及技)教師の支援を受けながら，健康な生活に必要な事柄をすることができる。(小2段階G保健ア) (思判表力)健康な生活に必要な事柄に慣れ，感じたことを他者に伝えることができる。(小2段階G保健イ) (学･人)教師の話を聞いて理解し、自ら健康に必要な事柄をしようとすることができる。(小2段階G保健ウ)	(知･技)体調の悪い時やケガをして痛みを感じていることを教師等に知らせている。 (思･判･表)「健康な生活に必要な事柄」を簡単な言葉掛けや日課の流れに応じて自ら行動している。 (主学)順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。	単元１「体を大切にしよう」	・体の洗い方、拭き方。 ・体の発育について知ろう。 ・健康管理 ・衛生 ・性教育

2学期	18	(知及技)ア　教師の支援を受けながら，楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。(小2段階Eボールを使った運動やゲームア) (思判表力)ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階Eボールを使った運動やゲームイ) (学・人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。(小2段階Eボールを使った運動やゲームウ)	(知・技)ボールをうまく操作している。 (思・判・表)「いろいろな種類の用具の中から好きな物を選んだり，楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 (主学)順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。	単元1「ボールを使った運動やゲーム」 ・玉入れ ・バスケットボール	・キャッチボール(投げる、キャッチ) ・玉入れ(投げる) ・バランスボール(バランスボールでバウンド・キャッチ) ・バスケットボール(ドリブル練習)
	18	(知及技)教師の支援を受けながら，楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。(小2段階C走・跳の運動ア) (思判表力)走・跳の基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階C走・跳の運動イ) (学・人)(小2段階)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，走・跳の基本的な運動をしようとすることができる。(小2段階C走・跳の運動ウ)	(知・技)最後まで全力で走っている。 (思・判・表)折り返しリレーの感想を発表して教師や友達に伝えている。 (主学)順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。	単元１「ゴールに向かって一生懸命走ろう」 ・最後まで諦めずに走ろう	・30mかけっこ(バトンを持って真っ直ぐ走る) ・折り返しリレー(バトンを持って走り、コーンでUターンして走る) ・リレー(優しく相手にバトンを渡す)
	6	(知及技)教師の支援を受けながら，健康な生活に必要な事柄をすることができる。(小2段階G保健ア) (思判表力)健康な生活に必要な事柄に慣れ，感じたことを他者に伝えることができる。(小2段階G保健イ) (学・人)教師の話を聞いて理解し、自ら健康に必要な事柄をしようとすることができる。(小2段階G保健ウ)	(知・技)体調の悪い時やケガをして痛みを感じていることを教師等に知らせている。 (思・判・表)「健康な生活に必要な事柄」を簡単な言葉掛けや日課の流れに応じて自ら行動している。 (主学)順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。	単元１「体を大切にしよう」	・体の発育について知ろう。 ・健康 ・安全 ・健康管理 ・性教育
3学期	10	(知及技)教師の支援を受けながら，楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。(小2段階C走・跳の運動ア) (思判表力)走・跳の基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階C走・跳の運動イ) (学・人)(小2段階)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，走・跳の基本的な運動をしようとすることができる。(小2段階C走・跳の運動ウ)	(知・技)最後まで諦めずに走っている。 (思・判・表)直線や曲線を工夫して走っている。 (主学)順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしている。	単元１「持久走」 ・最後まで諦めずに走ろう	・１０分間走 ・８分間走 ・５分間走
	12	(知及技)ア　教師の支援を受けながら，楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をすることができる。(小2段階B器械・器具を使っての運動ア) (思判表力)　器械・器具を使っての基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。(小2段階B器械・器具を使っての運動イ) (学・人)簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，器械・器具を使っての基本的な運動をしようとすることができる。(小2段階B器械・器具を使っての運動ウ)	(知・技)マットを使った運動遊びで教師の動きを真似している。 (思・判・表)それぞれの固定施設を使って，楽しくできる場や自分の力に合った遊び方を考え，選んでいる。 (主学)マット遊びに進んで取り組もうとしている。	単元１「器械・器具を使っての運動」 〇いろいろな動きをしてみよう	・サーキット運動(跳ぶ、走る、しゃがむ、跳ねる、四つん這い) 跳び箱、縄跳び、デコボコブロック、平均台 トンネル、竹馬 ・マット運動等(跳ぶ、転がる、前転、後転)
	5	(知及技)教師の支援を受けながら，健康な生活に必要な事柄をすることができる。(小2段階G保健ア) (思判表力)健康な生活に必要な事柄に慣れ，感じたことを他者に伝えることができる。(小2段階G保健イ) (学・人)教師の話を聞いて理解し、自ら健康に必要な事柄をしようとすることができる。(小2段階G保健ウ)	(知・技)体調の悪い時やケガをして痛みを感じていることを教師等に知らせている。 (思・判・表)「健康な生活に必要な事柄」を簡単な言葉掛けや日課の流れに応じて自ら行動している。 (主学)順番やきまりを守り，誰とでも仲よくしようとしている。	単元１「体を大切に」	・体の発育について知ろう。 ・健康 ・安全 ・健康管理 ・性教育
留意点 引継ぎ等					

令和　7　年度 小学部　4年（　　Ⅱ課程　）道徳科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	4学年　25名	4年担当10名	『挨拶絵本』 『ひとりじめ』 『あんなに　なかよし だったのに…』 『お日さまとおつきさまのけんか』

年間目標	(A：自分自身に関する事) ・よいことや悪いことの違いが分かり、わがままをしないで規則正しい生活を送り、できることは最後までやり抜こうとする態度を養う。（小２段階） (B：人との関わりに関する事) ・気持ちのよい挨拶や言葉使い、動作などに心がけ、身近にいる人と仲良くし、助け合う心を育てる。（小２段階） (C:集団や社会との関わりに関する事) ・約束や決まりを守り、手伝いや与えられた仕事に進んで取り組む態度を養う。（小２段階） (D:生命や自然、崇高な物との関わり) ・身近な自然に親しみ、動植物に優しく接する心を育てる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期（12）	2	・学校では、どんな楽しいことがあるかを思い起こし、新しい先生や友達に親しみ学校生活を楽しもうとする心情を育てる。【Cよりよい学校生活】	「がっこう　だいすき」	・自己紹介を行う。 ・新しい先生へ挨拶に行こう！ 【関連】　特活：「学年・学級開き」
	2	・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心がけて、明るく接しようとする実践意欲と態度を育てる。【B礼儀】	「あいさつをしてみよう」	・『挨拶絵本』などの読み聞かせ ・どんな 挨拶があるかな？ ・どんな　気持ちになるかな？ 【関連】学校生活全般
	1	・空や天気の写真や映像を見て、自然の美しさに触れたり感動したりする心情を育てる。【D自然愛護、感動、畏敬の念】	「おそら、きれいだね」	・空や天気の写真の視聴 ・「きれい」ってどんなきもち？ 【関連】生活：「空と天気」
	4	・友達と一緒に仲良く遊ぶことは、楽しいことに気付き、喜びや良さがわかる。どうしたらもっと仲良く遊ぶことができるのかを考え、たくさんの友達と楽しく遊ぼうとする実践意欲と態度を育てる。【B友情、信頼】	「なかよくしようね」	・絵本の読み聞かせ 『ひとりじめ』 『あんなに　なかよし だったのに…』 『お日さまとおつきさまのけんか』　など ・平和って何？
	3	・健康や安全に気をつけ、身の回りを整え、規則正しい生活をしようとする態度を育てる。【A節度・節制】	「ちゃんとのたつじん①②」	・学校生活の中で具体的な場面を振り返り、気持ちよく過ごすためにどうしたらよいか考える。（イラスト使用） ・家で気持ちよく過ごすために、どうしたらよいか考える。（イラスト使用）
2学期（15）	3	・家族やクラスの皆で楽しく食事をすることの重要性を理解し、食事のマナーを習得しようとする態度を育てる。【C規則】	「みんなでたべるとおいしいね(楽しく食べるためのやくそく)」	・給食の先生と勉強しよう ・食べるときのやくそく、なにかな？ 【関連】　特活：「きまり」 学校生活全般
	3	・植物を育てたり、動物に触れ合う経験を通して、どんな気持ちで植物や動物の世話をすればいいのか考えたり、優しい気持ちで接しようとする心情を育てる。【D自然愛護】	「しぜんと なかよく」	・自然に触れてみよう 【関連】　特活：「校外へ出かけよう」 生活：「動物の飼育、植物の栽培」
	2	・自分のやるべきことを、一生懸命最後まで取り組むことのよさや、そのために必要な「がんばる」という気持ちに気付き、やるべきことに前向きに取り組もうとする実践意欲と態度を育てる。【A努力と強い意志】	「さいごまで がんばる！」	・どっちが かっこいい？ ・がんばるって どんなこと？ 【関連】　特活：「学習発表会に向けて」
	2	・学校生活の中で、日頃お世話になっている人々を知り、感謝する心を育てる。【B感謝】	「ありがとうを伝えよう」	・校内でお世話になっている人について知る。 ・お世話になっている人々へ感謝の気持ちを伝える。（言葉、手紙等）
	3	・みんなが使う所や物には、きまりや約束があることがわかる。みんなが気持ちよく過ごすために、きまりや約束を守って公共物などを使おうとする実践意欲と態度を育てる。【C規則】	「きまりを まもろう」	・学校のきまりや約束、守れるかな？ ・公共施設などのきまりや約束を知ろう 【関連】　特活：「校外へ出かけよう」
3学期（8）	4	・気持ちの良い生活を送るためには、日常生活の中で「自分でできる」ことを、毎日続けることの大切さがわかり、日常の様々な場面で、自分できちんとやろうとする実践意欲と態度を育てる。【A節度、節制】	「まいにちを きもちよく」	・ちゃんとの達人になってみよう 【関連】　生活：「基本的生活習慣」
	4	・してよいことと悪いことがわることが分かる。してよいことには快の感情、してはいけないことには不快の感情を持ってしっかり区別をし、自分をコントロールしようとする実践意欲と態度を育てる。【A善悪の判断】	「よいこととわるいこと」	・どんな気持ちになるかな？ ・こんなとき どうする？ 【関連】学校生活全般
	2	・友だちや先生と一緒に学級や学校の生活を楽しくしようとする心を育てる。 【よりよい学校生活、集団、生活の充実】	「４年生を振り返ろう」 「もうすぐ５年生」	・写真を見ながら１年間を振り返ろう！ ・がんばったことや楽しかったことを発表しよう。

留意点 引継ぎ等	

令和7年度 小学部 4年 （Ⅱ課程） 外国語活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
0.5/18	4学年　25名	4年担当10名、ALT	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

（知及技）外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と英語の音声の違いに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。

（思判表力）身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養うことができる。

（学・人）外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。

学期		単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	（知及技）言語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを知ることができる。〈(1) ア〉 （思判表力）身近で簡単な事柄について、注目して見聞きしようとすることができる。〈(2) ア〉 （学・人）対話的な活動や外国の文化に触れながら、英語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	（知・技）言葉を使ってやりとりする様子を見たり、相手とやりとりしたりしている。 （思・判・表）英語によるやりとりの様子を見聞きしている。 （主学）やりとりを楽しみながら、教師と一緒に英語を使おうとしている。	Hello! (Introduction)	ALTの先生の紹介・あいさつのことば ・Hello. ・Nice to meet you. English songs and dance / Games
	1			What's your Name？	名前をたずねる・自己紹介 ・What's your name? ・My name is…. English songs and dance / Games
	1			How are you?	元気ですか？・今の気分 ・How are you? ・I'm___. (good/great/wonderful/hangry/tired/not so good) English songs and dance / Games
	1			How old are you? (Numbers)	年齢をたずねる・数字 ・How old are you？ ・I'm___ years old. ・Numbers 1-10 English songs and dance / Games
	1			1st semester Birthday Party	誕生日おめでとう・数字の復習 ・Happy birthday! ・Games (ピニャータ、ボーリング、釣りetc.) English songs and dance
2学期	1	（知及技）外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ることができる。〈(1) イ（イ）〉 （思判表力）既に知っている歌やダンス、ゲームで、簡単な語や身振りなどを使って表現することができる。〈(3) ①イ（イ）〉 （学・人）対話的な活動や外国の文化に触れながら、英語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	（知・技）外国の文化に触れ、日本との違いを体験的に感じている。 （思・判・表）英語の歌に合わせてダンスをしたり、身振りや手振りを使って表現したりしている。 （主学）やりとりを楽しみながら、教師と一緒に英語を使おうとしている。	What color do you like?	何色が好き？・色 ・What color do you like? ・I like___. (red/blue/yellow/green/orange/purple/pink/brown) English songs and dance / Games
	1			What food do you like?	好きな食べ物は？・食べ物 ・What food do you like? ・I like___. (sushi/ramen/hamburger/spaghetti/pizza/curry and rice/bread/rice) English songs and dance / Games
	1			What fruit do you like?	好きな果物は？・果物 ・What fruit do you like? ・I like___. (banana/apple/orange/strawberry/melon/water melon/pineapple/peach) English songs and dance / Games
	1			What snack do you like?	好きなお菓子は？・お菓子 ・What snack do you like? ・I like___. (chocolates/candies/donuts/cookies/macarons/cupcakes/jellies/marshmallows) ハロウィンのお話 English songs and dance / Games
	1			Halloween Party	トリックオアトリート・色の復習 ・Trick or treat. ・Games (ボーリング、輪投げ、釣りetc.) English songs and dance
	1			What drink do you like?	好きな飲み物は？飲み物 ・What drink do you like? ・I like___. (coffee/tea/Japanese tea/hot chocolate/orange juice/apple juice/coke/water) English songs and dance / Games
	1			2nd semester Birthday Party	誕生日おめでとう・数字の復習 ・Happy birthday! ・Games (ピニャータ、ボーリング、釣りetc.) English songs and dance

	1			What toy do you like?	好きなおもちゃは？・おもちゃ ・What toy do you like? ・I like___. (soccer ball/Video Game/iPad/Teddy Bear/Barbie/Lego/RC car/bicycle) English songs and dance / Games
	1			Christmas Party	クリスマスの話・クリスマスソング ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance
3学期	1			What animal do you like?	好きな動物は？・動物 ・What animal do you like? ・I like___. (dog/cat/lion/horse/elephant/rooster/cow/snake) English songs and dance / Games
	1			Who is this? (Family)	だれですか？・家族 ・Who is this/that? ・This is my___. (daddy/mommy/older brother/younger brother/older sister/younger sister) English songs and dance / Games
	1			3rd semester Birthday Party	誕生日おめでとう・数字の復習 ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance
	1			Request Day (Review)	リクエストタイム・復習 English songs and dance / Games
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 小学部　4年（　Ⅱ課程　）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	4学年　25名	４年担当10名	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)実践的な集団活動を通して、友達への関わり方について学び、望ましい人間関係が形成できる。(小２段階) (思判表力)集団の一員として学校生活に必要な係に取り組むことができる。(小２段階) (学・人)様々な集団活動を通して、よりよい学校生活を築こうとすることができる。(小２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	1	進級の喜びを感じ、これからの生活への意欲を持つことができる。	・進級おめでとう （学年、学級びらき）	・新しい先生や教室について学ぶ
	1	１学期の学習内容についての話を聞き、見通しを持つここができる。	・1学期頑張ろう会	・1学期の行事や学習について見通しをもつ ・楽しみなことや頑張ることを発表する。
	2	どんな学級にしたいかを考え、目標を決めることができる。	・学級目標を考えよう	・頑張りたいことや楽しみなことを話し合おう。
	2	自分の頑張りたいことを選んだり、考えたりすることができる。	・個人目標を考えよう ・キャリアパスポートの活用	・生活や学習について個人の目標を考え、キャリアパスポートを作成する。
	1	学級の一員としての役割を知り、学級活動に参加することができる。	・係活動を決めよう	・学級の仕事や先生のお手伝いについて、できそうなことを話し合い、役割を決める。
	1	小学部の一員として新転入生の入学・転学を祝うことができる。	・ようこそ　みさきへ （新しいお友達を迎える会）	・新しいお友達を迎える会に参加し、新入生や転入生等の新しいお友達を歓迎する。
	3	自分の目標や友達のがんばった様子を、お互いに振り返ることができる。	・１学期の振り返り （１学期がんばった会）	・1学期の学習や生活等の個人目標を振り返り、楽しかったことや頑張った事を発表し合う。 ・自分の頑張りや友だちの頑張りを知る。 ・個人目標を振り返りキャリアパスポートを作成する。
	1	夏休みの過ごし方、規則正しい生活について確認することができる。	・夏休みの過ごし方	・夏休みの安全な過ごし方や規則正しい生活について話し合う。
２学期	1	２学期の学習内容についての話を聞き、見通しを持つことができる。	・２学期頑張ろう会	・２学期の行事や学習について見通しをもつ ・楽しみなことや頑張ることを発表する。
	2	２学期の学習内容から自分の頑張りたいことを考えることができる。	・個人目標を考えよう	・生活や学習について個人の目標を考え、キャリアパスポートを作成する。
	2	これまでの経験から、学習発表会への見通しを持ち、自分のめあてを考えたり、選んだりすることができる。	・学習発表会頑張るぞ	・学習発表会に向けて個人のめあてを決め、キャリアパスポートを作成する。
	3	・みんなで会を盛り上げ、楽しい会ができるようにするために何をするか考えたり、準備したりすることができる。	・お祝いしよう	・自分や友だちの誕生日を知る。 ・楽しい会にするために、どんなことができるかを話し合う。

	3	交流会に向け見通しを持ち、互いに楽しもうという意欲を持つことができる。	・交流会をしよう （美原小交流会）	・交流会の内容を知り、頑張りたいことを考える。 ・交流会の練習をする。
	2	自分の目標や友達のがんばった様子を、お互いに振り返ることができる。	・２学期の振り返り （２学期頑張った会）	・1学期の学習や生活等の個人目標を振り返り、楽しかったことや頑張った事を発表し合う。 ・自分の頑張りや友だちの頑張りを知る。 ・個人目標を振り返りキャリアパスポートを作成する。
	1	冬休みを元気に楽しく過ごすための約束を確認することができる。	・冬休みの過ごし方	・冬休みの安全な過ごし方や規則正しい生活について話し合う。 ・お手伝い等、自分にできることを考える。
３学期	1	３学期の学習内容についての話を聞き、見通しを持つことができる。	・３学期頑張ろう会	・３学期の行事や学習について見通しをもつ ・楽しみなことや頑張ることを発表する。
	2	３学期の学習内容から自分の頑張りたいことを考えることができる。	・個人目標を考えよう	・生活や学習について個人の目標を考え、キャリアパスポートを作成する。
	3	児童会役員の心得などを知り、児童会役員に立候補したり、頑張って欲しい人に投票したりすることができる。	・児童会役員選挙	・児童会の仕事を知る。 ・選挙（立候補・演説・投票等）について知る。
	1	６年生の卒業を祝う気持ちを持って会に参加することができる。	・６年生を祝おう	・６年生との思い出を振り返る ・歌やプレゼントでお祝いする。
	1	１年間の自分の目標や友達のがんばった様子を、お互いに振り返ることができる。	・４年生の振り返り （４年生頑張った会）	・1学期の学習や生活等の個人目標を振り返り、楽しかったことや頑張った事を発表し合う。 ・自分の頑張りや友だちの頑張りを知る。
	1	１年間の自分の成長を振り返り、自信を深めるとともに来年度に向けて頑張ろうとする意欲を持つことができる。	・もうすぐ５年生	・１年間の個人目標を振り返りキャリアパスポートをまとめる。
留意点 引継ぎ等		年間を通して ・児童集会 【目標】(思判表力)多様な集団における活動に参加したり、行事や各種の催しに関心を持つことができる。 【活動内容】児童会役員紹介、行事紹介、学年紹介、歯の衛生月間等の表彰		

令和７年度　小学部５年（　　Ⅱ課程　　）生活科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
227	５年　１８名	５年担当　７名	せいかつ☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）・活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴のよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(小３段階) (思判表力)・自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。(小３段階) (学･人）・自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。(小３段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	(知及技)集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。[小３段階カ(ｲ)] (思判表力)様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。[小３段階カ(ｱ)] (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。[小３段階]	(知及技)集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けようとしている。 (思判表力)様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	【カ役割】 「かいをひらこう」 ・新入生を祝う会をひらこう ・かいでつかうものをつくろう ・じゅんびをしよう ・さあ本ばん （せいかつ☆☆☆）	【集団の参加や集団内での役割】 ・新転入生を迎える会等、積極的に様々な集団活動に参加し、活動の準備や活動における役割を主体的に果たす。 ・他の係を意識しながら活動の見通しをもって、自分の役割を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・作業分担や役割が分かり、自分から取り組んだり、役割を果たしたりする。
	3	(知及技)簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。[小３段階ケ(ｲ)] (思判表力)日常生活の簡単なきまりやマナーか分かり、それらを守って行動しようとすることができる。[小３段階ケ(ｱ)] (学・人)学校のきまりや公共の場でのマナー等に関わる学習活動を通して、社会に自ら働きかけ、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)日常生活の簡単なきまりやマナーか分かり、それらを守って行動しようとしている。 (主学)学校のきまりや公共の場でのマナー等に関わる学習活動を通して、社会に自ら働きかけ、生活を豊かにしようしている。	【ケきまり】 「学校のきまり」 ・きまりについてそうだんしよう 「じぶんのもの人のもの」 （せいかつ☆☆☆）	【学校のきまり】 ・必要に応じて簡単なきまりを相談してつくる。 【自分の物と他人の物の区別】 ・自分や友だちの物の区別ができ、決められた場所へ片付ける。学校内の決められた場所や学校の物品の扱いが分かり丁寧に使う。
	3	(知及技)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。[小３段階コ(ｲ)] (思判表力)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。[小３段階コ(ｱ)] (学・人)自分の地域や周辺の地理等の社会の様子、警察署や消防署等の公共施設に関わる学習活動を通して社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうすることができる。[小３段階]	(知・技)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設か分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自分の地域や周辺の地理等の社会の様子、警察署や消防署等の公共施設に関わる学習活動を通して社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうとしている。	【コ社会の仕組み公共施設】 「わたしのまわりの人」 ・がっこうではたらく人 （せいかつ☆☆☆）	【家族・親戚・近所の人】 ・学校で働く人と自分の関わりに気づき、それらの働きを知る。学校で働く人の職業名とその役割が分かる。

	2	(知及技)身近な人との簡単な応対などをするための知識や技能を身に付けることができる。[小３段階オ(ｲ)] (思判表力)身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対などをしようとすることができる。[小３段階オ(ｲ)] (学・人)身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)身近な人との簡単な応対等をするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対等をしようとしている。 (主学)身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとしている。	【オ人との関わり】 「わたしとかぞく」 ・かぞくしょうかいをしよう （せいかつ☆☆☆）	【自分自身と家族】 ・自分自身や祖父母について、仕事や関係などにも触れて簡単に話したり紹介したりする。
	4	(知及技)安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。[小３段階イ(ｲ)] (思判表力)日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけることができる。[小３段階イ(ｱ)] (学・人)交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけている。 (主学)交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【イ安全】 「気をつけることはなにかな？」 ・こうつうあんぜん 「じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう～火じになったら～」 「さいがいにそなえて」 （せいかつ☆☆☆）	【交通安全】 ・左右を確認して渡ったり、標識を理解したりして、自分で気をつけながら安全に過ごす。 【危険防止】 ・火事になったとき、どのように行動するか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など。 ※訓練と連携し取り組む
	2	(知及技)身近な人との簡単な応対などをするための知識や技能を身に付けることができる。[小３段階オ(ｲ)] (思判表力)身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対などをしようとすることができる。[小３段階オ(ｲ)] (学・人)身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)身近な人との簡単な応対等をするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対等をしようとしている。 (主学)身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとしている。	【オ人との関わり】 「はなしてみよう」 ・見ききしたことやあそんだことを先生と友だちと話し合おう （せいかつ☆☆☆）	【身近な人との関り】 ・自分自身や家族のほかに親戚等について簡単に話したり紹介したりする。 ・休日、見聞きしたことや遊んだ事を教師や友達と話し合う。 ・写真等を見ながらその時の様子を説明する。
	4	(知及技)安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。[小３段階イ(ｲ)] (思判表力)日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけることができる。[小３段階イ(ｱ)] (学・人)交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけている。 (主学)交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【イ安全】 「じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう～じしんがおきたら～」 「さいがいにそなえて」 （せいかつ☆☆☆）	【危険防止】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ※訓練と連携し取り組む
	4	(知及技)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。[小３段階コ(ｲ)] (思判表力)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。[小３段階コ(ｱ)] (学・人)自分の地域や周辺の地理等の社会の様子、警察署や消防署等の公共施設に関わる学習活動を通して社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうすることができる。[小３段階]	(知・技)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設か分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自分の地域や周辺の地理等の社会の様子、警察署や消防署等の公共施設に関わる学習活動を通して社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうとしている。	【コ社会の仕組み公共施設】 「しらべてみよう」 ・しょうひんはどこからきたのかな ・わたしたちの町 ・こくみんのしゅく日について ・こくみんのしゅく日のしゅるい （せいかつ☆☆☆）	【いろいろな店】 ・いろいろな店の種類が分かり、それぞれの店の名称やそこで扱っている商品の名前が言える。 【社会の様子】 ・自分の住む地域や隣接する市町村の名称が分かる。 ・自分が住んでいる地域や周辺の地域の田畑、大きな河川、港湾、商業地や工業地、住宅などが分かる。 ・国民の祝日のおよその意味を調べ、カレンダーを制作する。

2学期	4	(知及技)日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。[小３段階コ(ｲ)] (思判表力)必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとすることができる。[小３段階コ(ｱ)] (学・人)身の回りの整理や身なり等の基本的生活習慣や日常生活に役立つことに関わる学習活動を通して、自分のことに取り組もうとすることができる。[小３段階]	(知・技)日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役 立てようとしている。 (主学)身の回りの整理や身なり等の基本的生活習慣や日常生活に役立つことに関わる学習活動を通して、自分のことに取り組もうとしている。	【ア基本的生活習慣】 「一人でやってみよう！」 ・ねるときのじゅんびかたづけ ・おふろ （せいかつ☆☆☆）	【ねるときのじゅんび・かたづけ】 ・就寝前や起床後に行う活動（布団を敷く、布団を畳む）。 ・就寝前や起床後の活動を家庭における役割として位置づけ、毎日継続的に取り組む事で習慣化を図る。 【おふろ】 ・入浴の際の身体を洗う手順や体の汚れを知る。 ・体の洗い方を知り、動きを模倣する。
	2	(知及技)日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けることができる。[小３段階ウ(ｲ)] (思判表力)日常生活の日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって行動しようとすることができる。[小３段階ウ(ｱ)] (学・人)一週間程度の予定、学校行事や家庭の予定等に関わる学習活動を通して、自分のことに取り組もうとしたり、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)日常生活の日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって行動しようとしている。 (主学)一週間程度の予定、学校行事や家庭の予定等に関わる学習活動を通して、自分のことに取りくもうとしたり、生活を豊かにしようとしている。	【ウ日課・予定】 「よていのかくにん」 ・りょていのかくにん （せいかつ☆☆☆）	【日課・予定】 ・宿泊学習、修学旅行の旅程が分かり、予定表を見て自ら動いたり、教師の指示に従って一緒に行動したりする。
	6	(知及技)金銭の扱い方等の知識や技能を身に付けることができる。[小３段階ク(ｲ)] (思判表力)日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れることができる。[小３段階ク(ｱ)] (学・人)価格に応じて必要な貨幣を組み合わせる等の金銭に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとする態度を身につけることができる。[小３段階]	(知・技)金銭の扱い方等の知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れている。 (主学)価格に応じて必要な貨幣を組み合わせる等の金銭に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【ク金銭の扱い】 「おこづかいをもらったら」 「かいもの」 ・いろいろなおかねのはらいかたがあるよ ・かいものにちょうせんしよう （せいかつ☆☆☆）	【金銭の扱い】 ・日常生活では、金銭が必要なことが分かり、金銭の種類ごとに分類して数えたり、必要に応じて両替をしたりすることに慣れる。無駄遣いしないことや遣い道を考えて遣うこと、必要に応じて銀行などを活用する。 【買い物】 ・自分で目的に応じて買い物をする。買い物に必要な言葉を使う、簡単なおつりのある買い物をする、値札を見て買い物をする、レジの場所が分かり、代金を支払う。 【自動販売機の利用】 ・簡単な自動販売機などを自分で利用する。
	4	(知及技)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりすることができる。[小３段階コ(ｲ)] (思判表力)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現することができる。[小３段階コ(ｱ)] (学・人)自分の地域や周辺の地理等の社会の様子、警察署や消防署等の公共施設に関わる学習活動を通して社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうすることができる。[小３段階]	(知・技)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設か分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)自分の地域や周辺の地理等の社会の様子、警察署や消防署等の公共施設に関わる学習活動を通して社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうとしている。	【コ社会の仕組み公共施設】 「町ではたらく人にあいにいこう」 ・のりものにのろう ・校がいがくしゅうにいこう （せいかつ☆☆☆）	【交通機関の利用】 ・日常的に利用しているモノレールやバスなどの切符を自動券売機などで買う。 ・目的地までそれらを確実に利用する。 ・交通機関が遅延した際の対応方法、校外学習時の目的地までの交通機関を知る。 【公共施設の利用】 ・警察署、消防署などを訪問したり見学したりして社会の一員として利用の仕方を知る。

	2	(知及技)安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。[小３段階イ(ｲ)] (思判表力)日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけることができる。[小３段階イ(ｱ)] (学・人)交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけている。 (主学)交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【イ安全】 「あんぜんにくらそう」 ・気をつけてちょうりきぐをつかおう（せいかつ☆☆☆）	【危険防止】 ・実際の道具を見たり触れたりしながら、正しい使用の仕方と誤った使用の仕方（してはいけない使用の仕方）やそれぞれの道具の気をつけるべき部分などについて考え、意見を出し合う。
	5	(知及技)手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる。[小３段階キ(ｲ)] (思判表力)日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとすることができる。[小３段階キ(ｱ)] (学・人)自分から調理や製作等の様々な手伝いをすることや学級の備品等の整理等に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (主学)自分から調理や製作等の様々な手伝いをすることや学級の備品等の整理等に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【キ手伝い】 「ホットケーキづくりを手つだおう」 「ピザトーストづくりを手つだおう」 「手げいにチャレンジ」 「おてつだいをしよう」 （せいかつ☆☆☆）	【手伝い】 ・簡単な調理を通して、準備、片付けなどの手伝いを学ぶ。 ・道具や器具に慣れるとともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをする。 【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり自分から所定の場所に道具を片付けたりする。 ・片付けをすることは、集団における大切なルールだと知る。
	2	(知及技)身近な人との簡単な応対などをするための知識や技能を身に付けることができる。[小３段階オ(ｲ)] (思判表力)身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対などをしようとすることができる。[小３段階オ(ｲ)] (学・人)身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)身近な人との簡単な応対等をするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対等をしようとしている。 (主学)身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとしている。	【オ人との関わり】 「気もちをつたえよう」 （せいかつ☆☆☆）	【気持ちを伝える応対】 ・気持ちを表す言葉があることが分かり、自分なりに表現することや、それらを含めた挨拶等を習慣にすること。 ・気持ちを表す言葉「ありがとう」「ごめんなさい」などの気持ちを表す経験をする。
	3	(知及技)身近な人との簡単な応対などをするための知識や技能を身に付けることができる。[小３段階オ(ｲ)] (思判表力)身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対などをしようとすることができる。[小３段階オ(ｲ)] (学・人)身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)身近な人との簡単な応対等をするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対等をしようとしている。 (主学)身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとしている。	【オ人との関わり】 「でんわやおきゃくさまへのたいおう」 （せいかつ☆☆☆）	【電話や来客の取り次ぎ】 ・電話や来客時に、「はい、〇〇です」、「今代わります」、「〇〇先生、電話です」、「〇〇先生にお客さまです」等の対応を行い、一人で適切に取り次ぐ。

3学期	4	(知及技)ものの仕組みや働きに関して関心をもって調へることができる。[小３段階シ(ｲ)] (思判表力)日常生活の中て、ゞものの仕組みや働きか分かり、それらを表現することができる。[小３段階オ(ｱ)] (学・人)日常生活の中で、ものの仕組み等に関わる学習活動を通して、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとすることができる。[小３段階]	(知・技)ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べようとしている。 (思・判・表)日常生活の中て、ゞものの仕組みや働きか分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)日常生活の中で、ものの仕組み等に関わる学習活動を通して、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしている。	【シものの仕組みと働き】 「もののかたちとおもさ」 「かぜやゴムの力でうごかそう」 （せいかつ☆☆☆）	【物と重さ】通・物は形が変わっても重さは変わらないことに気づく。例えば、粘土などの身の回りにあるものを広げたり、丸めたりするなどして形を変え、手ごたえなどの体感をもとにしながら重さの違いを調べたり、天秤やはかりで量って調べたりする。 【風やゴムの力の働き】 ・扇風機や風車等、身近な道具や玩具を使ったり、簡単な玩具を自作したりして、風やゴムの力で動く様子を見る。何を工夫すれば力が強まり、より遠くへ動くか考えたり工夫したりする。
	25	(知及技)手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる。[小３段階キ(ｲ)] (思判表力)日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとすることができる。[小３段階キ(ｱ)] (学・人)自分から調理や製作等の様々な手伝いをすることや学級の備品等の整理等に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (主学)自分から調理や製作等の様々な手伝いをすることや学級の備品等の整理等に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【キ手伝い】 「そうじをしよう」 （せいかつ☆☆☆）	【そうじ】 ・自分の出したごみを拾うこと、身の回りにあるごみを拾って捨てること、掃除道具を使って簡単な掃除をすること。 ・手伝いや仕事が終わったら、道具や材料等の片付けを行うこと、仕事を終了したことを教師に報告すること。
	25	(知及技)日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けることができる。[小３段階ウ(ｲ)] (思判表力)日常生活の日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって行動しようとすることができる。[小３段階ウ(ｱ)] (学・人)一週間程度の予定、学校行事や家庭の予定等に関わる学習活動を通して、自分のことに取り組もうとしたり、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)日常生活の日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって行動しようとしている。 (主学)一週間程度の予定、学校行事や家庭の予定等に関わる学習活動を通して、自分のことに取りくもうとしたり、生活を豊かにしようとしている。	【ウ日課・予定】 「よていのかくにん」 ・一週間の予定 ・予定がかわったよ ・カレンダーでかくにんしよう ・いろいろなカレンダー （せいかつ☆☆☆）	【日課・予定】 ・一週間の予定が分かり、カレンダーや予定表などに従って行動する。 ・都合により予定が変更になる場合に対応する。
	20	(知及技)日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。[小３段階コ(ｲ)] (思判表力)必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとすることができる。[小３段階コ(ｱ)] (学・人)身の回りの整理や身なり等の基本的生活習慣や日常生活に役立つことに関わる学習活動を通して、自分のことに取り組もうとすることができる。[小３段階]	(知・技)日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役 立てようとしている。 (主学)身の回りの整理や身なり等の基本的生活習慣や日常生活に役立つことに関わる学習活動を通して、自分のことに取り組もうとしている。	【ア基本的生活習慣】 「一人でやってみよう！」 ・みだしなみ ・せいりせいとん ・きゅうしょくのじゅんび・かたづけ ・せんたく ・いろいろなトイレ （せいかつ☆☆☆）	【身なり】 ・袖口や襟もと、すそ等、身だしなみを整える。 【身の回りの整理】 ・靴や衣服、カバンや文具などの収納方法がわかり、整理整頓をする。 【食事】 ・給食の準備や片付けなど友達と協力して行う。 【清潔】 ・簡単な洗濯をする。 【用便】 ・いろいろな種類のトイレの鍵の使用法を知り、自分で用を足す。

年間を通して	20	(知及技)集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。[小３段階カ(ｲ)] (思判表力)様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。[小３段階カ(ｱ)] (学･人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。[小３段階]	(知及技)集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けようとしている。 (思判表力)様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	【カ役割】 「かかりのしごと」 （せいかつ☆☆☆）	【共同での作業と役割分担】 ・簡単な作業を共同で行うこと、作業において分担された個人の役割を果たすこと。 【地域への行事への参加】 ・いろいろな行事に参加すること、集団の中で活動することに慣れること。
	20	(知及技)簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。[小３段階ケ(ｲ)] (思判表力)日常生活の簡単なきまりやマナーか分かり、それらを守って行動しようとすることができる。[小３段階ケ(ｱ)] (学・人)学校のきまりや公共の場でのマナー等に関わる学習活動を通して、社会に自ら働きかけ、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)日常生活の簡単なきまりやマナーか分かり、それらを守って行動しようとしている。 (主学)学校のきまりや公共の場でのマナー等に関わる学習活動を通して、社会に自ら働きかけ、生活を豊かにしようしている。	【ケきまり】 「生かつのきまり」 ・火じやきんきゅうのときにつかうもの ・としょかんやこうえんなどをつかうときのきまり ・のりものをつかうときのきまり 「マナーをまもって気もちよく」 （せいかつ☆☆☆）	【生かつのきまり】 ・学校内や身近な地域において、私たちの命や生活を守るために設置された非常用設備の役割や存在を知る。 【マナー】 ・バスやモノレール、病院や図書館などの公共の場では静かにするなどのマナーを理由とともに知る。
	20	(知及技)きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶこと等の知識や技能を身に付けることができる。[小３段階エ(ｲ)] (思判表力)日常生活の遊びで、友達と関わりをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫し発展させたりして、仲良く遊ぼうとすることができる。[小３段階エ(ｱ)] (学・人)日常生活の中での遊びに関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶこと等の知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）日常生活の遊びで、友達と関わりをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫し発展させたりして、仲良く遊ぼうとしている。 (主学)日常生活の中での遊びに関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【工遊び】 「なかよくあそぼう」 ・なにしてあそぶ？ ・ルールをまもってあそぼう ・あそびがおわったら ・もっとたのしくできるかな （せいかつ☆☆☆）	【いろいろな遊び】 ・友達を誘って何をして遊びたいか話し合う。 ・ルールのある遊びを通して、約束や勝ち負け、役割などを友達と共有する。 ・道具やルールを工夫、改善しながら、遊びをふくらませていく。 （的あてゲーム、お店屋さんごっこ、縄跳び、ボッチャ、ボウリング、椅子取りゲーム、しっぽ取りゲーム、ボール運びゲーム、玉入れなど） ・昔の文化や遊びにふれたり、遊びを通して豊かなコミュニケーションを築いたりする。 （はないちもんめ、とうりゃんせなど） 【遊具の後片付け】 ・自分から進んで準備や後片付けをし、友達を手伝う。
	20	(知及技)安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。[小３段階イ(ｲ)] (思判表力)日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけることができる。[小３段階イ(ｱ)] (学・人)交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとすることができる。[小３段階]	(知・技)安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけている。 (主学)交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【イ安全】 「 あんぜんにくらそう」 ・気をつけてどうぐをつかおう （せいかつ☆☆☆）	【危険防止】 ・実際の道具を見たり触れたりしながら、正しい使用の仕方と誤った使用の仕方（してはいけない使用の仕方）やそれぞれの道具の気をつけるべき部分などについて考え、意見を出し合う。

	20	(知及技)日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。[小３段階サ(ｲ)] (思判表力)日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化か分かり、それらを表現することができる。[小３段階サ(ｱ)] (学・人)身近にいる昆虫、魚、小鳥の飼育や草花等の栽培及び四季の変化や天体の動き等に関わる学習活動を通して、自然に関心をもち、意欲をもって学ぼうとすることができる。[小３段階]	(知・技)日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思・判・表)日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化か分かり、それらを表現しようとしている。 (主学)身近にいる昆虫、魚、小鳥の飼育や草花等の栽培及び四季の変化や天体の動き等に関わる学習活動を通して、自然に関心をもち、意欲をもって学ぼうとしている。	【サ生命・自然】 「花をそだてよう」 「めざせ！生きものはかせ」 「草花や木のはであそぼう」 「きせつのずかん」 「空と天気」 （せいかつ☆☆☆）	【植物の栽培】 ・身近な植物を栽培しながら関心を深める。 ・発芽、開花、結実といった一連の成長の様子がわかるような種類を選び、長期にわたる観察を行う。 ・適時、除草したり肥料を施したりする。 【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。 ・天気の変化や太陽、月、星などと昼と夜の関わりについて関心をもつ。
留意点 引継ぎ等					

令和 7 年度 小学部　5年（　Ⅱ課程　Aグループ　）国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	小5　10名	小5担当　3名	『こくご☆☆☆』

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。(小学部3段階) (思判表力) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができる。(小学部3段階) (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとすることができる。(小学部3段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	30	(知及技)姿勢や口形に気を付けて話すことができる。(3段階ア-(イ)) 正しい姿勢で音読することができる。(3段階アー(カ)) (思判表力)挨拶や電話の受け答えなど決まった言い方を使うことができる。(3段階A-エ) 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けて表現することができる。(3段階A-オ) (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知･技)姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 正しい姿勢で音読しようとしている。 (思･判･表)相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫しようとしている。 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けて表現しようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養おうとしている。	かんげいかい(国語☆☆☆) ※年間を通して ひらがなをよもう(国語☆☆☆) ひらがなをかこう(国語☆☆☆) かたかなをかこう(国語☆☆☆)	･歓迎会をすすめるにあたって必要な事柄を話し合う。 ･役割に応じて話す順番などを検討し、相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話す。
	22	(知及技)身近な人との会話や読みかせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付く。(3段階アー(ア)) 姿勢や口形に気を付けて話すことができる。(3段階アー(イ)) (思判表力)経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えることができる。(3段階Aーイ) 相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。(3段階Aーカ) (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知･技)身近な人との会話や読みかせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付こうとしている。 姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思判表力)経験したことを思い浮かべ，伝えたいことを考えようとしている。 相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	たのしかったえんそく(国語☆☆☆)	･体験したことを振り返り、思い浮かべたことを言葉や身振り等で表現したり発表したりする。
	20	(知及技)日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。(3段階アー(ウ)) (思判表力)日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。(3段階Cーウ) (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知･技)日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 (思･判･表)日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	かいもの(国語☆☆☆)	･買い物をする場面を想起し、挿し絵などを見ながらロールプレイングして、相手に伝わりやすい話し方やメモを活用した受け答えをする。
2学期	30	(知及技)姿勢や口形に気を付けて話すことができる。(3段階ア-(イ)) (思判表力)挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うことができる。(3段階A-(エ)) 相手に伝わるよう，発音や声の大きさに気を付けることができる。(3段階A-(オ)) (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技)姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思･判･表)挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使おうとしている。 相手に伝わるよう，発音や声の大きさに気を付けようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	でんわ(国語☆☆☆)	相手への伝わりやすさや声の大きさを考え、目の前にいない人への電話の受け答えをする。
	20	(知及技)姿勢や口形に気を付けて話すことができる。(3段階ア-(イ)) (思･判･表)相手に伝わるよう，発音や声の大きさに気を付けることができる。(3段階A-オ) 登場人物になったつもりで，音読したり演じたりすることができる。(3段階Cーエ) (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知･技)姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思･判･表)相手に伝わるよう，発音や声の大きさに気を付けようとしている。 登場人物になったつもりで，音読したり演じたりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	三びきのこぶた(国語☆☆☆)	･読み聞かせを聞いて、登場人物になったつもりで場面ごとや全体を通して演じる。

	17	(知及技)日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。(3段階ア－(ウ)) (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。(3段階C－イ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技)日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 (思・判・表)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養おうとしている。	わらべうた(国語☆☆☆) のりもの(国語☆☆☆) 花(国語☆☆☆)	・リズや言葉の響きを楽しみながらわらべ歌遊びをする。 ・ものの状態や様子等を短く説明した文章を読む。 ・促音、長音、拗音を含む平仮名の読み方や簡単な漢字の読み方などを確認し、本文の文字を追って読む。
3学期	26	(知及技)昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに気付くことができる。(3段階ウ－(ア)) (思判表力)絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ろうとすることができる。(3段階A－ア) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。(3段階C－ア) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。(3段階C－イ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技)昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに気付こうとしている。 (思・判・表)絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ろうとしている。 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像している。 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養おうとしている。	おじいさんとねずみのおはなし(国語☆☆☆)	・挿し絵を平仮名をカードにしてかるた取りをするなどして平仮名に親しむことができるようにする。 ・教師の読み聞かせを聞いたり挿し絵を見たりしながら、昔話のフレーズを真似したり、音読を発表したりする。
	30	(知及技)図書を用いた調べ方を理解し使うことができる。(3段階イ-(イ)) 読み聞かせなどに親しみ，いろいろな絵本や図鑑があることがわかる。(3段階ウー(エ)) (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み，時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。(3段階C-イ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知及技)図書を用いた調べ方を理解し使おうとしている。 読み聞かせなどに親しみ，いろいろな絵本や図鑑があることがわかる。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み，時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	図書室に行ってみよう 本をさがそう(国語☆☆☆)	・図書室に行き、興味をもった乗り物等を調べるために必要な本を自分で探してみる。 ・教師の読み聞かせを聞く。
	15	(知及技)物事のはじめと終わりなど，情報と情報との関係について理解することができる。(3段階イ-(ア)) (思判表力)見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思いついたり，考えたりすることができる。(3段階A-ウ) 絵本や易しい読み物などを読み，時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。(3段階C-イ) 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。(3段階C-エ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技)物事のはじめと終わりなど，情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思判表力)見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思いついたり，考えたりしようとしている。 絵本や易しい読み物などを読み，時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 登場人物になったつもりで、音読したり演じようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	さつまいも(国語☆☆☆) ペプサートをつくろう(国語☆☆☆)	・畑で作業をしたさつまいもについての文章の場面を4段落に分け、時間的経過を追いながら前後関係を文字カードで並び替え大体を捉える。 ・自分に必要な道具をそろえて、お話をイメージしながらペプサートを作成し、登場人物になったつもりで相手に伝わるように演じる。
留意点 引継ぎ等					

令和 7 年度 小学部　５年（　Ⅱ課程　Bグループ　）国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	５学年８名	５年担当　４名	こくご☆☆ NHK for school

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。(小学部２段階) (思判表力) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。(小学部２段階) (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやりとりを聞いたり伝えたりしようとすることができる。(小学部２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技)身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が気持ちや要求を表していることを感じることができる。[2段階アー(ア)] (思判表力)身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。[2段階Aー(ア)] (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりする[2段階]	(知･技)身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、教師の支援を受けて、言葉や身振りで気持ちや要求を表していることを感じている。 (思･判･表))教師の支援を受けて、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	がっこうせいかつ(国語☆☆) (年間を通して) かいてみよう(国語☆☆) ひらがなをよんでみよう(国語☆☆) ひらがなをかいてみよう(国語☆☆)	･身近な人との関わりの中で発せられる言葉を想起し、やり取りを深め、教師と一緒に学校生活の場面に応じた会話や挨拶等をする。
	25	(知及技)身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。[2段階アー(ウ)] (思判表力)簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすることができる。[2段階Aー(イ)] (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。[2段階]」	(知･技)教師の支援を受けて、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に関心をもつことができる。 (思･判･表)簡単な指示や説明を聞き、教師と一緒にその指示等に応じた行動をしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	おはなしできるかな(国語☆☆)	･絵を見て、「どこへ行ったのか」「何を買ったのか」「何をして遊ぶか」「何ができるか」の場面から連想するイメージを表現する。
	25	(知及技)身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉や身振り等で気持ちや要求を表現することができる。[2段階アー(ア)] (思判表力)体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。[2段階Aー(ウ)] (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりする。[2段階]	(知･技)身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、教師の支援を受けて言葉や身振り等で気持ちや要求を表現しようとしている。 (思･判･表)教師の支援を受けて、体験したことなどについて、伝えようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	どんなきもちかな(国語☆☆)	･プレゼントをもらったときや、ケガをしたときの気持ちを教師と一緒に言葉に表したりシンボルマークでさし示したりする。
2学期	29	(知及技)昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉の響きやリズムを真似したりすることができる。[2段階イー(ア)] 遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむことができる。[2段階イー(イ)] (思判表力)挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現することができる。[2段階Aー エ] (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりする。[2段階]	(知･技)教師の支援を受けて、昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉の響きやリズムを真似したりする。 遊びややり取りを通して、教師の支援を受けながら言葉による表現に親しんでいる。 (思･判･表)教師の支援を受けて、挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	おおきなだいこん(国語☆☆)	･絵を見て登場人物の動作を模倣したり、場面の違いを見比べたりして、教師と一緒にイメージを言葉にする。 ･劇遊び等を通して好きな登場人物を選んだり演じたりしながら教師と一緒に動作模倣や台詞を表現する。
	29	(知及技)日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。[2段階アー(イ)] (思判表力)絵本や絵カードなどを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。[2段階Cー(ア)] (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりする。[2段階)]	(知･技)教師と一緒に日常生活でよく使われている平仮名を読むことができている。 (思･判･表)絵を見て、具体物を思い浮かべたり、教師と一緒に文字とその物の名前を合わせたりする (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	なまえなあんだ(国語☆☆)	･自分の名前やものの名前を文字で伝えるために、決まった組み合わせがあることを知り、教師と一緒に具体物や絵と文字カードを一致させ、カテゴリーに分ける。 ･名前と実際の物を関連づけて想起できるよう日常生活で関わりのある題材を使用する。 ･児童が特徴を捉えやすいよう物を知覚や身振り等で表現する。
	29	(知及技)読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味を持つことができる。[2段階イー(エ)] (思判表力)日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすることができる。[2段階Cーウ] (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりする。[2段階]	(知･技)教師の支援を受けて、読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味を持つことができている。 (思･判･表)日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、教師の支援を受けて、読もうとしたり、表された意味に応じた行動したりしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	しるしをみつけよう(国語☆☆)	･教師と一緒に校内表示等の特徴を探して、シンボルマークや標識の写真を集める。 ･身近な標識やマークの特徴や意味を考える。
3学期	16	(知及技)身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。[2段階アー(ウ)] (思判表力) 体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。[2段階Aーウ] (学･人)言葉がもつよさを感じるとと もに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。[2段階]	(知･技)教師の支援を受けて、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れている。 (思･判･表)教師の支援を受けて、体験したことなどについて、伝えたいことを考えている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	あつめてみよう(国語☆☆)	･楽しかった経験などから、それぞれの場面で使うものとその名前を思い浮かべたり、絵や実物を一致させたりし、いろいろな言葉を表現する。
	16	(知及技)身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。[2段階アー(ウ)] (思判表力)身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべることができる。[2段階Aー(ア)] (学･人)言葉がもつよさを感じるとと もに，読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。[2段階]	(知･技)教師の支援を受けて、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れている。 (思･判･表)教師の支援を受けて、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとと もに，読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	くわしくはなそう(国語☆☆)	･色や量、長さを表す形容詞を使ってものの状態を説明したり反対の意味を聞いたり使ったりして表現をする。
	16	(知及技)昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、真似したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(2段階イー(ア)) (思･判･表)絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えることができる。(2段階イー(エ)) 絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。(2段階Cーエ) (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりする。(2段階)	(知･技)昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、真似したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思･判･表)教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えている。 絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	うさぎとかめ(国語☆☆)	･時間の流れによる話の展開を捉え、「はじめ」「さいご」から全体を類推し、役割分担して友達の前で発表する。

留意点 引継ぎ等	

令和７年度 小学部　５年（　　Ⅱ課程　Aグループ　）算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	５年　10名	５年担当３名	さんすう☆☆☆ NHKforSchool

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。(小３段階) (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。(小３段階) (学･人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小３段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	（知及技）20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすることができる。（小３段階A数と計算ア（ア）ア） ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。（小３段階A数と計算ア（ア）エ） （思判表力）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。（小３段階A数と計算ア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組むことができる。（小３段階）	（知・技）20までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりしている。 ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりしている。 （思・判・表）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P5 ・10より大きいかず（スーパーマーケット） ☆☆☆本P6 ・10より大きいかず（10といくつ①） ☆☆☆本P7 ・10より大きいかず（10といくつ②） ☆☆☆本P8 ・10より大きいかず（かずをかきましょう） ☆☆☆本P10 ・20までのかずの大小（どちらがおおいでしょう） ☆☆☆本P12 ・20までのかずの大小（かずの大きいほうに〇をつけましょう） ☆☆☆本P13 ・20までのかずの大小（かずのおおいいほうに〇をつけましょう） ☆☆☆本P14 ・20までのかずの大小（どちらのかずが大きいでしょう）	・具体物を使って、11から20までの数を数える。 ・①では12個のみかんを10のまとまりが１つと残りが２個に分け、「10こと２こ」と言う。10をひとまとまりと捉える学習を行う。 ・②では立方体の積み木を使い「じゅう」と「に」で「じゅうに」と言えるようにする。なぞり書きをする。 ・ばらばらになった具体物の数を読み、書く。 ・どちらが多いかを直接比べるために、半具体物を並べて比べる。「10といくつ」の「いくつ」の部分を表す数字を比べて、大小の判断ができるようにする。 ・ドットが書かれた２枚の数カードの多い少ないを比較する。 ・具体物の数を数え、数の多い方を選ぶ。 ・数字同士で数の大小を比較する。
	18	（知及技）100までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解したりすることができる。（小３段階A数と計算ア（ア）イ） ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。（小３段階A数と計算ア（ア）エ） （思判表力）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。（小３段階A数と計算ア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組むことができる。（小３段階）	（知・技）100までの数について、数唱を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解したりしている。 ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりしている。 （思・判・表）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P16 ・おおきなかずのかきかた① ☆☆☆本P17 ・おおきなかずのかきかた② ☆☆本P18 ・じゅんばんにならべましょう（10よりちいさいかず、大きいかず） ☆☆☆本P19 ・じゅんばんにならべましょう（どんなかずが　はいるでしょう） ☆☆☆本P20 ・じゅんばんにならべましょう（うらがえしたカードはいくつでしょう）	・①では、10のまとまりにすることで、数えやすくなること、品物によって「個」「本」「枚」等のように呼称が変わることを学習する。「ろくじゅうよん」の読み方や書き方を学習する。 ・②では、位取り板を使用して、十進法位取り記数法について学習する。「十のへや」に入ると、まとまりとして１になるのだということを学習する。 ・10より小さい数と大きい数に分類してから順序正しく並べる。20を中心とした数の系列や数唱も扱う。 ・カレンダーの抜けている数字について考える。揃えてから１から30までの数唱をする。 ・100までのカードを教科書のように適宜裏返して並べる。裏返ったカードが何か考え、揃ったら順唱、逆唱する。
	18	（知及技）数える対象を2ずつ5ずつのまとまりで数えることができる。（小３段階A数と計算ア（ア）ウ） ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。（小３段階A数と計算ア（ア）エ） （思判表力）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。（小３段階A数と計算ア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組むことができる。（小３段階）	（知・技）数える対象を2ずつ5ずつのまとまりで数えている ・数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりしている。 （思・判・表）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P22 ・まとめてかぞえましょう（2ずつかぞえましょう） ☆☆☆本P25 ・まとめてかぞえましょう（5ずつかぞえましょう） ☆☆☆本P26 ・10のまとまり（いろいろな10） ☆☆☆本P28 ・10のまとまり（10ずつかぞえましょう）	・２飛びの数唱をしたり、数える対象を２ずつのまとまりで数える。２こずつのまとまりで数えると手際よく数えられることを学習する。 ・５飛びの数唱をしたり、数える対象を５ずつのまとまりで数える。５こずつのまとまりで数えると手際よく数えられることを学習する。５のまとまりにならない物も用意し、５飛びでは数えられないことがあることにも気付かせるようにする。 ・10を一つのまとまりとして意識し10のまとまりの物を数える。 ・10ずつ数えていくことや数え方に慣れる。

	10	（知及技）具体物を分配したり等分したりすることができる。（小３段階A数と計算ア（ア）オ） （思判表力）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすことができる。（小３段階A数と計算ア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組むことができる。（小３段階）	（知・技）具体物を分配したり等分したりしている。 （思・判・表）数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P29 ・おなじかずにわけましょう（ふたりでわけましょう） ☆☆☆本P30 ・おなじかずにわけましょう（おなじかずにぜんぶわけましょう①） ☆☆☆本P31 ・おなじかずにわけましょう（おなじかずにぜんぶわけましょう②）	・二人に一つずつ花が無くなるまで分ける。いくつずつ分けられたか数を数え、結果的に２等分したことがわかるようにする。 ・４人に８個のクッキーを一つずつ分ける。結果的に４等分したことがわかるようにする。 ・母親を含む４人で１枚のピザを分ける。どのように切り分けたら良いかを考え、分けられるようにする。
2学期	18	（知及技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えることができる。（小３段階Ｂ図形ア（ア）ア㋐ ） ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。（小３段階Ｂ図形ア（ア）ア㋑ ） ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。（小３段階Ｂ図形ア（ア）ア㋒ ） （思判表力）身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。（小３段階Ｂ図形ア（イ）㋐ ） ・身の回りにあるものの形を図形として捉えることができる。（小３段階Ｂ図形ア（イ）㋑ ） ・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすることができる。（小３段階Ｂ図形ア（イ）㋒ ） （学・人）物の前後を理解することで、日常的に着替え等に取り組むことができる。（小３段階）	（知・技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えている。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりしている。 ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表している。 （思・判・表）身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したり工夫している。 ・身の回りにあるものの形を図形として考えている。 ・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を考えている。 （主学）物の前後を理解することで、日常的に着替え等に取り組んでいる。	○形をつくろう ☆☆☆本P50 ・かたちあそび ☆☆☆本P51 ・いろいろなかたち（しかくをつくってみましょう）① ☆☆☆本P53 ・いろいろなかたち（さんかくをつくってみましょう） ○位置を表す言葉 ☆☆☆本P56～57 ・まえとうしろ①	・積み木などの立体物を使用して、高さを競うゲームを行う。 ・教科書を参考に、身近なお菓子の箱などを使用し、面の形を写し取りながら、絵を描く。 ・マグネットバーや割り箸など、曲がらない棒４本で四角作りを行う。 ・四角を分解したり組み立てたりすることで、四角が４辺で構成されていることを体験を持って感じられるようにする。 ・マグネットバーや割り箸など、曲がらない棒３本で三角作りを行う。 ・様々な長さの棒を用意し、いろんな形の三角を作る。 ・児童の普段着ている衣服などを使用し、衣服の着脱のロールプレイなどを行う。
	20	（知及技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えることができる。（小３段階Ｂ図形ア（ア）ア㋐ ） ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。（小３段階Ｂ図形ア（ア）ア㋑ ） ・前後、左右、上下などの方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。（小３段階Ｂ図形ア（ア）ア ） ・傾斜をつくると角ができることを理解すること。（小３段階Ｂ図形イ（ア）ア㋐ ） （思判表力）身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。（小３段階Ｂ図形ア（イ）㋐ ） ・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすることができる。（小３段階Ｂ図形ア（イ）㋒ ） ・傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現することができる。（小３段階Ｂ図形イ（イ）㋐ ） （学・人）傾斜と角の関係に関心をもち、いろいろな坂道を作ることができる。（小３段階）	（知・技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えている。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりしている。 ・前後、左右、上下などの方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表している。 ・傾斜をつくると角ができることを理解している。 （思・判・表）身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりしている。 ・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりしている。 ・傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現している。 （主学）傾斜と角の関係に関心をもち、いろいろな坂道を作ろうと取り組んでいる。	○位置を表す言葉 ☆☆☆本Ｐ６０～６１ ・上と下 ☆☆☆本Ｐ６４ ・右、左 ☆☆☆本Ｐ６５ ・かどをさがしましょう ○坂道をつくろう ☆☆☆本Ｐ６６ ・いろいろな大きさのかく①	・教室内にあるロッカーや机などを基準にして、上下に何があるかのクイズを行う。 ・命令ゲームなどで「○○の上にあるものを持ってきてください」などと言って位置関係の理解を促す。 ・右手左手の認識を促すため、「箸を持つ方が右」などと確認を行う。 ・「右手上げて」「左手上げて」などのゲームを行う。 ・右にいる人は誰、右に曲がるなどの日常に関連した事柄を取り入れて体験的に学習を行う。 ・教科書の挿絵を参考に、角の見本を持ちながら、教室内や校内探索をして角探しを行う。 ・扇子のような物から、１本の辺を開くと角ができる体験をする。 ・ロケット遊びで、どの傾きが一番飛ぶかを考えて、角度を調整することで、角度に大きい小さいがあることを経験する。
	17	（知及技）長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。（小３段階C測定ア（ア）ア） （思判表力）身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。（小３段階C測定ア（イ）ア） （学・人）身の回りにある長さや体積などの属性に着目した二つの量の比べ方に気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとすることができる。（小３段階）	（知・技）長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較している。 （思・判・表）身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりしている。 （主学）身の回りにある長さや体積などの属性に着目した二つの量の比べ方に気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	くらべてみよう ☆☆☆P68 ・ながい、みじかい① ☆☆☆P69 ・ながい、みじかい② ☆☆☆P70 ・ながさをくらべてみましょう（ならべてみましょう） ☆☆☆P71 ・ながさをくらべてみましょう（一ばんながいのはどれでしょう）	・長さの異なる二本の花を直接比べたり、花瓶に生けた花を観察し長さを比べる。 ・鉛筆、テープやクレヨンの長さを比べる。 ・とび縄、輪ゴムや靴などの長さを比べる。 ・作った輪かざりを持っている手の高さをそろえたり、たるみがある場合は伸ばして比べる。 ・複数の電車の挿絵から「いちばん長い」「いちばん短い」電車を考える。
	15	（知及技）長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。（小３段階C測定ア（ア）ア） ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較することができる。（小３段階C測定ア（ア）イ） （思判表力）身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。（小３段階C測定ア（イ）ア） （学・人）身の回りにある長さや体積などの属性に着目した二つの量の比べ方に気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとすることができる。（小３段階）	（知・技）長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較している。 ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較している。 （思・判・表）身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりしている。 （主学）身の回りにある長さや体積などの属性に着目した二つの量の比べ方に気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	くらべてみよう ☆☆☆P72～73 ・ながさをくらべてみましょう（うつしとってくらべましょう） ☆☆☆P74 ・ながさをくらべてみましょう（ながさをはかってみましょう） ☆☆☆P75 ・ながさをくらべてみましょう（ながさをいくつぶんでしょう）	・テーブルの縦の長さと横の長さをテープに写し取り長さを比べたり、写し取ったテープをホワイトボードに貼り比べたりする。 ・長さが同じ鉛筆やペン等を基準とする媒介物にして、教科書の縦の長さと横の長さを比べる。 ・基準とする媒介物として使用した鉛筆を用いて、テーブルの縦横の長さがそれぞれ何本分になっているか調べる。 ・6種の野菜の長さを数値化し、目盛りの幅と等しい長さのシールを目盛りの数だけはったり、一目盛りごとに色を塗ったりして長さを比べる。 ・方眼紙の上に文房具を置き長さ比べをする。

3学期	20	（知及技）日常生活の中で時刻を読むことができる。（小３段階C測定イ（ア）ア） ・時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解することができる。（小３段階C測定イ（ア）イ） （思判表力）時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現することができる。（小３段階C測定イ（イ）ア） （学・人）時刻と生活の結び付きに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとすることができる。（小３段階）	（知・技）日常生活の中で時刻を読もうといている。 ・時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解している。 （思・判・表）時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現している。 （主学）時刻と生活の結び付きに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	時計の読み方 ☆☆☆P80 ・とけい（学校のせいかつ） ☆☆☆P81 ・とけい（ながいはり、みじかいはり） ☆☆☆P82～83 ・とけい（ながいはり） ☆☆☆P84 ・とけい（みじかいはり）	・学校生活と時刻を結びつける。 ・模型の時計の針を操作する。 ・アナログ時計やデジタル時計の時刻（〇時）を読む。 ・長針の動きを知り10分刻みの時刻を読む。 ・短針の動きを知り〇時を読み取る。 ・短針が入る扇形の領域部分に色を付ける。
	25	（知及技）ものとものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすることができる。（小３段階Dデータの活用ア（ア）ア） ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ることができる。（小３段階Dデータの活用ア（ア）イ） （思判表力）個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現することができる。（小３段階Dデータの活用ア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとすることができる。（小３段階）	（知・技）ものとものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりしている。 ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取っている。 （思・判・表）個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現している。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P94～95 ・ひょうをつくりましょう① ☆☆☆本P96～97 ・ひょうをつくりましょう②	・自由にボーリングゲームを行うなかで、倒したピンの本数を数えることで得点になることを確認する。 ・得点を絵カードなどで表示する。 ・絵カードなどによる得点の記録を●という記号に置き換える。 ・ボールを転がす回数や順番などの簡単なルールを決めてボーリングゲームを行う。 ・ゲームの得点を●などの記号に置き換え、得点の一覧表を作る。 ・得点の一覧表を使って得点の結果を比較し、「～より多い」「～より少ない」「～と同じ」などと表現する。 ・毎日の天気を観察し、結果を記録表に晴れ、くもり、雨などの絵カード取り付けて記録する。 ・晴れ、くもり、雨など、それぞれの日数を月ごとにまとめ、その結果を●印などで記録して表を作成する。
留意点 引継ぎ等					

令和　7　年度 小学部　５年（　　Ⅱ課程　Bグループ　）算数科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	５学年　８名	５年担当　４名	さんすう☆☆(１)(２) NHK for school

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常の事象での数量や図形に注目し、数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質に気づき理解することができる。(小２段階) (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力や基礎的・基本的な数量や図形の性質に気づき感じ取る力、それらを表現することができる。（小２段階） (学･人)数学的活動の楽しさに気づき、関心や興味を持ち、算数で学んだことを生活に活用しようとすることができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	30	(知及技）ものとものとを対応させることによって、ものの個数を比べ同等・多少を理解することができる。[小２段階Aア(ア)㋐] (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に注目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。[小２段階Aア(イ)㋐] (学･人)数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持って課題に取り組もうとすることができる。[小２段階]	(知・技）10までの数が分かり、具体物を数えたり、指定された個数を取ったりしている。 (思･判･表)表示された数字に注目し、指定された数字を３つの数字の中から選んだり、指定された個数を友だちに配ろうとしている。 (主学)具体物を操作する楽しさを味わい、興味関心をもって学習に取り組もうとしている。	【数と計算】 ☆☆本P4 ・くみあわせ① ☆☆本P6 ・くみあわせ② ☆☆本P8 ・くみあわせ③	・指定された牛乳パックの個数を数えながら取る。 ・具体物の操作を行う。 ・指定された個数の牛乳パックを配る。
	30	（知及技）ものの集まりや数詞と対応して数字を理解することができる。[小２段階Aア(ア)㋑) （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。[小２段階Aア(イ)㋐] （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持って課題に取り組もうとすることができる。[小２段階]	（知・技）ものの集まりや数詞と対応して数字が分かっている。 （思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆本P10 ・10までのかずかぞえましょう① ・10までのかずかぞえましょう② ・10までのかずかぞえましょう③ ・10までのかずかぞえましょう④ ・10までのかず	・「数唱・数える・数字を知る」学習をする。具体物（動物）と動かせる半具体物（おはじき）を一対一対応させ、さらに半具体物（おはじき）と動かせない半具体物（ドット）を一対一対応させ、それを表す数字と読み方を知るという段階を経て「数」というものを認識できるようにする。
2学期	25	（知及技）個数を正しく数えたり書き表したりすることができる。[小２段階Aア(ア)㋓] （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。[小２段階Aア(イ)㋐] （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持って課題に取り組もうとすることができる。[小２段階]	（知・技）個数を正しく数えたり書き表したりできている。 （思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆本P24 ・かーどづくり① ☆☆本P28 ・かーどづくり② ☆☆本P30 ・かーどづくり③ ☆☆本P32 ・10までのかず　みえないものをかぞえる ☆☆本P33 ・10までのかず　うごきをかぞえる	・カード作り①では、１から10までの数字〈数詞）の読み方、書き方を学習する。筆順にも注意を向ける。 ・②では、動物の数を数字で書き入れていく。 ・③では、復習を兼ねて、自分で作ったカードの数字を見て、おはじきを枠の中に並べる。 ・具体物（太鼓の音）一つ一つに対して、半具体物（おはじき）を一対一対応して置いていく。おはじきの数が太鼓を叩いた数とする。順序数ではなく，集合数であることに留意する。 　数字カード、ドットカード、おはじきを同時に提示すると視覚的に理解でき集合数としての確認としても効果的である。 ・縄跳びで着地したタイミングで数を数える。指を折ったり、おはじきで回数を表したりする。

2学期	25	（知及技）二つの数を比べて数の大小を理解することができる。[小２段階Aア(ア)㋔] （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。[小２段階Aア(イ)㋐] （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持って課題に取り組もうとすることができる。[小２段階]	（知・技）二つの数を比べて数の大小がわかっている。 （思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆本P34 ・くらべてみよう① ☆☆本P38 ・くらべてみよう② ☆☆本P40 ・くらべてみよう③ ☆☆本P42 ・くらべてみよう④	・①では、教室にある物の数を数え、写真カードに置き換え、一対一対応しながら比べる。数字を提示しながら数詞で大小を確認する。 ・②では、果物カードやおはじきを使用して、５までの数で２数の大小について学習する。 ・③では、10の「階段」のタイルの数を数えて数詞を言い、数字を当てはめてから２数の大小について学習する。 ・④では、表面が数字、裏面がドットで表された、カードを使用する。二人の児童で数比べをする。
	20	（知及技）数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いることができる。[小２段階Aア(ア)㋕] （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。[小２段階Aア(イ)㋐] （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持って課題に取り組もうとすることができる。[小２段階]	（知・技）数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いている。 （思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆本P44 ・なんばんめ① ☆☆本P46 ・なんばんめ② ☆☆本P48 ・なんばんめ③	・①では、数の系列を使って、順序や位置が表せることを理解し、表現できるようにする。「〇番目」「〇個」のような順序数と集合数の違いに気付くような内容を取り扱う。走り競争での順番を確認する。 ・②では、カーレース挿絵を見て１から10までの順位を確認する。 ・③方向性のある順序数（順番・位置）から、物の位置など方向性が定まっていない場合に、場面に合わせて規準を定め、その物の位置を表す表現について学習を行う。例：ケーキをもらう順番、木に止まっている鳥の位置を上や下から数える。
3学期	25	（知及技）・0の意味について理解することができる。[小２段階Aア(ア)㋖] ・一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すことができる。[小２段階Aア(ア)㋗] （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。[小２段階Aア(イ)㋐] （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持って課題に取り組もうとすることができる。[小２段階]	（知・技）・0の意味について分かっている。 ・一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表している。 （思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆本P50 ・10までのかず　0のりかい ☆☆本P52 ・いくつといくつ① ☆☆本P54 ・いくつといくつ②③④	・ゲームで得点が入らなかった時、欠席者がいない時などを「れい」と表現することを学習する。書き順も練習する。 ・①では、一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする様子を目の前で見て、数の変化の様子に気付き、変化の様子を数詞・数字と結びつけられるようにする。 ・②③④では「５」「６」「７」それぞれ一つの数を二つに分けたり、まとめたりする。
	20	（知及技）・具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係付けてみることができる。[小２段階Aア(ア)㋘] ・10の補数を理解することができる[小２段階Aア(ア)㋙] （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。[小２段階Aア(イ)㋐] （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持って課題に取り組もうとすることができる。[小２段階]	（知・技）・具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係付けている。 ・10の補数が分かっている。 （思・判・表）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆本P60 ・いくつといくつ⑤⑥ ☆☆本P64 ・10はいくつといくつ ☆☆本P66 ・まとめ	・片方の児童が提示した数カードを見て、もう片方の児童は「８」や「９」になるために、何の数カードを選択するかを学習する。数字だけで難しい場合は、裏面のドットを見ながら選ぶ。 ・10がどのように構成されているかを学習する。「１と９は10」と暗記するだけの指導にならないように黄色と緑のタイルの数が変化していく様子に注目できるようにする。 ・２段階の「数と計算」のまとめの学習。数の対応・数・数詞・数字・数の大小（多少）・順序・合成・分解・補数の内容をより深く理解するように学習する。
留意点 引継ぎ等					

令和 7年度 小学部　5年（ Ⅱ課程 ）音楽科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	5学年　18名	５年担当　3名	おんがく☆☆ おんがく☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。(小３段階) (思判表力)音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(小３段階) (学･人)音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのものにしようとする態度を養う。(小３段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	15	（知及技）教師や友達と一緒に歌うことができる。(小３段階Aア(ウ)㋒) (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌詞に使われている言葉を自分なりに表現しようとすることができる。(小３段階Aア(イ)㋑) （学・人）曲に親しみ、曲の雰囲気を楽しみながら歌ってみようとすることができる。（小３段階）	(知・技）教師や友達と一緒に曲の一部分を模唱しようとしている。 (思･判･表)季節を想像しながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)曲に親しみ、曲の雰囲気を楽しみながら部分的に歌ったり、発声しようとしている。	【歌唱】 ・みんなで歌おう ・身振りをつけてみんなで歌おう ・みんなで歌うリズムを楽しもう ・季節の歌を歌おう ・かけ合いを楽しみながら歌おう	・教師の示範を見聴きしながら、特徴的なリズムや繰り返される歌詞の一部分を捉えて自分なりの方法（発声・模唱・身振りなど）で歌う学習 [１学期] ・校歌 ・もりのくまさん『おんがく☆☆』 ・平和の歌「月桃」「いのちのリレー」 ・ゆかいなまきば『おんがく☆☆☆』 ・にじ（手話ソング）『おんがく☆☆☆』 [２学期] ・手と手と手と『おんがく☆☆☆』 ・「ゴーゴーゴー」（運動会の歌） ・夕やけ　小やけ『おんがく☆☆☆』 ・むしのこえ『おんがく☆☆☆』 ・あわてんぼうのサンタクロース [３学期] ・おしょうがつ『おんがく☆☆』 ・ゆき『おんがく☆☆』 ・卒業式の歌 ・はるがきた『おんがく☆☆☆』
	15	（知及技）打楽器や鍵盤楽器などの身近な楽器を使い、簡単な楽譜などを見てリズム演奏をすることができる。　（小３段階Aイ(ウ)㋐） (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器や旋律楽器などに親しみ、思いに合った表現をすることができる（小３段階A表現イ（ウ）㋑） （学・人）楽器や楽器の音色に興味をもち、友達と一緒に演奏する楽しさを感じることができる。（小３段階）	(知・技）タンバリンやカスタネットなど、身近な楽器を使い、拍や特徴的なリズムに気づき模倣して演奏しようとしている。 (思･判･表)自分で楽器をたたいたり振ったり弾いたりして、意図的に音を出している。 (主学)楽器や楽器の音色に興味をもち、友達や教師と一緒に演奏する楽しさを感じようとしている。	【器楽】 ・いろいろなリズム ・ドレミの音で遊ぼう ・まつりを楽しもう（エイサー） ・演奏しよう	・楽器の名前や持ち方、鳴らし方を知る。 ・教師の動きを模倣したり、曲や合図に合わせてたりしながら楽器を鳴らす。 ・旋律楽器を演奏する ［１学期］ ・かわいいカスタネット（カスタネット） ・みなみのしまの　はめはめはだいおう　（カスタネット、すず）『おんがく☆☆』 ・ドレミの音であそぼう（キーボード、鍵盤ハーモニカ） ・ゆかいなまきば『おんがく☆☆☆』 ［２学期］ ・エイサー ・村まつり（和太鼓）『おんがく☆☆☆』 ［３学期］ ・ちゃいろの小びん『おんがく☆☆☆』 ・ドレミの音で遊ぼう（きらきらぼし）

年間を通して	10	（知及技）音遊びを通して、音を選んだりつなげたりして教師や友だちと一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。（小３段階Aウ(ウ)㋐） （思判表力）音遊びを通して音の面白さや音楽表現することについて思いを持つことができる。（小３段階Aウ(ｱ)㋐） （学・人）音遊びを通して、教師や友達と関わりながら身の回りの様々な音を表現してみようとすることができる。（小３段階）	（知・技）音遊びを通して、音を選んだりつなげたりして教師や友だちと一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 （思・判・表）音遊びを通して音の面白さや音楽で表現することについて思いをもとうとしている。 （主学）音遊びを通して、教師や友達と関わりながら身の回りの様々な音に親しもうとしている。	【音楽づくり】 ・いろいろな音 ・雨の音がくをつくろう ・ことばとリズム	・リズムを模倣したり、言葉を唱えたり、そのリズムを打ったりする学習 ・生活の中にある身近な音の存在に気付き、それぞれの音の特徴や違いを聴き分けたり、自分の好きな音を探したりする学習 １学期 ・いろいろなおと『おんがく☆☆』 ・雨の音がくをつくろう『おんがく☆☆☆』 ２学期 ・修学旅行に向けて「テーマソング」 ３学期 ・さがしてみよう　ならしてみよう
	15	（知及技）示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や体全体を自然に動かすことができる。(小３段階A工(ｲ)㋐) （思判表力）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かすことについて思いをもつことができる。(小３段階A工(ｱ)) (学・人）曲に親しみ、体を動かしながら友達や教師と一緒に曲の雰囲気を楽しむことができる。	（知・技）ダンスや手話ソングの示範を見て模倣し音や音楽を聴いて手足や体全体を動かそうとしている。 （思・判・表）ダンスや手話ソングについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学）曲に親しみ、体を動かしながら友達や教師と一緒に曲の雰囲気を楽しむこともうとしている。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう、踊ろう ・わらべうた	・軽快なリズムに合わせて楽しむ。 ・教師の示範や映像を見て、曲の雰囲気を感じながら、手足を動かしたり、ジャンプしたりするなどの全身を使った身体模倣 ［１学期］ ・さあ　みんなで ・児童会のダンス ・たのしいね『おんがく☆☆☆』 ・だるまさんがおどった『おんがく☆☆☆』 ［２学期］ ・宿泊学習ダンス ・マイム・マイム ・だいくの　きつつきさん『おんがく☆☆☆』 ・ハッピークリスマス （３学期） ・ぞうさんと　くものす ・ともだちに　なるために（手話ソング） 『おんがく☆☆☆』
	15	(知及技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。（小2段階Bア（ｲ）　） (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら，身近な人の演奏を見たり，体の動きで表したりしながら聴くことができる。（小2段階Bア（ア）） (学･人）音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、聴こうとすることができる。（小２段階）	（知・技）動画などの演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見つけている。 （思・判・表）演奏動画など身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 (主学)演奏している人を見たり、次の音を期待して待っていたりと、演奏を聴こうとしている。	【鑑賞】 ・楽器紹介 ・耳をすまそう ・いろいろな音楽を聴こう	・曲の中でのセリフを言ったり、手拍子などでリズムを取ったりしながら、体全体で曲の雰囲気を感じ、自分なりの楽しさを見つける。 ・特徴的な音やリズムに興味を持って聴く。 ・曲の雰囲気を感じながら、自分なりに体を動かして表現する。 ［１学期］ ・このおと なんだ（楽器クイズ） ・平和の歌「いのちのリレー」 ・ほしにねがいを（おんがく☆☆） ［２学期］ ・エイサー ・クリスマスソング ・オーバーザレインボー（おんがく☆☆☆） ［３学期］ ・がっきしょうかい（おんがく☆☆☆） ・おもちゃのへいたい ・魔女の宅急便
留意点 引継ぎ等					

令和 7年度 小学部　5年（ Ⅱ課程 ）図画工作科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	5学年　18名	5年生教諭7名	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)　形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫して作ることができる。(3段階) (思判表力)造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。　(3段階) (学･人) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活をそうぞうしようとすることができる。(3段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	【Ａ表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(小3段階A表現ア(イ)） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(小3段階A表現ア(ア)） （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。(小3段階)	(知・技)筆記用具を用いて、顔の形や果物の色などを捉えて描こうとしている。 (思・判・表)描きたい場面を考えようとしている。 (主学)描くことを楽しもうとしている。	単元１ 好きなことなあに？	・画用紙や模造紙など平面に表現する。 ・体験画（楽しいプール等） ・自画像（ぼく・わたしの似顔絵） ・自由画（大好きなもの等） 材料…シール、お花紙、クーピー、クレヨン、ペンなど
	6	【Ａ表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(小3段階A表現ア(イ)） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(小3段階A表現ア(ア)） （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。(小3段階)	(知・技）マーブリングや指絵の具などから出てくる模様の作り方や偶然に生まれる線の形や色の面白さに気づく。 (思・判・表）いろいろな模様を試したり、見つけたりしている。 (主学）模様を作ることを楽しもうとしている	単元２ いろいろ模様	・折り染め、たらし絵、にじみ絵、吹き絵、転がし絵、手形、足形でいろいろな模様を表す。 材料…プラバン、絵の具、カラーペン、インクなど ※プレゼントづくりにもつなげる。
	8	【Ａ表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(小3段階A表現ア(イ)） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(小3段階A表現ア(ア)） （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。(小3段階)	（知・技）新聞をねじったりのぞいたり穴を開けたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫して作っている。 （思・判・表）新聞紙に働きかけることから生まれる形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動する考えようとしている。 （主学）身体全体を使って新聞紙を楽しもうとしてる。	単元３ 新聞紙を使って変身しよう	・新聞紙を長くちぎったり、ハサミで長く切ったりする。 ・細かくちぎってみよう。 ・新聞ランドを開こう。（お化け屋敷、新聞の服作り等） 材料…新聞紙、ひも、はさみ、袋、のりなど
	10	【Ａ表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(小3段階A表現ア(イ)） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(小3段階A表現ア(ア)） （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。(小3段階)	（知・技）お花紙の触った感じの心地よさや、重なったお花紙の形や色の面白さに気づいている。 （思・判・表）お花紙の形や色、重ね方などを工夫しようとしている。 （主学）お花紙の手触りを楽しもうとしている。	単元４ ちぎってひねってのりでペタペタ	・お花紙をビニールに貼ろう。お花紙をペットボトルに貼る。 ・貼ったお花紙を光を通して見る。 材料…お花紙、ビニール、ペットボトル、窓ガラスなど

2学期	12	【A表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(小3段階A表現ア(イ)) （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(小3段階A表現ア(ア)) （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。(小3段階)	（知・技）版を並べたり重ねたりして写すことを通して映るものの形や色の美しさや面白さに気づいている。 （思・判・表）完成を想像して、期待感を持って色刷りをしようとしている。 （主学）版で写すことを楽しもうとしている。	単元５ いっぱい写して	・紙版画、型紙版画、スチレンボード版画等材料･･･紙、版画インク、はさみ、スチレンボード、絵の具、ローラーなど
	8	【A表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(小3段階A表現ア(イ)) （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(小3段階A表現ア(ア)) （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。(小3段階)	(知・技）身近な材料や用具を使って、季節をテーマにかいたり、形をつくったりしている。 (思･判･表)材料の形や色、季節のテ―マなどをもとに、かきたいことやつくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。 (主学)材料の形や色、触った感じなどに関心をもち、楽しく取り組もうとしている。	単元６ 季節の行事・季節の飾り	・誰に、どうしてプレゼントをつくるのかを知り、身近な材料や用具を使ってプレゼントを制作する。(敬老の日、勤労感謝の日) ・季節の行事を知り、つくったものを飾ったり着用したり、見せ合ったりして楽しむ。(ハロウィン飾りや衣装づくり、クリスマス飾りなど)
3学期	6	【A表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(小3段階A表現ア(イ)) （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(小3段階A表現ア(ア)) （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。(小3段階)	(知・技）簡単なモダンテクニックを知り、形や色の変化に気づいている。 (思･判･表)できた形や色、模様などの面白さや楽しさを感じ取ったり、形や色などを基に自分のイメージをもったりしている。 (主学)いろいろな技法に関心をもち、楽しく取り組もうとしている。	単元７ モダンテクニックを使って	・スタンピング、デカルコマニー、マーブリング、こすり出し、スクラッチなどの技法を使い、偶然に生まれる形や色からイメージを膨らませたり、表したい形を作ったりする。
	4	【A表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(小3段階A表現ア(イ)) （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(小3段階A表現ア(ア)) （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。(小3段階)	(知・技）ハサミで切ることを通してハサミが生む鋭い形の面白さやよさに気づいている。ハサミの扱いが分かり、表したいことを表すために並べ方を工夫している。 (思･判･表)ハサミで切りながら生まれた形を基に、表したいことを見つけている。 (主学)ハサミを使って思いのままに切ったり表したりすることを楽しもうとしている。	単元８ ハサミのアート	・ハサミの正しい持ち方、扱い方を知る。 ・ハサミを使い、思いのままに切る。 ・真っすぐに切る、曲線やジグザグに切る、大きく切る、小さく切るなど、表したい形に切る。 ・切ったものを並べたり、重ねたりして、表したい形に貼る。
	8	【A表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(小3段階A表現ア(イ)) （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(小3段階A表現ア(ア)) （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。(小3段階)	(知・技）材料や用具を使って、季節をテーマにかいたり、形をつくったりしている。 (思･判･表)材料の形や色、季節のて―マなどをもとに、かきたいことやつくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。 (主学)材料の形や色、触った感じなどに関心をもち、楽しく取り組もうとしている。	単元９ 季節の飾りをつくろう	・季節の行事を知り、飾りや作品をつくって楽しむ。(正月飾り、ひな祭り飾りなど) ・身近な材料や用具を使い、塗ったり、切り貼りしたりして壁面を制作する。(卒業式壁面制作)
年間を通して		(知及技）自分が感じたことや行ったことを通して、形や色の違いに気づくことができる。(共通事項ア(ア)) (思判表力)身近にあるものなどの形や色、作品の面白さや楽しさを感じ取ることができる。(2段階、B鑑賞ア（ア）) (学･人)形や色などに関わりながら、楽しんで鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうことができる。(3段階)	(知・技）自分や友達の作品を見たり触ったりして感じたことを通して、形や色の違いに気づいている。 (思･判･表)自分や友達の作品を見たり触ったりして、作品の面白さや楽しさを感じ取っている。 (主学)進んで作品を見たり、触ったり、作品について話したり、楽しく鑑賞の活動に取り組もうとしている。	単元10 僕の作品、私の作品	・教師に作品を見せたり、友達と見せ合ったりする。 ・楽しかったことや工夫したことを発表する。 ・作品を展示し、鑑賞する。 ・他学級や他学年の作品を鑑賞する。
留意点 引継ぎ等					

令和　7　年度 小学部　５年（ Ⅱ課程 ）体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	５年　　18名	５年担当職員　７名	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身につけるとともに、健康や身体の変化について知ることができる。（小学部３段階） (思判表力)基本的な運動を通して、考えたこと、気づいたことを他者に伝えることができる。（小学部３段階） (学･人)簡単なきまりを守り、友達と楽しく運動をしようとしたり、場や用具の安全な使い方に気を付けたりするとともに、健康に必要な事柄をしようとすることができる。（小学部３段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	（知及技）基本的な体つくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（３段階Ａ体つくり運動ア） （思判表力）基本的な体つくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（３段階Ａ体つくり運動イ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体つくり運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（３段階Ａ体つくり運動ウ）	（知・技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をしようとしている。 （思・判・表）基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとしている。 （主学）簡単な合図や指示に従って，体つくり運動遊びをしようとしている。	単元１【体つくり運動】 ・ラジオ体操 ・リトミック ・新体力テスト	・ラジオ体操、 ・行進練習 ・リトミック（高ばいで前後左右動き、スキップ、片足立ちなど） ・整列（合図を聞いて並ぶ、列に沿って並ぶ） ・ストレッチ運動（力を抜く、気持ちの良いところまで体を伸ばす、ペアでストレッチ等） ・綱引き（つかむ、引っ張る、踏ん張る） ・だるまさんがころんだ（いろいろな動きのまま止まる）
	10	（知及技）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（３段階Ｅボールを使った運動やゲームア） （思判表力）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（３段階Ｅボールを使った運動やゲームイ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（３段階Ｅボールを使った運動やゲームウ）	（知・技）ボールを使って、投げたり取ったりする楽しさや喜びを味わい、その行い方やルールを理解し，基本的な技能を身につけている。 （思・判・表）ボールを使った運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現したり、発表したりしている。 （主学）簡単なきまりやルールを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとしている。	単元１「ボールを使った運動やゲーム」 ・玉入れ ・バスケットボール ・Ｔベースボール	・キャッチボール(投げる、キャッチ) ・玉入れ(投げる) ・バランスボール(バランスボールでバウンド・キャッチ) ・バスケットボール(ドリブル練習)
	13	（知及技）水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（３段階Ｄ水の中での運動ア） （思判表力）水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（３段階Ｄ水の中での運動イ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（３段階Ｄ水の中での運動ウ）	（知・技）水の中で歩いたり、潜ったり、輪っか取りなどの楽しさを感じ、その動きを身につけている。 （思・判・表）水の中での基本的な運動の楽しみ方を自分で考えたり、教師や友達の動きを真似たりして工夫している。 （主学）プール学習でのきまりを守ろうとしている。	【水の中での運動】 ・水中で体を動かそう	・水中運動(歩く、走る、潜る、浮く、バタ足) ・バタ足（壁をつかんで、手引き、ビート板等） ・水中リトミック、かけっこ ・水中ゲーム（輪っか取り、じゃんけん、輪っかくぐり） ・水中運動(浮く、バタ足、走る、歩く、潜る) ・プールでの約束を守り安全に行動する。
	13	（知及技）基本的な表現運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付け，表現したり踊ったりすることができる。（３段階Ｆ表現運動ア） （思判表力）基本的な表現運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。（３段階Ｆ表現運動イ） （学・人）簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，基本的な表現運動をしようとすることができる。	（知・技）友達と手をつなぎ、回ったり、前や後ろに進んだりして踊っている。 （思・判・表）楽しさを感じて笑顔で踊ったり、その楽しさを発表している。 （主学）友達と同じ方向に回ったり、進んだりして、安全に楽しく踊っている。	【表現運動】 ・いろんな動きで踊ってみよう	・ダンス（フォークダンス、 ・教師の見本や、動画を見て振り付けを覚える。 ・工夫した箇所や頑張ったところを発表する。 ・友達の踊りや動きで上手な所を発表する。

2学期	16	（知及技）走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（３段階C走・跳の運動ア） （思判表力）走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（３段階C走・跳の運動イ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（３段階C走・跳の運動ウ）	（知・技）バトンを持って、自分のコースを最後まで走っている。 （思・判・表）直線や曲線を工夫して走ったり、走っている友達を応援したりしている。 （主学）自分の順番やコースを理解し、友達にぶつからず、走っている。	【走・跳の運動】 ・リレー	・50メートル走、100メートル走 ・バトンパス ・折り返しリレー（バトンを使ってコーンをUターン） ・リレー（半周、１周）
	10	（知・技）健康や身体の変化について知り、健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付けることができる。（３段階G保健ア） （思判表力）健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（３段階G保健イ） （学・人）健康や身体の変化について知ろうとすることや健康な生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けようとすることができる。	（知・技）体調の悪い時やケガをして痛みを感じていることを教師等に知らせている。 （思・判・表）「健康な生活に必要な事柄」を簡単な言葉かけや日課の流れに応じて自ら行動している。 （主学）健康や身体の変化について知ろうとすることや健康な生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けようとしている。	【保健】 単元１「体を大切にしよう」 ・自分の体	・健康管理（運動、食事、休養、睡眠、体温測定、手洗い・うがい） ・体の洗い方、拭き方 ・歯と口の健康 ・体の発育について知ろう（大人の体について） ・性教育

3学期	10	（知及技）器械・器具を使っての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（３段階Ｂ器械・器具を使っての運動ア） （思判表力）器械・器具を使っての基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（３段階Ｂ器械・器具を使っての運動イ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（３段階Ｂ器械・器具を使っての運動ウ）	（知・技）マットを使った運動遊びで教師や友達のまねをしてる。 （思・判・表）それぞれの固定施設を使って、楽しくできる場や自分の力にあった遊び方を考え、選んでいる。 （主学）マット遊びに進んで取り組もうとしている。	【器械・器具を使っての運動】 ・マット運動 ・サーキット運動	・座る、立つ、跳ぶ、走る、しゃがむ、跳ねる、四つ這い（サーキット運動） ・跳ぶ、転がる、前転、後転（マット運動） ・ルールやマナーを守って取り組む。 ・友達と協力して取り組む。 ・工夫したことや気づいたことを友達と伝え合う。
	11	（知及技）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けることができる。（３段階Ｅボールを使った運動やゲームア） （思判表力）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（３段階Ｅボールを使った運動やゲームイ） （学・人）簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。（３段階Ｅボールを使った運動やゲームウ）	（知・技）パスやドリブルなどの基本的な動きを身につけている。 （思・判・表）ゴールを決めた後に喜びを表現している。 （主学）順番やきまりを守り、誰とでも仲良くしようとしている。	・サッカー ・ドッチボール ・キックベースボール	・ゲームの行い方やルールについて ・ルールやマナーを守って取り組む ・工夫したことや気づいたことを友達と伝え合う。 ・教師の手本を見たり、上手に行っている友達を手本を見て模倣する。 ・友達と協力して仲良く楽しく取り組む。
	12	（知及技）走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けることができる。（３段階Ｃ走・跳の運動ア） （思判表力）走・跳の基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。（３段階Ｃ走・跳の運動イ） （学・人）簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，走・跳の基本的な運動をしようとする。（３段階Ｃ走・跳の運動ウ）	（知・技）最後まで諦めずに走っている。 （思・判・表）直線や曲線を工夫して走っている。 （主学）簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，走・跳の基本的な運動をしようとする。	単元１「持久走」 ・最後まで諦めずに走ろう	・短距離走との走り方の違いを知る。 ・教師と話し合いながら自分なりの目標を決める。 ・工夫したことや気付いたことを友達同士で伝え合う。
留意点 引継ぎ等					

令和　７年度 小学部　５年（　Ⅱ課程　）特別の教科　道徳科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	５学年18名	5年担当職員7名	絵本、パワーポイント、映像、写真等

年間目標	**(A：自分自身に関する事)** 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける態度を育てる。 **(B：人との関わりに関する事)** 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えようとする姿勢を育てる。 **(C:集団や社会との関わりに関する事)** 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めようとする態度を育てる。 **(D:生命や自然、崇高な物との関わり)** 生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重する心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	・挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。また、挨拶の仕方について体験的に学ぶことをとおして、時と場合に応じた挨拶の仕方を理解し考え、日常生活のさまざまな場面で実践しようとする。（B）	【礼儀】 ・挨拶の相手	・挨拶をすることの大切さ ・時と場に応じたあいさつ 【関連】特活「学年・学級開き」
	3	・みんなの行動について考えることをとおして、仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとする。（C）	【公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・なかまはずれがおこらないようにするためには ・みんなと仲良くしよう 【関連】生活「人との関わり」
	3	・友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばそうとする。（B）	【友情、信頼】 ・友達の気持ちになって	・友達の気持ちになってみよう ・友達との関わりの中で、自分の特徴やよさを確かめよう 【関連】生活「人との関わり」
	2	・規則正しい生活や周りの人に対する態度について、わがままな行動をせず、正しい生活態度で過ごし、周りの人に迷惑をかけないようにしようとする。また、物の大切さについて気づき、わがままをせず、節度のある生活を送ろうとする。（A）	【節度・節制】 ・規則正しく、気持ちの良い生活	・規則正しい生活を送ろう ・物を大切にしよう 【関連】特活「夏休みの過ごし方」
2学期	3	・言葉の大切さを理解し考え、相手が笑顔になるような言葉を使おうとする。（A）	【個性の伸長】 ・よさを伸ばす	・相手に言われて嬉しい言葉のよさに気づき、言葉の大切さについて考えよう 【関連】生活「人との関わり」
	4	・約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとする。また、体験的に学ぶことをとおして、約束やきまりの大切さに気づき考え、みんなが使うものやみんなのものを大切にしようとする。（C）	【規則の尊重】 ・きまりを守って	・楽しく遊ぶためにも約束やきまりが必要であること ・みんなが使うものを大切にすること 【関連】生活・特活　「宿泊学習に向けて」
	2	・どんな人にお世話になっているかを知り、その人たちに感謝するとともに「ありがとう」の気持ちを伝えようとする気持ちをもつ。（B）	【感謝】 ・いつもありがとう	・感謝の気持ちを伝えよう 【関連】国語・図工「勤労感謝の日」、生活、「13祝い」
	3	・物事のよいことと悪いことについて考え、よいと思うことをすすんで行おうとする。（A）	【善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで	・善悪を判断することの大切さを理解し、正しいことを自らすすんでしようとすること 【関連】生活「きまり」　学校生活全般
	3	・自分が成長していることの喜びを実感し、かけがえのない命を大切にしようとする心を育む。（D）	【生命の尊さ】 ・成長を振り返ろう	・自分の生まれた日、名前の由来 ・成長記録 【関連】「１３祝い」「誕生会」
3学期	3	・支えてくれた家族の愛情の深さが分かり、家族に対する感謝の気持ちをもって家族の役に立ちたいという気持ちをもつ。（C）	【家族愛、家庭生活の充実】 ・ありがとうを伝えよう	・自分の生活を見直し、どういう風に家族に支えられているか振り返る。 ・感謝カードを作成する。 【関連】「１３祝い」
	4	・自ら働くことのよさや楽しさについて考え、すすんでみんなのために働こうとする。（C）	【勤労、公共の精神】 ・楽しく働く	・みんなのために働くということについて ・みんなのために働くことのよさに気づき、すすんで仕事をしようとすること 【関連】　生活「役割」
	2	・５年生を振り返りつつ６年生に向けて目標を持ち、やるべきことをしっかりやろうとする意欲をもつ。（A）	【希望と勇気】 ・もうすぐ６年生	・５年生を振り返り ・６年生へ向けて 【関連】特活「振り返り」等
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 小学部5年　外国語活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
18	5年　18名	外国語担当教諭 ALT、5年職員	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と英語の音声の違いに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。 （思判表力）身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養うことができる。） （学・人）外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	（知及技）英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。＜イ(ア)＞ （思判表力）身近で簡単な事柄について、相手の働きかけに応じようとすることができる。＜イ＞ （学・人）対話的な活動や外国の文化に触れながら、英語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。 （知及技）外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ることができる。（1）イ（イ） （思判表力）既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付けることができる。（3）①ア（イ） （学・人）対話的な活動や外国の文化に触れながら、英語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	（知・技）イラストや絵カード等を見ながら、英語の音声（英語特有のリズムやイントネーション）を聞き、発音しようとしている。 （思・判・表）相手の質問や要求に対して、表情や動作などで応じている。 （主学）やりとりを楽しみながら、教師の促しで英語を使おうとしている。 （知・技）外国の文化に触れ、日本との違いを体験的に感じている。 （思・判・表）英語の音声とそれを表す写真やイラストを結びつけている。 （主学）やりとりを楽しみながら、教師と一緒に英語を使おうとしている。	Hello!（Introduction）	ALTの先生の紹介・あいさつのことば ・Hello./Good morning./Good afternoon. ・Nice to meet you. English songs and dance / Games
				What’s your Name？	名前をたずねる・自己紹介 ・What’s your name? ・What’s her/his name? ・My name is…. ・Her/his name is ___. English songs and dance / Games
				How are you?	元気ですか？・今の気分 ・How are you? ・I’m___. (good/great/wonderful/hangry/tired/not so good) ・How is she/he? ・She/he is___. English songs and dance / Games
				How old are you? (Numbers)	年齢をたずねる・数字 ・How old are you？ ・I’m___ years old. ・Numbers 1-20 English songs and dance / Games
				1st semester Birthday Party	誕生日おめでとう・数字の復習 ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance
2学期	7	（知及技）英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。＜イ(ア)＞ （思判表力）身近で簡単な事柄について、相手の働きかけに応じようとすることができる。＜イ＞ （学・人）対話的な活動や外国の文化に触れながら、英語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。 （知及技）外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ることができる。（1）イ（イ） （思判表力）既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付けることができる。（3）①ア（イ） （学・人）対話的な活動や外国の文化に触れながら、英語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	（知・技）イラストや絵カード等を見ながら、英語の音声（英語特有のリズムやイントネーション）を聞き、発音しようとしている。 （思・判・表）相手の質問や要求に対して、表情や動作などで応じている。 （主学）やりとりを楽しみながら、教師の促しで英語を使おうとしている。 （知・技）外国の文化に触れ、日本との違いを体験的に感じている。 （思・判・表）英語の音声とそれを表す写真やイラストを結びつけている。 （主学）やりとりを楽しみながら、教師と一緒に英語を使おうとしている。	What color do you like?	何色が好き？・色 ・What color do you like? ・I like___. (red/blue/yellow/green/orange/purple/pink/brown/white/black) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don’t. English songs and dance / Games
				What food do you like?	好きな食べ物は？・食べ物 ・What food do you like? ・I like___. (sushi/ramen/hamburger/spaghetti/pizza/curry and rice/bread/rice) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don’t. English songs and dance / Games
				What fruit do you like?	好きな果物は？・果物 ・What fruit do you like? ・I like___. (banana/apple/orange/strawberry/melon/water melon/pineapple/peach) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don’t. English songs and dance / Games
				What snack do you like?	好きなお菓子は？・お菓子 ・What snack do you like? ・I like___. (chocolates/candies/donuts/cookies/macarons/cupcakes/jellies/marshmallows) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don’t.
				Halloween Party	ハロウィンのお話 English songs and dance / Games トリックオアトリート・色の復習 ・Trick or treat. ・Games（ボーリング、輪投げ、釣りetc.） English songs and dance
				What drink do you like?	好きな飲み物は？飲み物 ・What drink do you like? ・I like___. (coffee/tea/Japanese tea/hot chocolate/orange juice/apple juice/coke/water) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don’t.
				2nd semester Birthday Party	誕生日おめでとう・数字の復習 ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance

3学期	6	（知及技）英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。＜イ(ア)＞ （思判表力）身近で簡単な事柄について、相手の働きかけに応じようとすることができる。＜イ＞ （学・人）対話的な活動や外国の文化に触れながら、英語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。 （知及技）外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ることができる。（1）イ（イ） （思判表力）既に知っている物や事柄に関する語などを聞き、それが表す内容を実物や写真などと結び付けることができる。（3）①ア（イ） （学・人）対話的な活動や外国の文化に触れながら、英語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	（知・技）イラストや絵カード等を見ながら、英語の音声（英語特有のリズムやイントネーション）を聞き、発音しようとしている。 （思・判・表）相手の質問や要求に対して、表情や動作などで応じている。 （主学）やりとりを楽しみながら、教師の促しで英語を使おうとしている。 （知・技）外国の文化に触れ、日本との違いを体験的に感じている。 （思・判・表）英語の音声とそれを表す写真やイラストを結びつけている。 （主学）やりとりを楽しみながら、教師と一緒に英語を使おうとしている。	What toy do you like?	好きなおもちゃは？・おもちゃ ・What toy do you like? ・I like___. (soccer ball/Video Game/iPad/Teddy Bear/Barbie/Lego/RC car/bicycle) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don't. English songs and dance / Games
			Christmas Party	クリスマスの話・クリスマスソング ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance
			What animal do you like?	好きな動物は？・動物 ・What animal do you like? ・I like___. (dog/cat/lion/horse/elephant/rooster/cow/snake) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don't. English songs and dance / Games
			Who is this? (Family)	だれですか？・家族 ・Who is this/that? ・This is my___. (daddy/mommy/older brother/younger brother/older sister/younger sister/grandma/grandpa) English songs and dance / Games
			3rd semester Birthday Party	誕生日おめでとう・数字の復習 ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance
			Request Day (Review)	リクエストタイム・復習 English songs and dance / Games
留意点 引継ぎ等				

令和　７年度 小学部　５年（　Ⅱ課程　）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	５学年　18名	各学級担任	

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技)実践的な集団活動を通して、友達への関わり方について学び、望ましい人間関係が形成できるようにする。 (思判表力)集団の一員として学校生活に必要な係に取り組むことができるようにする。 (学･人)様々な集団活動を通して、よりよい学校生活を築こうとする態度を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	学年、学級の友達や教師について知り、仲良くしようとすることができる。	・学年、学級開き	・学年、学級紹介、自己紹介
	2	１学期の学習内容のイラストを見たり、話を聞いたりして見通しをもつことができる。	・１学期の学習について	・１学期頑張ろう会で行事や学習についての話を聞く。
	2	学級目標や個人目標をたてることができる。	・１学期の目標をたてよう	・学級目標、個人目標を考えて発表する。キャリアパスポート活用。
	2	自分の頑張ったことを振り返ることができる。	・１学期の振り返り	・個人目標の振り返り。キャリアパストート活用。１学期頑張った会で発表する。
	2	夏休みの過ごし方について知ることができる。	・夏休みの過ごし方	・夏休みの過ごし方についての話を聞く。やりたいことの発表。
2学期	1	２学期の学習内容についての話を聞き、見通しをもつことができる。	・２学期の学習について	・２学期頑張ろう会で行事や学習についての話を聞く。
	2	２学期の目標をたてることができる。	・２学期の目標をたてよう	・個人目標を考えて発表する。キャリアパスポート活用。
	5	・宿泊学習の目標を意識しながら日程、場所、活動内容についての見通しをもつことができる。 ・公共機関を使うときのルールやマナー、役割などについて考えることができる。	・宿泊学習（事前・事後）	・宿泊学習の日程、活動内容、公共機関を使うときのルールやマナー、係活動等について学習する。 ・しおりの作成、読み合わせ。
	1	自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとする気持ちをもつことができる。	・学年紹介	・児童集会に向けて学年の紹介ビデオを作る。
	2	学習発表会での目標を立てたり、振り返ったりすることができる。	・学習発表会の目標をたてよう＆振り返ろう	・目標を考えて発表する。キャリア・パスポート活用。
	2	自分の頑張ったことを振り返ることができる。	・２学期の振り返り	・個人目標の振り返り。キャリアパストート活用。２学期頑張った会で発表する。
	1	冬休みを元気に楽しく過ごすための約束を、確認することができる。	・冬休みに向けて	・冬休みの過ごし方についての話を聞く。やりたいことの発表。
3学期	2	３学期の学習内容についての話を聞き、見通しをもつことができる。	・３学期頑張ろう会	・３学期頑張ろう会で行事や学習についての話を聞く。
	2	３学期の目標をたてることができる。	・３学期の目標をたてよう	・個人目標を考えて発表する。キャリアパスポート活用。
	3	・児童会役員の心得などを知り、児童会への関心を高めることができる。 ・児童会役員として、頑張ってほしい人を応援することができる。	・児童会役員を決めよう	・児童会役員選挙について。
	2	自分の頑張ったことを振り返り、発表することができる。	・３学期の振り返り ・１年間の振り返り	・個人目標の振り返り。キャリアパストート活用。３学期頑張った会で発表する。 ・５年生頑張った会で１年間で頑張ったことを発表する。
	1	春休みを元気に過ごすための約束を、確認することができる。	・春休みの過ごし方	・春休みの過ごし方についての話を聞く。

留意点 引継ぎ等	

令和　7年度 小学部 6年（　Ⅱ課程　）生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
227	6年 31名	6年生担当教諭	せいかつ☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)・活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴のよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(小3段階) (思判表力)・自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。(小3段階) (学・人)・自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。(小3段階)	

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	(知及技)集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりすることができる。	(知及技)集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けようとしている。 (思判表力)様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 (主学)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ,意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	【カ役割】 「かいをひらこう」 ・新入生を祝う会をひらこう ・かいでつかうものをつくろう ・じゅんびをしよう ・さあ本ばん	【集団の参加や集団内での役割】 ・新転入生を迎える会等、積極的に様々な集団活動に参加し、活動の準備や活動における役割を主体的に果たす。 ・他の係を意識しながら活動の見通しをもって、自分の役割を果たす。 【共同での作業と役割分担】 ・作業分担や役割が分かり、自分から取り組んだり、役割を果たしたりする。
	3	(知及技)簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付ける。 (思判表力)日常生活の簡単なきまりやマナーか分かり、それらを守って行動しようとする。 (学・人)学校のきまりや公共の場でのマナー等に関わる学習活動を通して、社会に自ら働きかけ、生活を豊かにしようとする態度を養う。	(知・技)簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)日常生活の簡単なきまりやマナーか分かり、それらを守って行動している。 (主学)学校のきまりや公共の場でのマナー等に関わる学習活動を通して、社会に自ら働きかけ、生活を豊かにしようしている。	【ケきまり】 「学校のきまり」 ・きまりについてそうだんしよう 「じぶんのもの人のもの」	【学校のきまり】 ・必要に応じて簡単なきまりを相談してつくる。 【自分の物と他人の物の区別】 ・自分や友だちの物の区別ができ、決められた場所へ片付ける。学校内の決められた場所や学校の物品の扱いが分かり丁寧に使う。
	3	(知及技)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりする。 (思判表力)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設か分かり、それらを表現する。 (学・人)自分の地域や周辺の地理等の社会の様子、警察署や消防署等の公共施設に関わる学習活動を通して社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうする態度を養う。	(知・技)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 (思・判・表)日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設か分かり、それらを表現している。 (主学)自分の地域や周辺の地理等の社会の様子、警察署や消防署等の公共施設に関わる学習活動を通して社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうしている。	【コ社会の仕組み公共施設】 「わたしのまわりの人」 ・がっこうではたらく人	【家族・親戚・近所の人】 ・学校で働く人と自分の関わりに気づき、それらの働きを知る。学校で働く人の職業名とその役割が分かる。
	2	(知及技)身近な人との簡単な応対等をするための知識や技能を身に付ける。 (思判表力)身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対等をしようとする。 (学・人)身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとする態度を養う。	(知・技)身近な人との簡単な応対等をするための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対等をしている。 (主学)身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとしている。	【オ人との関わり】 「わたしとかぞく」 ・かぞくしょうかいをしよう	【自分自身と家族】 ・自分自身や祖父母について、仕事や関係などにも触れて簡単に話したり紹介したりする。

	4	（知及技）安全や防災に関わる知識や技能を身に付ける。 （思判表力）日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 （学・人）交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけている。 （主学）交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【イ安全】 「気をつけることはなにかな？」 ・こうつうあんぜん 「じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう～火じになったら～」 「さいがいにそなえて」	【交通安全】 ・左右を確認して渡ったり、標識を理解したりして、自分で気をつけながら安全に過ごす。 【危険防止】 ・火事になったとき、どのように行動するか考える。「おはしもち」を意識した行動や「頭を守る」など。 ※訓練と連携し取り組む
	2	（知及技）身近な人との簡単な応対等をするための知識や技能を身に付ける。 （思判表力）身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対等をしようとする。 （学・人）身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）身近な人との簡単な応対等をするための知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対等をしている。 （主学）身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとしている。	【オ人との関わり】 「はなしてみよう」 ・見ききしたことやあそんだことを先生と友だちと話し合おう	【身近な人との関り】 ・自分自身や家族のほかに親戚等について簡単に話したり紹介したりする。 ・休日、見聞きしたことや遊んだ事を教師や友達と話し合う。 ・写真等を見ながらその時の様子を説明する。
	4	（知及技）安全や防災に関わる知識や技能を身に付ける。 （思判表力）日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 （学・人）交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけている。 （主学）避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【イ安全】 「じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう～じしんがおきたら～」 「さいがいにそなえて」	【危険防止】 ・地震や火事などの災害に気づき、校内放送や教師の指示に従って避難場所へ移動する。 ※訓練と連携し取り組む
	4	（知及技）日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設等を知ったり、活用したりする。 （思判表力）日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設か分かり、それらを表現する。 （学・人）自分の地域や周辺の地理等の社会の様子、警察署や消防署等の公共施設に関わる学習活動を通して社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうする態度を養う。	（知・技）日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設なとを知ったり、活用したりしている。 （思・判・表）日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設か分かり、それらを表現している。 （主学）自分の地域や周辺の地理等の社会の様子、警察署や消防署等の公共施設に関わる学習活動を通して社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうしている。	【コ社会の仕組み公共施設】 「しらべてみよう」 ・しょうひんはどこからきたのかな ・わたしたちの町 ・こくみんのしゅく日について ・こくみんのしゅく日のしゅるい	【いろいろな店】 ・いろいろな店の種類が分かり、それぞれの店の名称やそこで扱っている商品の名前が言える。 【社会の様子】 ・自分の住む地域や隣接する市町村の名称が分かる。 ・自分が住んでいる地域や周辺の地域の田畑、大きな河川、港湾、商業地や工業地、住宅などが分かる。 ・国民の祝日のおよその意味を調べ、カレンダーを制作する。
	4	（知及技）日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付ける。 （思判表力）必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとする。 （学・人）身の回りの整理や身なり等の基本的生活習慣や日常生活に役立つことに関わる学習活動を通して、自分のことに取り組もうとする態度を養う。	（知・技）日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役 立てている。 （主学）身の回りの整理や身なり等の基本的生活習慣や日常生活に役立つことに関わる学習活動を通して、自分のことに取り組もうとしている。	【ア基本的生活習慣】 「一人でやってみよう！」 ・ねるときのじゅんびかたづけ ・おふろ	【ねるときのじゅんび・かたづけ】 ・就寝前や起床後に行う活動（布団を敷く、布団を畳む）。 ・就寝前や起床後の活動を家庭における役割として位置づけ、毎日継続的に取り組む事で習慣化を図る。 【おふろ】 ・入浴の際の身体を洗う手順や体の汚れを知る。 ・体の洗い方を知り、動きを模倣する。

2学期	2	（知及技）日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付ける。 （思判表力）日常生活の日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって行動しようとする。 （学・人）一週間程度の予定、学校行事や家庭の予定等に関わる学習活動を通して、自分のことに取り組もうとしたり、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）日常生活の日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって行動している。 （主学）一週間程度の予定、学校行事や家庭の予定等に関わる学習活動を通して、自分のことに取りくもうとしたり、生活を豊かにしようとしている。	【ウ日課・予定】 「よていのかくにん」 ・りょていのかくにん	【日課・予定】 ・宿泊学習、修学旅行の旅程が分かり、予定表を見て自ら動いたり、教師の指示に従って一緒に行動したりする。
	6	（知及技）金銭の扱い方等の知識や技能を身に付ける。 （思判表力）日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れる。 （学・人）価格に応じて必要な貨幣を組み合わせる等の金銭に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとする態度を身につける。	（知・技）金銭の扱い方等の知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れている。 （主学）価格に応じて必要な貨幣を組み合わせる等の金銭に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【ク金銭の扱い】 「おこづかいをもらったら」 「かいもの」 ・いろいろなおかねのはらいかたがあるよ ・かいものにちょうせんしよう	【金銭の扱い】 ・日常生活では、金銭が必要なことが分かり、金銭の種類ごとに分類して数えたり、必要に応じて両替をしたりすることに慣れる。無駄遣いしないことや遣い道を考えて遣うこと、必要に応じて銀行などを活用する。 【買い物】 ・自分で目的に応じて買い物をする。買い物に必要な言葉を使う、簡単なおつりのある買い物をする、値札を見て買い物をする、レジの場所が分かり、代金を支払う。 【自動販売機の利用】 ・簡単な自動販売機などを自分で利用する。
	4	（知及技）日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりする。 （思判表力）日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設か分かり、それらを表現する。 （学・人）自分の地域や周辺の地理等の社会の様子、警察署や消防署等の公共施設に関わる学習活動を通して社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうする態度を養う。	（知・技）日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりしている。 （思・判・表）日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設か分かり、それらを表現している。 （主学）自分の地域や周辺の地理等の社会の様子、警察署や消防署等の公共施設に関わる学習活動を通して社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうしている。	【コ社会の仕組み公共施設】 「町ではたらく人にあいにいこう」 ・のりものにのろう ・校がいがくしゅうにいこう	【交通機関の利用】 ・日常的に利用しているモノレールやバスなどの切符を自動券売機などで買う。 ・目的地までそれらを確実に利用する。 ・交通機関が遅延した際の対応方法、校外学習時の目的地までの交通機関を知る。 【公共施設の利用】 ・警察署、消防署などを訪問したり見学したりして社会の一員として利用の仕方を知る。
	2	（知及技）安全や防災に関わる知識や技能を身に付ける。 （思判表力）日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 （学・人）交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけている。 （主学）交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【イ安全】 「あんぜんにくらそう」 ・気をつけてちょうりきぐをつかおう	【危険防止】 ・実際の道具を見たり触れたりしながら、正しい使用の仕方と誤った使用の仕方（してはいけない使用の仕方）やそれぞれの道具の気をつけるべき部分などについて考え、意見を出し合う。

	5	（知及技）手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付ける。 （思判表力）日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとする。 （学・人）自分から調理や製作等の様々な手伝いをすることや学級の備品等の整理等に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）日常生活の手伝いや仕事を進んでしている。 （主学）自分から調理や製作等の様々な手伝いをすることや学級の備品等の整理等に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【キ手伝い】 「ホットケーキづくりを手つだおう」 「ピザトーストづくりを手つだおう」 「手げいにチャレンジ」 「おてつだいをしよう」	【手伝い】 ・簡単な調理を通して、準備、片付けなどの手伝いを学ぶ。 ・道具や器具に慣れるとともに、それらを大切に扱いながら安全に仕事の手伝いをする。 【整理整頓】 ・自分の所持品だけでなく、友だちの使った物や学級の備品の整理を行う 【後片付け】 ・手伝いや仕事の終了時に報告をしたり自分から所定の場所に道具を片付けたりする。 ・片付けをすることは、集団における大切なルールだと知る。
	2	（知及技）身近な人との簡単な応対等をするための知識や技能を身に付けることができる。 （思判表力）身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対等をしようとする。 （学・人）身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）身近な人との簡単な応対等をするための知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対等をしている。 （主学）身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとしている。	【オ人との関わり】 「気もちをつたえよう」	【気持ちを伝える応対】 ・気持ちを表す言葉があることが分かり、自分なりに表現することや、それらを含めた挨拶等を習慣にすること。 ・気持ちを表す言葉「ありがとう」「ごめんなさい」などの気持ちを表す経験をする。
	3	（知及技）身近な人との簡単な応対等をするための知識や技能を身に付ける。 （思判表力）身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対等をしようとする。 （学・人）身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）身近な人との簡単な応対等をするための知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）身近な人と自分との関わりが分かり、一人で簡単な応対等をしている。 （主学）身近なことを教師や友達と話すこと等に関わる学習活動を通して、身近な人に働きかけ、生活を豊かにしようとしている。	【オ人との関わり】 「でんわやおきゃくさまへのたいおう」	【電話や来客の取り次ぎ】 ・電話や来客時に、「はい、〇〇です」、「今代わります」、「〇〇先生、電話です」、「〇〇先生にお客さまです」等の対応を行い、一人で適切に取り次ぐ。

3学期	4	（知及技）ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べる。 （思判表力）日常生活の中て、ものの仕組みや働きか分かり、それらを表現する 。 （学・人）日常生活の中で、ものの仕組み等に関わる学習活動を通して、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとする態度を養う。	（知・技）ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べている。 （思・判・表）日常生活の中て、ものの仕組みや働きか分かり、それらを表現している。 （主学）日常生活の中で、ものの仕組み等に関わる学習活動を通して、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしている。	【シものの仕組みと働き】 「もののかたちとおもさ」 「かぜやゴムの力でうごかそう」	【物と重さ】通・物は形が変わっても重さは変わらないことに気づく。例えば、粘土などの身の回りにあるものを広げたり、丸めたりするなどして形を変え、手ごたえなどの体感をもとにしながら重さの違いを調べたり、天秤やはかりで量って調べたりする。 【風やゴムの力の働き】 ・扇風機や風車等、身近な道具や玩具を使ったり、簡単な玩具を自作したりして、風やゴムの力で動く様子を見る。何を工夫すれば力が強まり、より遠くへ動くか考えたり工夫したりする。
	25	（知及技）手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付ける。 （思判表力）日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとする。 （学・人）手伝い活動を通して、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）日常生活の手伝いや仕事を進んでしている。 （主学）自分から調理や製作等の様々な手伝いをすることや学級の備品等の整理等に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【キ手伝い】 「そうじをしよう」	【そうじ】 ・自分の出したごみを拾うこと、身の回りにあるごみを拾って捨てること、掃除道具を使って簡単な掃除をすること。 ・手伝いや仕事が終わったら、道具や材料等の片付けを行うこと、仕事を終了したことを教師に報告すること。
	25	（知及技）日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付ける。 （思判表力）日常生活の日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって行動しようとする。 （学・人）一週間程度の予定、学校行事や家庭の予定等に関わる学習活動を通して、自分のことに取り組んだり、生活に生かそうとする態度を養う。	（知・技）日課や身近な予定を立てるために必要な知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）日常生活の日課・予定が分かり、およその予定を考えながら、見通しをもって行動している。 （主学）一週間程度の予定、学校行事や家庭の予定等に関わる学習活動を通して、自分のことに取り組んだり、生活に生かそうとしている。	【ウ日課・予定】 「よていのかくにん」 ・一週間の予定 ・予定がかわったよ ・カレンダーでかくにんしよう ・いろいろなカレンダー	【日課・予定】 ・一週間の予定が分かり、カレンダーや予定表などに従って行動する。 ・都合により予定が変更になる場合に対応する。
	20	（知及技）日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付ける。 （思判表力）必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとする。 （学・人）身の回りの整理や身なり等の基本的生活習慣や日常生活に役立つことに関わる学習活動を通して、自分のことに取り組もうとしたり、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役 立てている。 （主学）身の回りの整理や身なり等の基本的生活習慣や日常生活に役立つことに関わる学習活動を通して、自分のことに取り組んだり、生活豊かにしようとしている。	【ア基本的生活習慣】 「一人でやってみよう！」 ・みだしなみ ・せいりせいとん ・きゅうしょくのじゅんび・かたづけ ・せんたく ・いろいろなトイレ	【身なり】 ・袖口や襟もと、すそ等、身だしなみを整える。 【身の回りの整理】 ・靴や衣服、カバンや文具などの収納方法がわかり、整理整頓をする。 【食事】 ・給食の準備や片付けなど友達と協力して行う。 【清潔】 ・簡単な洗濯をする。 【用便】 ・いろいろな種類のトイレの鍵の使用法を知り、自分で用を足す。

年間を通して

20	（知及技）集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付ける。 （思判表力）様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 （学・人）様々な集団や地域での役割に関わる学習活動を通して、自分の事に取り組もうとしたり、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たしている。 （主学）様々な集団や地域での役割に関わる学習活動を通して、自分の事に取り組もうとしたり、生活を豊かにしようとしている。	【カ役割】 「かかりのしごと」	【共同での作業と役割分担】 ・簡単な作業を共同で行うこと、作業において分担された個人の役割を果たすこと。 【地域への行事への参加】 ・いろいろな行事に参加すること、集団の中で活動することに慣れること。
20	（知及技）簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付ける。 （思判表力）日常生活の簡単なきまりやマナーか分かり、それらを守って行動しようとする。 （学・人）学校のきまりや公共の場でのマナー等に関わる学習活動を通して、社会に自ら働きかけ、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）日常生活の簡単なきまりやマナーか分かり、それらを守って行動している。 （主学）学校のきまりや公共の場でのマナー等に関わる学習活動を通して、社会に自ら働きかけ、生活を豊かにしようしている。	【ケきまり】 「生かつのきまり」 ・火じやきんきゅうのときにつかうもの ・としょかんやこうえんなどをつかうときのきまり ・のりものをつかうときのきまり 「マナーをまもって気もちよく」	【生かつのきまり】 ・学校内や身近な地域において、私たちの命や生活を守るために設置された非常用設備の役割や存在を知る。 【マナー】 ・バスやモノレール、病院や図書館などの公共の場では静かにするなどのマナーを理由とともに知る。
20	（知及技）きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶこと等の知識や技能を身に付ける。 （思判表力）日常生活の遊びで、友達と関わりをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫し発展させたりして、仲良く遊ぼうとする。 （学・人）日常生活の中での遊びに関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶこと等の知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）日常生活の遊びで、友達と関わりをもち、きまりを守ったり、遊びを工夫し発展させたりして、仲良く遊んでいる。 （主学）日常生活の中での遊びに関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【エ遊び】 「なかよくあそぼう」 ・なにしてあそぶ？ ・ルールをまもってあそぼう ・あそびがおわったら ・もっとたのしくできるかな	【いろいろな遊び】 ・友達を誘って何をして遊びたいか話し合う。 ・ルールのある遊びを通して、約束や勝ち負け、役割などを友達と共有する。 ・道具やルールを工夫、改善しながら、遊びをふくらませていく。 （的あてゲーム、お店屋さんごっこ、縄跳び、ボッチャ、ボウリング、椅子取りゲーム、しっぽ取りゲーム、ボール運びゲーム、玉入れなど） ・昔の文化や遊びにふれたり、遊びを通して豊かなコミュニケーションを築いたりする。 （はないちもんめ、とうりゃんせなど） 【遊具の後片付け】 ・自分から進んで準備や後片付けをし、友達を手伝う。
20	（知及技）安全や防災に関わる知識や技能を身に付ける。 （思判表力）日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がける。 （学・人）交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとする態度を養う。	（知・技）安全や防災に関わる知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけている。 （主学）交通安全や避難訓練等の安全や防災に関わる学習活動を通して、生活を豊かにしようとしている。	【イ安全】 「 あんぜんにくらそう」 ・気をつけてどうぐをつかおう	【危険防止】 ・実際の道具を見たり触れたりしながら、正しい使用の仕方と誤った使用の仕方（してはいけない使用の仕方）やそれぞれの道具の気をつけるべき部分などについて考え、意見を出し合う。

	20	（知及技）日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べる。 （思判表力）日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化か分かり、それらを表現する。 （学・人）身近にいる昆虫、魚、小鳥の飼育や草花等の栽培及び四季の変化や天体の動き等に関わる学習活動を通して、自然に関心をもち、意欲をもって学ぼうとする態度を養う。	（知・技）日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調へている。 （思・判・表）日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化か分かり、それらを表現している。 （主学）身近にいる昆虫、魚、小鳥の飼育や草花等の栽培及び四季の変化や天体の動き等に関わる学習活動を通して、市是sんに関心をもち、意欲をもって学ぼうとしている。	【サ生命・自然】 「花をそだてよう」 「めざせ！生きものはかせ」 「草花や木のはであそぼう」 「きせつのずかん」 「空と天気」	【植物の栽培】 ・身近な植物を栽培しながら関心を深める。 ・発芽、開花、結実といった一連の成長の様子がわかるような種類を選び、長期にわたる観察を行う。 ・適時、除草したり肥料を施したりする。 【季節の変化と生活】 ・四季ごとに、校庭や学校周辺の公園などの同じ場所に出かけ、季節ごとの自然の様相の違いに気付くよう木の実や落ち葉集めたり、集めた物を用いて遊んだり工作したりして、植物の変化を捉える。 ・天気の変化や太陽、月、星などと昼と夜の関わりについて関心をもつ。
留意点 引継ぎ等					

令和 7 年度 小学部　6年（　Ⅱ課程　Aグループ　）国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	小6 11名	6年生担当教諭	『こくご☆☆☆』

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。(小学部3段階) (思判表力) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができる。(小学部3段階) (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとすることができる。(小学部3段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	30	(知及技)姿勢や口形に気を付けて話すことができる。(3段階ア-(イ)) 正しい姿勢で音読することができる。(3段階ア-(カ)) (思判表力)挨拶や電話の受け答えなど決まった言い方を使うことができる。(3段階A-エ) 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けて表現することができる。(3段階A-オ) (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知･技)姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 正しい姿勢で音読しようとしている。 (思･判･表)相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫しようとしている。 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けて表現しようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養おうとしている。	かんげいかい(国語☆☆☆) ※年間を通して ひらがなをよもう(国語☆☆☆) ひらがなをかこう(国語☆☆☆) かたかなをかこう(国語☆☆☆)	･歓迎会をすすめるにあたって必要な事柄を話し合う。 ･役割に応じて話す順番などを検討し、相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話す。
	22	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知る。(3段階アー(ウ)) (思判表力) 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとする。(3段階Cーウ) (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知･技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方に気付く。 (思･判･表) 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとする。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	標識を読んでみよう かんばんをよもう(国語☆☆☆)	･学校の中にある生活に必要なきまりを探し、文字、記号、絵から生活環境に合わせ、どのような行動が求められているか考える。 ･きまりに沿って実際行動してみる。
	20	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知る。(3段階アー(ウ)) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる(3段階アー(エ)) (思判表力) 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。(3段階Cーウ) (学･人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方に気付く。 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる (思･判･表) 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	かたかなをよもう(国語☆☆☆) かたかなをさがそう(国語☆☆☆)	･片仮名で書く語の種類を知り、身の回りにある片仮名で表記されるものを思い出し、発表する
	36	(知及技) 日常生活でよく使う促音，長音などが含まれた語句，平仮名，片仮名，漢字の正しい読み方がわかる。(3段階アー(ウ)) 言葉には意味による語句のまとまりがあることがわかる。(3段階アー(エ)) (思･判･表) 登場人物になったつもりで，音読したり演じたりすることができる。(3段階C-エ) (主学) 言葉がもつよさを感じるとと もに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	(知及技) 日常生活でよく使う促音，長音などが含まれた語句，平仮名，片仮名，漢字の正しい読み方に気付く。 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。 (思･判･表) 登場人物になったつもりで，音読したり演じたりしようとする。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとと もに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	パーティーをしよう(国語☆☆☆)	教師の読み聞かせを聞いて気付いたことを発表する。 ･動物毎に分担して読んだり表現を工夫しながら登場人物になったつもりで音読したりする。
2学期	24	(知及技) 昔話や神話･伝承などの読み聞かせを聞き，言葉の響きやリズムがわかる。(3段階ウ-(ア)) (思判表力) 絵本の読み聞かせなどを通して，出来事など話の大体を聞き取ることができる。(3段階A-ア) 絵本や易しい読み物などを読み，挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。(3段階cーア) 絵本や易しい読み物などを読み，時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。(3段階C-イ) (学･人) 言葉がもつよさを感じるとと もに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりすることができる。(3段階)	(知･技) 昔話や神話･伝承などの読み聞かせを聞き，言葉の響きやリズムに気付く。 (思･判･表) 絵本の読み聞かせなどを通して，出来事など話の大体を聞き取っている。 絵本や易しい読み物などを読み，挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像している。 絵本や易しい読み物などを読み，時間的な順序など内容の大体を捉えている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとと もに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	ブレーメンの町のおはなし(国語☆☆☆)	･挿絵を手がかりに、登場人物の行動や場面の様子を想像して時間の経過を考える。 ･児童が興味を持った場面を繰り返し読むことで言葉の響きやリズムに親しんだり読むことに興味を持ったりできるようにする。

	24	(知及技) 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。(3段階アー(エ)) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし，片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(3段階アー(ウ)) 日常生活でよく使う促音，長音などが含まれた語句，片仮名，漢字の正しい読み方がわかる。(3段階ウー(ウ)㋑) (思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いに気付くことができる。(3段階Bーエ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技) 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし，平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書こうとしている。 日常生活でよく使う促音，長音などが含まれた語句，平仮名，片仮名，漢字の正しい読み方がわかる。 (思・判・表) 書いた語句や文を読み、間違いに気付こうとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止	カタカナをかこう(国語☆☆☆) かん字をよもうかこう(国語☆☆☆)	・五十音一覧表から読みと対応する平仮名や片仮名を探したり、片仮名カードを並べたりして単語を構成する。 ・書くときの姿勢、筆記用具の持ち方を正しくし、片仮名、簡単な漢字の文字の形に注意しながら丁寧に書く。
3学期	21	(知・技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることがわかる。(3段階アー(オ)) いろいろな語句や文の表現に触れながら出来事や経験したことを伝え合うことができる。(3段階ウー(イ)) (思・判・表) 見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとすることができる。(3段階Bーウ) 書いた語句や文を読み、間違いに気づき、正しい表現をすることができる。(3段階Bーエ) (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることに気付く。 いろいろな語句や文の表現に触れながら出来事や経験したことを伝え合おうとしている。 (思・判・表) 見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとする。 書いた語句や文を読み、間違いに気づく。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	文をかこう(国語☆☆☆)	・身近な事柄を表す絵や写真も見ながら、文節ごとに区切ったカードを並べかえたり完成した文を見本に書いたりする。 ・2語、3語で構成する文を題材に主語や助詞を使いながら正しい姿勢で書くことに慣れる。 ☆年間を通して指導する。
	27	(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により，意味が変わることがわかる。(3段階アー(オ)) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して，いろいろな語句や文の表現に触れることができる。(3段階ウー(イ)) (思判表力) 身近で見聞きしたり，経験したりしたことについて書きたいことを見付け，その題材に必要な事柄を集めたり，伝えたい順序を考えたりすることができる。(あ3段階Bーア・イ) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとと もに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。(3段階)	(知・技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により，意味が変わることに気付く。 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して，いろいろな語句や文の表現に触れようとする。 (思・判・表) 身近で見聞きしたり，経験したりしたことについて書きたいことを見付け，その題材に必要な事柄を集めたり，伝えたい順序を考えたりしている。 る(学・人) 言葉がもつよさを感じるとと もに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	えにっきをかこう(国語☆☆☆)	・絵日記のテーマを決めて準備し、時系列に記入して推敲、発表の流れに沿って取り組み、伝えたい事柄の順番を考え、絵日記を書く。
	6	(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により，意味が変わることがわかる。(3段階アー(オ)) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。(3段階イー(ア)) (思判表力) 身近で見聞きしたり，経験したりしたことについて書きたいことを見付け，その題材に必要な事柄を集めたり，伝えたい順序を考えたりすることができる。(3段階Bーア・イ) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとと もに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとすることができる。(3段階)	(知・技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により，意味が変わることに気付く。 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について考えようとしている。。 (思・判・表) 身近で見聞きしたり，経験したりしたことについて書きたいことを見付け，その題材に必要な事柄を集めたり，伝えたい順序を考えたりしている。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとと もに，読み聞かせに親しみ，言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	手紙(国語☆☆☆)	・身近な生活の中で手紙を書く場面を考え、手紙に書く内容や具体的な書き方を考えて書く。
留意点 引継ぎ等					

令和 ７年度 小学部　６年（　Ⅱ課程　Bグループ　）国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
210	小６　２０名	６年担当教諭	『こくご☆☆』 『こくご☆☆☆』

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。(小学部3段階) (思判表力) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができる。(小学部3段階) (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとすることができる。(小学部3段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	30	(知及技) 姿勢や口形に気を付けて話すことができる。(3段階ア-(イ)) 正しい姿勢で音読することができる。(3段階ア－(カ)) (思判表力) 相手に伝わるように発音や声の大きさに気を付けることができる。(3段階A-オ) (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知･技) 教師の支援を受けて、姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 正しい姿勢で音読しようとしている。 (思･判･表) 教師の支援を受けて、相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けて表現しようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養おうとしている。	かんげいかい(国語☆☆☆) ※年間を通して かいてみよう(国語☆☆) ひらがなをよんでみよう(国語☆☆) ひらがなをかいてみよう(国語☆☆)	･歓迎会をすすめるにあたって必要な事柄を話し合う。 ･役割に応じて話す順番などを検討し、相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話す。
	22	(知及技) 身近な人との会話や読みかせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付く。(3段階アー(ア)) 姿勢や光口形に気を付けて話すことができる。(3段階アー(イ)) (思判表力) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えることができる。(3段階Aーイ) 相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。(3段階Aーカ) (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知･技) 教師の支援を受けて、大まかな物事の内容がわかる。 教師の支援を受けて、姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思判表力) 教師の支援を受けて、経験したことを思い浮かべ,伝えたいことを考えようとしている。 相手の話に関心を持ち、教師の支援を受けて、自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	たのしかったえんそく(国語☆☆☆)	･体験したことを振り返り、思い浮かべたことを言葉や身振り等で表現したり発表したりする。
	20	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。(3段階アー(ウ)) (思判表力) 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。(3段階Cーウ) (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知･技) 教師の支援を受けて、日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 (思･判･表) 教師の支援を受けて、日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	かいもの(国語☆☆☆)	･買い物をする場面を想起し、挿し絵などを見ながらロールプレイングして、相手に伝わりやすい話し方やメモを活用した受け答えをする。
2学期	36	(知及技) 姿勢や口形に気を付けて話すことができる。(3段階アー(イ)) (思判表力) 挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うことができる。(3段階Aー(エ)) 相手に伝わるように発音や声の大きさに気を付けることができる。(3段階Aー(オ)) (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技) 教師の支援を受けて、姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思･判･表) 教師の支援を受けて、挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使おうとしている。 教師の支援を受けて、相手に伝わるよう,発音や声の大きさに気を付けようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	でんわ(国語☆☆☆)	相手への伝わりやすさや声の大きさを考え、目の前にいない人への電話の受け答えをする。
	24	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。(3段階アー(ウ)) (思判表力) 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。(3段階Cーウ) (学･人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知･技) 教師の支援を受けて、日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 (思･判･表) 教師の支援を受けて、日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養おうとしている。	ひらがなをよもう(国語☆☆☆)	･挿し絵を平仮名をカードにしてかるた取りをするなどして平仮名に親しむことができるようにする。 ･日常生活でよく使う長音、促音などが含まれた語句を繰り返し読む。 ☆年間を通して指導する

	24	(知及技)姿勢や口形に気を付けて話すことができる。(3段階ア-(イ)) (思・判・表)相手に伝わるよう,発音や声の大きさに気を付けることができる。(3段階A-オ) 登場人物になったつもりで,音読したり演じたりすることができる。(3段階C-エ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技)教師の支援を受けて、姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思・判・表)教師の支援を受けて、相手に伝わるよう,発音や声の大きさに気を付けようとしている。 教師の支援を受けて、登場人物になったつもりで,音読したり演じたりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	三びきのこぶた(国語☆☆☆)	・読み聞かせを聞いて、登場人物になったつもりで場面ごとや全体を通して演じる。
3学期	21	(知及技)日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。(3段階アー(ウ)) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに気付くことができる。(3段階ウー(ア)) (思判表力)相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。(3段階Aーオ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技)昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、教師の支援を受けて、言葉の響きやリズムに気付こうとしている。 (思・判・表)教師の支援を受けて、相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養おうとしている。	わらべうた(国語☆☆☆)	・リズムや言葉の響きを楽しみながらわらべ歌遊びをする。
	27	(知及技)日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。(3段階アー(ウ)) (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。(3段階Cーイ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技)教師の支援を受けて、日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名を読もうとすることができる。 (思・判・表)教師と一緒に絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養おうとしている。	のりもの(国語☆☆☆) 花(国語☆☆☆)	・ものの状態や様子等を短く説明した文章を読む。 ・促音、長音、拗音を含む平仮名の読み方や簡単な漢字の読み方などを確認し、本文の文字を追って読む。 ☆年間を通して指導する
	6	(知及技)教師と一緒に図書を用いた調べ方を理解し使うことができる。(3段階イ-(イ)) 読み聞かせなどに親しみ,教師と一緒にいろいろな絵本や図鑑があることがわかる。(3段階ウー(エ)) (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み,教師と一緒に時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。(3段階C-イ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技)教師の支援を受けて、図書を用いて調べようとしている。 読み聞かせなどに親しみ,いろいろな絵本や図鑑があることがわかる。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み,教師の支援を受けて、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	本をさがそう(国語☆☆☆)	・図書室に行き、教師と一緒に興味をもった乗り物等を調べるために必要な本を自分で探してみる。 ・教師の読み聞かせを聞く。 ☆年間を通して指導する。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 小学部　６年（ Ⅱ課程　Aグループ　）算数科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	６年　Aグループ　12名	６年生担当教諭	さんすう☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。(小３段階) (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。(小３段階) (学･人)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小３段階)

学期	月	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学	４月	15	（知及技）加法が用いられる合併や増加等の場合について理解することができる。（Aイ（ア）ア） ・加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。（Aイ（ア）イ） ・１位数と１位数との加法の計算ができる。（Aイ（ア）ウ） （思判表力）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。（Aイ（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	(知・技)加法が用いられる合併や増加等の場合について理解している。 ・加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 ・１位数と１位数との加法の計算ができている。 (思・判・表)日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりしている。 (主学)数学的活動の楽しさに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P32 ・あわせていくつ ☆☆☆本P34 ・ふえるといくつ ☆☆☆本P36 ・しきをつくりましょう(たしざん) ☆☆☆本P37 ・けいさんしましょう(10までのかずのたしざん)	・金魚をドットやブロック等に置き換えて、動き（矢印の方向）と言葉（合わせて、みんなで、全部で）を結びつけながら「合併」について理解させる。 ・「増える」「来る」「入れる」等といった言葉を用いながら矢印の方向に具体物を操作し「増加」のイメージを理解できるようにする。 ・「＋」「＝」の記号を用いて、加法の場面を式に表す。 ・１位数と１位数との繰り上がりのない加法計算の仕方を学習する。
	５月	15	（知及技）加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。（Aイ（ア）イ） ・１位数と１位数との加法の計算ができる。（Aイ（ア）ウ） ・１位数と２位数との和が20までの加法の計算ができる。（Aイ（ア）エ） （思判表力）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。（Aイ（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	（知・技）加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 ・１位数と１位数との加法の計算ができている。 ・１位数と２位数との和が20までの加法の計算ができている。 （思・判・表）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P38 ・20までのかずのたしざん① ☆☆☆本P40 ・20までのかずのたしざん② ☆☆☆本P41 ・けいさんしましょう(20までのかずのたしざん)	・①では、ブロックやおはじき、数え棒などに置き換え操作する。加数あるいは被加数を分解して10のまとまりを作り計算する。 ・②では、問題文を読んで、加法であることを理解する。「十の部屋」と「一の部屋」にブロックを分けて置き、数字と対応させながら「部屋」ごとに足すことを視覚的に考えられるようにする。 ・問題文を読んで式を立てて計算する。加法の式を読んで、加法が用いられる具体的な場面を表す。

学期						
	6月	16	（知及技）減法が用いられる求残や減少等の場合について理解することができる。（Aイ（ア）オ） ・減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。（Aイ（ア）カ） ・20までの数の範囲で減法の計算ができる。（Aイ（ア）キ） （思判表力）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。（Aイ（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	（知・技）減法が用いられる求残や減少等の場合について理解している。 ・減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 ・20までの数の範囲で減法の計算ができている。 （思・判・表）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P42 ・のこりはいくつ①② ☆☆☆本P45 ・ちがいはいくつ ☆☆☆本P46 ・しきをつくりましょう(ひきざん) ☆☆☆本47 ・けいさんしましょう(ひきざん)	・具体物や半具体物を用い、もとの数量から「取り去る」「減らす」操作を通して「減少」の事実と結びつける。「残り」を視覚的に捉える。 ・具体的な操作をとおして二つの数の「どちらが」「いくつ」多いか少ないかの違い（差）に着目したり，用語を使ったりする。 ・「－」「＝」の記号を用いて引き算の場面を式に表す。 ・10までの数の範囲で繰り下がりのない減法の計算の仕方を学習する。減法の式を読んで、減法が用いられる具体的な場面を表す。
	7月	14	（知及技）減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。（Aイ（ア）カ） ・20までの数の範囲で減法の計算ができる。（Aイ（ア）キ） （思判表力）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。（Aイ（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	（知・技）減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 ・20までの数の範囲で減法の計算ができている。 （思・判・表）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P48 ・20までのかずのけいさん ☆☆☆本P49 ・しきをつくってけいさんしましょう まとめ	・問題文を読んで、引き算であることを理解する。繰り下がりのない２位数－１位数を計算する方法について考える。１位数同士の減法と同じ考え方を用いて計算できることを学習する。 ・２数に違いがあることに気付き減法によって、その差を求められることを理解できるようにする。 ・まとめとして、加法、減法の計算演習を行う。
	9月	17	（知及技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えることができる。（Ｂア（ア）ア㋐） ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。（Ｂア（ア）ア㋑） （思判表力）身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。（Ｂア（イ）㋐） ・身の回りにあるものの形を図形として捉えることができる。（Ｂア（イ）㋑） ・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすることができる。（Ｂア（イ）㋒） （学・人）身近にあるものの形に関心をもち、形を組み合わせて違う形の物を作ることができる。	（知・技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えている。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりしている。 （思・判・表）身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したり工夫している。 ・身の回りにあるものの形を図形として考えている。 ・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を考えている。 （主学）身近にあるものの形に関心をもち、形を組み合わせて違う形の物を作ろうとしている。	○形をつくろう ☆☆☆本P51～52 ・いろいろなかたち(しかくをつくってみましょう)①② ☆☆☆本P53 ・いろいろなかたち(さんかくをつくってみましょう) ☆☆☆本P54～55 ・かたちづくり	※児童の実態に応じて、いろいろなかたち（しかく、さんかく）の復習を行う。 ・マグネットバーや割り箸など、曲がらない棒３～４本で三角四角作りを行う。 ・教科書の挿絵を参考に、折り紙や画用紙などを使用し、へりを重ねて折って正方形と長方形の形の違いを確認する。 ・身の回りのものを正方形と長方形に分類する。 ・差書くの色板を並べて、提示された形や好きな形を作る。 ・面の大きさに合わせた色画用紙を箱に貼り、カラフルな箱を作る。（面によって画用紙の色を変える）

2学期	10月	17	（知及技）前後、左右、上下などの方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。（Bア（ア）ア ） ・傾斜をつくると角ができることを理解すること。（Bイ（ア）ア㋐ ） （思判表力）・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすることができる。（Bア（イ）㋒ ） ・傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現することができる。（Bイ（イ）㋐ ） （学・人）傾斜と角の関係に関心をもち、いろいろな坂道を作ることができる。	（知・技）前後、左右、上下などの方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表している。 ・傾斜をつくると角ができることを理解している。 （思・判・表）身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりしている。 ・傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現している。 （主学）傾斜と角の関係に関心をもち、いろいろな坂道を作ろうと取り組んでいる。	○位置を表す言葉 ☆☆☆本P58～59 ・まえとうしろ② ☆☆☆本P62～63 ・中とそと ○坂道をつくろう ☆☆☆本P66～67 ・いろいろな大きさのかく①②	・児童と教師で並んで、誰かを基準にした前後を確認する。 ・順番待ちをする機会を設け、前後の確認や順序数を用いた表現も確認する。 ・教科書の挿絵を参考に、男の子や女の子とのいる場所を「中、外」と表すような発問をする。 ・命令ゲームで「○○の中に入ってください」などと言って体験的に理解を促す。 ・袋などの小さいものの「中」から、教室などの大きいものの「中」へ対象を広げていく。
	11月	18	（知及技）長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。（C測定ア（ア）ア） ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較することができる。（Cア（ア）イ） （思判表力）身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。（Cア（イ）ア） （学・人）身の回りにある長さや体積などの属性に着目した二つの量の比べ方に気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとすることができる。	（知・技）長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較している。 ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較している。 （思・判・表）身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりしている。 （主学）身の回りにある長さや体積などの属性に着目した二つの量の比べ方に気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	くらべてみよう ☆☆☆本P76 ・かさをくらべましょう ☆☆☆本P77 ・ふとさをくらべましょう ☆☆☆本P78～79 ・ひろい、せまいととおい、ちかい	・同じ形状、大きさのビンやコップに入った水の量を比較する。 ・形の違う水筒、ペットボトル、やかんや鍋の水を同じ形状、大きさのコップに移し替え、水の量を数値化して比べる。 ・校庭にある木を一人や何人かで抱えたり、周の長さを見たりしながら、太さを感じる。 ・野菜を切り断面を比べる。 ・広いシートと狭いシートを広げて広さを比べる。 ・自分のいる位置からの距離について基準を設けて「遠い」「近い」を考える。
	12月	18	（知及技）日常生活の中で時刻を読むことができる。(C測定イ(ア)ア) ・時間の単位(日、午前、午後、時、分)について知り、それらの関係を理解することができる。(Cイ(ア)イ) (思判表力)時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現することができる。(Cイ(イ)ア) (学・人)時刻と生活の結び付きに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとすることができる。	(知・技)日常生活の中で時刻を読もうとしている。 ・時間の単位(日、午前、午後、時、分)について知り、それらの関係を理解している。 (思・判・表)時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現している。 (主学)時刻と生活の結びつきに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	時計の読み方 ☆☆☆本P82～83 ・とけい(ながいはり) ☆☆☆本P84 ・とけい(みじかいはり) ☆☆☆本P85 ・とけい(なんじでしょう) ☆☆☆本P86～87 ・とけい(ごぜん、ご)	・長針の動きを知り10分刻みの時刻を読む。 ・短針の動きを知り○時を読み取る。 ・長針と短針の位置から時間を読む学習を繰り返す。 ・言われた時刻を示すイラストや写真を探し当てる。 ・模型の時計を操作しながら、考えたり、確かめたりする。 ・正午を表すときの長針と短針を書き入れる。 ・具体的な場面と結び付けながら、正午を基準とする区別を理解する。 ・「午前」「午後」の言い回しに慣れる。 ・学校の活動を取り上げ、午前と午後の活動を明確に区別する。 ・午前と午後を意識して、時刻を表現する。

3学期	1月	21	（知・技）日常生活の中で時刻を読むことができる。（Cイ(ア)㋐） ・時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解することができる。（Cイ(ア)㋑） （思・判・表）時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現することができる。（Cイ(イ)㋐） (学・人)一日の時の移り変わりや、時刻に応じた呼び方（朝・昼・夜）に関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとすることができる。	（知・技）日常生活の中で時刻を読もうとしている。 ・時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解している。 （思・判・表）時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現している。 (学・人)一日の時の移り変わりや、時刻に応じた呼び方（朝・昼・夜）に関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	スケジュールをたてよう ☆☆☆本P88～90 ・あさ、ひる、よる ☆☆☆本P91 ・きのう、きょう ☆☆☆P92～93 ・あしたはお休み①② しらべよう ・カレンダー	・家や学校の朝の活動を思い出す。 ・10時過ぎのあたりから給食までの間にどのような活動や学習をしたのか考えたり、給食の献立は何かを調べてみたりする。 ・家に帰ってから、あるいは暗くなってから何をしたか、お風呂はいつ入るかなどを話す。 ・「朝」「昼」「夜」に分けて一日のスケジュールを書き出す。 ・「きのう」「きょう」という言葉や日めくりカレンダーの日付を基に昨日と今日の違いに気付く。 ・写真やイラストを使い、昨日の様子と今日の様子の比較、昨日の出来事と今日の出来事の対比などを話し合う。 ・毎日の天気や気温、給食のメニュー、または花や野菜の生育の様子、季節に応じたイベントを記録する。 ・体調管理表に日付や体調を記録する。 ・カレンダーワークで具体的に明日をイメージさせ、「明日」を理解する。 ・「明日」という言葉を意識的に使用して、日常で使う。
	2月 3月	24	(知及技)ものとものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすることができる。(Dア(ア)ア) ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し比較して読み取ることができる。(Dア(ア)イ) (思判表力)個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現することができる。(Dア(イ)ア) (学・人)数学的活動の楽しさに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとすることができる。	(知・技)ものとものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したりそれらを読んだりしている。 ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取っている。 (思・判・表)個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現している。 (主学)数学的活動の楽しさに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P94～95 ・ひょうをつくりましょう① ☆☆☆本P96～97 ・ひょうをつくりましょう②	・ボールを転がす回数や順番などの簡単なルールを決めてボウリングゲームを行う。 ・ゲームの得点を●などの記号に置き換え、得点の一覧表を作る。 ・得点の一覧表を使って得点の結果を比較し、「～より多い」「～より少ない」「～と同じ」などと表現する。 ・毎日の天気を観察し、結果を記録表に晴れ、くもり、雨などの絵カードを取り付けて記録する。 ・インターネットを使って天気を調べる。 ・晴れ、くもり、雨などそれぞれの日数を月ごとにまとめ、その結果を●印などで記録して表を作成する。 ・棒グラフのような表を用意し、２月、３月の天気を天気ごとの項目別の日数分だけマス目を塗りつぶす。 ※中学部の１段階で丁寧に学ぶので、触れる程度でよい。
留意点 引継ぎ等						

令和　7　年度 小学部　6年（　　Ⅱ課程　Bグループ　）算数科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
175	6学年　１９名	6年担当教諭	さんすう☆☆(２) NHK for school ピンキッズ

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 日常の事象での数量や図形に注目し、数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質に気づき理解することができる。(小２段階) (思判表力)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力や基礎的・基本的な数量や図形の性質に気づき感じ取る力、それらを表現することができる。（小２段階） (学･人)数学的活動の楽しさに気づき、関心や興味を持ち、算数で学んだことを生活に活用しようとすることができる。（小２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	35	(知及技)色や形、大きさに着目して分類することができる。（B（ア）ア） (思判表力)ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすことができる。（B（イ）ア） （学・人）形を捉えて分類したり、形を書いたりする活動を通して、身の回りのものの形に興味をもつことができる。（２段階）	(知・技）色や形、大きさに着目して分類しようとしている。 （思・判・表）ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かしている。 (主学)形を捉えて分類したり、形を書いたりする活動を通して、身の回りのものの形に興味を持とうとしている。	☆☆本P４～11 なかまあつめ①～⑥ ☆☆本P12～13 まる、さんかく、しかく①	・教科書を参考に、対象物の属性、形や大きさ、色、目的、用途、機能に着目して具体物を用意し分類する。 ①花の色に応じて分類する。 ②三角、四角等2種類の形に着目して分類する。 ③動物イラストの大きさに応じて分類する。 ④筆記類、食器類等用途によって分類する。 ⑤描く、切る等用途によって分類する。 ⑥色や形、大きさ、用途等をそれぞれ違う物のなかから「はきもの」など用途に着目して分類する。 ・形板等凹凸のある具体物を見た目の違いや触った感触の違いに着目して弁別し、形の違いに気づいたり感じたりする。
	30	（知及技）大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。（Bイ（イ）㋐ ） （思判表力）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。（Bイ（イ）㋐ ） （学・人）形を捉えて分類したり、形を書いたりする活動を通して、身の回りのものの形に興味をもつことができる。	（知・技）大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりしている。 （思・判・表）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりしている。 （主学）形を捉えて分類したり、形を書いたりする活動を通して、身の回りのものの形に興味を示している。	☆☆本P14～19 まる、さんかく、しかく②～④ ☆☆本P20～21 いろいろなかたち①	・丸、三角、四角の形がはっきりした型はめや色板教材を使用し、丸、三角、四角という名称を使って型にはめたり形を合わせたりする。 ・丸、三角、四角の形の特徴を知るために、形の輪郭をなぞったり、形の特徴を表すような言葉で表現して名称と形を結び付ける。 ・様々な材質の丸、三角、四角の形を準備し、材質が違っても形で分類することができるようにする。 ・教科書の挿絵を使用し、絵の中に丸、三角、四角を見つける活動を行う。 ・身の回りのあるものを丸、三角、四角に分類する。（教室内、校内） ・iPadアプリを利用して、身の周りのものの形の仲間集めをするゲームを行う。（どーれかな？仲間探しアプリ）
2学期	25	（知及技）縦や横の線、十字、△や□を書くことができる。（Bイ（ア）㋑ ） ・身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。（Bイ（ア）㋐ ） （思判表力）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすること。（Bイ（イ）㋐ ） （学・人）棒を使ったり点と点を線で繋いだりして色々な形を作る活動を通して、様々な形に興味をもつことができる。	（知・技）縦や横の線、十字、△や□をかいている。 ・身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知っている。 （思・判・表）身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりしている。 （主学）棒を使ったり点と点を線で繋いだりして色々な形を作る活動を通して、様々な形に興味を示している。	☆☆本P22～23 ・はたをつくろう ☆☆本P24～25 ・いろいろなかたち②	・教科書の挿絵を活用し、線を書く練習を行う。好きな線を何本か書かせ、どんな形ができたか発表しあう。 ・一つ形ができたら、ペンや色鉛筆の色を変え、見やすいようにする。 ・児童の活動中、教師は形に関する言葉かけを行う。 ・色板教材やタングラム教材などの大きさや色、素材などの違うものを用い、丸、三角、四角の分類を行う。

2学期	40	（知及技）長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさを理解することができる。（C測定ア（ア）ア） ・二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。（Cア（ア）イ） ・長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどの用語を理解することができる。（Cア（ア）ウ） （思判表力）長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現することができる。（Cア（イ）ア） （学・人）具体物を観察し量の属性に注目し二つの量を比べることに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとすることができる。	（知・技）長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさを理解している。 ・二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べられている。 ・長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどの用語を理解している。 （思・判・表）長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現している。 （主学）具体物を観察し量の属性に注目し二つの量を比べることに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆P26～27 ・ながい、みじかい ☆☆P28～29 ・おもい、かるい ☆☆P30～31 ・たかい、ひくい ☆☆P32～33 ・ひろい、せまい ☆☆P34 ・どっちがおおきい、どっちがちいさい ☆☆P36 ・どっちがながい、どっちがみじかい ☆☆P38 ・どっちがおもい、どっちがかるい ☆☆P40 ・どっちがたかい、どっちがひくい ☆☆P42 ・どっちがひろい、どっちがせまい ☆☆P44～45 ・どっちがあつい、どっちがうすい ☆☆P46～47 ・どっちがふかい、どっちがあさい ☆☆P48～49 ・くらべてみよう	・長さの違う平均台を歩いて渡り、長さを感じる。 ・衣服（長ズボン、半ズボンなど）や靴などを比べる。 ・重さの違うバケツを運び、重さを感じる。 ・高さが違う鉄棒に掴まったり、ぶら下がったりし高さを感じる。 ・広さが違うレジャーシートを広げ、複数の人数で座り広さを感じる。 ・基準に対して大きい・小さい、長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどに区別し、用語を用いる。 ・大きさの違う３のボールの中から比較する物を二つ取り出し比べる。 ・鉛筆や色鉛筆、クレヨンを実際に触り、視覚的に長さの違いを比べる。 ・中身の量が違う同じ形のペットボトルを持ち比べ、飲料水をコップに注ぐ。 ・高さが違う跳び箱を準備したり、上に乗ったり、跳んだりして高さを比べる。 ・体育館で色分けされている広さが違うラインの上を歩き、広さを比べる。 ・切り分けているカステラを厚さを比較しながら選ぶ。 ・図鑑と絵本、辞典とノートなど厚さの異なる具体物を厚さの違いを区別する。 ・砂場で実際に穴を掘り、手を入れるなどして深さを感じる。 ・水の量が違う水槽を観察し比べる。 ・お風呂やプール、水たまりや食器など、身近なものを使って深さを比べる。 ・積み木でお城を作る。 ・積み木を横に並べたり、縦に積んだりする。
3学期	25	（知及技）身近なものを目的、用途、機能に着目して分類することができる。（Dア（ア）ア） （思判表力）身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類することができる。（Dア(イ）ア） （学・人）ものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、興味を持って分類することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	（知・技）身近なものを目的、用途、機能に着目して分類している。 （思・判・表）身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類している。 （主学）ものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、興味を持って分類しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆本P50～51 ・わけてみよう① ☆☆本P52～53 ・わけてみよう②	・①では、挿絵のボールやカゴの色に着目し、具体物や色カードを使って分ける活動を行う。 ・色を変えたり、違う色を混ぜたり、大きさを変えたりして分ける活動を行う。 ・②では、「ケーキを食べるときに使う物」など、組み合わせを考える視点を示し、実際に使う場面を想起しやすいようにする。
	20	（知及技）ものとものとを対応させることによって、ものの同等や多少を理解することができる。（Dイ（ア）ア） ・身の回りの出来事から〇×を用いた簡単な表を作成することができる。（Dウ（ア）ア） ・簡単な表で使用する〇×の記号の意味を理解することができる。（Dウ（ア）イ） (思判表力）身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現することができる。（Dイ（イ）ア） ・身の回りの出来事を捉え、〇×を用いた簡単な表で表現することができる。（Dウ（イ）ア） （学・人）ものの個数やグラフに関心をもち、主体的に取り組むことができる。 ・〇×を用いた表に関心もつことができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	（知・技）ものとものとを対応させることによって、ものの同等や多少を理解している。 ・身の回りの出来事から〇×を用いた簡単な表を作成している。 ・簡単な表で使用する〇×の記号の意味を理解している。 （思・判・表）身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現している。 ・身の回りの出来事を捉え、〇×を用いた簡単な表で表現している。 （主学）ものの個数やグラフに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 ・〇×を用いた表に関心もち、日常生活で活用しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆本P54～55 ・かつのは、どっち ☆☆本P56～57 ・あたったら、はずれたら	・玉入れを行う。玉を取り出す時は意図的に間隔を均等にせずに並べ、均等に配置することが必要であることを確認する。 ・表を掲示したボードを用意する。かごから玉を１個取り出したら、ボードの表に丸印を貼り、玉とボードの丸印は一対一の対応になることを確認する。赤と白を同時に１個ずつ取り出していることも確認する。 ・表を見比べることにより、視覚的に赤と白の「多い」「少ない」「同じ」を考え、丸印の数で多少が分かることを確認する。 ・P56の挿絵を見ながら的当てゲームのやり方やルールを確認する。 ・移動黒板に貼られた表に気付くようにし、表を作って〇×のカードを貼っていくことで、ゲームの結果を記録として残せることを確認する。 ・表やカードを作成し、的当てゲームを行う。当たったら「まる」当たらなかったら「ばつ」と声に出して言いながら〇×カードを提示し、同時に表に貼る。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度　小学部　６年（Ⅱ課程）音楽科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	６学年　31名	6年担当教諭	おんがく☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能
　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等
　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）曲名や曲想等について気づくとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身につけることができる。（小学部３段階） (思判表力)音楽表現への思いをもつことや曲や演奏の楽しさを感じて音楽を味わって聴くことができる。（小学部３段階） (学･人)音や音楽に楽しく関わり、教師や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じながら様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとすることができる。（小学部３段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	15	（知及技）教師や友達と一緒に歌うことができる。(小３段階Aア(ウ)㋐) (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌詞に使われている言葉を自分なりに表現しようとすることができる。(小３段階Aア(イ)㋑) （学・人）曲に親しみ、曲の雰囲気を楽しみながら歌ってみようとすることができる。（小３段階）	(知・技）教師や友達と一緒に曲の一部分を模唱しようとしている。 (思･判･表)季節を想像しながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもとうとしている。 (主学)曲に親しみ、曲の雰囲気を楽しみながら部分的に歌ったり、発声しようとしている。	【歌唱】 ・みんなで歌おう ・身振りをつけてみんなで歌おう ・季節の歌を歌おう ・かけ合いを楽しみながら歌おう	・教師の示範を見聴きしながら、特徴的なリズムや繰り返される歌詞の一部分を捉えて自分なりの方法（発声・模唱・身振りなど）で歌う学習。 1学期 ・「はるがきた」 ・「パレード」 ・「おどろうたのしいポーレチケ」 ・「ピクニック」 ２学期 ・「村祭り」 ・「むしのこえ」 ・「きみのこえ」 ３学期 ・「小さなせかい」 ・「赤おにと青おにのタンゴ」 ・「ありがとう・さようなら」 ・卒業式の歌
	15	（知及技）打楽器や鍵盤楽器などの身近な楽器を使い、簡単な楽譜などを見てリズム演奏をすることができる。(小３段階Aイ(ウ)㋐) （思判表力）器楽表現についての知識や技能を生かしたりしながら、リズムや速度などを工夫して協働して表現することができる。（小３段階Aイ(ｱ)） （学・人）楽器や楽器の音色に興味をもち、友達と一緒に演奏する楽しさを感じることができる。（小３段階）	（知及・技）タンバリンやカスタネットなど、身近な楽器を使い、拍や特徴的なリズムに気づき模倣して演奏しようとする。 （思・判・表）いろいろな打楽器を自分で選び、技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもとうとしている。 （主学）楽器や楽器の音色に興味をもち、友達や教師と一緒に演奏する楽しさを感じようとしている。	【器楽】 ・いろいろなリズム ・ドレミの音であそぼう ・みんなで合わせて演奏しよう	・楽器の持ち方、鳴らし方を知る。 ・教師の動きを模倣したり、曲や合図に合わせたりしながら楽器を鳴らす。旋律楽器を演奏する。 １学期 ・「きらきらぼし」（キーボード、卓上ベル） ・「オーラリー」（卓上ベル、鉄琴） ・「ミッキーマウスマーチ」（キーボード、タンブリン、太鼓） ２学期 ・エイサー ・「村まつり」（太鼓） ・「虫のこえ」（ギロ、鈴、トライアングル） ３学期 ・「こぐまの二月」 ・「いふうどうどう」
	13	（知及技）音遊びを通して、音を選んだりつなげたりして教師や友だちと一緒に簡単な音や音楽を作ることができる。（小３段階Aウ(ウ)㋐） （思判表力）音遊びを通して音の面白さや音楽表現することについて思いを持つことができる。（小３段階Aウ(ｱ)㋐） （学・人）音遊びを通して、教師や友達と関わりながら身の回りの様々な音を表現してみようとすることができる。（小３段階）	（知・技）音遊びを通して、音を選んだりつなげたりして教師や友だちと一緒に簡単な音や音楽を作ろうとしている。 （思・判・表）音遊びを通して音の面白さや音楽で表現することについて思いをもとうとしている。 （主学）音遊びを通して、教師や友達と関わりながら身の回りの様々な音に親しもうとしている。	【音楽づくり】 ・音つくり、リズム遊び	・リズムを模倣したり、言葉を唱えたり、そのリズムを打ったりする。 ・生活の中にある身近な音の存在に気付き、それぞれの音の特徴や違いを聴き分けたり、自分の好きな音を探したりする。 １学期 ・「雨のおんがくをつくろう」 ２学期 ・修学旅行に向けて「テーマソング」 ・「がっきでおはなししよう」 ３学期 ・「虫のがっそうたい」
	15	（知及技）示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や体全体を自然に動かすことができる。(小３段階Aエ(ｲ)㋐) （思判表力）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かすことについて思いをもつことができる。(小３段階Aエ(ｱ)) (学・人）曲に親しみ、体を動かしながら友達や教師と一緒に曲の雰囲気を楽しむことができる。	（知・技）ダンスや手話ソングの示範を見て模倣し音や音楽を聴いて手足や体全体を動かそうとしている。 （思・判・表）ダンスや手話ソングについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、身体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (主学）曲に親しみ、体を動かしながら友達や教師と一緒に曲の雰囲気を楽しむこともうとしている。	【身体表現】 ・音楽に合わせて表現しよう	・教師の示範や映像を見て、リズムに合わせたり、曲の雰囲気を感じたりしながら、手足を動かすなどの全身を使った身体模倣をする。 １学期 ・「おどろうたのしいポーレチケ」 ・「テルテルボーイズ」 ２学期 ・修学旅行に向けて「テーマソング」 ・「とんぼ」 ・「あらうま」 ３学期 ・「だいくのきつつきさん」 ・「おちゃらかほい」

	12	（知及技）身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。（Bア(ｲ)） （思判表力）演奏動画など身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。（Ｂア(ア)） （学・人）身近な人の演奏に触れて自分の好きな曲や好きな音を見つけ、友達や教師と一緒に楽しむことができる。	（知・技）動画などの演奏に触れ、好きな音色や楽器の音を見つけようとしている。 （思・判・表）演奏動画など身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。 （学・人）身近な人の演奏に触れて自分の好きな曲や好きな音を見つけ、友達や教師と一緒に楽しもうとしている。	【鑑賞】 ・聴いてみよう	・曲の雰囲気を感じ、自分なりの楽しさを見つける。 ・特徴的な音やリズムに興味を持って聴く。 1学期 ・「ゴリウォーグのケークウォーク」 2学期 ・「オーケストラのがっき」 ・「子犬のワルツ」 3学期 ・「サウンドオブミュージック」 ・沖縄の楽器 「この音なんだ～笛、胡弓、太鼓、三線、さんば～」
留意点 引継ぎ等					

令和　7年度 小学部　6年（　Ⅱ課程　）図画工作科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	6学年　31名	６年生担当教諭	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)　形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫して作ることができる。（3段階） (思判表力)造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。　（3段階） (学･人)　進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活をそうぞうしようとすることができる。（3段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	8	【A表現】 (知及技)日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(A表現ア(イ)) (思判表力)材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(A表現ア(ア)) (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。	(知・技)筆記用具を用いて、顔の形や果物の色などを捉えて描こうとしている。 (思・判・表)描きたい場面を考えようとしている。 (主学)描くことを楽しもうとしている。	単元１ ・好きなことを描いてみよう	画用紙や模造紙など平面に表現する。材料：鉛筆、クレヨン、クーピーなど ・楽しいプール等（体験画） ・ぼく・私の似顔絵等（自画像） ・大好きなもの教えます等（自由画） 材料…シール、お花紙、クーピー、クレヨン、ペンなど
	8	【A表現】 (知及技)日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(A表現ア(イ)) (思判表力)材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(A表現ア(ア)) (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。	(知・技)マーブリングや指絵の具などから出てくる模様の作り方や偶然に生まれる線の形や色の面白さに気づく。 (思・判・表)いろいろな模様を試したり、見つけたりしている。 (主学)模様を作ることを楽しもうとしている。	単元２ ・いろいろな模様できるかな？	・折り染め、たらし絵、にじみ絵、吹き絵、転がし絵、手形、足形でいろいろな模様を自由に表す。 材料…絵の具、カラーペン、インクなど ※プレゼントづくりなどにもつなげる。(母の日、父の日等)
	8	【A表現】 (知及技)日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(A表現ア(イ)) (思判表力)材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(A表現ア(ア)) (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。	(知・技)新聞をねじったりのぞいたり穴を開けたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫して作っている。 (思・判・表)新聞紙に働きかけることから生まれる形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動する考えようとしている。 (主学)身体全体を使って新聞紙を楽しもうとしてる。	単元３ ・新聞紙をきったりちぎったりしてみよう	・新聞紙を長くちぎったり、ハサミで長く切ったりしよう。 ・新聞紙を細かくちぎってみよう。 ・新聞ランドを開こう。（お化け屋敷、新聞の服作り等） 材料…新聞紙、ひも、はさみ、袋、のりなど
	6	【A表現】 (知及技)日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(A表現ア(イ)) (思判表力)材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(A表現ア(ア)) (学・人)進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。	(知・技)水に葉や花を混ぜて、色の鮮やかさや色が変化していく面白さに気づいている。 (思・判・表)色んな素材や道具を使い、色水を作り出そうと工夫している。 (主学)色水を作ることを楽しもうとしている。	単元４ ・自然の不思議を体験しよう	・色水を作ろう。 材料：お花、ザル、ビニール袋、ペットボトル、卵パック等 ・押し花キーホルダーをつくろう。 材料：ラミネート、お花、穴開けパンチ　（敬老の日プレゼントに繋げる）

二学期	10	【A表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(A表現ア(イ)） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(A表現ア(ア)） （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。	（知・技）版を並べたり重ねたりして写すことを通して映るものの形や色の美しさや面白さに気づいている。 （思・判・表）完成を想像して、期待感を持って色刷りをしようとしている。 （主学）版で写すことを楽しもうとしている。	単元５ ・いっぱい写して	・紙版画、型紙版画、スチレンボード版画等 材料･･･紙、版画インク、はさみ、スチレンボード 絵の具、コロコロローラー、絵の具など
	6	【A表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(A表現ア(イ)） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(A表現ア(ア)） （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。	（知・技）粘土の触り心地を感じて、手の使い方を工夫することができる。 （思・判・表）いろいろな形をみつけることができる。 （主学）粘土の重さを感じて触り心地を楽しむことができる。	単元６ ・粘土ランドへようこそ	・たたいてみよう、丸めてみよう、長くのばしてみよう。穴をあけてみよう。 ・粘土でお店屋さん ・粘土で動物園 ・シーサーづくり 材料･･･粘土、画用紙、厚紙、ペンなど
	6	【B鑑賞】 (知及技）自分が感じたことや行ったことを通して、形や色の違いに気づくころとができる。(共通事項ア(ア)) (思判表力)身近にあるものなどの形や色、作品の面白さや楽しさを感じ取ることができる。(2段階、B鑑賞ア（ア）) (学･人)形や色に関わりながら、楽しんで鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じることができる。(2段階)	(知・技）自分や友達の作品を見たり触ったりして感じたことを通して、形や色の違いに気づいている。 (思･判･表)自分や友達の作品を見たり触ったりして、作品の面白さや楽しさを感じ取っている。 (主学)進んで作品を見たり、触ったり、作品について話したり、楽しく鑑賞の活動に取り組もうとしている。	名画鑑賞 僕の作品、私の作品	・様々な名画を鑑賞する。 ・教師に作品を見せたり、友達と見せ合ったりする。 ・楽しかったことや工夫したことを発表する。 ・作品を展示し、鑑賞する。 ・他学級や他学年の作品を鑑賞する。
三学期	6	【A表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(A表現ア(イ)） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(A表現ア(ア)） （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。	（知・技）紙けん玉やビニールたこをつくり、遊ぶことを通して、けん玉やたこの形や色の面白さや良さに気づいている。 （思・判・表）様々な材料や道具を使って、自分なりの作品を作ろうとしている。 （主学）けん玉やたこを作ったり、遊んだりすることを楽しもうとしている。	単元８ ・身近にある材料で作ってみよう！	・ビニールたこ作り ・紙けん玉作り 材料･･･段ボール、紙皿、ペットボトル、たこ糸、アルミホイル、折り紙、毛糸、ビー玉、キラキラテープ（折り紙）、セロハンテープ、丸シールなど
	6	【A表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(A表現ア(イ)） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(A表現ア(ア)） （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。	（知・技）道具使い方や描き方の違いで色んな模様が作れることに気づくことができる。 （思・判・表）表現したい墨絵を想像し、適切な道具を選択することができる。 （主学）様々な道具や技法で描くことを楽しもうとしている。	単元９ ・墨絵で模様をかこう	・墨絵で色んな模様を表してみよう(濃淡・にじみ・かすれ・たらす・こする、スタンプ等) 材料･･･水、墨、筆、ハケ、スポンジ、歯ブラシ、ローラー、網など 1学期に行ったマーブリング等の技法と組み合わせたり、比較して学習するのも面白い。
	6	【A表現】 （知及技）日常生活の出来事や思ったことを基に絵を描いたり、作品を作ったりする活動を通して、 様々な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり作品を作ったりすることができる。(A表現ア(イ)） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。(A表現ア(ア)） （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、造形活動にかかわることにより楽しむことができる。	（知・技）先生の示範を模倣し、画用紙を折り曲げたり、正しく糊をつけたりするなど活動しようとしている。 （思・判・表）自分作品を振り返りながら、基本の道具（はさみ・のり）を使って作ろうとしている。 （主学）１年間の制作物を作品集にまとめ、鑑賞する活動を通して自分の見方や感じ方を広げようとしている。	単元10 ・作品集をつくろう	・１年間のまとめ ・作品集作り 材料･･･はさみ、のり、ガムテープ、画用紙など
	年間を通して指導	【共通事項】 （知及技）形や色などの感じに気づくことができる。（共通ア(ｱ) （思判表力）形や色などの感じを基に、自分のイメージを持つことができる。(共通ア(ｲ)） （学・人）１年間の制作物を作品集にまとめ、鑑賞する活動を通して自分の見方や感じ方を広げることができる。	（知・技）形や色などの感じに気づこうとしている。 （思・判・表）形や色などの感じを基に、自分のイメージを持とうとしている。 （主学）１年間の制作物を作品集にまとめ、鑑賞する活動を通して自分の見方や感じ方を広げようとしている。		
留意点 引継ぎ等		※【B鑑賞】や【共通事項】については、図画工作科の教科の特性から、各単元において必ず取り組むため、時数は記入していない。			

令和　7　年度 小学部　6年（ Ⅱ課程 ）体育科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	6年　３１名	6年担当教諭	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身につけるとともに、健康や身体の変化について知ることができる。（小学部３段階） (思判表力)基本的な運動を通して、考えたこと、気づいたことを他者に伝えることができる。（小学部３段階） (学･人)簡単なきまりを守り、友達と楽しく運動をしようとしたり、場や用具の安全な使い方に気を付けたりするとともに、健康に必要な事柄をしようとすることができる。（小学部３段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	（知及技）基本的な体つくり運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（３段階Ａ体つくり運動ア） （思判表力）基本的な体つくり運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（３段階Ａ体つくり運動イ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく基本的な体つくり運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（３段階Ａ体つくり運動ウ）	（知・技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体つくり運動をしようとしている。 （思・判・表）基本的な体つくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとしている。 （主学）簡単な合図や指示に従って，体つくり運動遊びをしようとしている。	単元１【体つくり運動】 ・ラジオ体操 ・リトミック ・新体力テスト	・ラジオ体操、 ・行進練習 ・リトミック（高ばいで前後左右動き、スキップ、片足立ちなど） ・整列（合図を聞いて並ぶ、列に沿って並ぶ） ・ストレッチ運動（力を抜く、気持ちの良いところまで体を伸ばす、ペアでストレッチ等） ・綱引き（つかむ、引っ張る、踏ん張る） ・だるまさんがころんだ（いろいろな動きのまま止まる）
	10	（知及技）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（３段階Ｅボールを使った運動やゲームア） （思判表力）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（３段階Ｅボールを使った運動やゲームイ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（３段階Ｅボールを使った運動やゲームウ）	（知・技）ボールを使った運動の楽しさや喜びを味わい，その行い方やルールを理解し，基本的な技能を身につけている。 （思・判・表）ボールを使った運動やゲームに慣れ，その楽しさや感じたことを表現したり、発表したりしている。 （主学）簡単なきまりやルールを守り，友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとしている。	【ボールを使った運動やゲーム】 ・バスケットボール ・玉入れ ・Tベースボール	・キャッチボール(投げる、キャッチ) ・玉入れ(投げる) ・バランスボール(バランスボールでバウンド・キャッチ) ・バスケットボール(ドリブル練習)
	13	（知及技）水の中での基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（３段階Ｄ水の中での運動ア） （思判表力）水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（３段階Ｄ水の中での運動イ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（３段階Ｄ水の中での運動ウ）	（知・技）水の中で歩いたり、潜ったり、輪っか取りなどの楽しさを感じ、その動きを身につけている。 （思・判・表）水の中での基本的な運動の楽しみ方を自分で考えたり、教師や友達の動きを真似たりして工夫している。 （主学）プール学習でのきまりを守ろうとしている。	【水の中での運動】 ・水中で体を動かそう	・水中運動(歩く、走る、潜る、浮く、バタ足) ・バタ足（壁をつかんで、手引き、ビート板等） ・水中リトミック、かけっこ ・水中ゲーム（輪っか取り、じゃんけん、輪っかくぐり） ・水中運動(浮く、バタ足、走る、歩く、潜る) ・プールでの約束を守り安全に行動する。

2学期	13	（知及技）基本的な表現運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付け，表現したり踊ったりすることができる。（３段階Ｆ表現運動ア） （思判表力）基本的な表現運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。（３段階Ｆ表現運動イ） （学・人）簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，基本的な表現運動をしようとすることができる。	（知・技）友達と手をつなぎ、回ったり、前や後ろに進んだりして踊っている。 （思・判・表）楽しさを感じて笑顔で踊ったり、その楽しさを発表している。 （主学）友達と同じ方向に回ったり、進んだりして、安全に楽しく踊っている。	【表現運動】 ・いろんな動きで踊ってみよう	・ダンス（フォークダンス、 ・教師の見本や、動画を見て振り付けを覚える。 ・工夫した箇所や頑張ったところを発表する。 ・友達の踊りや動きで上手な所を発表する。
	16	（知及技）走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（３段階Ｃ走・跳の運動ア） （思判表力）走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（３段階Ｃ走・跳の運動イ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（３段階Ｃ走・跳の運動ウ）	（知・技）バトンを持って、自分のコースを最後まで走っている。 （思・判・表）直線や曲線を工夫して走ったり、走っている友達を応援したりしている。 （主学）自分の順番やコースを理解し、友達にぶつからず、走っている。	【走・跳の運動】 ・リレー	・50メートル走、100メートル走 ・バトンパス ・折り返しリレー（バトンを使ってコーンをUターン） ・リレー（半周、１周）
	10	（知及技）健康や身体の変化について知り，健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付けることができる。[小３段階Ｇ保健ア] （思判表力）健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。[小３段階Ｇ保健イ] （学・人）健康や身体の変化について知ろうとすることや健康な生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けようとすることができる。[小３段階Ｇ保健ウ]	（知・技）体調の悪い時やケガをして痛みを感じていることを教師等に知らせている。 （思・判・表）「健康な生活に必要な事柄」を簡単な言葉かけや日課の流れに応じて自ら行動している。 （主学）健康や身体の変化について知ろうとすることや健康な生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けようとしている。	【保健】 ・病気の予防	・健康管理（運動、食事、休養、睡眠、体温測定、手洗い・うがい） ・歯と口の健康 ・エイズデー（エイズって？）

3学期	10	（知及技）器械・器具を使っての基本的な運動の楽しさを感じ、その行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。（３段階Ｂ器械・器具を使っての運動ア） （思判表力）器械・器具を使っての基本的な運動の行い方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（３段階Ｂ器械・器具を使っての運動イ） （学・人）きまりを守り、自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとすることができる。（３段階Ｂ器械・器具を使っての運動ウ）	（知・技）マットを使った運動遊びで教師や友達のまねをしてる。 （思・判・表）それぞれの固定施設を使って、楽しくできる場や自分の力にあった遊び方を考え、選んでいる。 （主学）マット遊びに進んで取り組もうとしている。	【器械・器具を使っての運動】 ・マット運動 ・サーキット運動	・座る、立つ、跳ぶ、走る、しゃがむ、跳ねる、四つ這い（サーキット運動） ・跳ぶ、転がる、前転、後転（マット運動） ・ルールやマナーを守って取り組む。 ・友達と協力して取り組む。 ・工夫したことや気づいたことを友達と伝え合う。
	10	（知及技）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けることができる。（３段階Ｅボールを使った運動やゲームア） （思判表力）ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。（３段階Ｅボールを使った運動やゲームイ） （学・人）簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとすることができる。（３段階Ｅボールを使った運動やゲームウ）	（知・技）パスやドリブルなどの基本的な動きを身につけている。 （思・判・表）ゴールを決めた後に喜びを表現している。 （主学）順番やきまりを守り、誰とでも仲良くしようとしている。	【ボールを使った運動やゲーム】 ・サッカー ・ドッチボール ・キックベースボール	・ゲームの行い方やルールについて ・ルールやマナーを守って取り組む ・工夫したことや気づいたことを友達と伝え合う。 ・教師の手本を見たり、上手に行っている友達を手本を見て模倣する。 ・友達と協力して仲良く楽しく取り組む。
	13	（知及技）走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けることができる。（３段階Ｃ走・跳の運動ア） （思判表力）走・跳の基本的な運動に慣れ，その楽しさや感じたことを表現することができる。（３段階Ｃ走・跳の運動イ） （学・人）簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，走・跳の基本的な運動をしようとする。（３段階Ｃ走・跳の運動ウ）	（知・技）最後まで諦めずに走っている。 （思・判・表）直線や曲線を工夫して走っている。 （主学）簡単なきまりを守り，友達とともに安全に楽しく，走・跳の基本的な運動をしようとする。	単元１「持久走」 ・最後まで諦めずに走ろう	・短距離走との走り方の違いを知る。 ・教師と話し合いながら自分なりの目標を決める。 ・工夫したことや気付いたことを友達同士で伝え合う。
留意点 引継ぎ等					

令和　7　年度 小学部　6年（Ⅱ課程）道徳科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	6年　31名	6学年担任	絵本、パワーポイント、映像、写真、 表情カード等

年間目標	よりよく生きるための基板となる道徳性を養うため、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 (A：自分自身に関する事) ・よいことや悪いことの違いが分かり、わがままをしないで規則正しい生活を送り、できることは最後までやり抜こうとする態度を養う。 (B：人との関わりに関する事) ・気持ちのよい挨拶や言葉使い、動作などに心がけ、身近にいる人と仲良くし、助け合う心を育てる。 (C:集団や社会との関わりに関する事) ・約束や決まりを守り、手伝いや与えられた仕事に進んで取り組む態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり) ・身近な自然に親しみ、動植物に優しく接する心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	・学校では、どんな楽しいことがあるかを思い起こし、新しい先生や友達に親しみ学校生活を楽しもうとする心情を育てる。	単元1 「がっこう　だいすき」	・自己紹介を行う。 ・新しい先生へ挨拶に行こう！ 【関連】　特活：「学年・学級開き」
	2	・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心がけて、明るく接しようとする実践意欲と態度を育てる。	単元2 「あいさつをしてみよう」	・『挨拶絵本』などの読み聞かせ ・どんな 挨拶があるかな？ ・どんな　気持ちになるかな？ 【関連】学校生活全般
	2	・沖縄戦争について知り、良いこと悪いことの判断力を養う。（A善悪の判断）	単元3 「へいわってすてきだね」	・絵本の読み聞かせ 『へいわってすてきだね』 ・慰霊の日パネル見学 ・平和と戦争のイメージ ・自分たちにできること
	3	・してよいことと悪いことがわることが分かる。 してよいことには快の感情、してはいけないことには不快の感情を持ってしっかり区別をし、自分をコントロールしようとする実践意欲と態度を育てる。	単元4 「よいこととわるいこと」	・どんな気持ちになるかな？ ・こんなとき どうする？ 【関連】学校生活全般
2学期	3	・自分が成長していることの喜びを実感し、かけがえのないいのちを大切にしようとする心情を育む。（D生命の尊さ）	単元5 「こころとからだのせいちょう」	・身体の変化について ・自分の成長を育んできた家族について 【関連】保健体育：「自分のからだ」「身体の清潔」
	3	・時と場に応じたあいさつや言葉遣い、作法についての実践意欲と態度を育てる。（B礼儀）	単元6 「公共施設の使い方」	・公共施設施設の使い方、約束 ・修学旅行での過ごし方、振るまい、挨拶 【関連】生活、特活：「修学旅行」
	3	・様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努め、学校での生活を自分たちで楽しくしようとする態度を育てる。（Cよりよい学校生活、集団生活の充実）	単元7 「修学旅行がんばるぞ」	・自分の役割、係分担について ・活動目標 【関連】生活、特活：「修学旅行」
	2	・情報機器を使うときにはルールやマナーがあることに気付き、約束やきまりを守り，安全に情報機器を使おうとする。	単元8 「ルールが ないと どう なるの？ ―スマホや　ゲームきを つかう ときー」	・情報機器の使用に関するルールやマナーについて確認し、理解を深める。 ・ルールについて考え、ルールの大切さについて話し合う。 【関連】　生活：「きまり」 学校生活全般
	2	・どんな人にお世話になっているかを知り、その人たちに感謝するとともに、その感謝の気持ちを伝えようとする実践意欲と態度を育てる。（B感謝）	単元9 「いつも ありがとう」	・身の周りの仕事について ・感謝の気持ちを伝えよう 【関連】　国語、図工：「勤労感謝の日」
	3	・動植物に親しみ、優しく接っしようとする態度と心情を育てる。（D自然愛護）	単元１０ 「イルカとあそぼう」	・「美ら海水族館見学」「イルカ体験」事前学習 ・美ら海水族館見学 ・イルカ体験 【関連】特活：「修学旅行」

3学期	3	・世話をしてくれている人々の善意に気づき、感謝する気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。（B感謝）	単元１１ 「小学部を振り返って」	・小学部の生活の振り返り ・お世話になった人について ・感謝の気持ちを表わそう 【関連】　特活：「卒業式」 生活：アルバム整理
	3	・中学部進学に向けて目標を持ち、最高学年としてやるべきことをしっかりやろうとする心情を育てる。（A希望と勇気）	単元１２ 「かっこいい、中学生になろう」	・中学生とは？中学部のイメージ ・残りの小学部生活を充実させるには ・中学部生活への希望 【関連】　特活：「卒業式」「中学部体験」 生活：アルバム整理
	3	・みんなのために働く良さについて気づき、みんなのために役立とうとする意欲や態度を育てる。（C勤労、公共の精神）	単元１２ 「在校生へ」	・低学年のお手伝い ・プレゼントを作ろう 【関連】　特活：「卒業式」 図工：「卒業制作」
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 小学部6年　外国語活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
18	6学年 31名	6学年担当教諭 ALT	しまじろうのえいごのうた、ABCのえほん、ドラえもん はじめての英会話辞典 にほんごえいご　はじめてのずかん９００、えいご・にほんごどうよえほん

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と英語の音声の違いに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。 （思判表力）身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養うことができる。） （学・人）外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。

学期		目標	評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	（知及技）英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。〈(1)イ（ア）〉 （思判表力）既に経験している活動や場面で、英語の挨拶や語などを聞き取ることができる。〈(3)①ア（ア）〉 （学・人）対話的な活動や外国の文化に触れながら、英語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	（知・技）イラストや絵カード等を見ながら、英語の音声（英語特有のリズムやイントネーション）を聞き、真似て発音している。 （思・判・表）相手の質問や要求に対して、英語を使って応じている。 （主学）やりとりを楽しみ、すすんで英語を使おうとしている。	Hello!（Introduction）	ALTの先生の紹介・あいさつのことば ・Hello./Good morning./Good afternoon. ・Nice to meet you. English songs and dance / Games
				What's your Name？	名前をたずねる・自己紹介 ・What's your name? ・What's her/his name? ・My name is…. ・Her/his name is ___. English songs and dance / Games
				How are you?	元気ですか？・今の気分 ・How are you? ・I'm___.（good/great/wonderful/hangry/tired/not so good） ・How is she/he? ・She/he is___. English songs and dance / Games
				How old are you?（Numbers）	年齢をたずねる・数字 ・How old are you？ ・I'm___ years old. ・Numbers 1-20 English songs and dance / Games
				1st semester Birthday Party	誕生日おめでとう・数字の復習 ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance
2学期	7	（知及技）外国の生活や行事などに触れ、日本と外国の生活や違いを知ることができる。〈(1)イ（イ）〉 （思判表力）既に経験している活動や場面で、実物や写真などを示しながら自分の名前や好きなものなどを簡単な語などを用いて伝えることができる。〈(3)①イ（ア）〉 （学・人）対話的な活動や外国の文化に触れながら、英語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。	（知・技）外国の文化に触れ、日本との違いを体験的に感じている。 （思・判・表）自分の名前や好きなものなどを写真や実物等で示しながら伝えている。 （主学）やりとりを楽しみながら、教師と一緒に英語を使おうとしている。	What color do you like?	何色が好き？・色 ・What color do you like? ・I like___. (red/blue/yellow/green/orange/purple/pink/brown/white/black) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don't. English songs and dance / Games
				What food do you like?	好きな食べ物は？・食べ物 ・What food do you like? ・I like___. (sushi/ramen/hamburger/spaghetti/pizza/curry and rice/bread/rice) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don't. English songs and dance / Games
				What fruit do you like?	好きな果物は？・果物 ・What fruit do you like? ・I like___. (banana/apple/orange/strawberry/melon/water melon/pineapple/peach) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don't. English songs and dance / Games
				What snack do you like?	好きなお菓子は？・お菓子 ・What snack do you like? ・I like___. (chocolates/candies/donuts/cookies/macarons/cupcakes/jellies/marshmallows) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don't. ハロウィンのお話 English songs and dance / Games
				Halloween Party	トリックオアトリート・色の復習 ・Trick or treat. ・Games（ボーリング、輪投げ、釣りetc.） English songs and dance
				What drink do you like?	好きな飲み物は？飲み物 ・What drink do you like? ・I like___. (coffee/tea/Japanese tea/hot chocolate/orange juice/apple juice/coke/water) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don't. English songs and dance / Games
				2nd semester Birthday Party	誕生日おめでとう・数字の復習 ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance

				What toy do you like?	好きなおもちゃは？・おもちゃ ・What toy do you like? ・I like___. (soccer ball/Video Game/iPad/Teddy Bear/Barbie/Lego/RC car/bicycle) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don't. English songs and dance / Games
				Christmas Party	クリスマスの話・クリスマスソング ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance
3学期	5			What animal do you like?	好きな動物は？・動物 ・What animal do you like? ・I like___. (dog/cat/lion/horse/elephant/rooster/cow/snake) ・Do you like___? ・Yes I do./ No I don't. English songs and dance / Games
				Who is this? (Family)	だれですか？・家族 ・Who is this/that? ・This is my___.（daddy/mommy/older brother/younger brother/older sister/younger sister/grandma/grandpa) English songs and dance / Games
				3rd semester Birthday Party	誕生日おめでとう・数字の復習 ・Happy birthday! ・Games（ピニャータ、ボーリング、釣りetc.） English songs and dance
				Request Day (Review)	リクエストタイム・復習 English songs and dance / Games
留意点 引継ぎ等					

令和　7　年度 小学部　６年（　　Ⅱ課程　）特別活動　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	６学年　31人	6年生担当職員	

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)実践的な集団活動を通して、友達への関わり方について学び、望ましい人間関係が形成することができる。（３段階） (思判表力)集団の一員として学校生活に必要な係に取り組むことができる。（小３段階） (学･人)様々な集団活動を通して、よりよい学校生活を築こうとすることができる。（小３段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	学年や学級の友達や教師のことを知り、仲良くしたり協力しようとする気持ちを持つことができる。	・学年、学級開き	・学年、学級紹介、自己紹介
	3	１学期の学習内容の写真やイラストを見たり、話を聞いたりして見通しをもったり、自分の目標を立てることができる。	・１学期頑張ろう会 ・目標を決めよう	・１学期頑張ろう会をしよう ・自分の目標をたてよう ・目標を発表しよう ・キャリアパスポートの活用
	3	話し合い活動を通して、学級目標を決めることができる。	・学級目標を決めよう	・話し合い活動 ・学級目標について考える
	3	１学期を振り返り、目標が達成できたか自己評価をすることができる。	・１学期頑張った会 ・自己目標の評価	・１学期頑張った会をしよう ・振り返り学習 ・自己評価、発表 ・キャリアパスポートの活用
	1	夏休みの過ごし方について考えることができる。	・夏休みの過ごし方	・よりよい過ごし方クイズ ・夏休みの過ごし方について考える
2学期	2	２学期の学習内容の写真やイラストを見たり、話を聞いたりして見通しをもったり、自分の目標を立てることができる。	・２学期頑張ろう会 ・目標を決めよう	・２学期頑張ろう会をしよう ・自分の目標をたてよう ・目標を発表しよう ・キャリアパスポートの活用
	3	自分できる仕事ややりたいことを考え、友達と協力して活動したり、楽しい誕生会にしようとすることができる。	・誕生会の準備をしよう	・誕生会をしよう（話し合い活動） 仕事分担、準備、実施
	6	・修学旅行の目標を意識しながら日程、場所、活動内容についての見通しをもち、係活動に取り組むことができる。 ・公共機関を使うときのルールやマナー、役割などについて考えることができる。	・修学旅行（事前・事後）	・修学旅行の日程、活動内容、公共機関を使うときのルールやマナー、係活動等について学習する。 ・しおりの作成、読み合わせ。
	2	２学期を振り返り、目標が達成できたか自己評価をすることができる。	・２学期頑張った会 ・自己目標の評価	・２学期頑張った会をしよう ・振り返り学習 ・自己評価、発表 ・キャリアパスポートの活用
	1	冬休みの過ごし方について考えることができる。	・冬休みの過ごし方	・よりよい過ごし方クイズ ・冬休みの過ごし方について考える

３学期	2	３学期の学習内容の写真やイラストを見たり、話を聞いたりして見通しをもったり、自分の目標を立てることができる。	・３学期頑張ろう会 ・目標を決めよう	・３学期頑張ろう会をしよう ・自分の目標をたてよう ・目標を発表しよう ・キャリアパスポートの活用
	1	児童会役員選挙を通して、選挙について知ることができる。	・児童会役員を決めよう	・児童会役員選挙について ・投票の仕方について
	2	３学期を振り返り、目標が達成できたか自己評価をすることができる。	・３学期頑張った会 ・自己目標の評価	・６年生頑張った会をしよう ・振り返り学習 ・自己評価、発表 ・キャリアパスポートの活用
	3	中学生に向けて期待感をもつことができる。	・卒業式に向けて ・中学生になったら	・卒業式の練習をしよう ・中学部体験学習
	1	春休みの過ごし方について考えることができる。	・春休みの過ごし方	・よりよい過ごし方クイズ ・春休みの過ごし方について考える
留意点 引継ぎ等				